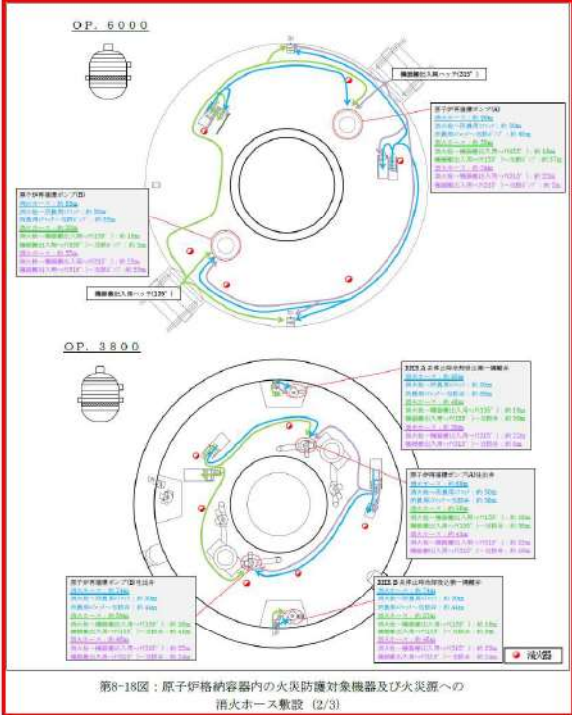
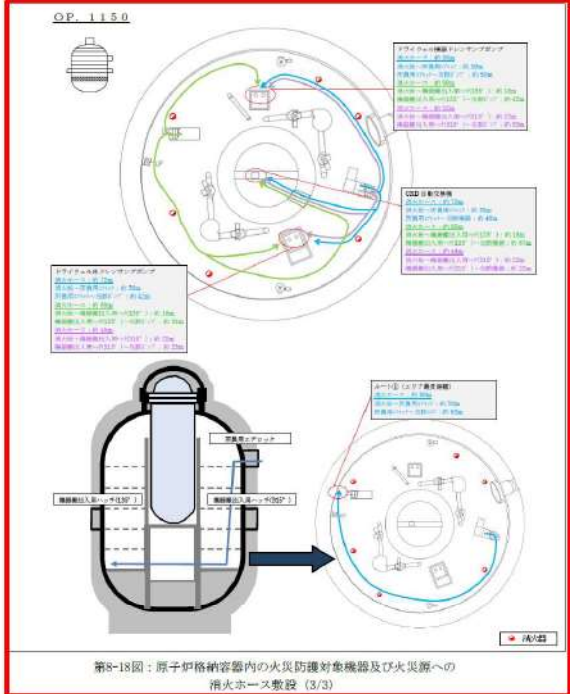
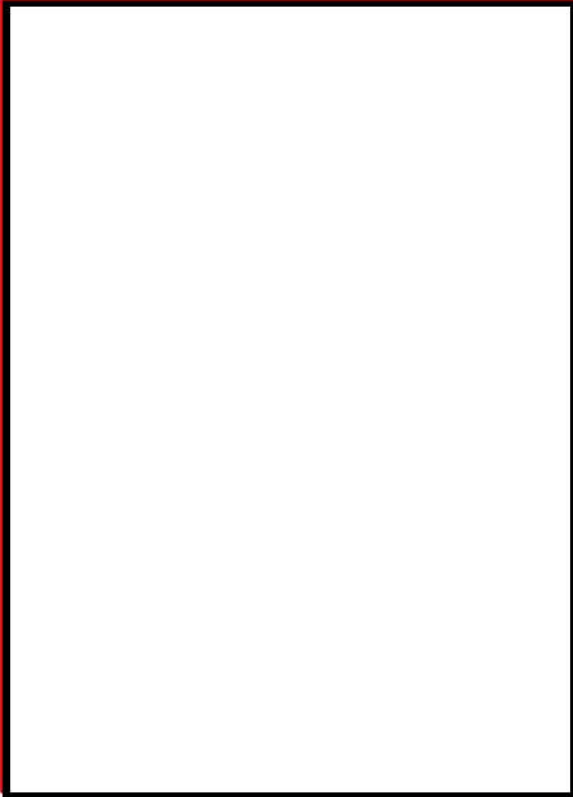


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第8-18図：原子炉格納容器内の火災防護対象機器及び火災源への 消火ホース敷設 (2/3)</p>	<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>第8-10図：原子炉格納容器内の火災防護対象機器及び消火器・消 火栓配置図 (2/4)</p> <p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内に消防法に基づいた消火栓を設置していることを記載しており、記載が相違している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第8-18図：原子炉格納容器内の火災防護対象機器及び火災源への消火ホース敷設（3/3）</p>	 <p>第8-10図：原子炉格納容器内の火災防護対象機器及び消火器・消火栓配置図（3/4）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内に消防法に基づいた消火栓を設置していることを記載しており、記載が相違している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-41 抜粋)</p> <p>6.5 安全余裕の確認</p> <p>前項で代替措置の同等性を示したが、原子炉格納容器内の動的機器が全て火災の影響により運転停止し、かつ、原子炉格納容器内の弁の遠隔操作ができなくなる等の設計基準事象を超える火災を仮定し、代替措置の安全余裕を確認する。</p>	<p>1. はじめに</p> <p>原子炉起動中の窒素置換（原子炉格納容器内酸素濃度3%以下）が完了していない時期において、原子炉格納容器内で発生する火災により、保守的に原子炉の安全機能が全喪失した場合において、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し維持することが可能か否かを確認する。</p>	<p>1. はじめに</p> <p>原子炉格納容器内で発生する火災により、保守的に原子炉格納容器内の動的機器が全て火災の影響により運転停止し、かつ、原子炉格納容器内の弁の遠隔操作ができなくなる等の設計基準事象を超える火災を想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し維持することが可能か否かを確認する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊はPWRプラントであり、窒素置換工程がないため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は左記のような火災を想定しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成、維持することを確認している。</p> <p>(美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■記載方針の相違</p>
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-41 抜粋)</p> <p>6.5 安全余裕の確認</p> <p>前項で代替措置の同等性を示したが、原子炉格納容器内の動的機器が全て火災の影響により運転停止し、かつ、原子炉格納容器内の弁の遠隔操作ができなくなる等の設計基準事象を超える火災を仮定し、代替措置の安全余裕を確認する。</p>	<p>2. 原子炉格納容器内火災による影響の想定</p> <p>起動時の原子炉格納容器内の火災による影響を以下のとおり想定する。</p> <p>(1) 火災発生は、原子炉起動中において窒素置換されていない期間である「制御棒引き抜き」から「窒素封入開始」（以下「起動～窒素封入開始」という。）及び「窒素封入開始」から「窒素置換完了」（以下「窒素封入開始～窒素置換完了」という。）までの期間に発生すると想定する。</p> <p>(2) 原子炉の停止過程においても火災発生の可能性はあるが、評価内容としては「起動～窒素封入開始」までの評価と同様であることから、起動中の状態にて評価する。</p> <p>(3) 火災源は、最も多量の油内包機器である原子炉再循環ポンプ2台のうち、いずれかの単一火災を想定する。</p> <p>(4) 油内包機器である原子炉压力容器下部作業用機器（CRD自動交換機）については、原子炉起動を含め使用していないときは電源を遮断することから、原子炉起動中の火災発生を想定しない。</p> <p>(5) 原子炉再循環ポンプの内包する潤滑油火災は、原子炉再循環ポンプから漏えいした潤滑油が溜るドレンリムの双方で発生するものとする。</p>	<p>2. 原子炉格納容器内火災による影響の想定</p> <p>原子炉格納容器内の動的機器が全て火災の影響により運転停止し、かつ、原子炉格納容器内の弁の遠隔操作ができなくなる等の設計基準事象を超える火災を仮定し、高温停止及び低温停止を達成し維持できることを確認する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。</p> <p>(美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■記載方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-41 抜粋)</p> <p>(1) 高温停止の達成</p> <p>原子炉を高温停止するためには、制御棒を炉内に挿入することが必要であるが、原子炉格納容器内の制御棒駆動コイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止する。なお、中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能である。</p> <p>また、原子炉の停止状態の確認は、制御棒が原子炉トリップ遮断器の開放により瞬時に炉内に挿入されることから、直ちに中性子源領域/中間領域検出器アセンブリにより、確認することができる。</p> <p>原子炉停止直後に確認する高温停止状態は、火災が延焼していないことから、火災防護対象機器が機能を維持している間に以下のとおり確認可能である。</p>	<p>(6) 原子炉格納容器内に設置している逃がし安全弁などの主要な材料は金属製であること、及び原子炉格納容器内に敷設しているケーブルは実証試験により自己消火性、延焼性を確認した難燃ケーブルを使用していることから、火災の進展は時間経過とともに徐々に原子炉格納容器全域に及ぶものとする。</p> <p>(7) 空気作動弁は、電磁弁に接続される制御ケーブルが火災により断線、フェイル作動するものとする。</p> <p>(8) 電動弁は、火災影響により接続するケーブルが断線し、作動させることが出来ないが、火災発生時の開度を維持するものとする。</p> <p>(9) 原子炉格納容器内の監視計器は、「同一パラメータを監視する複数の計器が配置上分離されて設置されていること」、及び「火災が時間経過とともに進展すること」を考慮し、火災発生直後は全監視計器が同時に機能喪失するとは想定しないが、火災の進展に伴い監視計器が全て機能喪失するものとする。</p> <p>3. 原子炉の高温停止及び低温停止の達成、維持について</p> <p>3.1 起動～窒素封入開始</p> <p>(1) 高温停止の達成</p> <p>原子炉起動中において窒素置換されていない期間である「起動～窒素封入開始」までの期間（約40時間）については、主蒸気第一隔離弁は“開”状態（第8-19図）となっている。原子炉再循環ポンプにはドレンリムが設置されており、火災の影響が及ぶことは考えにくい。保守的に当該火災により主蒸気第一隔離弁の閉止を想定する。この場合、原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系（スクラム機能））による緊急停止操作が要求される。このうち、制御棒駆動機構は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって原子炉の緊急停止機能に影響が及ぶおそれはない。</p>	<p>3. 原子炉の高温停止及び低温停止の達成、維持について</p> <p>(1) 高温停止の達成</p> <p>原子炉を高温停止するためには、制御棒を炉内に挿入することが必要であるが、原子炉格納容器内の制御棒駆動コイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止する。なお、中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能である。</p> <p>また、原子炉の停止状態の確認は、制御棒が原子炉トリップ遮断器の開放により瞬時に炉内に挿入されることから、直ちに中性子源領域/中間領域検出器アセンブリにより、確認することができる。</p> <p>原子炉停止直後に確認する高温停止状態は、火災が延焼していないことから、火災防護対象機器が機能を維持している間に以下のとおり確認可能である。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

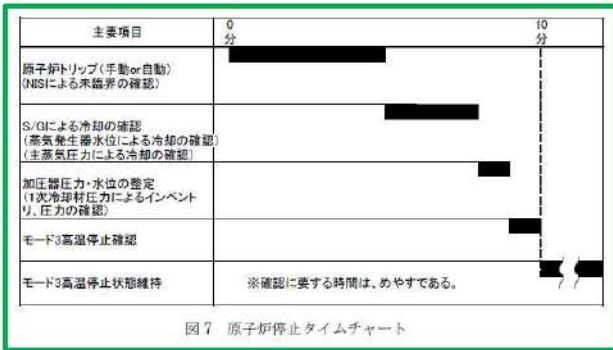
第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-41抜粋)</p> <p>a. 蒸気発生器による冷却の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁（自動制御）から蒸気を放出する。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても冷却可能である。 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認する。原子炉格納容器外の主蒸気圧力（1次冷却材温度（低温側）の飽和圧力）で温度を監視する。 <p>b. 加圧器圧力・水位の整定</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能である。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認する。 	<p>スクラム機能が要求される制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットについては、当該ユニットのアクムレータ、窒素容器、スクラム弁・スクラムパイロット弁は、原子炉格納容器とは別の火災区域に設置されているため、原子炉再循環ポンプの火災による影響はない。当該ユニットの原子炉格納容器内の配管は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくい。（第8-20図）</p> <p>以上より、原子炉再循環ポンプの火災を想定しても原子炉の高温停止を達成することは可能である。</p>	<p>a. 蒸気発生器による冷却の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁（自動制御）から蒸気を放出する。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても冷却可能である。 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認する。原子炉格納容器外の主蒸気圧力（1次冷却材温度（低温側）の飽和圧力）で温度を監視する。 <p>b. 加圧器圧力・水位の整定</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能である。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認する。 	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。（美浜と同様）</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。（美浜と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉 (美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-42 抜粋)	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-42 抜粋)</p> <p>(2) 高温停止の維持、低温停止への移行</p> <p>原子炉を高温停止にした後、火災防護対象機器・ケーブル間のケーブルトレイが延焼し、両系列の火災防護対象機器の機能が失われたと仮定し、高温停止の維持、低温停止への移行に影響がないかを検討する。</p> <p>(a) 検討条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災は原子炉格納容器内全域で発生し、その影響で原子炉格納容器内の動的機器（ポンプ）は停止し、原子炉格納容器内の弁は遠隔操作不能（フェイル動作）とする。 火災によって、1次冷却系圧力を低下させるようなバウンダリ機能の喪失は起らない。* 原子炉格納容器外の機器は火災の影響を受けない。 高温停止に維持している間に鎮火する。 	<p>(2) 低温停止の達成、維持</p> <p>低温停止の達成、維持については、原子炉停止後の除熱機能に該当する系統として、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）（第8-21図）、高圧炉心スプレイ系（第8-22図）、原子炉隔離時冷却系（第8-23図）、自動減圧系（手動逃がし機能）（第8-19図）が必要となる。これらの系統のうち、ポンプについては、電源ケーブルを含め原子炉格納容器とは別の火災区画に設置されているため、原子炉再循環ポンプの火災の影響はないが、原子炉格納容器内に設置されている電動弁、電磁弁については、電源ケーブル、制御ケーブルが火災の進展により機能喪失すると電動弁、電磁弁等も機能喪失することとなる。</p> <p>しかしながら、起動から原子炉格納容器点検終了までの間は、原子炉格納容器内には窒素が封入されていないことから、火災発生を確認した時点で緊急停止操作を行うとともに初期消火要員が所員用エアロック室に急行（10分以内）し、火災影響が及んでいない起動領域モニタ（SRNM）で未臨界状態を確認した後に、所員用エアロックを開放（約8分）し原子炉格納容器内に入り消火活動を行うことは可能である。</p>	<p>(2) 高温停止の維持、低温停止への移行</p> <p>原子炉を高温停止にした後、火災防護対象機器・ケーブル間のケーブルトレイが延焼し、両系列の火災防護対象機器の機能が失われたと仮定し、高温停止の維持、低温停止への移行に影響がないかを検討する。</p> <p>(a) 検討条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災は原子炉格納容器内全域で発生し、その影響で原子炉格納容器内の動的機器（ポンプ）は停止し、原子炉格納容器内の弁は遠隔操作不能（フェイル動作）とする。 火災によって、1次冷却系圧力を低下させるようなバウンダリ機能の喪失は起らない。* 原子炉格納容器外の機器は火災の影響を受けない。 高温停止に維持している間に鎮火する。 	<p>相違理由</p> <p>【女川】 ■設備の相違 泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-42~43 抜粋)</p> <p>(b) 検討結果</p> <p>原子炉格納容器内の両系列の火災防護対象機器の機能が失われた状態であっても、表2に示す手段により、プラントを高温停止に維持することが可能である。なお、表2には、高温停止達成手段をあわせて示す。</p> <p>高温停止に維持している間に、消火し、原子炉格納容器内への立入りが可能になれば、計器を復旧する。計器復旧は、予備の1次冷却材圧力伝送器、蒸気発生器水位伝送器に交換することで行い、作業期間は1日程度である。計器復旧後、遠隔操作できないと仮定している原子炉格納容器内の弁(余熱除去系高温側隔離弁等)を手動で操作し、化学体積制御系、補助給水系、余熱除去ポンプ等を使用してほう酸濃縮、低温停止への移行を行う。なお、未臨界状態は、1次冷却材中のほう素濃度により、未臨界状態を監視する。</p>	<p>よって、原子炉格納容器内の電動弁及び電磁弁について、原子炉再循環ポンプの火災影響により全て機能喪失したとしても、原子炉隔離時冷却系又は高圧炉心スプレイ系により炉心冷却を継続している間に、原子炉格納容器内に設置された残留熱除去系停止時冷却吸込第一隔離弁（通常閉）を手動開操作、原子炉再循環ポンプ吐出弁（通常開）を手動閉操作してラインアップすることで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）の運転が可能であり、原子炉の低温停止の達成、維持は可能である。</p> <p>3.2 窒素封入開始～窒素置換完了</p> <p>(1) 高温停止の達成</p> <p>原子炉起動中かつ窒素置換を行っている期間（原子炉格納容器内の酸素濃度3%まで約2時間）である「窒素封入開始～窒素置換完了」についても、主蒸気第一隔離弁は”開”状態となっている。原子炉再循環ポンプにはドレンリムが設置されており、火災の影響が及ぶことは考えにくい。保守的に当該火災により主蒸気第一隔離弁の閉止を想定する。この場合、原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系（スクラム機能））による緊急停止操作が要求される。このうち、制御棒駆動機構は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって原子炉の緊急停止機能に影響が及ぶおそれはない。</p>	<p>(b) 検討結果</p> <p>原子炉格納容器内の両系列の火災防護対象機器の機能が失われた状態であっても、第8-10表に示す手段により、プラントを高温停止に維持することが可能である。なお、第8-10表には、高温停止達成手段をあわせて示す。</p> <p>高温停止に維持している間に、消火し、原子炉格納容器内への立入りが可能になれば、計器を復旧する。計器復旧は、予備の1次冷却材圧力伝送器、蒸気発生器水位伝送器に交換することで行い、作業期間は1日程度である。計器復旧後、遠隔操作できないと仮定している原子炉格納容器内の弁(余熱除去系高温側隔離弁等)を手動で操作し、化学体積制御系、補助給水系、余熱除去ポンプ等を使用してほう酸濃縮、低温停止への移行を行う。なお、未臨界状態は、1次冷却材中のほう素濃度により、未臨界状態を監視する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※ バウンダリ機能の喪失を想定しない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管等は火災によって機械的に破損しないため、配管等の破損によるバウンダリ機能の喪失は想定しない。 ・弁等には、膨張黒鉛を主成分とするガスケット、パッキン類を使用しているが、これらは弁、フランジの内部に取り付けており、火災によって直接加熱され、燃焼することはない。これらのシート面は機器内の流体と接しており、大幅な温度上昇は考えにくい。万一、長時間高温になって、シート性能が低下したとしても、シート部からの漏えいが発生する程度で、バウンダリ機能が失われることはない。 ・火災の影響で、加圧器逃がし弁が誤開放しても、加圧器逃がし弁元弁が閉止され、1次冷却系の圧力を低下させるようなバウンダリ機能の喪失にならない。 	<p>スクラム機能が要求される制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットについては、当該ユニットのアクュムレータ、窒素容器、スクラム弁・スクラムパイロット弁は、原子炉格納容器とは別の火災区域に設置されているため、原子炉再循環ポンプの火災の影響はない。当該ユニットの原子炉格納容器内の配管は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくい。（第8-20図）</p> <p>以上より、原子炉再循環ポンプの火災を想定しても原子炉の高温停止を達成することは可能である。</p>	<p>※ バウンダリ機能の喪失を想定しない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管等は火災によって機械的に破損しないため、配管等の破損によるバウンダリ機能の喪失は想定しない。 ・弁等には、膨張黒鉛を主成分とするガスケット、パッキン類を使用しているが、これらは弁、フランジの内部に取り付けており、火災によって直接加熱され、燃焼することはない。これらのシート面は機器内の流体と接しており、大幅な温度上昇は考えにくい。万一、長時間高温になって、シート性能が低下したとしても、シート部からの漏えいが発生する程度で、バウンダリ機能が失われることはない。 ・火災の影響で、加圧器逃がし弁が誤開放しても、加圧器逃がし弁元弁が閉止され、1次冷却系の圧力を低下させるようなバウンダリ機能の喪失にならない。 	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。（美浜と同様）</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。（美浜と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-44 抜粋)</p> <p>表2 原子炉格納容器外からの原子炉停止・冷却手段</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉停止 (未臨界維持)</td> <td> <p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の制御棒駆動コイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子領域域/中間領域検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 </td> </tr> <tr> <td>冷却(高温停止維持)</td> <td> <p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても、冷却可能 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 </td> </tr> <tr> <td>1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持</td> <td> <p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	手段	原子炉停止 (未臨界維持)	<p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の制御棒駆動コイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子領域域/中間領域検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 	冷却(高温停止維持)	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても、冷却可能 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 	1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 		<p>第8-10表：原子炉格納容器外からの原子炉停止・冷却手段</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉停止 (未臨界維持)</td> <td> <p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の原子炉トリップコイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子束検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 </td> </tr> <tr> <td>冷却 (高温停止維持)</td> <td> <p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても冷却可能。 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 </td> </tr> <tr> <td>1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持</td> <td> <p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	手段	原子炉停止 (未臨界維持)	<p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の原子炉トリップコイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子束検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 	冷却 (高温停止維持)	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても冷却可能。 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 	1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は塞室置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 (美浜と同様)</p>
機能	手段																		
原子炉停止 (未臨界維持)	<p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の制御棒駆動コイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子領域域/中間領域検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 																		
冷却(高温停止維持)	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても、冷却可能 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 																		
1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 																		
機能	手段																		
原子炉停止 (未臨界維持)	<p>高温停止到達</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の原子炉トリップコイルの電源が火災によって喪失すると、制御棒は落下し、原子炉は自動停止。 中央制御室から、原子炉格納容器外に設置している原子炉トリップ遮断器を開放することで、制御棒は挿入可能。 中性子束検出器アセンブリにより、原子炉停止を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応度が添加されていないことを、原子炉格納容器外の主蒸気圧力(冷却されていないこと)、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンクの水位(希釈されていないこと)から監視。 																		
冷却 (高温停止維持)	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器外に設置している補助給水ポンプが自動起動して蒸気発生器2次側に給水し、主蒸気逃がし弁(自動制御)から蒸気放出。 補助給水ポンプの手動起動、主蒸気逃がし弁の手動操作、主蒸気安全弁によっても冷却可能。 蒸気発生器水位伝送器により、蒸気発生器からの冷却が行われていることを確認。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)で温度を監視。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 崩壊熱を除去し、高温停止を維持していることを、原子炉格納容器外の補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水流量から監視。原子炉格納容器外の主蒸気圧力(1次冷却材温度(低温側)の飽和圧力)により、温度が安定していることを監視。 																		
1次冷却材系統のインベントリ確保、圧力維持	<p>火災発生後、高温停止到達まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統からの抽出系、充てん系等は、フェイルセーフ動作し、インベントリ、圧力は保持される。 原子炉格納容器外の弁操作によっても、インベントリ、圧力の保持は可能。 1次冷却材圧力伝送器により、インベントリ確保、圧力維持を確認。 <p>高温停止維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力、インベントリを変動させる要因がないことを、原子炉格納容器外の抽出流量、充てん流量、体積制御タンク水位等から監視。 																		

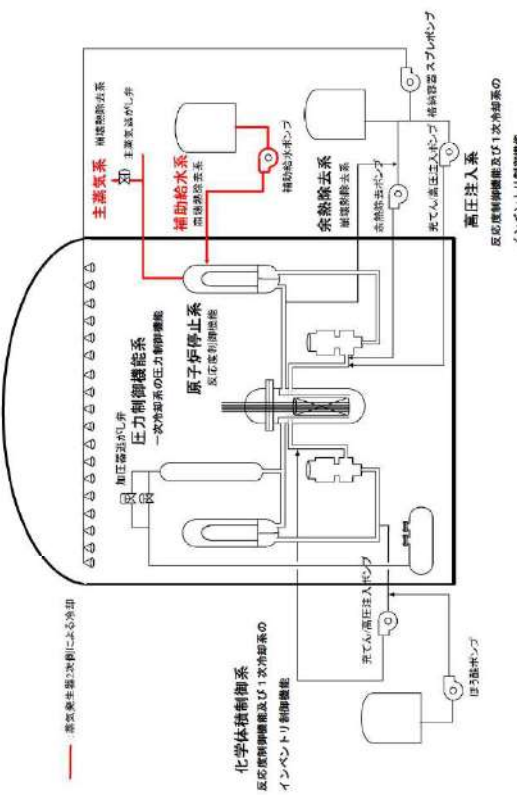
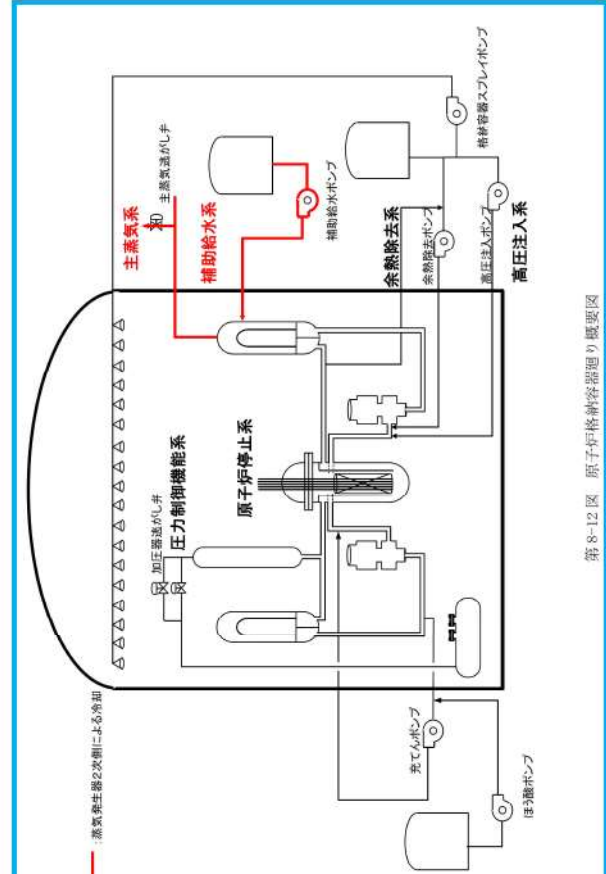
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 低温停止の達成、維持</p> <p>「窒素封入開始～窒素置換完了」の期間に、原子炉再循環ポンプで火災が発生した場合には、原子炉格納容器の窒素封入作業を原子炉格納容器内酸素濃度 3%になる時点まで継続し、その後窒素排出作業を行うことで、原子炉格納容器の開放及び内部での消火活動を安全に行うことが可能である。また、サブプレッションチェンバ側の窒素封入中に火災感知器が作動した場合は、窒素封入停止を判断する。なお、原子炉格納容器内に入域し直ちに消火活動を安全に行うことが困難な場合でも、原子炉格納容器は密閉空間のため、火災による酸素濃度低下に伴い窒息消火に至る。</p> <p>よって、原子炉格納容器内の電動弁及び電磁弁について、原子炉再循環ポンプの火災影響により全て機能喪失したとしても、原子炉隔離時冷却系又は高圧炉心スプレイ系により炉心冷却を継続している間に、原子炉格納容器内に設置された残留熱除去系停止時冷却吸込第一隔離弁（通常閉）を手動開操作、原子炉再循環ポンプ吐出弁（通常開）を手動閉操作してラインアップすることで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）の運転が可能であり、原子炉の低温停止の達成、維持は可能である。</p>		<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は窒素置換工程がないため、原子炉格納容器内の火災による影響の想定が異なっている。 （美浜と同様）</p>

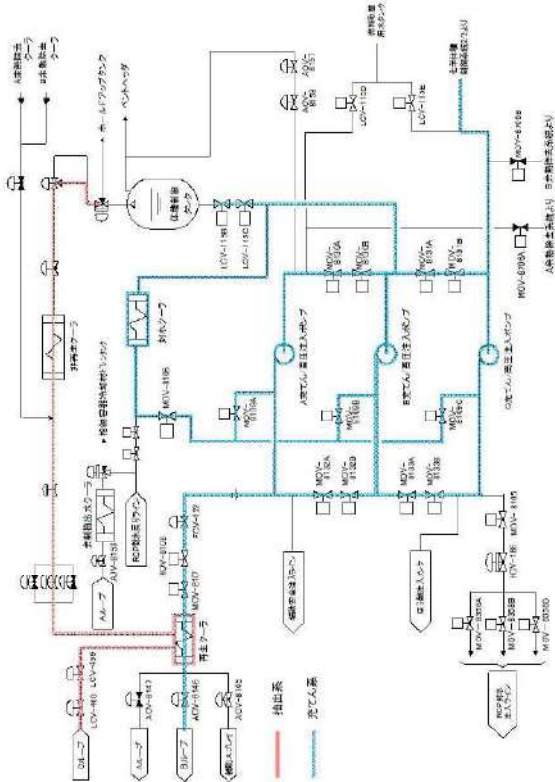
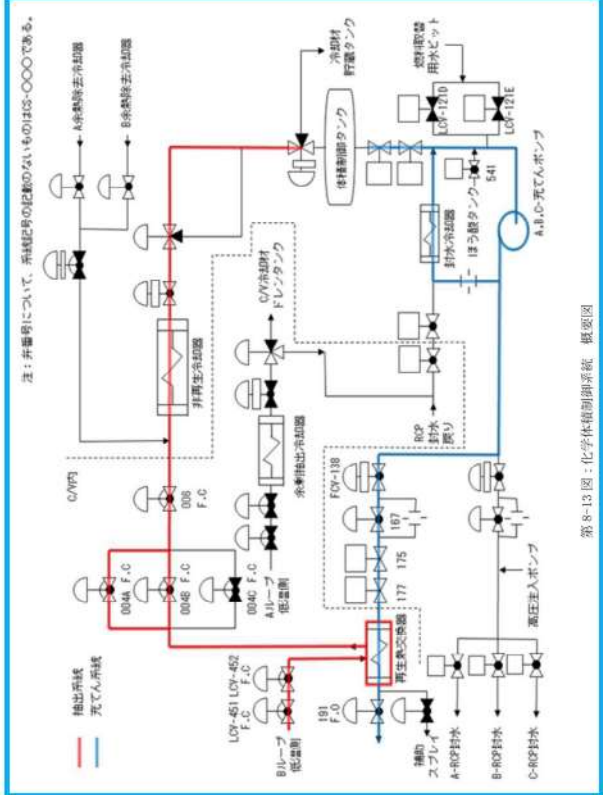
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

<p>大飯発電所3/4号炉 (美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-45抜粋)</p>  <p>図8 原子炉格納容器廻りの概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第8-12図 原子炉格納容器廻り 概要図</p>	<p>相違理由</p>
			<p>【女川】 ■記載方針の相違 想定した事象に対処する系統の概略図を記載している。 (美浜と同様)</p>

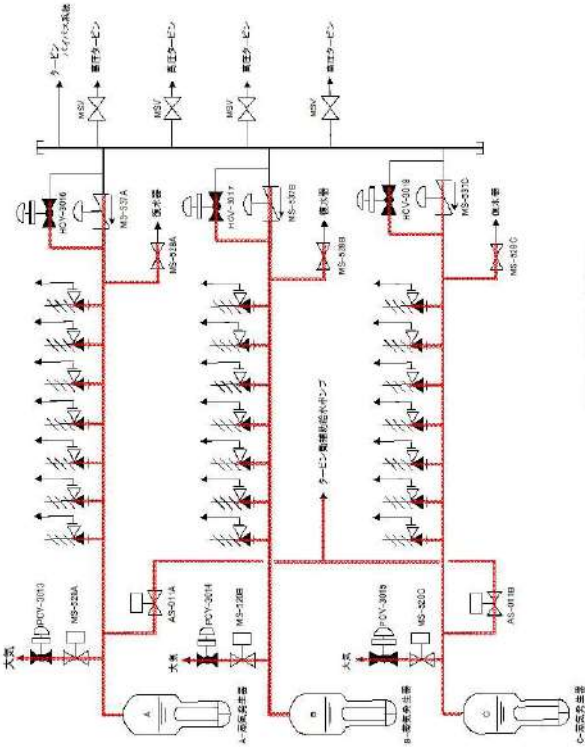
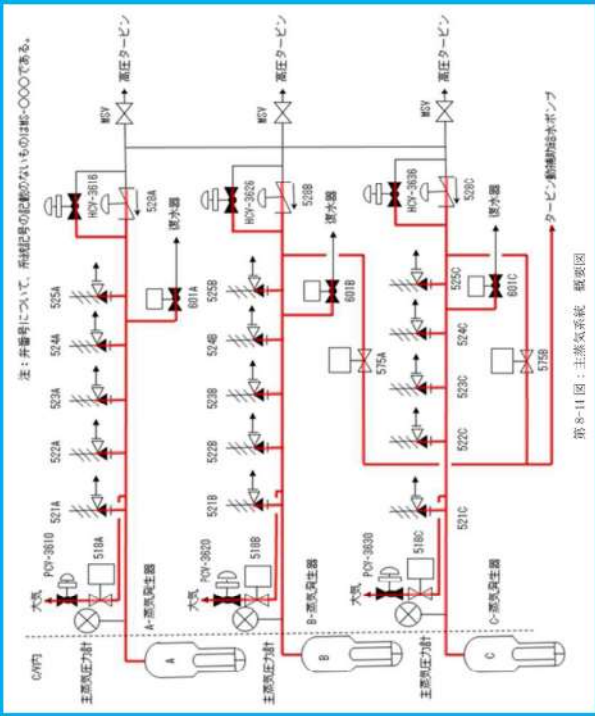
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

<p>大飯発電所3/4号炉 (美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-46抜粋)</p>  <p>図9 化学体制御系統 概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第8-13図：化学体制御系統 概略図</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 想定した事象に対処する系統の概略図を記載している。 (美浜と同様)</p>

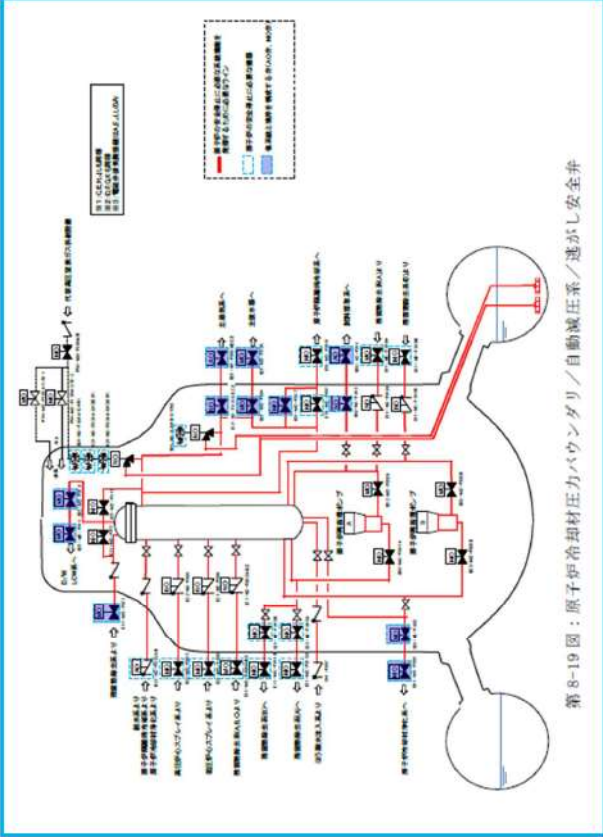
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

<p>大飯発電所3/4号炉 (美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-47 抜粋)</p>  <p>図 10 主蒸気系統 概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>4. まとめ</p> <p>保守的に、起動中の原子炉格納容器内の火災発生により、原子炉の安全機能が全喪失したと想定しても、運転操作、現場操作により原子炉の高温停止及び低温停止を達成し維持することが可能であることを確認した。</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第8-11図：主蒸気系統 概略図</p> <p>4. まとめ</p> <p>保守的に、起動中の原子炉格納容器内の火災発生により、原子炉の動的機器がすべて火災の影響により運転停止し、かつ、原子炉格納容器内の弁の遠隔操作ができなくなる等の設計基準事象を超える火災を想定しても、運転操作、現場操作により原子炉の高温停止及び低温停止を達成し維持することが可能であることを確認した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>想定した事象に対処する系統の概略図を記載している。 (美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備の相違 <p>泊は左記のような火災を想定しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成、維持することを確認している。 (美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>文章構成上、記載が異なっている。</p>
--	---	--	---

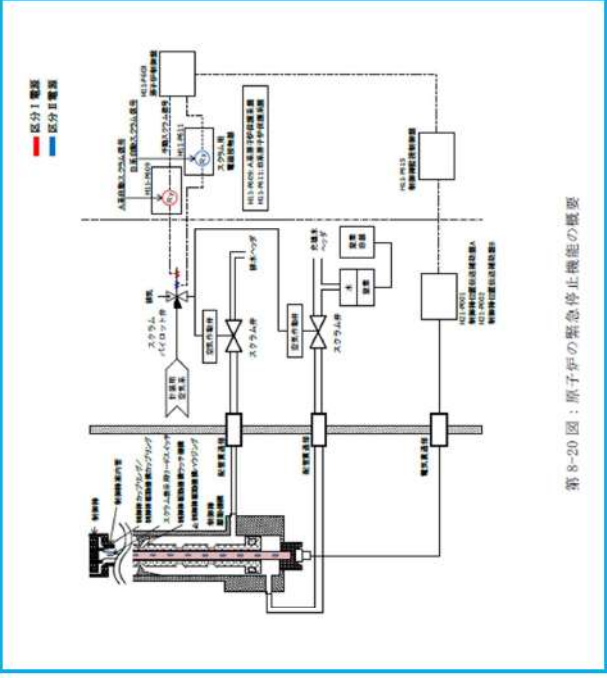
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第8-19図：原子炉冷却材圧力バウンダリ/自動減圧系/逃がし安全弁</p>		<p>【女川】 ■記載箇所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

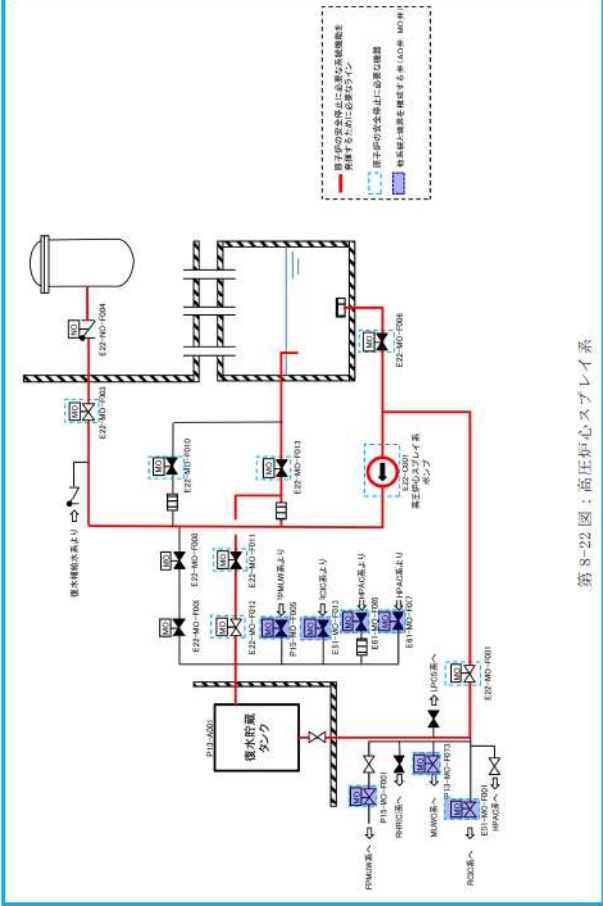
第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第8-20図：原子炉の緊急停止機能の概要</p>		<p>【女川】</p> <p>■記載箇所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

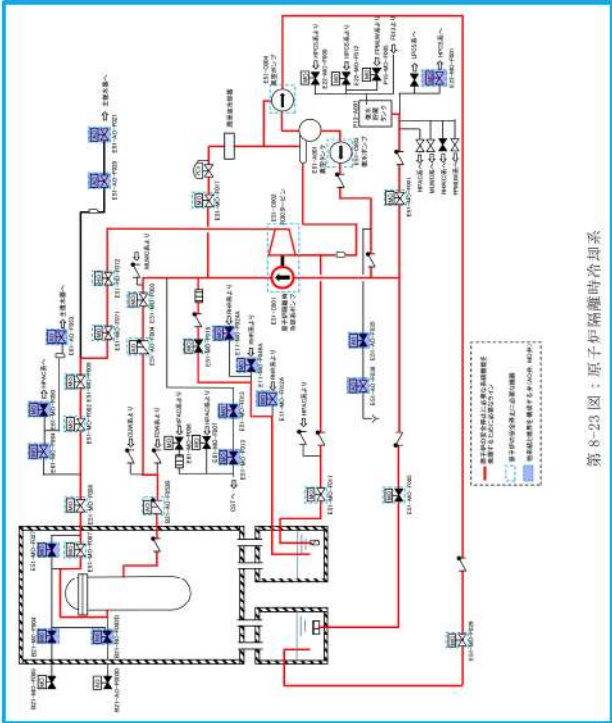
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第8-21図：残留熱除去系</p>		<p>【女川】 ■記載箇所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第8-22図：高圧炉心スプレイス系</p>		<p>【女川】</p> <p>■記載箇所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 本文 原子炉格納容器内の火災防護について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: right;">第8-23図：原子炉格納容器系</p>		<p>【女川】</p> <p>■記載箇所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 p.1 抜粋)</p> <p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p>原子炉格納容器内のケーブルトレイへの鉄製蓋設置範囲について</p> <p>1. はじめに</p> <p>伊方発電所3号炉においては、火災防護対象ケーブルに関連する火災防護対象機器の機能維持の信頼性を向上させるため、延焼防止及び火災による影響を防止することを目的として、火災防護対象ケーブルが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対して、鉄製蓋を設置する。</p> <p>鉄製蓋を設置すべきケーブルトレイの選定に当たっては、資料7「火災の影響軽減対策について」と同様に、防護すべきケーブルを特定する必要がある。</p> <p>具体的には、プロセスを監視しながら原子炉を安全に停止し、冷却を行うことが必要であり、このためには、以下の機能を達成するための手段（成功パス）を、回路評価及び手動操作に期待してでも、少なくとも1つ確保することが必要である。</p>		<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p>原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について</p> <p>1. はじめに</p> <p>原子炉格納容器においては、火災防護対象ケーブルに関連する火災防護対象機器の機能維持の信頼性を向上させるため、延焼防止及び火災による影響を防止することを目的として、火災防護対象ケーブルが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する。</p> <p>金属製の蓋を設置すべきケーブルトレイの選定に当たっては、資料7「火災防護対象機器等の系統分離について」と同様に、防護すべきケーブルを特定する必要がある。</p> <p>具体的には、プロセスを監視しながら原子炉を安全に停止し、冷却を行うことが必要であり、このため、以下の監視機能を達成するための手段（安全停止パス）を回路評価及び手動操作に期待してでも、少なくとも1つ確保する必要がある。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>(伊方と同様)</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 p.1 抜粋)</p> <p>【安全停止に必要な機能】</p> <p>①反応度制御機能 ②1次冷却材系統のインベントリと圧力の制御機能 ③崩壊熱除去機能 ④プロセス監視機能 ⑤サポート（電源、補機冷却水、補機冷却海水等）機能</p> <p>したがって、回路評価及び手動操作を考慮しても、成功パスが確保されない火災防護対象ケーブルが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対して、鉄製の蓋を設置する。</p>		<p>【原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機能】</p> <p>(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (2) 過剰反応度の印加防止機能 (3) 炉心形状の維持機能 (4) 原子炉の緊急停止機能 (5) 未臨界維持機能 (6) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (7) 原子炉停止後の除熱機能 (8) 炉心冷却機能 (9) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (10) 安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (11) 安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (12) 事故時のプラント状態の把握機能 (13) 異常状態の緩和機能 (14) 制御室外からの安全停止機能</p> <p>従って回路評価及び手動操作を考慮しても、安全停止パスが確保されない火災防護対象ケーブルが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>(伊方と同様)</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載表現の相違</p>
<p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 p.1 抜粋)</p> <p>2. 対策を要する火災防護対象ケーブル</p> <p>回路評価及び手動操作を考慮しても、成功パスが確保されない火災防護対象ケーブルを表1に示す。同じ機能を有する異なる系列間（Aトレン及びBトレン）の機器が、同時に機能喪失することを防ぐため、影響軽減対策としてこれらが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対し、鉄製の蓋を設置する（図1参照）。また、設置範囲を別紙1に示す。</p>		<p>2. 対策を要する火災防護対象ケーブル</p> <p>回路評価及び手動操作を考慮しても、成功パスが確保されない火災防護対象ケーブルを表1に示す。同じ機能を有する異なる系統間（Aトレン及びBトレン）の機器が、同時に機能喪失することを防ぐため、影響軽減対策としてこれらが敷設されているケーブルトレイ及び電線管の周囲のケーブルトレイに対し、金属製の蓋を設置する（第1図参照）。また、設置範囲を資料8別紙1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>(伊方と同様)</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載表現の相違</p>

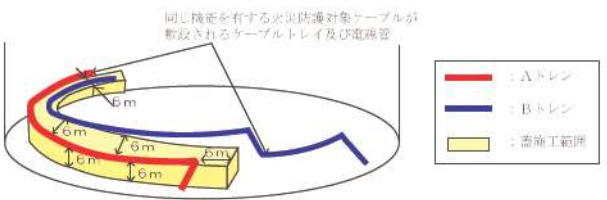
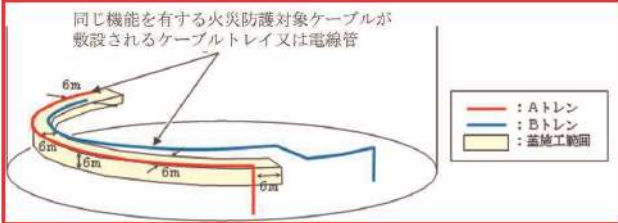
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜 別添資料-1 本文 p.52 抜粋)</p> <p>(a) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ同士が6m以上の離隔を有する場合は、いずれか一方の系列の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。</p> <p>(b) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ同士が6mの離隔を有しない場合は、同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される両方のケーブルトレイ及びいずれか一方の系列の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから周囲6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。</p>		<p>(1) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ同士が6m以上の離隔を有する場合は、いずれか一方の系統の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。</p> <p>(2) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ同士が6mの離隔を有しない場合は、同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される両方のケーブルトレイ及びいずれか一方の系統の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから周囲6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。 (第2図)</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。 (美浜と同様)</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>伊方には転記した記載がなく、泊の資料に美浜と同様の内容を記載し、記載の充実化をしている。</p> <p>【美浜】</p> <p>■記載表現の相違</p>

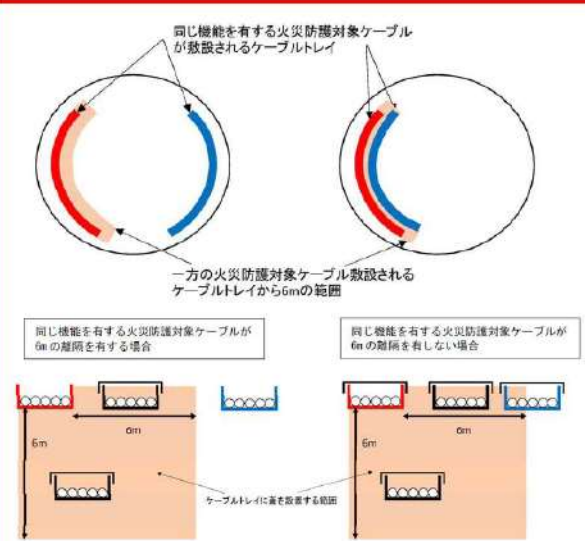
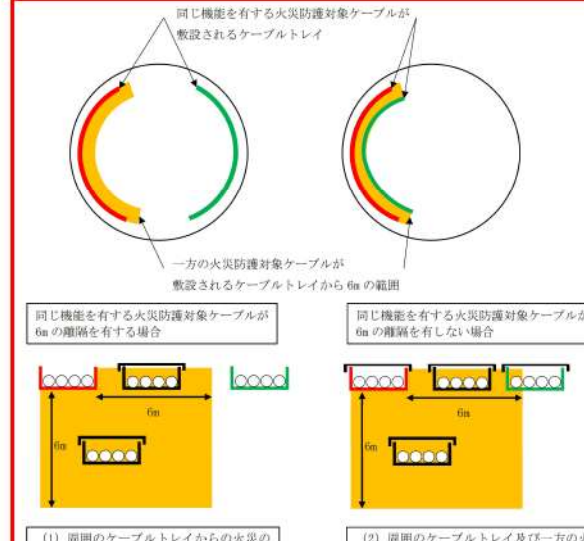
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜 別添資料-1 本文 p.52 抜粋)</p> <p>(c) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管同士が6m以上の離隔を有する場合は、いずれか一方の系列の火災防護対象ケーブルが敷設される電線管から6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。</p> <p>(d) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管同士が6mの離隔を有しない場合は、上記(c)と同じ対策を実施する設計とする。</p> <p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 p.1 抜粋)</p>  <p>図1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの鉄製蓋設置イメージ</p>		<p>(3) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管同士が6m以上の離隔を有する場合は、いずれか一方の系統の火災防護対象ケーブルが敷設される電線管の周囲6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して、蓋を設置する設計とする。</p> <p>(4) 同一機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管同士が6mの離隔を有しない場合は、上記(3)と同じ対策を実施する設計とする。</p> <p>(第3図)</p>  <p>第1図：原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋設置イメージ</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>【伊方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 ■記載方針の相違 <p>伊方には転記した記載がなく、泊の資料に美浜と同様の内容を記載し、記載の充実化をしている。</p> <p>【美浜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 <p>【伊方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 <p>泊は金属製の蓋</p> <p>【伊方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉 (美浜 別添資料-1 資料6 p.36 抜粋)	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ</p> <p>一方の火災防護対象ケーブル敷設されるケーブルトレイから6mの範囲</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの距離を有する場合</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの距離を有しない場合</p> <p>ケーブルトレイに蓋を設置する範囲</p> <p>(a)周囲のケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、いずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して蓋を設置する。</p> <p>(b)周囲のケーブルトレイ及び一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及びいずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して蓋を設置する。</p> <p>※ケーブルトレイに設置する蓋には、消火水がケーブルトレイへ浸入するための開口を設置する。</p> <p>図4 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの鉄製蓋設置 (火災防護対象ケーブルがケーブルトレイに敷設される場合)</p>		 <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ</p> <p>一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6mの範囲</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの距離を有する場合</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの距離を有しない場合</p> <p>(1) 周囲のケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、いずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して金属製の蓋を設置する。</p> <p>(2) 周囲のケーブルトレイ及び一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及びいずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して金属製の蓋を設置する。</p> <p>※ケーブルトレイに設置する金属製の蓋には、消火水がケーブルトレイへ浸入するための開口を設置する。</p> <p>第2図：原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋設置 (火災防護対象ケーブルがケーブルトレイに敷設される場合)</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>伊方には転記した記載がなく、泊の資料に美浜と同様の内容を記載し、記載の充実化をしている。 (美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>泊は金属製の蓋</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜 別添資料-1 資料6 p.37 抜粋)</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管</p> <p>一方の火災防護対象ケーブル敷設される電線管から6mの範囲</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの範囲を有する場合</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの範囲を有しない場合</p> <p>ケーブルトレイに蓋を設置する範囲</p> <p>(c)、(d)周囲のケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、いずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイから6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して蓋を設置する。</p> <p>※ケーブルトレイに設置する蓋には、消火水がケーブルトレイへ浸入するための開口を設置する。</p>		<p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが敷設される電線管</p> <p>一方の火災防護対象ケーブルが敷設される電線管から6mの範囲</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの範囲を有する場合</p> <p>同じ機能を有する火災防護対象ケーブルが6mの範囲を有しない場合</p> <p>(3)、(4)周囲のケーブルトレイからの火災の影響を軽減するため、いずれか一方の火災防護対象ケーブルが敷設される電線管から6m以内の範囲に位置するケーブルトレイに対して金属製の蓋を設置する。</p> <p>※ケーブルトレイに設置する金属製の蓋には、消火水がケーブルトレイへ浸入するための開口を設置する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>【伊方】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>伊方には転記した記載がなく、泊の資料に美浜と同様の内容を記載し、記載の充実化をしている。</p> <p>(美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>泊は金属製の蓋</p>

第3図：原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋設置（火災防護対象ケーブルが電線管に敷設される場合）

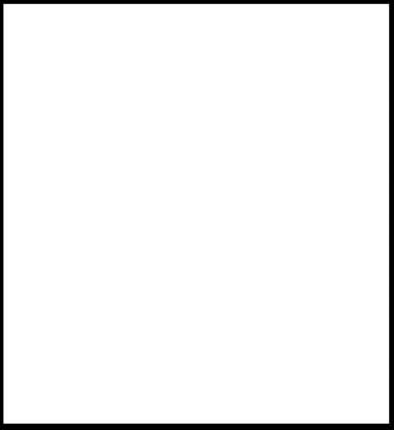











赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 p.2 抜粋)</p> <p>表1 対策を要する原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブル</p> <table border="1" data-bbox="80 252 692 651"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>Aトレン</th> <th>Bトレン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>抽出ライン</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器逃がし弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器逃がし元弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>余熱除去系第1入口弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>余熱除去系第2入口弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中間領域中性子束</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ループ圧力</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器水位計</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>蒸気発生器広域水位</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Aループ1次冷却材温度</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Bループ1次冷却材温度</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Cループ1次冷却材温度</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(伊方3号炉 別添資料-1 資料8 添付6 別紙1)</p> <div data-bbox="80 802 477 1238" style="border: 1px solid black; height: 273px; width: 177px;"></div> <div data-bbox="80 1262 463 1361"> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> </tr> <tr> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> </tr> <tr> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> </tr> <tr> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> <td>■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違</td> </tr> </table> </div>	機器名	Aトレン	Bトレン	抽出ライン			加圧器逃がし弁			加圧器逃がし元弁			余熱除去系第1入口弁			余熱除去系第2入口弁			中間領域中性子束			ループ圧力			加圧器水位計			蒸気発生器広域水位			Aループ1次冷却材温度			Bループ1次冷却材温度			Cループ1次冷却材温度			● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違		<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1表：対策を要する原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブル</p> <table border="1" data-bbox="1346 260 1957 679"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>Aトレン</th> <th>Bトレン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>余熱除去冷却器出口C/V内側連絡弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器逃がし弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器逃がし弁元弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高温側高圧注入A,Bライン止め弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>A,Cループ高温側低圧注入ライン止め弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中性子源領域中性子束</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1次冷却材圧力</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加圧器水位</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>蒸気発生器水位 (広域)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Aループ1次冷却材温度 (広域)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Bループ1次冷却材温度 (広域)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Cループ1次冷却材温度 (広域)</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	機器名	Aトレン	Bトレン	余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁			余熱除去冷却器出口C/V内側連絡弁			加圧器逃がし弁			加圧器逃がし弁元弁			高温側高圧注入A,Bライン止め弁			A,Cループ高温側低圧注入ライン止め弁			中性子源領域中性子束			1次冷却材圧力			加圧器水位			蒸気発生器水位 (広域)			Aループ1次冷却材温度 (広域)			Bループ1次冷却材温度 (広域)			Cループ1次冷却材温度 (広域)			<p>相違理由</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は原子炉格納容器内の火災防護対象ケーブルの影響軽減対策として、火災防護対象ケーブルが敷設されるケーブルトレイ及び電線管近傍のケーブルトレイに対して、金属製の蓋を設置する設計としているため記載が異なっている。</p> <p>【伊方】 ■設備の相違 対策が必要な火災防護対象機器の相違</p> <p>【伊方】 ■記載箇所の相違 泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>
機器名	Aトレン	Bトレン																																																																																														
抽出ライン																																																																																																
加圧器逃がし弁																																																																																																
加圧器逃がし元弁																																																																																																
余熱除去系第1入口弁																																																																																																
余熱除去系第2入口弁																																																																																																
中間領域中性子束																																																																																																
ループ圧力																																																																																																
加圧器水位計																																																																																																
蒸気発生器広域水位																																																																																																
Aループ1次冷却材温度																																																																																																
Bループ1次冷却材温度																																																																																																
Cループ1次冷却材温度																																																																																																
● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	● 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違																																																																																														
■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違																																																																																														
■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違																																																																																														
■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違	■ 適用箇所(PO)の相違(PO)の相違																																																																																														
機器名	Aトレン	Bトレン																																																																																														
余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁																																																																																																
余熱除去冷却器出口C/V内側連絡弁																																																																																																
加圧器逃がし弁																																																																																																
加圧器逃がし弁元弁																																																																																																
高温側高圧注入A,Bライン止め弁																																																																																																
A,Cループ高温側低圧注入ライン止め弁																																																																																																
中性子源領域中性子束																																																																																																
1次冷却材圧力																																																																																																
加圧器水位																																																																																																
蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																
Aループ1次冷却材温度 (広域)																																																																																																
Bループ1次冷却材温度 (広域)																																																																																																
Cループ1次冷却材温度 (広域)																																																																																																

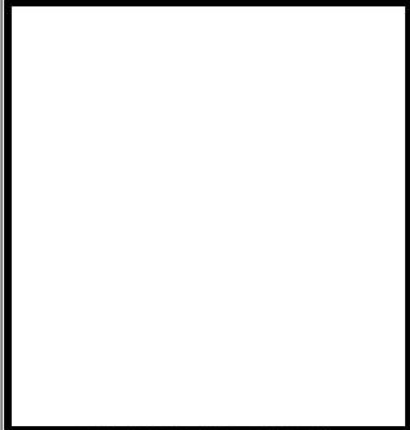

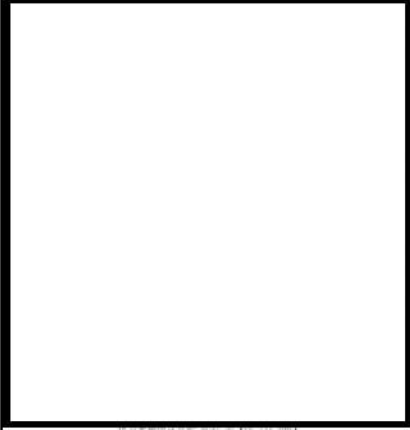

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>凡例</p> 	 <p>凡例</p> 	 <p>凡例</p> 	<p>【伊方】</p> <p>■記載箇所の相違</p> <p>泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>
 <p>凡例</p> 	 <p>凡例</p> 	 <p>凡例</p> 	<p>【伊方】</p> <p>■記載箇所の相違</p> <p>泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>凡例</p> 			<p>【伊方】</p> <p>■記載箇所の相違</p> <p>泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>
 <p>凡例</p> 			<p>【伊方】</p> <p>■記載箇所の相違</p> <p>泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
 <p data-bbox="174 577 376 593">図8-5-1 原子炉格納容器内のケーブルトレイへの金属製の蓋を設置する範囲について</p> <p data-bbox="85 609 116 625">凡例</p> <table border="1" data-bbox="94 630 459 710"> <tr> <td>—</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>—</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>■</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> <td>□</td> <td>ケーブルトレイの設置範囲</td> </tr> </table>	—	ケーブルトレイの設置範囲	—	ケーブルトレイの設置範囲	■	ケーブルトレイの設置範囲	■	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲			<p data-bbox="1982 151 2049 167">【伊方】</p> <p data-bbox="1982 183 2116 199">■記載箇所の相違</p> <p data-bbox="1982 215 2161 311">泊は同様の資料は別紙1中の第8-5図に記載している。</p>
—	ケーブルトレイの設置範囲	—	ケーブルトレイの設置範囲																								
■	ケーブルトレイの設置範囲	■	ケーブルトレイの設置範囲																								
□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲																								
□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲																								
□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲																								
□	ケーブルトレイの設置範囲	□	ケーブルトレイの設置範囲																								

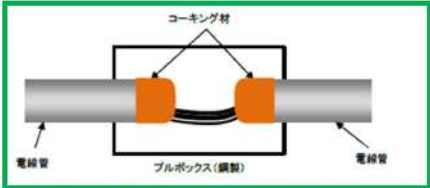
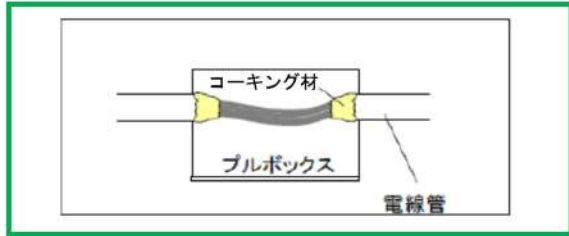
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(別添資料-1 資料4 添付資料2を転記)</p> <p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 一部の同軸ケーブルの延焼防止性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>安全機能を有する機器に使用している核計装用ケーブルや放射線モニタ用ケーブルは、微弱電流・微弱パルスを扱うことから、耐ノイズ性を確保するために不燃性（金属）の電線管に敷設するとともに、絶縁体に誘電率の低い架橋ポリエチレンを有する同軸ケーブルを使用している。このうちの一部のケーブルについては、自己消火性を確認する UL 垂直燃焼試験は満足するが、耐延焼性を確認する IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しない。</p> <p>このため、IEEE383 垂直トレイ燃焼試験を満足しない同軸ケーブルについては、他のケーブルからの火災による延焼や他のケーブルへの延焼が発生しないよう、電線管の両端を耐火性のコーキング材（CP-25WB+）で埋めることで、酸素不足による燃焼継続防止を図る。（第1図）本資料では、コーキング材の火災防護上の有効性について示す。</p> <p>2. 電線管敷設による火災発生防止対策</p> <p>2.1. 酸素不足による燃焼継続の防止</p> <p>安全機能を有する機器に使用している核計装用ケーブルや放射線モニタ用ケーブルは、耐ノイズ性を確保するため、ケーブルを電線管内に敷設している。</p> <p>電線管内に敷設することにより、IEEE383垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルが電線管内で火災になったとしても、電線管の両端をコーキング材で密閉することにより、外気から容易に酸素の供給できない閉塞した状態となり、電線管内の酸素のみでは燃焼が維持できず、ケーブルの延焼は継続できない。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 一部の同軸ケーブルの延焼防止性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>安全機能を有する機器に使用している核計装用ケーブルや放射線監視設備用ケーブルは、微弱電流・微弱パルスを扱うことから、耐ノイズ性を確保するために不燃性（金属）の電線管に敷設するとともに、絶縁体に誘電率の低い架橋ポリエチレンを有する同軸ケーブルを使用している。このうちの一部のケーブルについては、自己消火性を確認する UL 垂直燃焼試験は満足するが、耐延焼性を確認する IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しない。</p> <p>このため、IEEE383 垂直トレイ燃焼試験を満足しない同軸ケーブルについては、他のケーブルからの火災による延焼や他のケーブルへの延焼が発生しないよう、電線管の両端を耐火性のコーキング材（DF パテ）で埋めることで、酸素不足による燃焼継続防止を図る。（第1図）本資料では、コーキング材の火災防護上の有効性について示す。</p> <p>2. 電線管敷設による火災発生防止対策</p> <p>2.1. 酸素不足による燃焼継続の防止</p> <p>安全機能を有する機器に使用している核計装用ケーブルや放射線監視設備用ケーブルは、耐ノイズ性を確保するため、ケーブルを電線管内に敷設している。</p> <p>電線管内に敷設することにより、IEEE383垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルが電線管内で火災になったとしても、電線管の両端をコーキング材で密閉することにより、外気から容易に酸素の供給できない閉塞した状態となり、電線管内の酸素のみでは燃焼が維持できず、ケーブルの延焼は継続できない。</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 泊は核計装用ケーブルの延焼防止性について記載を充実化している。 （女川：別添資料-1 資料4添付資料2に記載している。）</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 使用するコーキング材の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ここで、IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足していないケーブル 1m あたりを完全燃焼させるために必要な空気量は約 0.22m³であり、この 0.22m³が存在する電線管長さが約 25m である（別紙 1）ことを考慮すると、最大長さが約 50m である電線管は、約 2.0m だけ燃焼した後は酸素不足となり、延焼継続は起こらないと判断される。</p> <p>また、プルボックス内の火災についても、プルボックスの材料が鋼製であり、さらに、コーキング材により電線管への延焼防止が図られていることから、ケーブルの延焼はプルボックス内から拡大しないと判断する。</p>  <p>第1図：プルボックスの火災発生防止処理（例）</p> <p>2.2. コーキング材について</p> <p>コーキング材は、常温では硬化しにくく、亀裂等を起こさず、長時間にわたり適度な軟らかさを維持し、以下の特性を有するものである。</p> <p>(1) 主成分 合成ポリマー、ほう酸亜鉛、ケイ酸ナトリウム、水 他</p> <p>(2) シール性</p> <p>コーキング材は、常温で硬化しにくく、長時間にわたり適度な軟らかさが確保される性質であり、また、火災の影響を受けると加熱発泡により膨張すること（120℃より膨張開始し、185℃までに体積が2～4倍）、また、第2図に示すとおり隙間なく施工することから、シール性を有している。</p> <p>なお、電線管内において火災が発生した場合には、電線管内の温度が上昇するため、電線管内の圧力が電線管外より高くなり、電線管外から燃焼が継続できる酸素の流入はないと考えられる。</p>	<p>ここで、IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足していないケーブル 1m あたりを完全燃焼させるために必要な空気量は約 0.70m³であり、この 0.70m³が存在する電線管長さが約 80m である（別紙 1）ことを考慮すると、最大長さが約 48m である電線管は、約 600mm だけ燃焼した後は酸素不足となり、延焼継続は起こらないと判断される。</p> <p>また、プルボックス内の火災についても、プルボックスの材料が鋼製であり、さらに、コーキング材により電線管への延焼防止が図られていることから、ケーブルの延焼はプルボックス内から拡大しないと判断する。</p>  <p>第1図：プルボックスの火災発生防止処理（例）</p> <p>2.2. コーキング材について</p> <p>コーキング材は、常温では硬化しにくく、亀裂等を起こさず、長時間にわたり適度な軟らかさを維持し、以下の特性を有するものである。</p> <p>(1) 主成分 炭素成型剤、発泡剤、難燃性脱水剤、鉱油系バインダ、無機質充填剤、難燃性補強繊維他</p> <p>(2) シール性</p> <p>コーキング材は、常温で硬化しにくく、長時間にわたり適度な軟らかさが確保される性質であり、また、火災の影響を受けると加熱発泡により膨張すること（約 300℃で発泡し、その膨張力により空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱及び酸素遮断効果を生む）、また、第2図に示すとおり隙間なく施工することから、シール性を有している。</p> <p>なお、電線管内において火災が発生した場合には、電線管内の温度が上昇するため、電線管内の圧力が電線管外より高くなり、電線管外から燃焼が継続できる酸素の流入はないと考えられる。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 使用するケーブルの相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するコーキング材の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するコーキング材の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第2図：コーキング材の施工方法</p> <p>(3) 保全 コーキング材の保全については、コーキング材の耐久性が製品メーカーにおける熱加速試験に基づき、常温 40℃の環境下において約28年以上の耐久性を有することが確認されている（別紙2）こと、及びコーキング材の特性を踏まえ、設備の点検計画を定めている保全計画に定める。</p> <p>別紙1</p> <p>同軸ケーブル燃焼に必要な空気量について</p> <p>1. 同軸ケーブル燃焼評価について 同軸ケーブル燃焼評価の例としては、最も保守的な条件についてのみ掲載することとし、他の条件の計算結果については第1表の同軸ケーブル燃焼評価結果に示す。 密閉された電線管内に敷設された同軸ケーブルが燃焼する場合、最もケーブルが長く燃焼する条件としては、燃焼に必要な空気量が最も多く存在し、かつ単位長さあたりの燃焼に必要な空気量が最も少ない組み合わせである。以下、この組み合わせの燃焼評価を示す。</p> <p>2. 同軸ケーブルにおけるポリエチレン 同軸ケーブルの材料のうち燃焼するものはポリエチレンとビニルである。また、単位長さの燃焼に消費する空気量が最も少ないものは、燃焼するポリエチレン及びビニルの量が最も少ない同軸ケーブルとなる。 資料4 第4-2表のケーブル No. 7, 8 の線種で最もポリエチレン等の量が少ないケーブルは No. 7 である。</p>	 <p>第2図：コーキング材の施工方法</p> <p>(3) 保全 コーキング材の保全については、コーキング材の耐久性が製品メーカーにおける熱加速試験に基づき、常温 40℃の環境下において約40年の耐久性を有することが確認されている（別紙2）こと、及びコーキング材の特性を踏まえ、設備の点検計画を定めている保全計画に定める。</p> <p>別紙1</p> <p>同軸ケーブル燃焼に必要な空気量について</p> <p>1. 同軸ケーブル燃焼評価について 同軸ケーブル燃焼評価の例としては、最も保守的な条件についてのみ掲載することとし、他の条件の計算結果については第1表の同軸ケーブル燃焼評価結果に示す。 密閉された電線管内に敷設された同軸ケーブルが燃焼する場合、最もケーブルが長く燃焼する条件としては、燃焼に必要な空気量が最も多く存在し、かつ単位長さあたりの燃焼に必要な空気量が最も少ない組み合わせである。以下、この組み合わせの燃焼評価を示す。</p> <p>2. 同軸ケーブルにおけるポリエチレン 同軸ケーブルの材料のうち燃焼するものはポリエチレンである。また、単位長さの燃焼に消費する空気量が最も少ないものは、燃焼するポリエチレンの量が最も少ない同軸ケーブルとなる。 資料4 第4-2表のケーブル No. 12, 13 の線種で最もポリエチレンの量が少ないケーブルは No. 12 である。</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するコーキング材の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するケーブルの相違、シース材の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>絶縁体：(架橋) ポリエチレン 9.7g/m シース：(架橋) ポリ塩化ビニル 8g/m，可塑剤 6g/m</p> <p>3. 燃焼に必要な空気量 (1) ポリエチレン ポリエチレンの燃焼を示す以下の式より，ポリエチレン1mol の燃焼には3n molの酸素が必要である。(分子量：ポリエチレン；28n (nは重合数)，酸素；32)</p> $(-CH_2-CH_2-)n + 3nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + 2nH_2O$ <p>ポリエチレン 1g (1/28n mol) に必要な酸素 (3n/28n mol) の体積は，標準状態 (0℃，1気圧) での1mol の体積を0.0224m³ とすると，常温状態 (40℃，1気圧) で0.00275m³となる。</p> $\frac{1}{28n} [mol] \times 3n \times 0.0224 \left[\frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.00275[m^3]$ <p>空気中の酸素濃度を21%とすると，ポリエチレン1gに必要な空気量は，以下より0.0131m³となる。</p> $0.00275[m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0131[m^3]$ <p>(2) ビニル シースのビニルはポリ塩化ビニル約 40%，可塑剤約 30%，無機物約 30%から成る。このうち燃焼するのはポリ塩化ビニルと可塑剤である。</p> <p>a. ポリ塩化ビニル ポリ塩化ビニルの燃焼は以下の式より，ポリ塩化ビニル1mol の燃焼には2.5n molの酸素が必要である。(分子量：ポリ塩化ビニル62.5n (nは重合数))</p> $(-CH_2-CHCl-)n + 2.5nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + nH_2O + nHCl$ <p>ポリ塩化ビニル1g (1/62.5n mol) に必要な酸素 (2.5n/62.5n mol) の体積は，標準状態 (0℃，1気圧) での1molの体積を0.0224m³ とすると，常温状態 (40℃，1気圧) で0.0010m³となる。</p> $\frac{1}{62.5n} [mol] \times 2.5n \times 0.0224 \left[\frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.0010[m^3]$	<p>絶縁体：(架橋) ポリエチレン 38g/m 内部シース：(架橋) ポリエチレン 16g/m</p> <p>3. 燃焼に必要な空気量 (1) ポリエチレン ポリエチレンの燃焼を示す以下の式より，ポリエチレン 1mol の燃焼には 3n mol の酸素が必要である。(分子量：ポリエチレン；28n (nは重合数)，酸素；32)</p> $(-CH_2-CH_2-)n + 3nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + 2nH_2O$ <p>ポリエチレン 1g (1/28n mol) に必要な酸素 (3n/28n mol) の体積は，標準状態 (0℃，1気圧) での1mol の体積を0.0224m³ とすると，常温状態 (40℃，1気圧) で0.00275m³となる。</p> $\frac{1}{28n} [mol] \times 3n \times 0.0224 \left[\frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.00275[m^3]$ <p>空気中の酸素濃度を21%とすると，ポリエチレン1gに必要な空気量は，以下より0.0131m³となる。</p> $0.00275[m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0131[m^3]$	<p>【女川】 ■設備の相違 ポリエチレン含有量の相違，シース材の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するケーブルの装置，シース材の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>空気中の酸素濃度を21%とすると、ポリ塩化ビニル1gに必要な空気量は、以下より0.0049m³となる。</p> $0.0010[m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0049[m^3]$ <p>b. 可塑剤</p> <p>可塑剤の燃焼は以下の式より、可塑剤1molの燃焼には43.5molの酸素が必要である。(分子量：546)</p> $C_6H_2(COOC_8H_{17})_2 + 43.5O_2 \rightarrow 33CO_2 + 27H_2O$ <p>可塑剤1g (1/546mol) に必要な酸素 (43.5/546 mol) の体積は、標準状態 (0℃, 1気圧) での1mol の体積を0.0224m³とすると、常温状態 (40℃, 1気圧) で0.0020m³となる。</p> $\frac{1}{546}[mol] \times 43.5 \times 0.0224 \left[\frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.0020[m^3]$ <p>空気中の酸素濃度を21%とすると、ポリ塩化ビニル1gに必要な空気量は、以下より0.0098m³となる。</p> $0.0020[m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0098[m^3]$ <p>同軸ケーブル1mあたりのポリエチレンの重量は9.7g、ポリ塩化ビニルの重量は8g、可塑剤の重量は6gであることから、同軸ケーブル1mの燃焼に必要な空気の体積は、以下より約0.22m³となる。</p> $0.0131 \left[\frac{m^3}{g} \right] \times 9.7[g] + 0.0049 \left[\frac{m^3}{g} \right] \times 8[g] + 0.0098 \left[\frac{m^3}{g} \right] \times 6[g] = 0.2247[m^3]$ <p>4. ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ</p> <p>同軸ケーブルを布設している電線管で最も空気量を保有している電線管は、厚網電線管G104 (内径106.4mm) である。内径106.4mmの電線管において、ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さは、以下より約25mとなる。</p>	<p>同軸ケーブル1mあたりのポリエチレンの重量は54gであることから、同軸ケーブル1mの燃焼に必要な空気の体積は、以下より約0.71m³となる。</p> $0.0131 \left[\frac{m^3}{g} \right] \times 54[g] = 0.7074[m^3]$ <p>4. ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ</p> <p>同軸ケーブルを布設している電線管で最も空気量を保有している電線管は、厚網電線管G104 (内径106.4mm) である。内径106.4mmの電線管において、ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さは、以下より約80mとなる。</p>	<p>【女川】 ■設備の相違 ポリエチレン含有量の相違 【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するケーブルの相違、ポリエチレン含有量の相違</p>

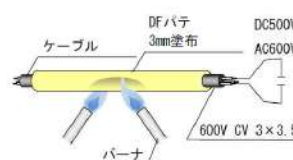
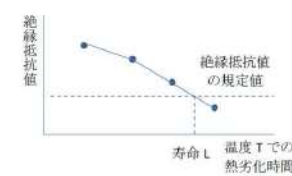
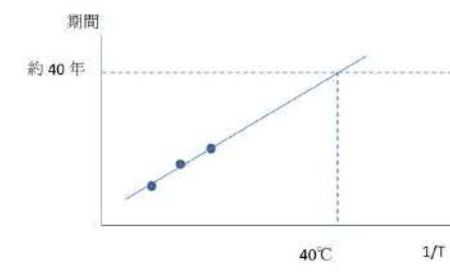
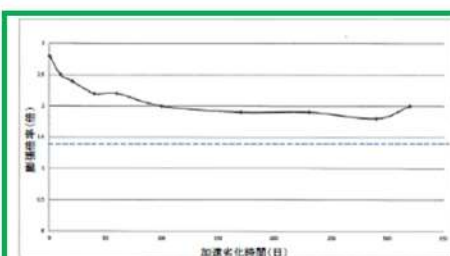
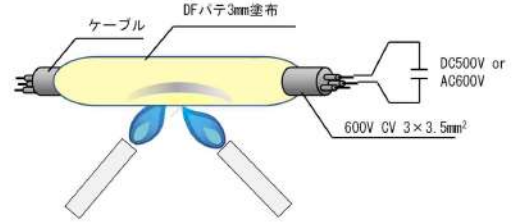
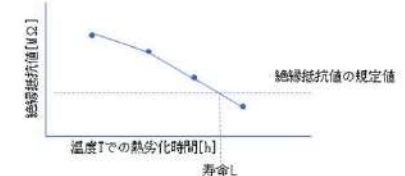

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>(本項は玄海発電所3, 4号炉の補足説明資料)</p> <p>別紙2</p> <p>DFパテの耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長時間高温にさらされると劣化する。</p> <p>DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下（炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下）していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体（ケーブルにDFパテを塗布したもの）をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 熱劣化条件（温度、時間）を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間炙り絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。 <th data-bbox="703 108 1337 1385"> <p>女川原子力発電所2号炉</p> $l = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.2247[m^3]}{\left(\frac{106.4 \times 10^{-3}}{2}\right)^2 \times \pi[m^2]} = 25.3[m]$ <p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="725 341 1314 459"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">試験品名</th> <th rowspan="2">試験品仕様</th> <th colspan="2">試験条件</th> <th colspan="2">試験結果</th> <th colspan="2">試験結果</th> <th colspan="2">試験結果</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>時間</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>15分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>30分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>45分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>60分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>75分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>90分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>105分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>120分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>135分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>150分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>別紙2</p> <p>コーキング材の耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>コーキング材は、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果に加え発泡層の断熱効果、酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。</p> <p>コーキング材の劣化が進むと、発泡効果が低下し酸素遮断効果が低下するため、電線管の密閉性が低下し酸素不足による延焼防止効果が期待出来なくなる。</p> <p>このため、熱加速劣化させた供試体を複数製作し、コーキング材の発泡効果に着目した耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 供試体を90℃に加熱した電気炉に入れ、促進劣化させる。所定時間経過後、電気炉から供試体を取り出し膨張倍率の測定を行う。 膨張倍率試験は、供試体を350℃に加熱した電気炉に入れ、15分加熱し供試体を膨張させる。 試験後、電気炉から供試体を取り出し、膨張試験前後の体積の比から膨張倍率を求める。 <th data-bbox="1337 108 1966 1385"> <p>泊発電所3号炉</p> $L = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.7074[m^3]}{\left(\frac{106.4 \times 10^{-3}}{2}\right)^2 \times \pi[m^2]} = 79.6[m]$ <p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1359 341 1966 475"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">絶縁材名</th> <th rowspan="2">シース名</th> <th rowspan="2">ケーブル1mの断面積に必要空気量 [m³]</th> <th colspan="3">1m断熱に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]</th> <th colspan="3">電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]</th> </tr> <tr> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>電線ポリエチレン</td> <td>20型電線ポリエチレン</td> <td>14</td> <td>1.140</td> <td>1878.0</td> <td>308.9</td> <td>79.6</td> <td>0.026</td> <td>0.135</td> <td>0.603</td> </tr> </tbody> </table> <p>別紙2</p> <p>DFパテの耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。</p> <p>DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下（炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下）していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体（ケーブルにDFパテを塗布したもの）をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 熱劣化条件（温度、時間）を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間炙り絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。 <th data-bbox="1966 108 2170 1385"> <p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 使用するケーブルの相違、ポリエチレン含有量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【玄海】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> </th></th></th>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> $l = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.2247[m^3]}{\left(\frac{106.4 \times 10^{-3}}{2}\right)^2 \times \pi[m^2]} = 25.3[m]$ <p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="725 341 1314 459"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">試験品名</th> <th rowspan="2">試験品仕様</th> <th colspan="2">試験条件</th> <th colspan="2">試験結果</th> <th colspan="2">試験結果</th> <th colspan="2">試験結果</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>時間</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>15分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>30分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>45分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>60分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>75分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>90分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>105分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>120分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>135分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>同軸ケーブル</td> <td>106.4φ</td> <td>350℃</td> <td>150分</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>別紙2</p> <p>コーキング材の耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>コーキング材は、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果に加え発泡層の断熱効果、酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。</p> <p>コーキング材の劣化が進むと、発泡効果が低下し酸素遮断効果が低下するため、電線管の密閉性が低下し酸素不足による延焼防止効果が期待出来なくなる。</p> <p>このため、熱加速劣化させた供試体を複数製作し、コーキング材の発泡効果に着目した耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 供試体を90℃に加熱した電気炉に入れ、促進劣化させる。所定時間経過後、電気炉から供試体を取り出し膨張倍率の測定を行う。 膨張倍率試験は、供試体を350℃に加熱した電気炉に入れ、15分加熱し供試体を膨張させる。 試験後、電気炉から供試体を取り出し、膨張試験前後の体積の比から膨張倍率を求める。 <th data-bbox="1337 108 1966 1385"> <p>泊発電所3号炉</p> $L = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.7074[m^3]}{\left(\frac{106.4 \times 10^{-3}}{2}\right)^2 \times \pi[m^2]} = 79.6[m]$ <p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1359 341 1966 475"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">絶縁材名</th> <th rowspan="2">シース名</th> <th rowspan="2">ケーブル1mの断面積に必要空気量 [m³]</th> <th colspan="3">1m断熱に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]</th> <th colspan="3">電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]</th> </tr> <tr> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>電線ポリエチレン</td> <td>20型電線ポリエチレン</td> <td>14</td> <td>1.140</td> <td>1878.0</td> <td>308.9</td> <td>79.6</td> <td>0.026</td> <td>0.135</td> <td>0.603</td> </tr> </tbody> </table> <p>別紙2</p> <p>DFパテの耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。</p> <p>DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下（炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下）していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体（ケーブルにDFパテを塗布したもの）をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 熱劣化条件（温度、時間）を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間炙り絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。 <th data-bbox="1966 108 2170 1385"> <p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 使用するケーブルの相違、ポリエチレン含有量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【玄海】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> </th></th>	試験No.	試験品名	試験品仕様	試験条件		試験結果		試験結果		試験結果		温度	時間	劣化率	劣化率	劣化率	劣化率	劣化率	劣化率	1	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	15分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	30分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	45分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	60分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	5	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	75分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	90分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	7	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	105分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	8	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	120分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	9	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	135分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	10	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	150分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	<p>泊発電所3号炉</p> $L = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.7074[m^3]}{\left(\frac{106.4 \times 10^{-3}}{2}\right)^2 \times \pi[m^2]} = 79.6[m]$ <p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1359 341 1966 475"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">絶縁材名</th> <th rowspan="2">シース名</th> <th rowspan="2">ケーブル1mの断面積に必要空気量 [m³]</th> <th colspan="3">1m断熱に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]</th> <th colspan="3">電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]</th> </tr> <tr> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> <th>φ21.5</th> <th>φ54</th> <th>φ106.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>電線ポリエチレン</td> <td>20型電線ポリエチレン</td> <td>14</td> <td>1.140</td> <td>1878.0</td> <td>308.9</td> <td>79.6</td> <td>0.026</td> <td>0.135</td> <td>0.603</td> </tr> </tbody> </table> <p>別紙2</p> <p>DFパテの耐久性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。</p> <p>DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要</p> <ul style="list-style-type: none"> DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下（炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下）していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体（ケーブルにDFパテを塗布したもの）をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 熱劣化条件（温度、時間）を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間炙り絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。 <th data-bbox="1966 108 2170 1385"> <p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 使用するケーブルの相違、ポリエチレン含有量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【玄海】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> </th>	試験No.	絶縁材名	シース名	ケーブル1mの断面積に必要空気量 [m³]	1m断熱に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]			φ21.5	φ54	φ106.4	φ21.5	φ54	φ106.4	11	電線ポリエチレン	20型電線ポリエチレン	14	1.140	1878.0	308.9	79.6	0.026	0.135	0.603	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 使用するケーブルの相違、ポリエチレン含有量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【玄海】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p>
試験No.	試験品名				試験品仕様	試験条件		試験結果		試験結果		試験結果																																																																																																																																																			
		温度	時間	劣化率		劣化率	劣化率	劣化率	劣化率	劣化率																																																																																																																																																					
1	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	15分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
2	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	30分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
3	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	45分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
4	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	60分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
5	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	75分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
6	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	90分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
7	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	105分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
8	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	120分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
9	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	135分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
10	同軸ケーブル	106.4φ	350℃	150分	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%																																																																																																																																																					
試験No.	絶縁材名	シース名	ケーブル1mの断面積に必要空気量 [m³]	1m断熱に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]																																																																																																																																																								
				φ21.5	φ54	φ106.4	φ21.5	φ54	φ106.4																																																																																																																																																						
11	電線ポリエチレン	20型電線ポリエチレン	14	1.140	1878.0	308.9	79.6	0.026	0.135	0.603																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料2 一部の同軸ケーブルについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
   <p>・上記に示す各温度での寿命結果を用いて、アレニウス則により寿命評価した結果、DFパテの寿命は、常温40℃で約40年との結果を得た。</p>	 <p>第3図：膨張倍率に着目した加速劣化試験の結果</p> <p>・上記試験について、アレニウス則により寿命評価した結果、コーキング材の寿命は、常温40℃で約28年以上との結果を得た。（第3図）</p>	 <p>第3図：供試体概要図</p>  <p>第4図：温度Tでの熱劣化時間</p>  <p>第5図：熱劣化試験の結果</p> <p>・上記に示す各温度での寿命結果を用いて、アレニウス則により寿命評価した結果、DFパテの寿命は、常温40℃で約40年との結果を得た。</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】 ■設備の相違 使用するコーキング材の相違</p>

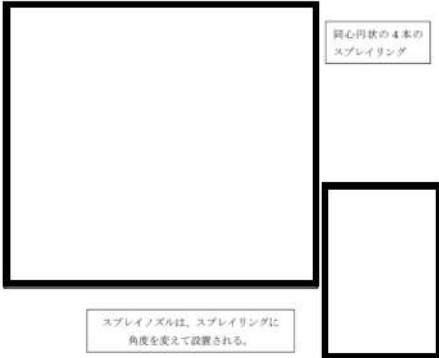
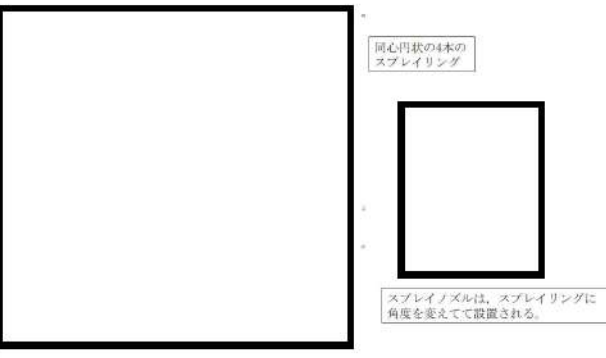
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレイの消火性能）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大飯3/4号炉 別添資料-1 資料6 p.6-138)</p> <p style="text-align: right;">添付資料8</p> <p style="text-align: center;">格納容器スプレイの消火性能</p> <p>原子炉格納容器内の火災発生時には、消火用水のタンクをサクシ ョンとした電動消火ポンプ（もしくはディーゼル消火ポンプ）又は 燃料取替用水ピットをサクシオンとした格納容器スプレイポンプ により給水し、原子炉格納容器内のほぼ全域にスプレイ可能な格納 容器スプレイ系統を消火設備として使用することから、格納容器ス プレイ系統の消火性能について以下に示す。</p> <p>(1) 格納容器スプレイについて 格納容器スプレイリングは、原子炉格納容器内に高さをかえて同 心円状に4本設置している。スプレイノズルはホローコーン型であ り、角度をかえてスプレイリングに取り付けている。(図1)</p>		<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">原子炉格納容器スプレイの消火性能</p> <p>原子炉格納容器内の火災発生時には、燃料取替用水ピットをサク シオンとした原子炉格納容器スプレイポンプにより給水し、原子炉 格納容器内のほぼ全域にスプレイ可能な格納容器スプレイ系統を 消火設備として使用することから、格納容器スプレイ系統の消火性 能について以下に示す。</p> <p>(1) 原子炉格納容器スプレイについて 格納容器スプレイリングは、原子炉格納容器内に高さをかえて同 心円状に4本設置している。スプレイノズルはホローコーン型であ り、角度をかえてスプレイリングに取り付けている。(第1図)</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違 泊は原子炉格納容器ス プレイ設備があり、原子 炉格納容器内火災時に 消火設備として使用す ることから、記載を充実 化している。 (大飯と同様)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載表現の相違 ■設備名称の相違 大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプ レイ (着色せず)</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備の相違 泊は原子炉格納容器ス プレイの水源として消 火用水のタンクは使用 しないため、記載が異な っている。</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備名称の相違 大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプ レイ (着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレイの消火性能）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>同心円状の4本の スプレイリング</p> <p>スプレイノズルは、スプレイリングに 角度を変えて設置される。</p> <p>図1 格納容器スプレイリングとスプレイノズル配置</p> <p>枠囲みの範囲は、機密に係る事項のため公開できません。</p>		 <p>同心円状の4本の スプレイリング</p> <p>スプレイノズルは、スプレイリングに 角度を変えて設置される。</p> <p>第1図：原子炉格納容器スプレイリングスプレイノズル配置</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■設備の相違 スプレイノズルの取付 角度の相違。</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備名称の相違 大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプレイ (着色せず)</p>

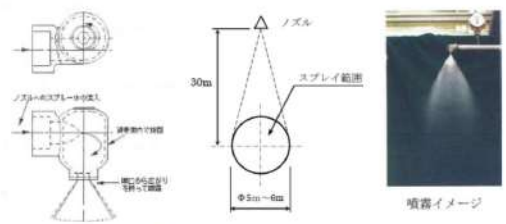

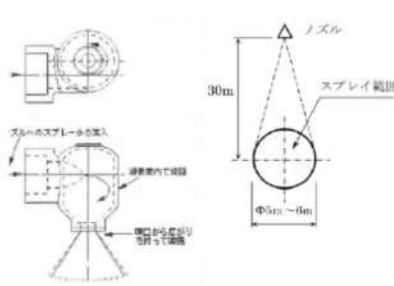
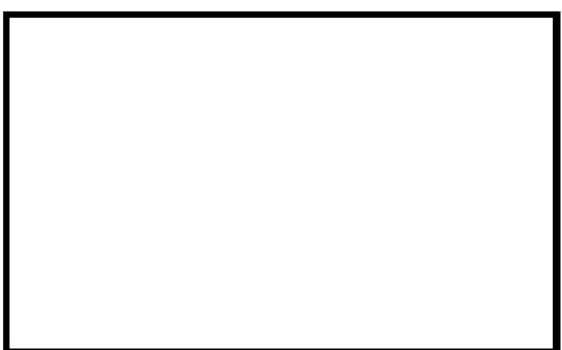
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレイの消火性能）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>スプレイリングから約1,200m³/hの流量で散水されるスプレイ水は、原子炉格納容器内のほぼ全域をカバーする。(図2)</p>		<p>スプレイリングから約940m³/hの流量で散水されるスプレイ水は、原子炉格納容器内のほぼ全域をカバーする。(第2図)</p>	<p>【大飯】 ■設備の相違 スプレイ流量の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレイの消火性能）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 スプレイノズル</p>  <p>図3 格納容器スプレイ噴霧範囲</p> <p>枠囲みの範囲は、機密に係る事項のため公開できません。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	 <p>第2図：スプレイノズル</p>  <p>第3図：原子炉格納容器スプレイ噴霧範囲</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 ■設備の相違 スプレイ噴霧範囲の相違</p> <p>【大飯】 ■設備名称の相違 大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプレイ （着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレいの消火性能）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 格納容器スプレいの消火効果について</p> <p>格納容器スプレイノズルからの放水は、原子炉格納容器のほぼ全域をカバーし、その面積あたりの放水流量(約 13.70/分/m²)は、スプリンクラー(約3.20/分/m²)の約4倍である。さらに、水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な散水が可能である。</p> <p>このように、スプリンクラーの約4倍の水が、時間制限なく放水されることから、スプレイ水があたる箇所の火災は、格納容器スプレイによって消火される。</p> <p>また、スプレイノズルから噴霧される水滴には、図4で示すように、0~200μmのミスト状の水滴も含まれる。</p> <div data-bbox="107 738 640 1098" style="border: 2px solid black; height: 225px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図4 格納容器スプレいの粒径分布</p>		<p>(2) 原子炉格納容器スプレいの消火効果について</p> <p>原子炉格納容器スプレイノズルからの放水は、原子炉格納容器のほぼ全域をカバーする。さらに、水源を再循環サンプに切替えることで、継続的な散水が可能である。</p> <p>このように、スプレイ水が時間制限なく放水されることから、スプレイ水があたる箇所の火災は、格納容器スプレイによって消火される。</p> <p>また、スプレイノズルから噴霧される水滴には、第4図で示すように、0~200μmのミスト状の水滴も含まれる。</p> <div data-bbox="1384 751 1917 1137" style="border: 2px solid black; height: 242px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">第4図：原子炉格納容器スプレいの粒径分布</p> <p style="text-align: center;">■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプレイ (着色せず)</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備の相違</p> <p>大飯は建屋側の消火設備としてスプリンクラーを採用しており、格納容器スプレいの流量と比較している。泊は建屋側の消火設備にスプリンクラーは採用していないため、記載していない。</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>大飯：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプレイ (着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料3 原子炉格納容器スプレいの消火性能）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>ウォーターミストの挙動として、平成15年3月に発行された独立行政法人 消防研究所の報告書「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書」において、天井部から噴霧されたミストが、散水障害物の下部へも進入することが報告されている。また、散水障害物の下部に設置した火災模型（木材クリブ、n-ヘプタン）がウォーターミスト消火設備で消火若しくは抑制されたことが報告されている。（別紙1参照）</p> <p>実験で確認されたウォーターミストの消火効果が、格納容器スプレいに期待できるかを検討するため、格納容器スプレいと試験条件の対比を表1に示す。</p> <p>表1 格納容器スプレいと実験で使用されたウォーターミスト設備の比較</p> <table border="1" data-bbox="80 568 696 740"> <thead> <tr> <th></th> <th>格納容器スプレイ</th> <th>No.14の実験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放水時間</td> <td>水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。</td> <td>約20分</td> </tr> <tr> <td>ザウター平均粒径</td> <td>約680μm</td> <td>145μm</td> </tr> </tbody> </table> <p>格納容器スプレいのザウター平均粒径は、実験で使用されたウォーターミストと同オーダーであり、格納容器スプレイからのミストも、試験と同様に、散水障害物の下部へも進入すると考える。散水障害物の下部へ進入することから、格納容器スプレイからのミストにも、試験と同様の消火若しくは抑制効果があると考え。さらに、試験では抑制効果にとどまった状況においても、格納容器スプレイは、継続的な散水が可能であることから、消火できると考える。</p> <p>以上より、ウォーターミスト消火設備と同様の消火効果によって、スプレイ水が直接当たらない箇所へも、ミストが回り込んで消火若しくは抑制することが可能である。</p>		格納容器スプレイ	No.14の実験	放水時間	水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。	約20分	ザウター平均粒径	約680μm	145μm		<p>ウォーターミストの挙動として、平成15年3月に発行された独立行政法人 消防研究所の報告書「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書」において、天井部から噴霧されたミストが、散水障害物の下部へも進入することが報告されている。また、散水障害物の下部に設置した火災模型（木材クリブ、n-ヘプタン）がウォーターミスト消火設備で消火又は抑制されたことが報告されている。（添付資料4参照）</p> <p>実験で確認されたウォーターミストの消火効果が、原子炉格納容器スプレいに期待できるかを検討するため、原子炉格納容器スプレいと試験条件の対比を第1表に示す。</p> <p>第1表:原子炉格納容器スプレいと実験で使用されたウォーターミスト設備の比較</p> <table border="1" data-bbox="1346 568 1955 740"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウォーターミスト消火設備</th> <th>原子炉格納容器スプレイ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流量</td> <td>3~4 L/min/m²以上</td> <td>12.4 L/min/m²以上</td> </tr> <tr> <td>ザウター平均粒径</td> <td>約150μm</td> <td>約680μm</td> </tr> <tr> <td>放水時間</td> <td>約20分</td> <td>水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>原子炉格納容器スプレいのザウター平均粒径は、実験で使用されたウォーターミストと同オーダーであり、原子炉格納容器スプレイからのミストも、試験と同様に、散水障害物の下部へも進入すると考える。散水障害物の下部へ進入することから、原子炉格納容器スプレイからのミストにも、試験と同様の消火又は抑制効果があると考え。さらに、試験では抑制効果にとどまった状況においても、原子炉格納容器スプレイは、継続的な散水が可能であることから、消火できると考える。</p> <p>以上より、ウォーターミスト消火設備と同様の消火効果によって、スプレイ水が直接当たらない箇所へも、ミストが回り込んで消火又は抑制することが可能である。</p>		ウォーターミスト消火設備	原子炉格納容器スプレイ	流量	3~4 L/min/m ² 以上	12.4 L/min/m ² 以上	ザウター平均粒径	約150μm	約680μm	放水時間	約20分	水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。	<p>【大阪】 ■記載表現の相違</p> <p>【大阪】 ■設備名称の相違</p> <p>大阪：格納容器スプレイ 泊：原子炉格納容器スプレイ （着色せず）</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違</p> <p>記載箇所の相違。大阪は「(2) 格納容器スプレイの消火効果について」にて記載しており、泊は本表中に記載している。</p> <p>【大阪】 ■記載表現の相違</p>
	格納容器スプレイ	No.14の実験																						
放水時間	水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。	約20分																						
ザウター平均粒径	約680μm	145μm																						
	ウォーターミスト消火設備	原子炉格納容器スプレイ																						
流量	3~4 L/min/m ² 以上	12.4 L/min/m ² 以上																						
ザウター平均粒径	約150μm	約680μm																						
放水時間	約20分	水源を再循環サンプに切り替えることで、継続的な放水が可能。																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

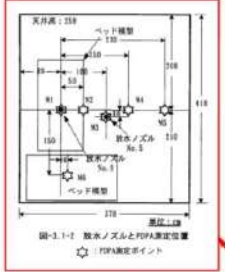
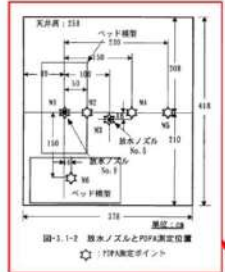
泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小中規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(美浜3号炉 別添資料-1 資料6 p.6-164~抜粋)</p> <p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">消防研究所研究資料第60号</p> <p style="text-align: center;">ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法 に関する研究報告書 分冊2</p> <p style="text-align: center;">-小中規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-</p> <p style="text-align: center;">(抜粋)</p> <p style="text-align: center;">平成15年3月</p> <p style="text-align: center;">独立行政法人 消防研究所</p>		<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">消防研究所研究資料第60号</p> <p style="text-align: center;">「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」</p> <p style="text-align: center;">-小中規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-</p> <p style="text-align: right;">添付資料4</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">消防研究所研究資料第60号</p> <p style="text-align: center;">ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法 に関する研究報告書 分冊2</p> <p style="text-align: center;">-小中規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-</p> <p style="text-align: center;">(抜粋)</p> <p style="text-align: center;">平成15年3月</p> <p style="text-align: center;">独立行政法人 消防研究所</p> </div>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器スプレイ設備があり、原子炉格納容器内火災時に消火設備として使用することから、記載を充実化している。 (美浜と同様)</p> <p>【美浜】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>表-3.1-1 レンズ焦点距離の組合せとビーム径間の組合せによる粒子測定範囲 (単位：μm)</p> <table border="1" data-bbox="100 231 414 375"> <thead> <tr> <th>レンズ焦点距離 (mm)</th> <th>レンズ径間 (mm)</th> <th>300</th> <th>500</th> <th>1000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">500</td> <td>10</td> <td>2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1000</td> <td>10</td> <td>4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>●で示される放水ノズルから○で示されるベッド構造下部の「測定ポイント」でミストが導入していることを確認する試験。</p>	レンズ焦点距離 (mm)	レンズ径間 (mm)	300	500	1000	500	10	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3			30	1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1			60	0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3			1000	10	4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7			30	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4			60	1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1			<p>表-3.1-1 レンズ焦点距離の組合せとビーム径間の組合せによる粒子測定範囲 (単位：μm)</p> <table border="1" data-bbox="1355 231 1668 375"> <thead> <tr> <th>レンズ焦点距離 (mm)</th> <th>レンズ径間 (mm)</th> <th>300</th> <th>500</th> <th>1000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">500</td> <td>10</td> <td>2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1000</td> <td>10</td> <td>4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>●で示される放水ノズルから○で示されるベッド構造下部の「測定ポイント」でミストが導入していることを確認する試験。</p>	レンズ焦点距離 (mm)	レンズ径間 (mm)	300	500	1000	500	10	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3			30	1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1			60	0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3			1000	10	4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7			30	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4			60	1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1			<p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 （美浜と同様。なお、資料中の赤枠は相違の比較ではない。） ※表中に一部見にくい部分があるが原因のまま転記している。</p>	
レンズ焦点距離 (mm)	レンズ径間 (mm)	300	500	1000																																																													
500	10	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3																																																															
	30	1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1																																																															
	60	0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3																																																															
1000	10	4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7																																																															
	30	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4																																																															
	60	1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1																																																															
レンズ焦点距離 (mm)	レンズ径間 (mm)	300	500	1000																																																													
500	10	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2440.3																																																															
	30	1.1 ~ 304.1.2 ~ 370.1.2 ~ 1018.7.1 ~ 1018.7.1																																																															
	60	0.6 ~ 152.0.9 ~ 254.7.1.8 ~ 518.3																																																															
1000	10	4.2 ~ 1724.7.1 ~ 2048.3.4.3 ~ 4079.7																																																															
	30	2.1 ~ 812.3.4 ~ 1018.7.1 ~ 2048.3.4																																																															
	60	1.1 ~ 304.1.2 ~ 518.3.4 ~ 1018.7.1																																																															

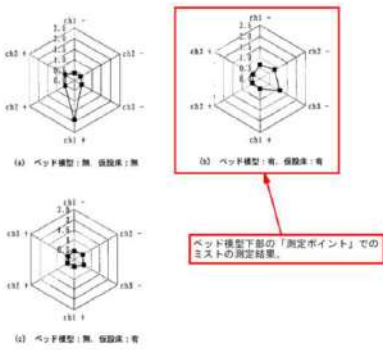

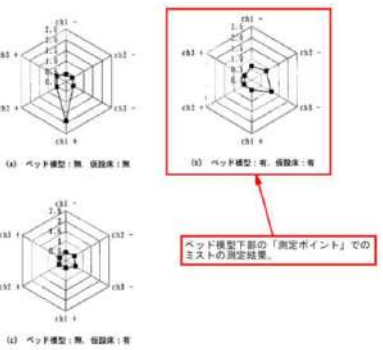
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図-3.1-11 PPA測定位置と速度成分の方向</p> <p>図-3.1-12 ノズル真下からの距離における垂れ内へのレーザーの移動比</p> <p>前項の図で示されるベッド層型下部の「測定ポイント」でのミストの測定方法</p>		<p>図-3.1-11 PPA測定位置と速度成分の方向</p> <p>図-3.1-12 ノズル真下からの距離における垂れ内へのレーザーの移動比</p> <p>前項の図で示されるベッド層型下部の「測定ポイント」でのミストの測定方法</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。</p> <p>（美浜と同様。なお、資料中の赤枠は相違の比較ではない。）</p>

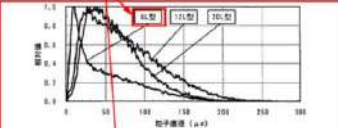
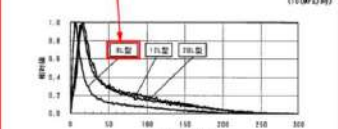

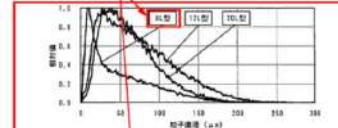
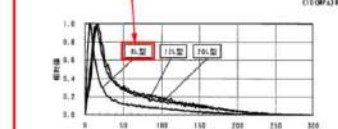

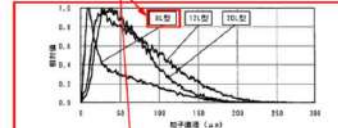
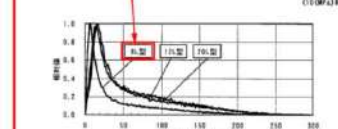

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図-2-1-18 ノズル真下におけるベッド模型、仮設床の有無による各方向へのミストの転り速度</p> <p>参考文献1 木材クリップ模型を用いた消火実験</p> <p>2.1 目的 これまでの国内のウォーターミストに関する研究は、出発点がガス代替品の燃焼ということもあり、ガス代替を意図したものが多く、一般火災を対象としたものはあまり見られない。そこで、燃焼の可燃性の高い木材クリップ模型を用いて、ウォーターミストの特徴を調べるために、燃水圧力の有無の影響、火源位置と放水ノズルの位置の影響、放水圧力あるいは放水量の違いによる影響、室内容積の違いによる影響等について実験的に検討した。</p> <p>2.2 実験方法 1) 実験室 実験室は、図-2-1-1 に示すような、ビジネスホテルの客室程度の規模を想定した閉空間で行った。壁の1ヶ所が開くことで、実験室容積を変更することができるようになっている。 同中に実験室の大きさ及び木材クリップ模型位置、放水ノズル位置等を示す。図表等では床面積が1.7m×3.6mの小容積の場合を「S」で、床面積が2.7m×7.2mの大容積の場合を「L」で示す。</p> <p>2) ノズル 実験には、感熱部にガラスバルブを用いた演習型ノズルを用いた。ガラスバルブの標準温度は68(°C)、RT1(定容時間指数)は13(参考資料-1)の試験結果である。 ノズルには放水チップが4個取り付けられており、放水圧力10(MPa)時に標準的なスプリンクラーヘッドの1/10の水流量である、8(L/min)の放水量が得られる。<u>本報告書中で標準的なノズルとして採用している仕様である。</u> また放水量の違いによる影響を調べるため、10(MPa)の放水圧力時に12(L/min)の放水量が得られる12L型ノズルも用いた。 図-2-1-2~3 に12L型ノズル、12L型ノズルを示す。</p>	 <p>図-2-1-18 ノズル真下におけるベッド模型、仮設床の有無による各方向へのミストの転り速度</p> <p>参考文献1 木材クリップ模型を用いた消火実験</p> <p>2.1 目的 これまでの国内のウォーターミストに関する研究は、出発点がガス代替品の燃焼ということもあり、ガス代替を意図したものが多く、一般火災を対象としたものはあまり見られない。そこで、燃焼の可燃性の高い木材クリップ模型を用いて、ウォーターミストの特徴を調べるために、燃水圧力の有無の影響、火源位置と放水ノズルの位置の影響、放水圧力あるいは放水量の違いによる影響、室内容積の違いによる影響等について実験的に検討した。</p> <p>2.2 実験方法 1) 実験室 実験室は、図-2-1-1 に示すような、ビジネスホテルの客室程度の規模を想定した閉空間で行った。壁の1ヶ所が開くことで、実験室容積を変更することができるようになっている。 同中に実験室の大きさ及び木材クリップ模型位置、放水ノズル位置等を示す。図表等では床面積が1.7m×3.6mの小容積の場合を「S」で、床面積が2.7m×7.2mの大容積の場合を「L」で示す。</p> <p>2) ノズル 実験には、感熱部にガラスバルブを用いた演習型ノズルを用いた。ガラスバルブの標準温度は68(°C)、RT1(定容時間指数)は13(参考資料-1)の試験結果である。 ノズルには放水チップが4個取り付けられており、放水圧力10(MPa)時に標準的なスプリンクラーヘッドの1/10の水流量である、8(L/min)の放水量が得られる。<u>本報告書中で標準的なノズルとして採用している仕様である。</u> また放水量の違いによる影響を調べるため、10(MPa)の放水圧力時に12(L/min)の放水量が得られる12L型ノズルも用いた。 図-2-1-2~3 に12L型ノズル、12L型ノズルを示す。</p>	 <p>図-2-1-18 ノズル真下におけるベッド模型、仮設床の有無による各方向へのミストの転り速度</p> <p>参考文献1 木材クリップ模型を用いた消火実験</p> <p>2.1 目的 これまでの国内のウォーターミストに関する研究は、出発点がガス代替品の燃焼ということもあり、ガス代替を意図したものが多く、一般火災を対象としたものはあまり見られない。そこで、燃焼の可燃性の高い木材クリップ模型を用いて、ウォーターミストの特徴を調べるために、燃水圧力の有無の影響、火源位置と放水ノズルの位置の影響、放水圧力あるいは放水量の違いによる影響、室内容積の違いによる影響等について実験的に検討した。</p> <p>2.2 実験方法 1) 実験室 実験室は、図-2-1-1 に示すような、ビジネスホテルの客室程度の規模を想定した閉空間で行った。壁の1ヶ所が開くことで、実験室容積を変更することができるようになっている。 同中に実験室の大きさ及び木材クリップ模型位置、放水ノズル位置等を示す。図表等では床面積が1.7m×3.6mの小容積の場合を「S」で、床面積が2.7m×7.2mの大容積の場合を「L」で示す。</p> <p>2) ノズル 実験には、感熱部にガラスバルブを用いた演習型ノズルを用いた。ガラスバルブの標準温度は68(°C)、RT1(定容時間指数)は13(参考資料-1)の試験結果である。 ノズルには放水チップが4個取り付けられており、放水圧力10(MPa)時に標準的なスプリンクラーヘッドの1/10の水流量である、8(L/min)の放水量が得られる。<u>本報告書中で標準的なノズルとして採用している仕様である。</u> また放水量の違いによる影響を調べるため、10(MPa)の放水圧力時に12(L/min)の放水量が得られる12L型ノズルも用いた。 図-2-1-2~3 に12L型ノズル、12L型ノズルを示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様。なお、資料中の赤枠は相違の比較ではない。)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様。なお、資料中の赤下線は相違の比較ではない。)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3) 燃焼材 木材ク립構造は燃焼の再現性が高く、消火器の検定でも使用されている標準的な火災構造である。今回の実験では、図-A-2-4 に示す住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲に示されている木材ク립構造を用いた。 各木材の乾燥条件を揃えるため、温度 40℃、湿度 20% に保った状態に 24 時間以上放置した。実験時の平均含水率は 5.6% となった。住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲で定められている含水率は、10~13% なので、より燃焼しやすいと考えられ、消火実験としては厳しい条件である。消火器用の火量はφ120mm で、α-ヘプタン 50ml と水を入れた。</p> <p>サイズ : 33×30×90mm 本数 : 4 段積み 8 本 平均含水率 : 5.6% 火災荷重 : 10.4~12.1kg/m²</p> <p>4) 放水装置 動燃の火災も消えることを確認するために、図-A-2-5 に示すように木材ク립構造の一部が隠れるように放水装置を設けた。放水装置の高さは 1 段ベッドの上段程度で、大きさもベッドサイズ程度である。従って、図表等で使用する記号は「B」とした。</p> <p>5) 測定項目 測定は、木材ク립の燃焼重量変化(ロードセル)、木材ク립温度(熱電対)、放水圧力(圧トランスミッター)、天井温度(熱電対)について行った。 また、グラスバルブ作動時間や放水時間、消火に至った時間は、ストップウォッチで測定した。</p> <p>6) 実験手順 動燃前に点火後、グラスバルブが作動したら、直ちに手動操作にて弁を開くことで、放水を開始した。放水時間は 20 秒を基本とし、放水停止後、実験室の扉を直ちに閉け、燃焼状態を確認した。グラスバルブの作動信号は、予め加圧していたグラスバルブの圧力降下で読み取るようにした。</p>	<p>3) 燃焼材 木材ク립構造は燃焼の再現性が高く、消火器の検定でも使用されている標準的な火災構造である。今回の実験では、図-A-2-4 に示す住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲に示されている木材ク립構造を用いた。 各木材の乾燥条件を揃えるため、温度 40℃、湿度 20% に保った状態に 24 時間以上放置した。実験時の平均含水率は 5.6% となった。住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲で定められている含水率は、10~13% なので、より燃焼しやすいと考えられ、消火実験としては厳しい条件である。消火器用の火量はφ120mm で、α-ヘプタン 50ml と水を入れた。</p> <p>サイズ : 33×30×90mm 本数 : 4 段積み 8 本 平均含水率 : 5.6% 火災荷重 : 10.4~12.1kg/m²</p> <p>4) 放水装置 動燃の火災も消えることを確認するために、図-A-2-5 に示すように木材ク립構造の一部が隠れるように放水装置を設けた。放水装置の高さは 1 段ベッドの上段程度で、大きさもベッドサイズ程度である。従って、図表等で使用する記号は「B」とした。</p> <p>5) 測定項目 測定は、木材ク립の燃焼重量変化(ロードセル)、木材ク립温度(熱電対)、放水圧力(圧トランスミッター)、天井温度(熱電対)について行った。 また、グラスバルブ作動時間や放水時間、消火に至った時間は、ストップウォッチで測定した。</p> <p>6) 実験手順 動燃前に点火後、グラスバルブが作動したら、直ちに手動操作にて弁を開くことで、放水を開始した。放水時間は 20 秒を基本とし、放水停止後、実験室の扉を直ちに閉け、燃焼状態を確認した。グラスバルブの作動信号は、予め加圧していたグラスバルブの圧力降下で読み取るようにした。</p>	<p>3) 燃焼材 木材ク립構造は燃焼の再現性が高く、消火器の検定でも使用されている標準的な火災構造である。今回の実験では、図-A-2-4 に示す住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲に示されている木材ク립構造を用いた。 各木材の乾燥条件を揃えるため、温度 40℃、湿度 20% に保った状態に 24 時間以上放置した。実験時の平均含水率は 5.6% となった。住宅用スプリンクラー設備の鑑定範囲で定められている含水率は、10~13% なので、より燃焼しやすいと考えられ、消火実験としては厳しい条件である。消火器用の火量はφ120mm で、α-ヘプタン 50ml と水を入れた。</p> <p>サイズ : 33×30×90mm 本数 : 4 段積み 8 本 平均含水率 : 5.6% 火災荷重 : 10.4~12.1kg/m²</p> <p>4) 放水装置 動燃の火災も消えることを確認するために、図-A-2-5 に示すように木材ク립構造の一部が隠れるように放水装置を設けた。放水装置の高さは 1 段ベッドの上段程度で、大きさもベッドサイズ程度である。従って、図表等で使用する記号は「B」とした。</p> <p>5) 測定項目 測定は、木材ク립の燃焼重量変化(ロードセル)、木材ク립温度(熱電対)、放水圧力(圧トランスミッター)、天井温度(熱電対)について行った。 また、グラスバルブ作動時間や放水時間、消火に至った時間は、ストップウォッチで測定した。</p> <p>6) 実験手順 動燃前に点火後、グラスバルブが作動したら、直ちに手動操作にて弁を開くことで、放水を開始した。放水時間は 20 秒を基本とし、放水停止後、実験室の扉を直ちに閉け、燃焼状態を確認した。グラスバルブの作動信号は、予め加圧していたグラスバルブの圧力降下で読み取るようにした。</p>	<p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様。なお、資料中の赤字は相違の比較ではない。)</p>
<p>実験で採用した「L」型ノズルの粒径分布は、格納容器スプレイの水噴射と同様に200μm以下の水流が多く分布する。</p>  <p>図-2-1-3 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの2.0(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-4 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの0.1(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-3 L 型ノズル 図-2-1-4 11 型ノズル 図-2-1-1 16 型ノズル</p>	<p>実験で採用した「L」型ノズルの粒径分布は、格納容器スプレイの水噴射と同様に200μm以下の水流が多く分布する。</p>  <p>図-2-1-3 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの2.0(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-4 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの0.1(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-3 L 型ノズル 図-2-1-4 11 型ノズル 図-2-1-1 16 型ノズル</p>	<p>実験で採用した「L」型ノズルの粒径分布は、格納容器スプレイの水噴射と同様に200μm以下の水流が多く分布する。</p>  <p>図-2-1-3 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの2.0(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-4 各ノズルを床面から1.0(m)高さに設置したときの0.1(m)地点での粒径分布 (10MPa時)</p>  <p>図-2-1-3 L 型ノズル 図-2-1-4 11 型ノズル 図-2-1-1 16 型ノズル</p>	<p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様。なお、資料中の赤字は相違の比較ではない。)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

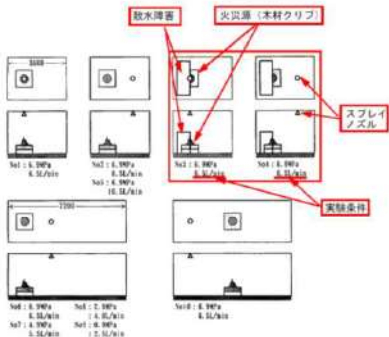


図-A-2-6 実験条件組み合わせ

表-A-2-1 実験結果一覧

機形	ノズル	放水	放水距離	放水高さ	放水時間	ノズル位置	放水距離	放水高さ	放水時間	放水位置	放水距離	放水高さ	放水時間
1	F1	N1	3	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
2	F1	N2	3	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
3	F1	N1	あり	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
4	F1	N2	あり	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
5	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
7	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
8	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
9	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
10	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 放水障害の有無の影響

図-A-2-12に、小容積における放水障害の有無による影響を見るために実施した、実験No1、2、3、4の木材クリフ模型の重量変化を示す。緑線は点火後の経過時間、黒線は木材クリフ模型の重量変化である。また、○△◇は各実験におけるグラスループの作動時間。●▲■は各実験における目視確認による消火時間である。

a) 放水ノズル直下に火源がある場合

放水ノズルN1の直下の木材クリフ模型F1との間に放水障害がない実験No1では数秒で消火し、放水停止後の目視範囲により消火が確認された。この時の木材クリフ模型の重量変化を見ると、放水直後から時間の経過と共に木材へのミストの付着量が増えることにより重量は増加している。従って、炭化層へも水が進入して消火できたものと考えられる。

一方、同一条件で放水ノズルと木材クリフ模型の間に放水障害を設けた実験No3では、ミストが直撃した部分は完全に消火できたが、放水障害に隠れる燃焼領域は消火したものの、壁が火が見られており、壁が立ち上がった。この時の木材クリフ模型の重量変化を見ると、No1と同様に放水直後から重量は増加に転じているが、その増加量は小さい。これは、ミストが木材クリフ模型に直撃する部分では消火されてNo1と同様に重量増加に転じているが、みからい部分では消火したものの無炭化層が付き重量減少が継続しているためと考えられる。

b) 火源が放水ノズル位置から離れている場合

火源、放水障害位置はa)と同じであるが、放水ノズル位置をN2に変えたNo4の実験でも同様の結果が得られた。この時の重量変化も放水障害のない場合No1と比較すると、放水障害のあるNo4の方が重量の減少の割合は緩やかである。これは木材クリフ模型と放水障害の下面の間にミストが滞留しやすくなるために抑制効果が大きくなったものと考えられる。

また、図-A-2-13に、No4と同一条件で放水せずに木材クリフ模型を燃焼させた場合の重量変化を示す。この前線と放水した場合の前線を比較すると、ミストによる火災抑制効果があることが判る。

これらのことから、放水障害があっても火災の消火もしくは抑制することが可能であることがわかった。

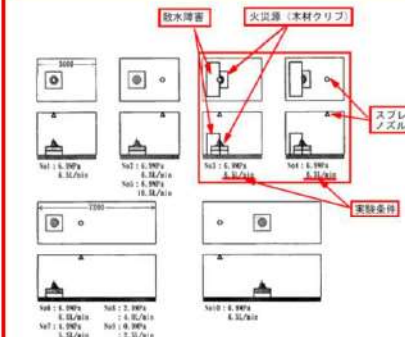


図-A-2-6 実験条件組み合わせ

表-A-2-1 実験結果一覧

機形	ノズル	放水	放水距離	放水高さ	放水時間	ノズル位置	放水距離	放水高さ	放水時間	放水位置	放水距離	放水高さ	放水時間
1	F1	N1	3	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
2	F1	N2	3	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
3	F1	N1	あり	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
4	F1	N2	あり	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
5	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
7	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
8	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
9	F1	N1	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
10	F1	N2	なし	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 放水障害の有無の影響

図-A-2-12に、小容積における放水障害の有無による影響を見るために実施した、実験No1、2、3、4の木材クリフ模型の重量変化を示す。緑線は点火後の経過時間、黒線は木材クリフ模型の重量変化である。また、○△◇は各実験におけるグラスループの作動時間。●▲■は各実験における目視確認による消火時間である。

a) 放水ノズル直下に火源がある場合

放水ノズルN1の直下の木材クリフ模型F1との間に放水障害がない実験No1では数秒で消火し、放水停止後の目視範囲により消火が確認された。この時の木材クリフ模型の重量変化を見ると、放水直後から時間の経過と共に木材へのミストの付着量が増えることにより重量は増加している。従って、炭化層へも水が進入して消火できたものと考えられる。

一方、同一条件で放水ノズルと木材クリフ模型の間に放水障害を設けた実験No3では、ミストが直撃した部分は完全に消火できたが、放水障害に隠れる燃焼領域は消火したものの、壁が火が見られており、壁が立ち上がった。この時の木材クリフ模型の重量変化を見ると、No1と同様に放水直後から重量は増加に転じているが、その増加量は小さい。これは、ミストが木材クリフ模型に直撃する部分では消火されてNo1と同様に重量増加に転じているが、みからい部分では消火したものの無炭化層が付き重量減少が継続しているためと考えられる。

b) 火源が放水ノズル位置から離れている場合

火源、放水障害位置はa)と同じであるが、放水ノズル位置をN2に変えたNo4の実験でも同様の結果が得られた。この時の重量変化も放水障害のない場合No1と比較すると、放水障害のあるNo4の方が重量の減少の割合は緩やかである。これは木材クリフ模型と放水障害の下面の間にミストが滞留しやすくなるために抑制効果が大きくなったものと考えられる。

また、図-A-2-13に、No4と同一条件で放水せずに木材クリフ模型を燃焼させた場合の重量変化を示す。この前線と放水した場合の前線を比較すると、ミストによる火災抑制効果があることが判る。

これらのことから、放水障害があっても火災の消火もしくは抑制することが可能であることがわかった。

【女川】

■設備の相違

泊は原子炉格納容器スプレインズル設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。
 (美浜と同様。なお、資料中の赤枠は相違の比較ではない。)

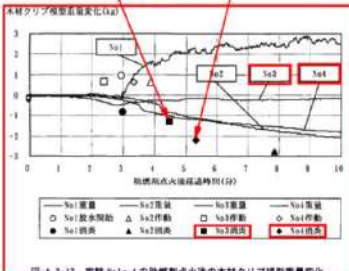
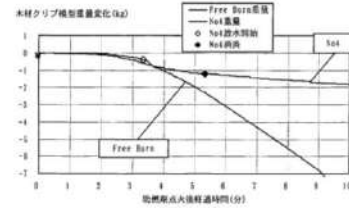
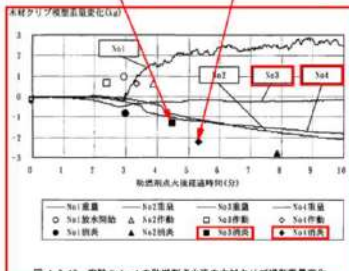
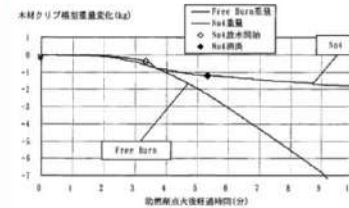
【女川】

■設備の相違

泊は原子炉格納容器スプレインズル設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。
 (美浜と同様。なお、資料中の赤下線は相違の比較ではない。)

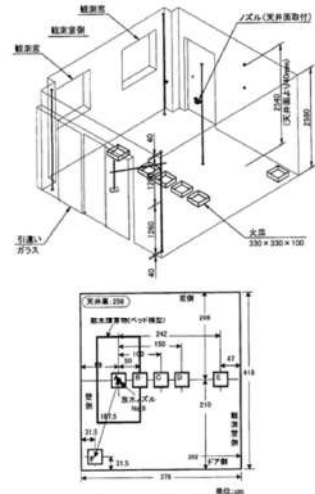
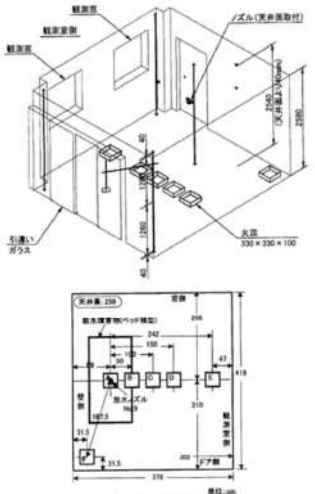
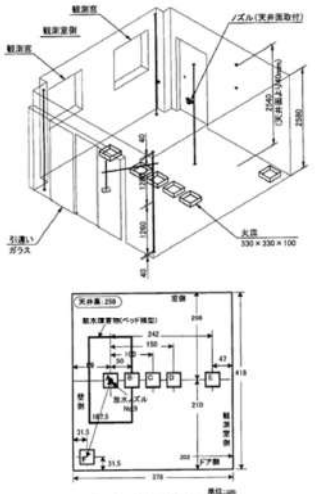
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小中規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>No.3 目標にて消炎を確認。 No.4 目標にて消炎を確認。</p>  <p>図-A.2-12 実験 No1~4 の助燃剤点火後の木材ク립模型重量変化</p>  <p>図-A.2-13 ミストを放水した場合と放水しない場合の木材ク립模型重量変化</p> <p>-186-</p>		<p>No.3 目標にて消炎を確認。 No.4 目標にて消炎を確認。</p>  <p>図-A.2-12 実験 No1~4 の助燃剤点火後の木材ク립模型重量変化</p>  <p>図-A.2-13 ミストを放水した場合と放水しない場合の木材ク립模型重量変化</p> <p>-186-</p>	<p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 （美浜と同様。なお、資料中の赤枠は相違の比較ではない。）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料8 添付資料4 消防研究所研究資料第60号「ウォーターミストの消火機構と有効な適用方法に関する研究報告書 分冊2」-小規模閉空間におけるウォーターミストの消火性能-）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>参考資料.5 h-ヘブタンを用いた消火実験</p> <p>5.1 目的 参考資料.1ではビジネスホテルの客室等を想定した閉空間で木材クリブ実験についてウォーターミストの消火能力を調べた。その中で、放水圧力を低くすることによって、燃焼の抑制に時間がかかることを示した。 しかし、傾向を示すにとどまったので、本実験では、再現性の良いh-ヘブタンを用いて、放水圧力の違い、火源との位置関係の違いによる放水ノズルの作動時間や消火時間に対する影響について調べた。</p> <p>5.2 実験方法 1) 実験室 実験室としては、図-A.5-1に示すビジネスホテルのツインルームに相当する規模で、容積が約41m³、床面積が約16m²の部屋を使用した。 放水圧力の影響については、図-A.5-1に示す放水ノズル真下の火源Aの位置で行った。また、ノズル真下からの水平距離による影響については火源A-Fの位置で行った。 放水障害物としては、参考資料.3で記載しているパイプベッド模型を用いて、図-A.5-1に示す位置に置いた。なお、ベニヤ板に相当する部分には不燃材を置いた。炎の温度は火源中央に1mmφK型シース熱電対を床より約30cmに設置して測定した。 実験に用いた放水ノズルは、参考資料.1~4で使用したものと同じである。</p> <p>2) 火源 実験に用いた火源は、150/701/503/761で試験水を用いて用いられている33cm角火源を用いたが、深さは燃料切れとなる危険性を考慮して、倍の16cmとした。燃焼材のh-ヘブタンの量は、位置によって消火までの燃焼時間が異なるため、2~3.9g/s(以下「g」とする)とした。点火時の火源上端からの前面の距離は36mm(住宅用スプリンクラー設備の火源に準拠)とした。これを維持するために、水の量で調整して、水とh-ヘブタンの総量は6.9gとした。点火は点火棒を用いて行った。 消火の判断は目視判断。実験室内に設置したビデオテープ及び温度センサーを組合せて決めた。</p> <p style="text-align: center;">-201-</p>  <p style="text-align: center;">図-A.5-1 放水ノズルと火源位置 A-F: A取位置</p> <p style="text-align: center;">-202-</p>	<p>参考資料.5 h-ヘブタンを用いた消火実験</p> <p>5.1 目的 参考資料.1ではビジネスホテルの客室等を想定した閉空間で木材クリブ実験についてウォーターミストの消火能力を調べた。その中で、放水圧力を低くすることによって、燃焼の抑制に時間がかかることを示した。 しかし、傾向を示すにとどまったので、本実験では、再現性の良いh-ヘブタンを用いて、放水圧力の違い、火源との位置関係の違いによる放水ノズルの作動時間や消火時間に対する影響について調べた。</p> <p>5.2 実験方法 1) 実験室 実験室としては、図-A.5-1に示すビジネスホテルのツインルームに相当する規模で、容積が約41m³、床面積が約16m²の部屋を使用した。 放水圧力の影響については、図-A.5-1に示す放水ノズル真下の火源Aの位置で行った。また、ノズル真下からの水平距離による影響については火源A-Fの位置で行った。 放水障害物としては、参考資料.3で記載しているパイプベッド模型を用いて、図-A.5-1に示す位置に置いた。なお、ベニヤ板に相当する部分には不燃材を置いた。炎の温度は火源中央に1mmφK型シース熱電対を床より約30cmに設置して測定した。 実験に用いた放水ノズルは、参考資料.1~4で使用したものと同じである。</p> <p>2) 火源 実験に用いた火源は、150/701/503/761で試験水を用いて用いられている33cm角火源を用いたが、深さは燃料切れとなる危険性を考慮して、倍の16cmとした。燃焼材のh-ヘブタンの量は、位置によって消火までの燃焼時間が異なるため、2~3.9g/s(以下「g」とする)とした。点火時の火源上端からの前面の距離は36mm(住宅用スプリンクラー設備の火源に準拠)とした。これを維持するために、水の量で調整して、水とh-ヘブタンの総量は6.9gとした。点火は点火棒を用いて行った。 消火の判断は目視判断。実験室内に設置したビデオテープ及び温度センサーを組合せて決めた。</p> <p style="text-align: center;">-201-</p>  <p style="text-align: center;">図-A.5-1 放水ノズルと火源位置 A-F: A取位置</p> <p style="text-align: center;">-202-</p>	<p>参考資料.5 h-ヘブタンを用いた消火実験</p> <p>5.1 目的 参考資料.3ではビジネスホテルの客室等を想定した閉空間で木材クリブ実験についてウォーターミストの消火能力を調べた。その中で、放水圧力を低くすることによって、燃焼の抑制に時間がかかることを示した。 しかし、傾向を示すにとどまったので、本実験では、再現性の良いh-ヘブタンを用いて、放水圧力の違い、火源との位置関係の違いによる放水ノズルの作動時間や消火時間に対する影響について調べた。</p> <p>5.2 実験方法 1) 実験室 実験室としては、図-A.5-1に示すビジネスホテルのツインルームに相当する規模で、容積が約41m³、床面積が約16m²の部屋を使用した。 放水圧力の影響については、図-A.5-1に示す放水ノズル真下の火源Aの位置で行った。また、ノズル真下からの水平距離による影響については火源A-Fの位置で行った。 放水障害物としては、参考資料.3で記載しているパイプベッド模型を用いて、図-A.5-1に示す位置に置いた。なお、ベニヤ板に相当する部分には不燃材を置いた。炎の温度は火源中央に1mmφK型シース熱電対を床より約30cmに設置して測定した。 実験に用いた放水ノズルは、参考資料.1~4で使用したものと同一である。</p> <p>2) 火源 実験に用いた火源は、150/701/503/761で試験水を用いて用いられている33cm角火源を用いたが、深さは燃料切れとなる危険性を考慮して、倍の16cmとした。燃焼材のh-ヘブタンの量は、位置によって消火までの燃焼時間が異なるため、2~3.9g/s(以下「g」とする)とした。点火時の火源上端からの前面の距離は36mm(住宅用スプリンクラー設備の火源に準拠)とした。これを維持するために、水の量で調整して、水とh-ヘブタンの総量は6.9gとした。点火は点火棒を用いて行った。 消火の判断は目視判断。実験室内に設置したビデオテープ及び温度センサーを組合せて決めた。</p> <p style="text-align: center;">-201-</p>  <p style="text-align: center;">図-A.5-1 放水ノズルと火源位置 A-F: A取位置</p> <p style="text-align: center;">-202-</p>	<p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様)</p> <p>【女川】 ■設備の相違 泊は原子炉格納容器スプレイ設備を原子炉格納容器内火災時の消火手段として期待しており、消火性能に関する資料を添付している。 (美浜と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料2 (【再掲】以降の比較のため再掲している)</p>	<p style="text-align: center;">資料9</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する 構築物、系統及び機器の火災防護対策について</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1. 概要 2. 要求事項 3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の選定について 3.1. 重要度分類指針における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能の特定 3.2. 火災時に放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統の確認 3.2.1. 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能 3.2.2. 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 3.2.3. 燃料プール水の補給機能 3.2.4. 放射性物質放出の防止機能 3.2.5. 放射性物質の貯蔵機能 3.3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込めに必要な機器等の特定 4. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災区域設定 5. 火災感知設備の設置について 6. 消火設備の設置について</p> <p>添付資料1 女川原子力発電所 2号炉における「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>添付資料2 女川原子力発電所 2号炉における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための機器リスト</p> <p>添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p>	<p style="text-align: center;">資料9</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する 構築物、系統及び機器の火災防護対策について</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1. 概要 2. 要求事項 3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の選定について 3.1. 重要度分類審査指針における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能の特定 3.2. 火災時に放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統の確認 3.2.1. 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能 3.2.2. 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 3.2.3. 燃料プール水の補給機能 3.2.4. 放射性物質放出の防止機能 3.2.5. 放射性物質の貯蔵機能 3.3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込めに必要な機器等の特定 4. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災区域設定 5. 火災感知設備の設置について 6. 消火設備の設置について</p> <p>添付資料1 泊発電所 3号炉における「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>添付資料2 泊発電所 3号炉における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための機器リスト</p> <p>添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p>	<p>色識別について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は泊との差異 ・女川は泊との差異 ・泊は女川との差異を識別する。 <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 <p>女川実績の反映</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">放射性物質貯蔵等の機器等の選定</p> <p>燃料の貯蔵、放射性廃棄物処理・貯蔵する機器等（放射性物質貯蔵等の機器等）を以下に示す。</p> <p>1. 放射性物質貯蔵等の機器等</p> <p>【放射性気体廃棄物の貯蔵等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス圧縮機 ・ガスサージタンク ・ホールドアップ塔 <p>【放射性液体廃棄物の貯蔵等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却材貯蔵タンク ・ほう酸回収装置 ・洗浄排水タンク ・原子炉周辺建屋サンブタンク ・廃液貯蔵タンク ・廃液蒸発装置 ・廃液給水ポンプ ・強酸ドレンタンク ・膜分離活性汚泥処理装置 ・格納容器サンブ ・格納容器冷却材ドレンタンク <p>【放射性固体廃棄物の貯蔵等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済樹脂貯蔵タンク ・焼却設備 ・ペイラ ・セメントガラス固化装置 ・乾燥造粒装置 ・固体廃棄物貯蔵庫 ・蒸気発生器保管庫 <p>【燃料の貯蔵等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピット ・新燃料貯蔵庫 <p>なお、放射性物質貯蔵等の機器等の配置については資料2に、系統概要図については別紙1に示す。</p> <p style="text-align: center;">【再掲】以降の比較のため8条-別1-資2-43,44より貼り付け</p>	<p>1. 概要 女川原子力発電所2号炉において、単一の内部火災が発生した場合にも、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するために必要な機器等を抽出し、その抽出された機器等に対して火災防護対策を実施する。</p> <p>2. 要求事項 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器への要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（抜粋）</p> <p>2. 基本事項</p> <p>(1) 原子炉施設内の火災区域又は火災区画に設置される安全機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、以下に示す火災区域及び火災区画の分類に基づいて、火災発生防止、火災の感知及び消火、火災の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域及び火災区画 ② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域 </div> <p>3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の選定について 設計基準対象施設のうち、単一の内部火災が発生した場合に対して、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するために必要となる機器等を選定する。機器等の選定は「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）に基づき、原子炉の状態が運転、起動、高温停止、低温停止及び燃料交換（ただし、全燃料全取出の期間を除く）のそれぞれにおいて、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するために必要な構築物、系統及び機器を抽出し、以下のとおり実施する。</p> <p>3.1. 重要度分類指針における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能の特定 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能について、重要度分類審査指針に基づき、以下のとおり抽出した。（添付資料1）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能 (2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないもので 	<p>1. 概要 泊発電所3号炉において、単一の内部火災が発生した場合にも、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を確保するために必要な機器等を抽出し、その抽出された機器等に対して火災防護対策を実施する。</p> <p>2. 要求事項 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器への要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（抜粋）</p> <p>2. 基本事項</p> <p>(1) 原子炉施設内の火災区域又は火災区画に設置される安全機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、以下に示す火災区域及び火災区画の分類に基づいて、火災発生防止、火災の感知及び消火、火災の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域及び火災区画 ② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域 </div> <p>3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の選定について 設計基準対象施設のうち、単一の内部火災が発生した場合に対して、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するために必要となる機器等を選定する。機器等の選定は「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）に基づき、原子炉が出力運転中であるモード1、2、高温停止状態であるモード3、4、原子炉の低温停止状態であるモード5、6において、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するために必要な構築物、系統及び機器を抽出し、以下のとおり実施する。</p> <p>3.1. 重要度分類審査指針における放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能の特定 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能について、重要度分類審査指針に基づき、以下のとおり抽出した。（添付資料1）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能 (2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないもので 	<p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違（女川実績の反映：着色せず） 【女川】 ■設備名称の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 泊は運転状態をモードで記載している。 【女川】 ■記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>別紙1</p> <p>放射性廃棄物系統概要図</p>  <p>【再掲】以降の比較のため8条-別1-資2-45より貼り付け</p>	<p>あって、放射性物質を貯蔵する機能</p> <p>(3) 燃料プール水の補給機能</p> <p>(4) 放射性物質放出の防止機能</p> <p>(5) 放射性物質の貯蔵機能</p> <p>3.2. 火災時に放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統の確認</p> <p>3.1 項で示した「放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能」に対し、火災によってこれらの機能に影響を及ぼす系統を、以下のとおり「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」(JEAG4612-2010)(以下「重要度分類指針」という。)から抽出する。</p> <p>まず、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統を、重要度分類指針を参考に抽出すると下表のとおりとなる。(第9-1表)</p> <table border="1" data-bbox="750 582 1276 1093"> <caption>第9-1表：放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統</caption> <thead> <tr> <th>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</th> <th>左記機能を達成するための系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ冷却系 原子炉建屋 非常用ガス処理系 可燃性ガス濃度制御系 </td> </tr> <tr> <td>(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設^{※1}(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料プール(使用済燃料ラックを含む) 新燃料貯蔵庫 </td> </tr> <tr> <td>(3) 使用済燃料プール水の補給機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 非常用補給水系(残留熱除去系) </td> </tr> <tr> <td>(4) 放射性物質放出の防止機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能以外) 燃料集合体落下事故時放射能放出を低減する系(原子炉建屋、非常用ガス処理系) </td> </tr> <tr> <td>(5) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 復水貯蔵タンク 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 焼却炉建屋 新燃料貯蔵庫 サイトバンカ建屋 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：「緊急対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」における放射能監視設備のうち、気体廃棄物処理設備より放射能放射線モニタ含む</p> <p>次に、上記の系統から、火災による放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能への影響を考慮し、重要度に応じて図るべき火災防護対策について評価した。</p> <p>3.2.1. 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</p> <p>重要度分類指針によると、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に該当する系統は「原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ冷却系、原子炉建屋、非常用ガス処理系、可燃性ガス濃度制御系」である。</p> <p>このうち、原子炉格納容器及び原子炉建屋はコンクリート・金属等の不燃性材料で構成する建築物・構造物であるため、火災による</p>	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	左記機能を達成するための系統	(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ冷却系 原子炉建屋 非常用ガス処理系 可燃性ガス濃度制御系 	(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設^{※1}(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料プール(使用済燃料ラックを含む) 新燃料貯蔵庫 	(3) 使用済燃料プール水の補給機能	<ul style="list-style-type: none"> 非常用補給水系(残留熱除去系) 	(4) 放射性物質放出の防止機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能以外) 燃料集合体落下事故時放射能放出を低減する系(原子炉建屋、非常用ガス処理系) 	(5) 放射性物質の貯蔵機能	<ul style="list-style-type: none"> 復水貯蔵タンク 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 焼却炉建屋 新燃料貯蔵庫 サイトバンカ建屋 	<p>あって、放射性物質を貯蔵する機能</p> <p>(3) 燃料プール水の補給機能</p> <p>(4) 放射性物質放出の防止機能</p> <p>(5) 放射性物質の貯蔵機能</p> <p>3.2. 火災時に放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統の確認</p> <p>3.1 項で示した「放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能」に対し、火災によってこれらの機能に影響を及ぼす系統を、以下のとおり「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」(JEAG4612-2010)(以下「重要度分類指針」という。)から抽出する。</p> <p>まず、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統を、重要度分類指針を参考に抽出すると下表のとおりとなる。(第9-1表)</p> <table border="1" data-bbox="1355 582 1937 965"> <caption>第9-1表 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統</caption> <thead> <tr> <th>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</th> <th>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 アニュラス 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ系 アニュラス空気再循環設備 </td> </tr> <tr> <td>(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料ビット(使用済燃料ラックを含む) </td> </tr> <tr> <td>(3) 燃料プール水の補給機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ビット補給水系 </td> </tr> <tr> <td>(4) 放射性物質放出の防止機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 </td> </tr> <tr> <td>(5) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 新燃料貯蔵庫 </td> </tr> </tbody> </table> <p>次に、上記の系統から、火災による放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能への影響を考慮し、重要度に応じて図るべき火災防護対策について評価した。</p> <p>3.2.1. 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能</p> <p>重要度分類指針によると、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に該当する系統は「原子炉格納容器、アニュラス、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ系、アニュラス空気再循環設備」である。</p> <p>このうち、原子炉格納容器はコンクリート・金属等の不燃性材料で構成する建築物・構造物であるため、火災による機能喪失は考え</p>	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統	(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 アニュラス 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ系 アニュラス空気再循環設備 	(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料ビット(使用済燃料ラックを含む) 	(3) 燃料プール水の補給機能	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ビット補給水系 	(4) 放射性物質放出の防止機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 	(5) 放射性物質の貯蔵機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 新燃料貯蔵庫 	<p>相違理由</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p>
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	左記機能を達成するための系統																										
(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ冷却系 原子炉建屋 非常用ガス処理系 可燃性ガス濃度制御系 																										
(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設^{※1}(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料プール(使用済燃料ラックを含む) 新燃料貯蔵庫 																										
(3) 使用済燃料プール水の補給機能	<ul style="list-style-type: none"> 非常用補給水系(残留熱除去系) 																										
(4) 放射性物質放出の防止機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能以外) 燃料集合体落下事故時放射能放出を低減する系(原子炉建屋、非常用ガス処理系) 																										
(5) 放射性物質の貯蔵機能	<ul style="list-style-type: none"> 復水貯蔵タンク 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 焼却炉建屋 新燃料貯蔵庫 サイトバンカ建屋 																										
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための系統																										
(1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器 アニュラス 原子炉格納容器隔離弁 原子炉格納容器スプレイ系 アニュラス空気再循環設備 																										
(2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの大きいもの) 使用済燃料ビット(使用済燃料ラックを含む) 																										
(3) 燃料プール水の補給機能	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ビット補給水系 																										
(4) 放射性物質放出の防止機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性気体廃棄物処理系の隔離弁 																										
(5) 放射性物質の貯蔵機能	<ul style="list-style-type: none"> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの) 新燃料貯蔵庫 																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

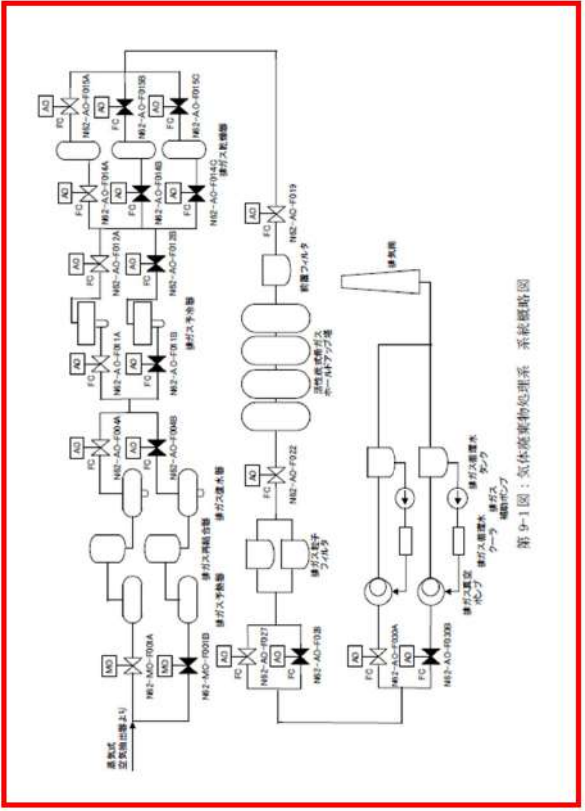
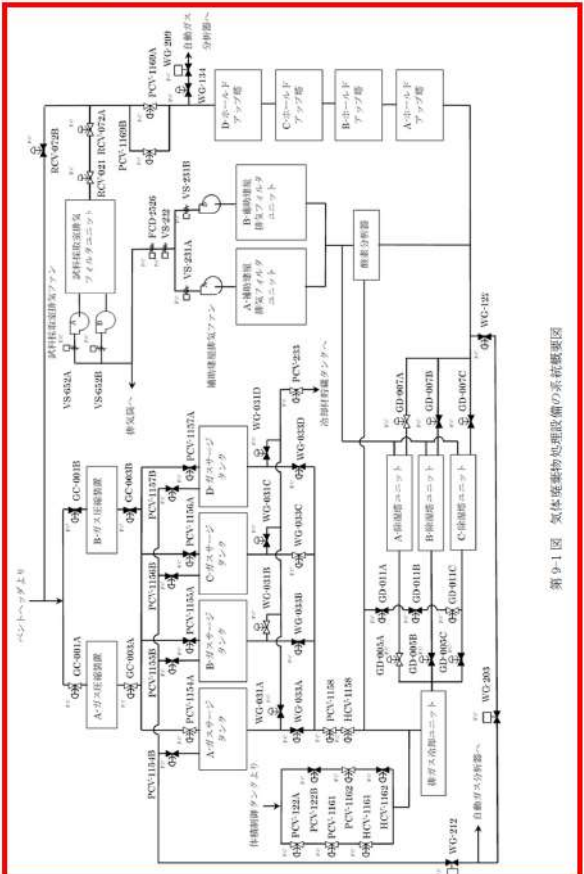
泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について）

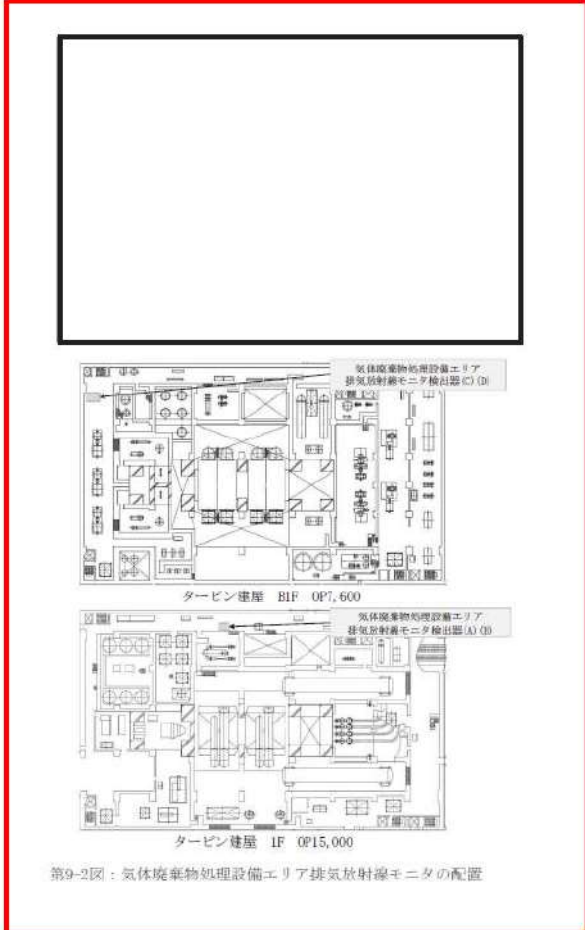
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、一次系配管、主蒸気管等は金属等の不燃性材料で構成されており火災による機能喪失は考えにくいこと、8条-別添1-資料10の8.で記載のとおり、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射性物質が放出されるおそれはないことから、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ冷却系、非常用ガス処理系及び可燃性ガス濃度制御系は火災発生時には要求されない。さらに、8条-別添1-資料1の参考資料2に示すように、これらの系統については設置許可基準規則第十二条に従い、火災に対する独立性を有している。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響を及ぼす系統はない。したがって、これらの機器については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>ただし、非常用ガス処理系は、原子炉棟送排風機とともに、原子炉建屋を負圧にする機能を有しており、火災発生時に原子炉建屋の換気空調設備が機能喪失した場合でも非常用ガス処理系が使用可能であれば原子炉建屋を負圧維持することができる。このため、原子炉建屋の負圧を維持する観点から、非常用ガス処理系については、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施することとする。</p> <p>あわせて、非常用ガス処理系の機能確保のため原子炉棟給排気隔離弁の開操作が必要となるが、原子炉棟給排気隔離弁についてはフェイル・クローズ設計であり、火災によって隔離弁の電磁弁のケーブルが損傷した場合、隔離弁が「閉」動作すること、万一の不動作の場合も多重化されていることから非常用ガス処理系の機能に影響しない。したがって、原子炉棟給排気隔離弁については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.2. 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</p> <p>重要度分類指針によると、原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能に該当する系統は「放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの大きいもの）、使用済燃料プール（使用済燃料ラックを含む）、新燃料貯蔵庫」である。</p> <p>放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの大きいもの）である放射性気体廃棄物処理系の系統概略図を第9-1図に示す。</p> <p>気体廃棄物処理系のうち、配管、手動弁、排ガス予熱器、排ガス再結合器、排ガス復水器、排ガス予冷器、排ガス乾燥器、活性炭式</p>	<p>機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、一次系配管、主蒸気管等は金属等の不燃性材料で構成されており火災による機能喪失は考えにくいこと、8条-別添1-資料10の8.で記載のとおり、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射性物質が放出されるおそれはないことから、アニュラス、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ系及びアニュラス空気再循環設備は火災発生時には要求されない。さらに、8条-別添1-資料1の参考資料2に示すように、これらの系統については設置許可基準規則第十二条に従い、火災に対する独立性を有している。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響を及ぼす系統はない。したがって、これらの機器については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p>	<p>にくく、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、一次系配管、主蒸気管等は金属等の不燃性材料で構成されており火災による機能喪失は考えにくいこと、8条-別添1-資料10の8.で記載のとおり、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射性物質が放出されるおそれはないことから、アニュラス、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ系及びアニュラス空気再循環設備は火災発生時には要求されない。さらに、8条-別添1-資料1の参考資料2に示すように、これらの系統については設置許可基準規則第十二条に従い、火災に対する独立性を有している。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能に影響を及ぼす系統はない。したがって、これらの機器については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.2. 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能</p> <p>重要度分類指針によると、原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能に該当する系統は「放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの大きいもの）、使用済燃料ピット（使用済燃料ラックを含む）、新燃料貯蔵庫」である。</p> <p>放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの大きいもの）である放射性気体廃棄物処理系の系統概要図を第9-1図に示す。</p> <p>気体廃棄物処理系のうち、配管、手動弁、ガス圧縮装置、排ガス冷却ユニット、除湿塔ユニット、活性炭式希ガスホルドアップ塔、</p>	<p>相違理由</p>

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>希ガスホールドアップ塔、希ガスフィルタは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、排ガス真空ポンプ吸込側の空気作動弁 (N62-A0-F027, F028, F030A/B) はフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該弁の電磁弁のケーブルが機能喪失すると電磁弁が無励磁となり当該弁が自動的に閉止する。</p> <p>万一、当該弁が誤作動した場合であっても、上流側に設置された活性炭式希ガスホールドアップ塔によって放射性物質が除去されることから、単一の火災によって放射性物質が放出されることはない。</p> <p>第9-1図より、火災によって上記の弁が閉止すると気体廃棄物処理系の排ガスフィルタより上流側で隔離されることとなり、当該弁より下流側 (排ガス真空ポンプ、排ガス循環水タンク、排気筒等が設置されているライン) に放射性物質が放出されない。</p> <p>上記の弁以外の空気作動弁、電動弁については、火災による弁駆動部の機能喪失によって当該弁が開閉動作をしても、弁本体は金属等の不燃性材料で構成されており、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>以上より、気体廃棄物処理系は火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない。ただし、当該系統は放射能インベントリが大きい系統であり、万一の機器故障によって放射性物質の漏えいが発生した場合の影響が大きい機器である、排ガス再結合器、活性炭式希ガスホールドアップ塔及び機器前後の隔離弁が設置されている建屋を火災区域として設定し、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施することとする。</p> <p>気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタについては、重要度分類指針においてMS-3「緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」のうち、放射線監視設備に該当し、女川原子力発電所2号炉においては設計基準事故時に中央制御室の放射線モニタ盤で監視を行う設備として整理していることから、重要度を踏まえ火災防護対策を行う設計とする。当該放射線モニタについては、第9-2図に示すように隣接した検出器間 (A, B間並びにC, D間) をそれぞれ分離する設計とする。したがって、放射線検出器は火災発生時に検出器が同時に機能喪失することは考えにくく、代替性を有する設計であることから、重要度並びに火災影響の有無を踏まえ、消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>一方、火災発生時に放射線モニタ盤が機能喪失すると気体廃棄物処理系の放射線監視機能が喪失する。このため、中央制御室の放射</p>	<p>ガスサージタンクは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、ガスサージタンクの隔離弁 (PCV-1154A/B, PCV-1155A/B, PCV-1156A/B, PCV-1157A/B, WG-031A/B/C/D, WG-033A/B/C/D) 並びに下流の放出ラインの空気作動弁及びダンパ (RCV-021, RCV-072A, VS-231A/B, VS-232, FCV-2526, VS-652A/B) はフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該弁の電磁弁のケーブルが機能喪失すると電磁弁が無励磁となり当該弁が自動的に閉止する。</p> <p>万一、当該弁が誤作動した場合であっても、下流側に設置された活性炭式希ガスホールドアップ塔によって放射性物質が除去されることから、単一の火災によって放射性物質が放出されることはない。</p> <p>第9-1図より、火災によって上記の弁が閉止すると気体廃棄物処理系の活性炭式希ガスホールドアップ塔より上流側で隔離されることとなり、当該弁より下流側 (試料採取室排気フィルタユニット、資料採取室排気ファン、排気筒等が設置されているライン) に放射性物質が放出されない。</p> <p>上記の弁以外の空気作動弁、電磁弁についてもフェイル・クローズ設計であり、弁本体は金属等の不燃性材料で構成されており、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>以上より、気体廃棄物処理系は火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない。ただし、当該系統は放射能インベントリが大きい系統であり、万一の機器故障によって放射性物質の漏えいが発生した場合の影響が大きい機器である、活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク及びガスサージタンク隔離弁が設置されている建屋を火災区域として設定し、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施することとする。</p>	<p>炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 設備及び系統構成の相違。また、泊はフェイルセイフ動作する設計。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>線モニタ盤については、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減を実施する設計とする。</p> <p>また、使用済燃料プール (使用済燃料ラックを含む)、新燃料貯蔵庫はコンクリート・金属等の不燃性材料で構成する構築物であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>さらに、使用済燃料プールの間接関連系である燃料プール冷却浄化系については、火災によって当該機能が喪失しても、使用済燃料プールの水位が遮蔽水位に低下するまで時間的余裕があり、その間に残留熱除去系 (使用済燃料プールへの補給ライン) の弁の手动操作等によって機能を復旧することができることから、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> 	<p>また、使用済燃料ビット (使用済燃料ラックを含む)、新燃料貯蔵庫はコンクリート・金属等の不燃性材料で構成する構築物であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>さらに、使用済燃料ビットの間接関連系である使用済燃料ビット冷却浄化系については、火災によって当該機能が喪失しても、使用済燃料ビット水の補給機能に影響を与えないため、火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> 	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違 ■設計の相違 系統構成の相違。また泊の冷却浄化系は機能喪失しても補給機能に影響を与えない。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-2図：気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの配置</p> <p>3.2.3. 燃料プール水の補給機能 重要度分類指針によると、燃料プール水の補給機能に該当する系統は「非常用補給水系 (残留熱除去系)」である。</p> <p>火災によって残留熱除去系が機能喪失しても、使用済燃料プールの水位が遮蔽水位まで低下するまでに時間的余裕があり、その間に電動弁の手動操作等によって機能を復旧することができることから、火災によって燃料プール水の補給機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>したがって、火災によって燃料プール水の補給機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については、消防法等に基づく火災防</p>	<p>3.2.3. 燃料プール水の補給機能 重要度分類指針によると、燃料プール水の補給機能に該当する系統は「使用済燃料ビット補給水系 (燃料取替用水ビットからの使用済燃料ビット水補給ライン)」である。</p> <p>火災によって使用済燃料ビット補給水系が機能喪失しても、使用済燃料ビットの水位が遮蔽水位まで低下するまでに時間的余裕があり、その間に手動弁の手動操作等によって機能を復旧することができることから、火災によって使用済燃料ビット水の補給機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>したがって、火災によって使用済燃料ビット水の補給機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については、消防法等に基づく</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 炉型の相違による設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

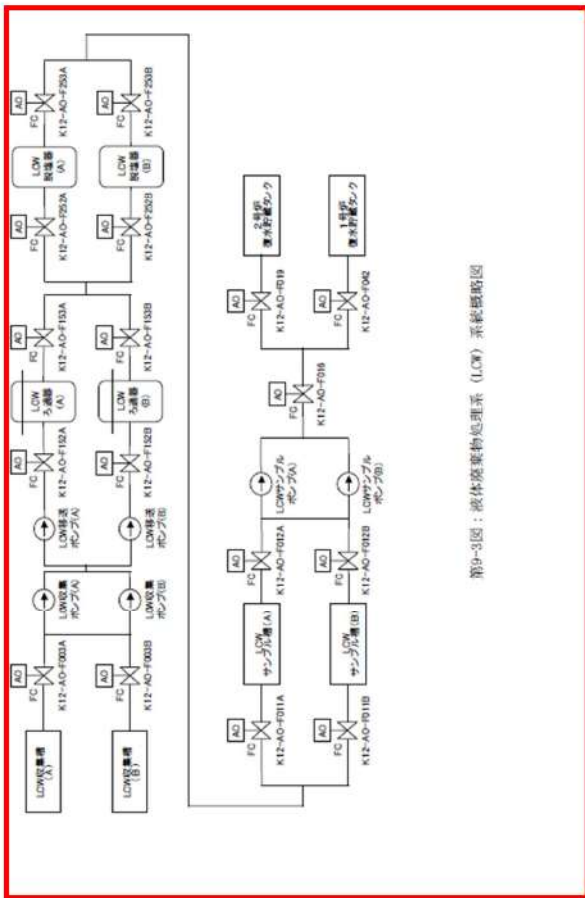
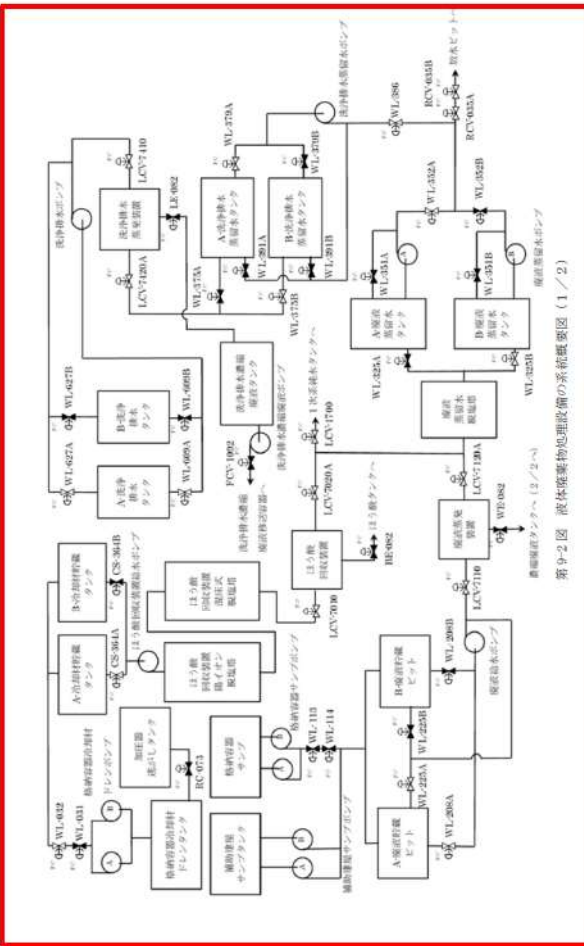
泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表
 第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.4. 放射性物質放出の防止機能 重要度分類指針によると、放射性物質放出の防止機能に該当する系統は「放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気筒（非常用ガス処理系排気筒の支持機能以外）、燃料集合体落下事故時放射能放出を低減する系（原子炉建屋、非常用ガス処理系）」である。 放射性気体廃棄物処理系の排ガス真空ポンプ吸込側の空気作動弁は、3.2.2.のとおりであり、火災によって放射性物質が放出されるおそれはない。 また、原子炉建屋、排気筒は金属等の不燃性材料で構成され、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質放出の防止機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。 さらに、燃料集合体の落下事故は、燃料集合体移動時は燃料交換機に燃料集合体を機械的にラッチさせて吊り上げること、ラッチ部は不燃性材料で構成され火災による影響は受けにくいことから、火災により燃料集合体の落下事故は発生しない。また、非常用ガス処理系については、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施する設計とする。 したがって、非常用ガス処理系を除き、火災によって放射性物質放出の防止機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については、消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.5. 放射性物質の貯蔵機能 重要度分類指針によると、放射性物質の貯蔵機能に該当する系統は「復水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの）、焼却炉建屋、新燃料貯蔵庫、サイトバンカ建屋」である。 （1）復水貯蔵タンク、焼却炉建屋、新燃料貯蔵庫、サイトバンカ建屋 復水貯蔵タンク、焼却炉建屋、新燃料貯蔵庫、サイトバンカ建屋については、コンクリート・金属等の不燃性材料で構成する構造物であるため、火災による機能喪失は考えにくいことから、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。 （2）放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの） 放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの）である液体廃棄物処理系について、関連する系統（廃スラッジ系、濃縮廃液系）も含めて系統概要図を第9-3～9-6図に示す。 液体廃棄物処理系（LCW、HCW）、廃スラッジ系、濃縮廃液系のうち、配管、手動弁、収集槽、ろ過器、脱塩塔、サンプル槽、浄化系沈降分離槽、使用済樹脂貯蔵槽、タンクは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p>	<p>火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.4. 放射性物質放出の防止機能 重要度分類指針によると、放射性物質放出の防止機能に該当する系統は「気体廃棄物処理設備の隔離弁」である。 気体廃棄物処理設備の隔離弁（PCV-122A/B、PCV-1154A/B、PCV-1155A/B、PCV-1156A/B、PCV-1157A/B、WG-031A/B/C/D、WG-033A/B/C/D）は第9-1図のとおりフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該隔離弁のケーブルが機能喪失すると駆動用空気が喪失となり自動的に閉止し、気体廃棄物処理設備の放射性気体廃棄物は系統内に隔離されることとなり、系外へ放射性物質が放出されることはない。 万一、当該弁が誤作動した場合であっても、他の空気作動弁によって隔離可能であり、下流の放出ラインの空気作動弁及びダンパ（RCV-021、RCV-072A、VS-231A/B、VS-232、FCD-2526、VS-652A,B）によっても隔離可能なことから、単一の火災によって放射性物質が放出されることはない。 ただし、3.2.2.のとおり、万一の機器故障によって放射性物質の漏えいが発生した場合の影響が大きい機器である隔離弁が設置されている建屋を火災区域として設定し、火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>3.2.5. 放射性物質の貯蔵機能 重要度分類指針によると、放射性物質の貯蔵機能に該当する系統は「放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの）及び新燃料貯蔵庫」である。 （1）加圧器逃がしタンク、新燃料貯蔵庫 加圧器逃がしタンク、新燃料貯蔵庫については、コンクリート・金属等の不燃性材料で構成する構造物であるため、火災による機能喪失は考えにくいことから、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。 （2）放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの） である液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲） 放射性廃棄物処理施設（放射能インベントリの小さいもの）である液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲）について、系統概要図を第9-2図に示す。 液体廃棄物処理設備（貯蔵機能を有する範囲）のうち、配管、手動弁、脱塩塔、廃液蒸発装置、洗浄排水蒸発装置、ほう酸回収装置、タンク、ピット、サンブは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 ■設計の相違 重要度分類指針における対象設備及び系統構成の相違。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 重要度分類指針における対象設備及び系統構成の相違。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 泊は液体廃棄物処理設備と固体廃棄物処理設備の記載を分けた項目としている。後段に固体廃棄物処理設備について記載。 【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p>	

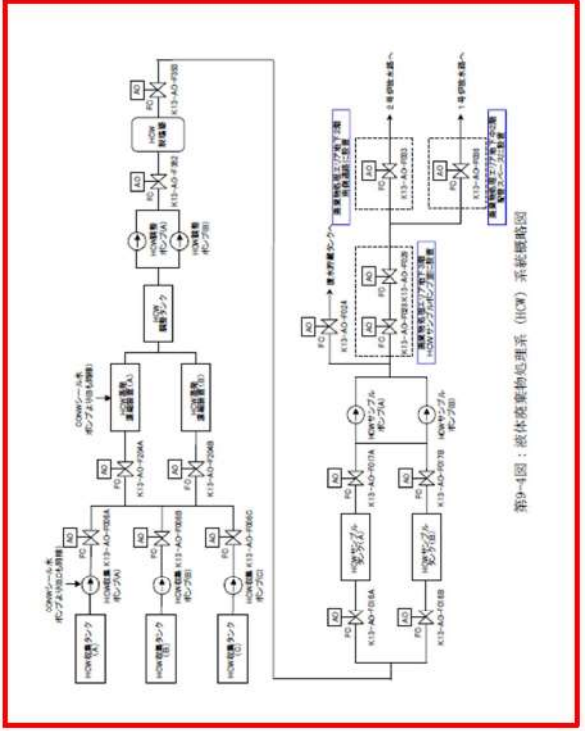
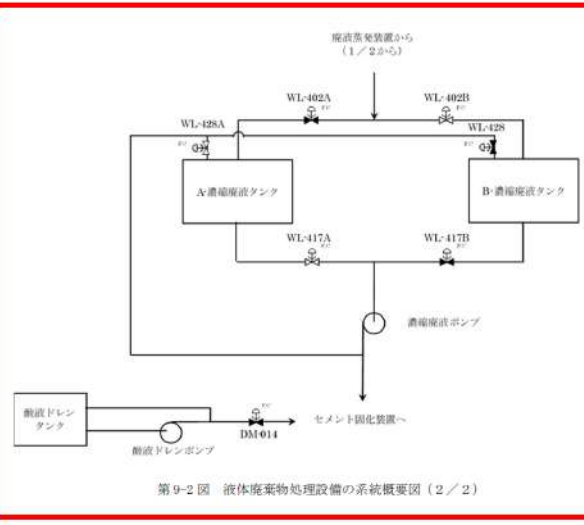
泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>また、各空気作動弁はフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該弁の電磁弁のケーブルが機能喪失すると電磁弁が無励磁となり当該弁が自動的に閉止する。万一、空気作動弁が誤作動した場合であっても、機器ドレン系については、移送先が1号又は2号炉の復水貯蔵タンクであることから放射性物質が放出されることはない。</p> <p>特に、床ドレン・化学廃液系については、環境への誤放出防止の観点から、放水路への移送ラインに3個の空気作動弁(2号炉放水路についてはK13-A0-F028, F029, F033, 1号炉側放水路についてはK13-A0-F028, F029, F036)を直列に設置しており、単一の弁の誤作動では放射性物質が放出されない設計としている。(第9-4図)</p> <p>これらの空気作動弁は廃棄物処理エリア地下3階 HCW サンプルポンプ室、地下中2階 配管スペース、地下2階 南側通路と異なるエリアに設置しており、十分な隔離距離が確保されていることから、単一の火災で直列に設置された3個の空気作動弁が同時に機能喪失する可能性はない。</p> <p>以上のことから、単一の火災によって放射性物質が放出されることはない。(第9-7~9-8図)</p> <p>また、第9-3~9-6図より、火災によって上記の弁が閉止すると液体廃棄物処理系の放射性液体廃棄物は系統内に隔離されることとなり、系統外へ放射性物質が放出されない。</p> <p>以上より、液体廃棄物処理系は火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはなく、これらの機器については、消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p>	<p>また、各空気作動弁はフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該弁の電磁弁のケーブルが機能喪失すると電磁弁が無励磁となり当該弁が自動的に閉止する。万一、空気作動弁が誤作動した場合であっても、他の系統に接続されているラインについては放射性物質が放出されることはない。</p> <p>放出ラインに設置されている空気作動弁(WL-352A, WL-352B, WL-386, RCV-035A, RCV-035B)は直列に設置しており、単一の弁の誤作動では放射性物質が放出されない設計としている。(第9-2図)</p> <p>これらの空気作動弁は自動消火設備が設置されている火災区画に設置しており、早期消火が可能な設計としていることから、単一の火災で直列に設置された空気作動弁が同時に機能喪失する可能性はない。</p> <p>以上のことから、単一の火災によって放射性物質が放出されることはない。(第9-3~9-4図)</p> <p>また、第9-2図より、火災によって上記の弁が閉止すると液体廃棄物処理系の放射性液体廃棄物は系統内に隔離されることとなり、系統外へ放射性物質が放出されない。</p> <p>以上より、液体廃棄物処理系は火災によって放射性物質を貯蔵する機能に影響が及ぶおそれはなく、これらの機器については、消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">第9-3図：液体廃棄物処理系 (LW) 系統概略図</p>	 <p style="text-align: center;">第9-2図 液体廃棄物処理設備の系統概略図 (1/2)</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 ■系統構成の相違</p>

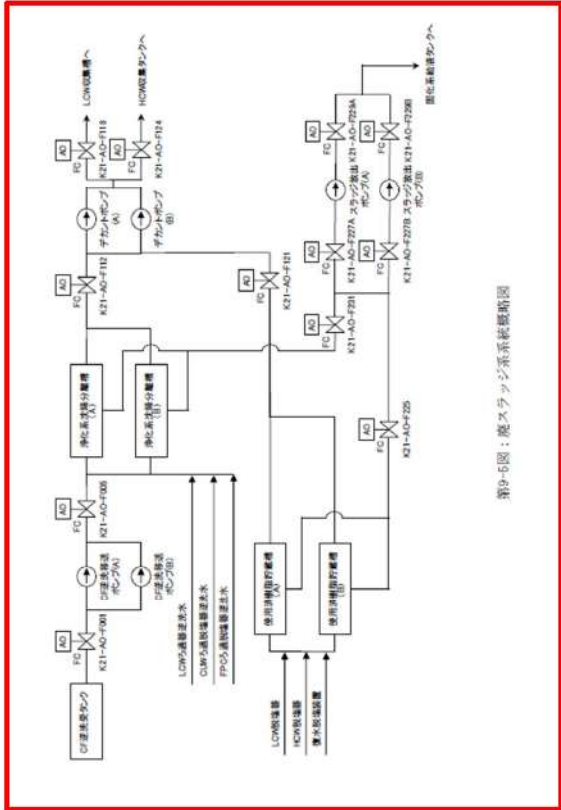
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-1図：液体廃棄物処理系 (LW) 系統概略図</p>	 <p>第9-2図 液体廃棄物処理設備の系統概要図 (2/2)</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p>

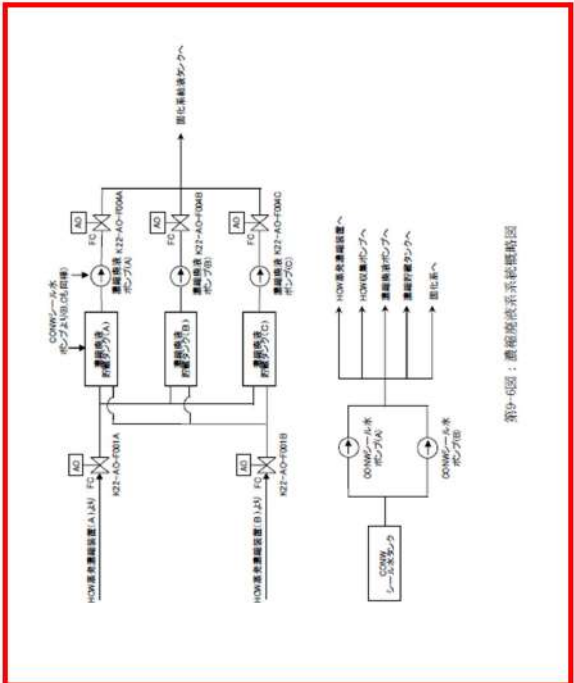
泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について)

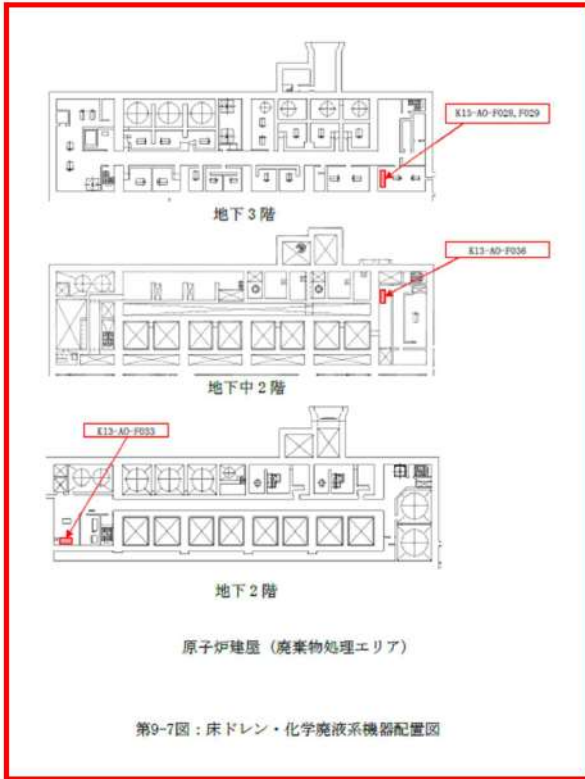
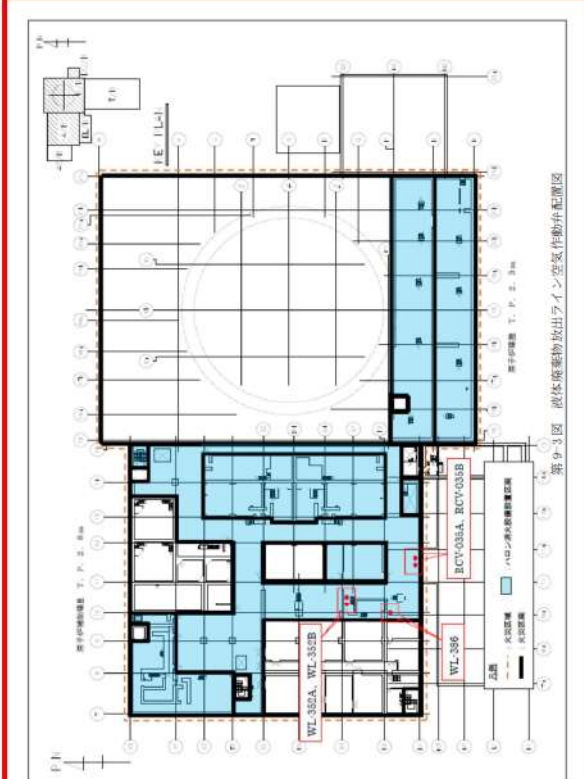
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

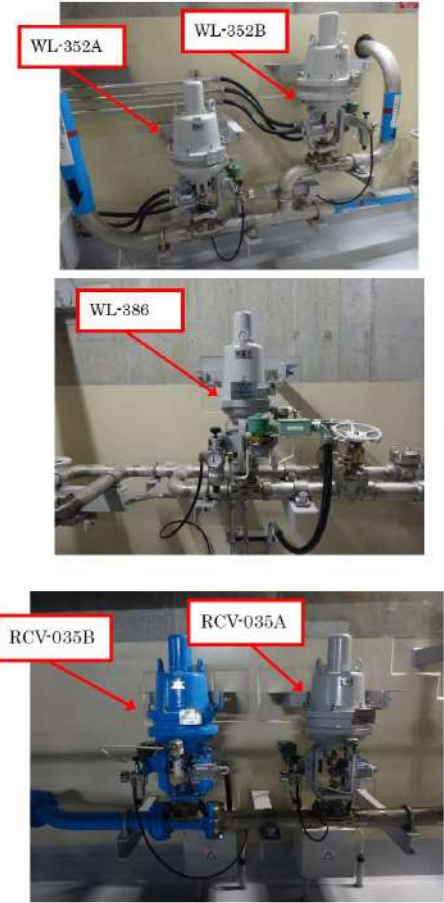
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-5図：蒸スラッジ系統概略図</p>		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 ■系統構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-6図：凝縮液系系統構成図</p>		<p>【女川】 ■設計の相違 系統構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-7図：床ドレン・化学廃液系機器配置図</p>	 <p>第9-3図 液体廃棄物放出ライン空動作動弁配置図</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 ■系統構成の相違

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="734 178 1312 1233" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p data-bbox="795 475 1256 496">HCW放水路移送ラインの弁配置 (HCWサンプルポンプ室)</p> <p data-bbox="772 743 1279 764">HCW放水路移送ライン (1号炉側) の弁配置 (配管スペース)</p> <p data-bbox="795 1015 1256 1035">HCW放水路移送ライン (2号炉側) の弁配置 (南側通路)</p> <p data-bbox="840 1174 1223 1195">第9-8図：床ドレン・化学廃液系の弁配置状況</p> </div>	<div data-bbox="1391 178 1899 1206" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p data-bbox="1480 1126 1861 1147">第9-4図 液体廃棄物放出ライン空気作動弁配置状況</p> </div> <p data-bbox="1406 1278 1944 1473">(3) 放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの) である固体廃棄物処理設備 (貯蔵機能を有する範囲) a. セメント固化装置 セメント固化装置の系統概要図を第9-5図に示す。セメント固化装置のうち、配管、手動弁、乾燥機、ホッパ、サイロ、計量器、タンクは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は</p>	<p data-bbox="1973 201 2145 308">【女川】 ■設計の相違 弁の現場設置状況の相違</p> <p data-bbox="1973 1278 2145 1445">【女川】 ■設計の相違 設備の相違。泊ではセメント固化装置が固体廃棄物処理設備として対象となる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、各空気作動弁はフェイル・クローズ設計であり、火災によって当該弁の電磁弁のケーブルが機能喪失すると電磁弁が無励磁となり当該弁が自動的に閉止する。万一、空気作動弁が誤作動した場合であっても、他の系統に接続されているラインについては放射性物質が系外に放出されることはない。</p> <p>セメント固化装置は廃液蒸発装置等の濃縮廃液及び酸液ドレンを不燃材であるセメント固化材と混合し、ドラム缶内に固化する設備であり、セメントによるドラム缶内部での火災発生は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器等については消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <div data-bbox="1355 646 1937 1228" data-label="Diagram"> <p>第9-5図 セメント固化装置の系統概要図</p> </div> <p>b. 雑固体焼却設備</p> <p>雑固体焼却設備の機器、配管、弁は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>また、雑固体焼却設備は可燃性雑固体、廃油等を焼却処理し減容後、焼却灰をドラム缶に収容する設備で</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備の相違。泊ではセメント固化装置が固体廃棄物処理設備として対象となる。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備の相違。泊では雑固体焼却設備が固体廃棄物処理設備として対象となる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

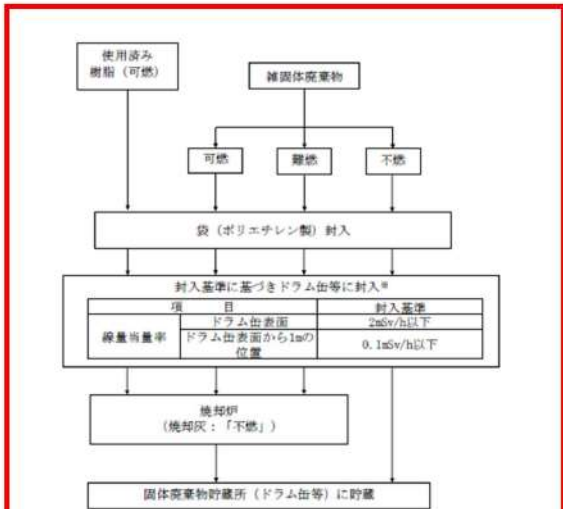

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>放射性廃棄物処理施設 (放射性インベントリの小さいもの) である固体廃棄物貯蔵所 (ドラム缶) は、金属等の不燃性材料で構成される。ドラム缶に収め貯蔵するものうち雑固体廃棄物については、第9-9図に示すフローチャートに従い分別し、「可燃」、「難燃」については、焼却炉で焼却した後の「不燃」の焼却灰の状態ドラム缶に収納することから、ドラム缶内部での火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質貯蔵等の機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>一方、「不燃」には、金属等の不燃性材料をドラム缶等に収納する際に収納するポリエチレン製の袋や識別用シールといった可燃物を含むもの、収納物は不燃性材料であること、ドラム缶内には危険物を含まないこと、ポリエチレンの発火点は350℃より高いこと、固体廃棄物貯蔵所 (ドラム缶) 内には高温となる設備がないことから、ドラム缶内部での火災発生は考えにくく、火災によって放射性物質貯蔵等の機能喪失に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>なお、雑固体廃棄物のうち、「可燃」、「難燃」については、焼却前の雑固体廃棄物を貯蔵したドラム缶が固体廃棄物貯蔵所に貯蔵されているが、ドラム缶等は、金属等の不燃性材料で構成され、蓋締め密閉した状態で保管していること、ドラム缶周辺に高温となる設備はないことから、ドラム缶内部での火災発生は考えにくい。</p>	<p>あり、焼却灰によるドラム缶内部での火災発生は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>ただし、雑固体焼却設備が設置されているエリアについては、可燃性固体、廃油等の可燃物を取扱い、焼却処理する作業エリアであることから、万一の火災の発生を考慮し、雑固体焼却設備が設置されている建屋を火災区域として設定し、火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>c. ベイラ</p> <p>ベイラの機器、配管、弁は金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない²⁾。</p> <p>また、ベイラは雑固体焼却設備にて焼却できない物質のうち、減容可能な金属等の固体廃棄物をドラム缶に収容する設備であり、ドラム缶内には発火源がないことからドラム缶内部での火災発生は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>ただし、ベイラは油圧駆動装置で多量の作動油を内包していることから、万一の火災の発生を考慮し、ベイラが設置されている建屋を火災区域として設定し、火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>d. 固体廃棄物貯蔵庫</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫はセメント固化装置及び雑固体焼却設備にて発生したドラム缶を貯蔵する設備であり、セメント及び焼却灰を内包するドラム缶内部での火災発生は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない。</p> <p>ただし、固体廃棄物貯蔵庫には1、2号機設備であるアスファルト固化装置で処理したドラム缶も保管されており、可燃物であるアスファルトの万一の火災の発生を考慮し、固体廃棄物貯蔵庫を火災区域として設定し、火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策を行う設計とする。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 設備の相違。泊では雑固体焼却設備が固体廃棄物処理設備として対象となる。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 設備の相違。泊ではベイラが固体廃棄物処理設備として対象となる。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊では固体廃棄物貯蔵庫のうち、ドラム缶を保管するエリアについては、自動消火設備を設置する。</p>

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>また、固体廃棄物貯蔵所における放射性固体廃棄物の保管状況を確認するために、固体廃棄物貯蔵所を1週間に1回巡視するとともに、3ヶ月に1回保管量を確認する。</p> <p>さらに、固体廃棄物貯蔵所はコンクリートで構築された建屋内に設置されている。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響を及ぼす系統はなく、これらの機器については、消防法等に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>また、固体廃棄物貯蔵所の西側に焼却炉建屋があり可燃物を保管しているが、建屋間距離が約6m離れていること、固体廃棄物貯蔵所の外壁コンクリート壁厚さは500mmあるため、焼却炉建屋にて火災が発生した場合でも固体廃棄物貯蔵所への影響はない。(第9-10図)</p> <p>※1：火災の影響で機能喪失のおそれがないもの 金属製の配管、タンク、手動弁、逆止弁等やコンクリート製の構築物等は、不燃性材料で構成されている。また、配管、タンク、手動弁、電動弁等(フランジ部等を含む)には内部の液体の漏えいを防止するため不燃性ではないパッキン類が装着されているが、これらは弁、フランジ等の内部に取付けており、機器外の火災によってシート面が直接加熱されることはない。機器自体が外部からの炎に炙られて加熱されると、パッキンの温度も上昇するが、フランジへの取付けを模擬した耐火試験にて接液したパッキン類のシート面に機能喪失に至るような大幅な温度上昇が生じないことを確認している。仮に、万が一パッキン類が長時間高温になってシート性能が低下したとしても、シート部からの漏えいが発生する程度で、弁、配管等の機能が失われることはなく、他の機器等への影響もない。</p> <p>以上より、不燃性材料のうち、金属製の配管、タンク、手動弁、逆止弁等やコンクリート製の構築物等で構成されている系統については、火災によっても原子炉の安全機能に影響を及ぼさないものとする。</p>	<p>e. 使用済樹脂貯蔵タンク</p> <p>使用済樹脂貯蔵タンクは金属等の不燃性材料で構成する機械品であるため、火災による機能喪失は考えにくく、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響が及ぶおそれはない^{※1}。</p> <p>したがって、火災によって放射性物質の貯蔵機能に影響を及ぼす系統はなく、使用済樹脂貯蔵タンクについては消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策を行う設計とする。</p> <p>※1 火災の影響で機能喪失のおそれがないもの 金属製の配管、タンク、手動弁、逆止弁等やコンクリート製の構築物等は、不燃性材料で構成されている。また、配管、タンク、手動弁、電動弁等(フランジ部等を含む)には内部の液体の漏えいを防止するため不燃性ではないパッキン類が装着されているが、これらは弁、フランジ等の内部に取付けており、機器外の火災によってシート面が直接加熱されることはない。機器自体が外部からの炎に炙られて加熱されると、パッキンの温度も上昇するが、フランジへの取付けを模擬した耐火試験にて接液したパッキン類のシート面に機能喪失に至るような大幅な温度上昇が生じないことを確認している。仮に、万が一パッキン類が長時間高温になってシート性能が低下したとしても、シート部からの漏えいが発生する程度で、弁、配管等の機能が失われることはなく、他の機器等への影響もない。</p> <p>以上より、不燃性材料のうち、金属製の配管、タンク、手動弁、逆止弁等やコンクリート製の構築物等で構成されている系統については、火災によっても原子炉の安全機能に影響を及ぼさないものとする。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 泊では固体廃棄物貯蔵庫のうち、ドラム缶を保管するエリアについては、自動消火設備を設置する。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 設備の相違。泊では使用済樹脂貯蔵タンクが固体廃棄物処理設備として対象となる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第9-9図：固体廃棄物貯蔵所（ドラム缶）貯蔵へのフローチャート</p>  <p>第9-10図：固体廃棄物貯蔵所構内配置図</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は固体廃棄物貯蔵庫について自動消火設備を設置することにより、火災から防護する設計としているため、当該記載は不要。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3.3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込めに必要な機器等の特定</p> <p>3.2. での検討の結果、添付資料2に示すとおり、火災時に「放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能」が喪失する系統はない。</p> <p>ただし、火災時における原子炉建屋の負圧維持の観点から、非常用ガス処理系及び放射性物質の放出リスク低減の観点から、気体廃棄物処理系の機器 (排ガス再結合器、活性炭ホールドアップ塔及び前後の隔離弁) について、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</p> <p>また、気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタについては、監視機能を有する中央制御室の放射線モニタ盤に対して「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</p> <p>4. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災区域設定</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器を設置する区域を火災区域として設定する。火災区域については設置された構築物、系統及び機器の重要度に応じて火災の影響軽減対策を行う設計とする。原子炉建屋の負圧維持の観点から、非常用ガス処理系を設置する建屋及び放射性物質の放出リスク低減の観点から、気体廃棄物処理系設備を設置する建屋に対して、以下の要求事項に従って3時間以上の耐火性能を有する耐火壁で隣接する他の火災区域と分離する設計とし、その他の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の設置区域については、火災によりこれらの機能が喪失することはないが、隣接する他の火災区域と3時間以上の耐火性能を有するコンクリート壁により分離する設計とする。</p> <div data-bbox="741 979 1301 1449" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>1.2 用語の定義</p> <p>(11)「火災区域」 耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。</p> <p>2.3 火災の影響軽減</p> <p>2.3.1 安全機能を有する構築物、系統及び機器の重要度に応じ、それらを設置する火災区域又は火災区画内の火災及び隣接する火災区域又は火災区画における火災による影響に対し、以下の各号に掲げる火災の影響軽減のための対策を講じた設計であること。</p> <p>(3) 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域については、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁によって他の火災区域から分離されていること。</p> </div>	<p>3.3. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込めに必要な機器等の特定</p> <p>3.2. での検討の結果、添付資料2に示すとおり、火災時に「放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能」が喪失する系統はない。</p> <p>ただし、放射性物質の放出リスク低減の観点から、気体廃棄物処理系の機器 (活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク及び気体廃棄物処理設備の隔離弁)、固体廃棄物貯蔵庫、ペイラ及び雑固体焼却設備について、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</p> <p>4. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災区域設定</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器を設置する区域を火災区域として設定する。火災区域については設置された構築物、系統及び機器の重要度に応じて火災の影響軽減対策を行う設計とする。放射性物質の放出リスク低減の観点から、気体廃棄物処理設備、固体廃棄物貯蔵庫及び雑固体焼却設備を設置する建屋、ペイラに対して、以下の要求事項に従って3時間以上の耐火性能を有する耐火壁で隣接する他の火災区域と分離する設計とし、その他の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の設置区域については、火災によりこれらの機能が喪失することはないが、隣接する他の火災区域と3時間以上の耐火性能を有するコンクリート壁により分離する設計とする。</p> <div data-bbox="1368 979 1928 1449" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>1.2 用語の定義</p> <p>(11)「火災区域」 耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。</p> <p>2.3 火災の影響軽減</p> <p>2.3.1 安全機能を有する構築物、系統及び機器の重要度に応じ、それらを設置する火災区域又は火災区画内の火災及び隣接する火災区域又は火災区画における火災による影響に対し、以下の各号に掲げる火災の影響軽減のための対策を講じた設計であること。</p> <p>(3) 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域については、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁によって他の火災区域から分離されていること。</p> </div>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>対象となる設備の相違により、火災区域として設定するエリアの相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>5. 火災感知設備の設置について 非常用ガス処理系を設置する火災区域及び気体廃棄物処理系の機器 (排ガス再結合器、活性炭ホールドアップ塔及び前後の隔離弁) を設置する火災区域に対しては、以下の要求事項に基づく火災感知設備を設置する。また、放射線モニタ盤を設置する中央制御室についても、以下の要求事項に基づく火災感知設備を設置する。設置する火災感知設備については、8条-別添1-資料5に記載のものと同等とする。 その他の火災区域については、消防法等に準じて火災感知設備を設置する設計とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」 (抜粋) 2.2 火災の感知、消火 2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。 (1) 火災感知設備 ① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できる場所に設置すること。 ② 火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。 ③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。 ④ 中央制御室等で適切に監視できる設計であること。</p> </div> <p>6. 消火設備の設置について 非常用ガス処理系を設置する火災区域及び気体廃棄物処理系を設置する火災区域に対しては、以下の要求事項に基づく消火設備を設置する。設置する消火設備の設置方針については、8条-別添1-資料6に記載のものと同等とする。</p> <p>また、放射線モニタ盤を設置する中央制御室については、8条-別添1-資料1に記載のとおり、常駐する運転員によって火災感知器による早期の火災感知及び消火活動が可能であり、火災が拡大する前に消火</p>	<p>5. 火災感知設備の設置について 固体廃棄物貯蔵庫、雑固体焼却設備、ペイラを設置する火災区域及び気体廃棄物処理系の機器 (活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク及び気体廃棄物処理設備の隔離弁) を設置する火災区域に対しては、以下の要求事項に基づく火災感知設備を設置する。設置する火災感知設備については、8条-別添1-資料5に記載のものと同等とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」 (抜粋) 2.2 火災の感知、消火 2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。 (1) 火災感知設備 ① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等 (感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。) をそれぞれ設置すること。また、その設置に当たっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。 ② 感知器については消防法施行規則 (昭和36年自治省令第6号) 第23条4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令 (昭和56年自治省令第17号) 第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。 ③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。 ④ 中央制御室等で適切に監視できる設計であること。</p> </div> <p>6. 消火設備の設置について 固体廃棄物貯蔵庫、雑固体焼却設備、ペイラを設置する火災区域及び気体廃棄物処理系を設置する火災区域に対しては、以下の要求事項に基づく消火設備を設置する。設置する消火設備の設置方針については、8条-別添1-資料6に記載のものと同等とする。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 対象となる設備の相違により、火災区域として設定するエリアの相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊では、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器等が設置されている火災区域については、火災防護審査基準に基づき火災感知器を設置することとしている。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 泊は改正後の火災防護審査基準の記載としている。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 対象となる設備の相違により、火災区域として設定するエリアの相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊では重要度分類指針において同様な設備は該当しない。</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表
 第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 本文 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器の火災防護対策について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>可能であること、万一、火災によって煙が発生した場合でも建築基準法に準拠した容量の排煙設備によって排煙が可能な設計とすることから、消火活動が困難とならない火災区域として選定し、消火器で消火を行う設計とする。その他の火災区域については、消防法等に準じて消火設備を設ける設計とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋) 2.2 火災の感知、消火 2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> </div> <p>なお、「2.2.1 (2) 消火設備」の要求事項を添付資料3に示す。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋) 2.2 火災の感知、消火 2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> </div> <p>なお、「2.2.1 (2) 消火設備」の要求事項を添付資料3に示す。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止（別添1資料9 添付資料1 「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料1 女川原子力発電所 2号炉における 「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能 並びに系統の抽出について	泊発電所3号炉 添付資料1 泊発電所 3号炉における 「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能 並びに系統の抽出について	相違理由
			色識別について ・大飯は泊との相違 ・女川は泊との相違 ・泊は女川との相違を識別する。 【女川】 ■設備名称の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<p>添付資料1 女川原子力発電所 2号炉における「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <table border="1" data-bbox="817 191 1164 973"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>設備</th> <th>重要度分類審査指針に基づく重要度</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-1</td> <td rowspan="2">その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備</td> <td rowspan="2">炉心及び炉心の抽出停止機能</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-4</td> <td rowspan="2">その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備</td> <td rowspan="2">炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重要度分類審査指針に基づいて、本表は必要事項を記載し、大飯発電所3号炉と女川原子力発電所2号炉とを比較して、大飯発電所3号炉の相違点を抽出している。</p>	分類	定義	機能	設備	重要度分類審査指針に基づく重要度	相違理由	PS-1	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心及び炉心の抽出停止機能	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	PS-4	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	<p>添付資料1 泊発電所 3号炉における「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <table border="1" data-bbox="1489 191 1870 1428"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>設備</th> <th>重要度分類審査指針に基づく重要度</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-1</td> <td rowspan="2">その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備</td> <td rowspan="2">炉心及び炉心の抽出停止機能</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-4</td> <td rowspan="2">その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備</td> <td rowspan="2">炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> <tr> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> <td>炉心抽出機</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当表から抽出された重要事項は、放射性物質の貯蔵又は閉じ込めに必要な機能の一の要素を考慮し、大飯発電所3号炉の重要事項を抽出している。</p>	分類	定義	機能	設備	重要度分類審査指針に基づく重要度	相違理由	PS-1	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心及び炉心の抽出停止機能	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	PS-4	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p>
分類	定義	機能	設備	重要度分類審査指針に基づく重要度	相違理由																																																						
PS-1	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心及び炉心の抽出停止機能	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
			炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
PS-4	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
			炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
分類	定義	機能	設備	重要度分類審査指針に基づく重要度	相違理由																																																						
PS-1	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心及び炉心の抽出停止機能	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
			炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
PS-4	その構造又は設備により発生する事故によって、(6)炉心の燃料の抽出、または炉心内の燃料の抽出を引起こすこととなるのある構造、系統及び設備	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					
			炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機	炉心抽出機																																																					

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>名称</th> <th>機能</th> <th>詳細</th> <th>大飯による機能等*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1</td> <td rowspan="2">貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td>2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2</td> <td rowspan="2">貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td>2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 本表から抽出した機能について、大飯による相違の理由 (又は大飯による相違の理由) の内容を記載し、大飯との相違の理由を詳細に説明し、大飯との相違の理由を記載する。</p>	分類	名称	機能	詳細	大飯による機能等*	第1	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*	2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*	第2	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*	2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>名称</th> <th>機能</th> <th>詳細</th> <th>大飯による機能等*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1</td> <td rowspan="2">貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td>2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2</td> <td rowspan="2">貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td>2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> </tbody> </table>	分類	名称	機能	詳細	大飯による機能等*	第1	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*	2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*	第2	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*	2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p>
分類	名称	機能	詳細	大飯による機能等*																																									
第1	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*																																									
		2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*																																									
第2	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*																																									
		2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*																																									
分類	名称	機能	詳細	大飯による機能等*																																									
第1	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*																																									
		2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*																																									
第2	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	1) 貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	貯蔵容器の構造 (貯蔵容器の構造)	大飯による機能等*																																									
		2) 貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	貯蔵容器の閉じ込め機能 (貯蔵容器の閉じ込め機能)	大飯による機能等*																																									

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

【女川】
 ■設計の相違
 設備及び設備構成の相違

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由

【女川】
 ■設計の相違
 設備及び設備構成の相違

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止 (別添1資料9 添付資料1 「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>表1 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>機能</th> <th>相違点、相違又は相違</th> <th>当該設備の設置位置</th> <th>当該設備の設置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</td> <td> <p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> </tr> </tbody> </table>	設備	仕様	機能	相違点、相違又は相違	当該設備の設置位置	当該設備の設置位置	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について	<p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>表1 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>機能</th> <th>相違点、相違又は相違</th> <th>当該設備の設置位置</th> <th>当該設備の設置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</td> <td> <p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> </tr> </tbody> </table>	設備	仕様	機能	相違点、相違又は相違	当該設備の設置位置	当該設備の設置位置	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について	<p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>PWR には当該機能を有する同一の設備がないため、記載が相違している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び設備構成の相違</p>
設備	仕様	機能	相違点、相違又は相違	当該設備の設置位置	当該設備の設置位置																						
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について	<p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>																						
設備	仕様	機能	相違点、相違又は相違	当該設備の設置位置	当該設備の設置位置																						
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について	<p>① 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>③ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>④ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>⑤ 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>																						

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表
 第8条 火災による損傷の防止 (別添1資料9 添付資料1 「重要度分類審査指針」に基づく放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>																																										
<table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は設備</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>大飯による機能説明*</th> </tr> <tr> <td>MS-1</td> <td> <p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>大飯による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> </tr> </table>	分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	大飯による機能説明*	MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>大飯による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は設備</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>女川による機能説明*</th> </tr> <tr> <td>MS-1</td> <td> <p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>女川による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> </tr> </table>	分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	女川による機能説明*	MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>女川による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は設備</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>設計又は設備仕様</th> <th>泊による機能説明*</th> </tr> <tr> <td>MS-1</td> <td> <p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> <td> <p>泊による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> </td> </tr> </table>	分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	泊による機能説明*	MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>泊による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p>
分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	大飯による機能説明*																																							
MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>大飯による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>																																							
分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	女川による機能説明*																																							
MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>女川による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>																																							
分類	定義	機能	構造物、系統又は設備	設計又は設備仕様	設計又は設備仕様	泊による機能説明*																																							
MS-1	<p>1) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>2) 原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p> <p>原子炉の停止後、原子炉冷却系に滞留する放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>泊による機能説明*</p> <p>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>																																							

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1" data-bbox="801 204 1218 1102"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は設備</th> <th>放射性物質貯蔵又は閉じ込め機能</th> <th>大飯による機能等*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯蔵</td> <td>放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵</td> <td>貯蔵容器の貯蔵機能</td> <td>貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))</td> <td>貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> <tr> <td>貯蔵</td> <td>放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵</td> <td>貯蔵容器の貯蔵機能</td> <td>貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))</td> <td>貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))</td> <td>大飯による機能等*</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 大飯発電所3号炉と大飯発電所4号炉において、大飯による放射性物質の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵機能は、大飯発電所3号炉と大飯発電所4号炉に共通して実施される。</p>	分類	定義	機能	構築物、系統又は設備	放射性物質貯蔵又は閉じ込め機能	大飯による機能等*	貯蔵	放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵	貯蔵容器の貯蔵機能	貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	大飯による機能等*	貯蔵	放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵	貯蔵容器の貯蔵機能	貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	大飯による機能等*		
分類	定義	機能	構築物、系統又は設備	放射性物質貯蔵又は閉じ込め機能	大飯による機能等*																
貯蔵	放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵	貯蔵容器の貯蔵機能	貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	大飯による機能等*																
貯蔵	放射性物質貯蔵容器の貯蔵又は貯蔵中の放射性物質の貯蔵	貯蔵容器の貯蔵機能	貯蔵容器 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	貯蔵容器の貯蔵機能 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式、貯蔵容器内蔵式 (貯蔵容器本体、貯蔵容器内蔵式))	大飯による機能等*																
			<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び設備構成の相違</p>																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>大飯原子力発電所3号炉 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>女川原子力発電所2号炉 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>相違理由</p>
<p>大飯原子力発電所3号炉 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>女川原子力発電所2号炉 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>泊発電所3号炉 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能並びに系統の抽出について</p>	<p>相違理由</p>

【女川】
 ■設計の相違
 設備及び設備構成の相違

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<p>図1 重要度分類審査指針</p> <table border="1" data-bbox="808 197 1218 979"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能</th> <th>相違</th> <th>重要度</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 高</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 中</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 低</td> <td>相違理由なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 重要度分類審査指針に基づき、重要度分類が異なる設備間の相違については、重要度分類が低い側の設備に適合性を評価する。</p>	設備	機能	相違	重要度	相違理由	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 高	相違理由なし	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 中	相違理由なし	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 低	相違理由なし	<table border="1" data-bbox="1391 197 1899 1254"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能</th> <th>相違</th> <th>重要度</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 高</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 中</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)</td> <td>重要度 低</td> <td>相違理由なし</td> </tr> </tbody> </table>	設備	機能	相違	重要度	相違理由	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 高	相違理由なし	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 中	相違理由なし	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 低	相違理由なし	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び設備構成の相違</p>
設備	機能	相違	重要度	相違理由																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 高	相違理由なし																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 中	相違理由なし																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 低	相違理由なし																																							
設備	機能	相違	重要度	相違理由																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 高	相違理由なし																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 中	相違理由なし																																							
炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	炉内貯蔵容器の貯蔵機能 (炉内貯蔵容器の貯蔵機能)	重要度 低	相違理由なし																																							

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<p>表1 重要度分類審査指針に基づく重要度分類の適用状況 (注) 1 重要度分類の適用状況は、本表の記載事項に基づき、審査指針の適用状況を示す。</p> <table border="1" data-bbox="795 191 1232 941"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>設備</th> <th>機能</th> <th>重要度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>1</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>2</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>3</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 重要度分類の適用状況は、本表の記載事項に基づき、審査指針の適用状況を示す。</p>	評価	設備	機能	重要度	備考	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	<p>表1 重要度分類審査指針に基づく重要度分類の適用状況 (注) 1 重要度分類の適用状況は、本表の記載事項に基づき、審査指針の適用状況を示す。</p> <table border="1" data-bbox="1400 191 1926 1228"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>設備</th> <th>機能</th> <th>重要度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>1</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>2</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> <td>3</td> <td>炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 重要度分類の適用状況は、本表の記載事項に基づき、審査指針の適用状況を示す。</p>	評価	設備	機能	重要度	備考	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p>
評価	設備	機能	重要度	備考																																							
1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							
2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							
3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							
評価	設備	機能	重要度	備考																																							
1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	1	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							
2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	2	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							
3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	炉内炉外排気機能 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)	3	炉内炉外排気設備 (炉内排気機、炉外排気機、炉内排気管、炉外排気管、炉内排気筒、炉外排気筒、炉内排気弁、炉外排気弁、炉内排気弁駆動機、炉外排気弁駆動機、炉内排気弁駆動機駆動機、炉外排気弁駆動機駆動機)																																							

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>記載</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は機器</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様との相違</th> <th>設計仕様との相違</th> <th>設計仕様との相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> </tbody> </table>	分類	記載	機能	構造物、系統又は機器	設計仕様	設計仕様との相違	設計仕様との相違	設計仕様との相違	1	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	2	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	3	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	4	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>記載</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は機器</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様との相違</th> <th>設計仕様との相違</th> <th>設計仕様との相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> <td>タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース</td> </tr> </tbody> </table>	分類	記載	機能	構造物、系統又は機器	設計仕様	設計仕様との相違	設計仕様との相違	設計仕様との相違	1	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	2	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	3	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	4	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p> <p>【女川】 ■設備の相違 炉型の相違による設備の相違</p>
分類	記載	機能	構造物、系統又は機器	設計仕様	設計仕様との相違	設計仕様との相違	設計仕様との相違																																																																												
1	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
2	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
3	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
4	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
分類	記載	機能	構造物、系統又は機器	設計仕様	設計仕様との相違	設計仕様との相違	設計仕様との相違																																																																												
1	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
2	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
3	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												
4	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	日原子炉停止時の放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース	タービンライバース タービンライバース タービンライバース タービンライバース																																																																												

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">名称</th> <th style="width: 15%;">機能</th> <th style="width: 15%;">相違</th> <th style="width: 15%;">理由</th> </tr> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> </tr> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">*本表は、比較対象となる設備の名称が異なる場合、括弧内に記載した名称で記載している場合があります。</p>	名称	機能	相違	理由	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">名称</th> <th style="width: 15%;">機能</th> <th style="width: 15%;">相違</th> <th style="width: 15%;">理由</th> </tr> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> </tr> <tr> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">*本表は、比較対象となる設備の名称が異なる場合、括弧内に記載した名称で記載している場合があります。</p>	名称	機能	相違	理由	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>PWR には当該機能を有する同一の設備がないため、記載が相違している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び設備構成の相違</p>
名称	機能	相違	理由																								
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能																								
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能																								
名称	機能	相違	理由																								
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能																								
放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料9 添付資料2 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための機器リスト）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料2	泊発電所3号炉 添付資料2	相違理由
	<p>女川原子力発電所 2号炉における 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成 するための機器リスト</p>	<p>泊発電所 3号炉における 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成 するための機器リスト</p>	<p>色識別について ・大飯は泊との相違 ・女川は泊との相違 ・泊は女川との相違 を識別する。 【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
	<p style="text-align: center;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための機器リスト</p> <p style="text-align: center;"><small>①以下の機器は実質的な相違なしとする。 ②火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策 ③消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</small></p> <table border="1" data-bbox="734 316 1303 933"> <thead> <tr> <th>系統又は設備名称</th> <th>機器</th> <th>機能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>012</td> <td>配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機</td> <td>配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機</td> <td>① 火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</td> </tr> <tr> <td>011</td> <td>気体廃棄物処理系</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に必要であることから、設備の重要部分に防火設備の設置を行う。閉鎖した扉を閉鎖することにより、火災発生時に放射性物質の漏れを防止し、火災発生時に火災の影響を軽減する。③ 火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能が喪失する。このため、火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施する。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>使用済燃料プール</td> <td>使用済燃料プール (使用済燃料貯蔵ラックを含む。)</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>P13-A01</td> <td>遠方対策タンク</td> <td>容器</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>K12</td> <td>液体廃棄物処理系 (DOK)</td> <td>配管、容器、ろ過機、貯蔵機、サンプル機</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>K13</td> <td>液体廃棄物処理系 (DOK)</td> <td>配管、タンク、濃縮機、ろ過機、貯蔵機</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>固体廃棄物貯蔵庫 (ドラム型)</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>新燃料貯蔵庫</td> <td>新燃料貯蔵庫</td> <td>② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> </tbody> </table>	系統又は設備名称	機器	機能	備考	012	配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機	配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機	① 火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。	011	気体廃棄物処理系	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に必要であることから、設備の重要部分に防火設備の設置を行う。閉鎖した扉を閉鎖することにより、火災発生時に放射性物質の漏れを防止し、火災発生時に火災の影響を軽減する。③ 火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能が喪失する。このため、火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施する。	-	使用済燃料プール	使用済燃料プール (使用済燃料貯蔵ラックを含む。)	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	P13-A01	遠方対策タンク	容器	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	K12	液体廃棄物処理系 (DOK)	配管、容器、ろ過機、貯蔵機、サンプル機	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	K13	液体廃棄物処理系 (DOK)	配管、タンク、濃縮機、ろ過機、貯蔵機	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	-	固体廃棄物処理系	固体廃棄物貯蔵庫 (ドラム型)	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	-	新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	<p style="text-align: center;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <p style="text-align: center;"><small>※ 以下の対策を実施する設計とする。 ① 火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策 ② 消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</small></p> <table border="1" data-bbox="1348 252 1962 1018"> <thead> <tr> <th>系統又は設備名称</th> <th>機器</th> <th>機能</th> <th>対策</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気体廃棄物処理系</td> <td>活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>①</td> <td>火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット</td> <td>使用済燃料ピット (使用済燃料貯蔵ピットを含む)</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>新燃料貯蔵庫</td> <td>新燃料貯蔵庫</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>加圧器過剰タンク</td> <td>容器</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>タンク、サンプ、ピット</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空気作動弁</td> <td>放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。</td> </tr> </tbody> </table>	系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考	気体廃棄物処理系	活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。	使用済燃料ピット	使用済燃料ピット (使用済燃料貯蔵ピットを含む)	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	加圧器過剰タンク	容器	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	液体廃棄物処理系	タンク、サンプ、ピット	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。		空気作動弁	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び設備構成の相違</p>
系統又は設備名称	機器	機能	備考																																																																							
012	配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機	配管、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機、排ガス冷却機、排ガス再熱機	① 火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。																																																																							
011	気体廃棄物処理系	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に必要であることから、設備の重要部分に防火設備の設置を行う。閉鎖した扉を閉鎖することにより、火災発生時に放射性物質の漏れを防止し、火災発生時に火災の影響を軽減する。③ 火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能が喪失する。このため、火災発生時に放射線モニタが機能しないことにより、火災の発生防止対策、火災の感知・消火対策及び火災の影響軽減対策を実施する。																																																																							
-	使用済燃料プール	使用済燃料プール (使用済燃料貯蔵ラックを含む。)	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
P13-A01	遠方対策タンク	容器	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
K12	液体廃棄物処理系 (DOK)	配管、容器、ろ過機、貯蔵機、サンプル機	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
K13	液体廃棄物処理系 (DOK)	配管、タンク、濃縮機、ろ過機、貯蔵機	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
-	固体廃棄物処理系	固体廃棄物貯蔵庫 (ドラム型)	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
-	新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫	② 当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																							
系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考																																																																						
気体廃棄物処理系	活性炭式希ガスホールドアップ塔、ガスサージタンク	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。																																																																						
使用済燃料ピット	使用済燃料ピット (使用済燃料貯蔵ピットを含む)	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																						
新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																						
加圧器過剰タンク	容器	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																						
液体廃棄物処理系	タンク、サンプ、ピット	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																						
	空気作動弁	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を与えるものではない。																																																																						

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 添付資料2 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を達成するための機器リスト)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統又は設備名称</th> <th>機器</th> <th>機能</th> <th>対策</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T11-001</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>①</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>T11</td> <td>原子炉格納容器隔離扉</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>E11</td> <td>原子炉格納容器大プレイ冷却系</td> <td>配管、電動弁、ポンプ</td> <td>②</td> <td>原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>U71</td> <td>原子炉建屋</td> <td>建屋</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>V10</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>T46</td> <td>放射線ガス処理系</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>①</td> <td>火災時における原子炉建屋の真正建物の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</td> </tr> <tr> <td>T49</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>フロー、加圧機、再結合器、冷却器、汽水分離器、電動弁</td> <td>②</td> <td>原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>E11</td> <td>非常用冷却水系(機器格納池系)</td> <td>配管、ポンプ、熱交換機、放射線遮蔽、電動弁</td> <td>②</td> <td>放射線遮蔽が喪失しても、非常用冷却プールの本目が過剰水位で低下するまでに時間的余裕があり、その間に電動弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>M2</td> <td>放射性気体廃棄物処理系の隔離弁</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>①</td> <td>火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づき火災防護対策を実施する。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>放射線</td> <td>放射線</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> </tbody> </table>	系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考	T11-001	原子炉格納容器	放射線遮蔽	①	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	T11	原子炉格納容器隔離扉	放射線遮蔽	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。	E11	原子炉格納容器大プレイ冷却系	配管、電動弁、ポンプ	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。	U71	原子炉建屋	建屋	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	V10	原子炉格納容器隔離弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	T46	放射線ガス処理系	放射線遮蔽	①	火災時における原子炉建屋の真正建物の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。	T49	可燃性ガス濃度制御系	フロー、加圧機、再結合器、冷却器、汽水分離器、電動弁	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。	E11	非常用冷却水系(機器格納池系)	配管、ポンプ、熱交換機、放射線遮蔽、電動弁	②	放射線遮蔽が喪失しても、非常用冷却プールの本目が過剰水位で低下するまでに時間的余裕があり、その間に電動弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	M2	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁	放射線遮蔽	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づき火災防護対策を実施する。	-	放射線	放射線	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	<p>※ 以下の対策を実施する設計とする。 ① 火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策 ② 消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統又は設備名称</th> <th>機器</th> <th>機能</th> <th>対策</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>使用済燃料貯蔵タンク、セメント固化装置</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>前燃料貯蔵庫</td> <td>前燃料貯蔵庫</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>容器</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>空気電動弁、電動弁、安全弁</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>空気電動弁、電動弁、安全弁</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 以下の対策を実施する設計とする。 ① 火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策 ② 消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統又は設備名称</th> <th>機器</th> <th>機能</th> <th>対策</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器スプレイ系</td> <td>配管、電動弁、冷却器、セット、タンク、サンブ、ポンプ</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>アニュウス空気浄化系</td> <td>フィルタユニット、ファン、ダクト、ダンパ</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>②</td> <td>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。</td> </tr> <tr> <td>燃料取付用水系</td> <td>ピット、ポンプ</td> <td>燃料プール水の補給機能</td> <td>②</td> <td>当該系統の機能が喪失しても、使用済燃料ピットの水位が遊へい水位まで低下するまでに時間的余裕があり、その間に弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>放射性廃棄物処理系の隔離弁</td> <td>空気電動弁</td> <td>放射線遮蔽</td> <td>①</td> <td>火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考	固体廃棄物処理系	使用済燃料貯蔵タンク、セメント固化装置	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	前燃料貯蔵庫	前燃料貯蔵庫	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	原子炉格納容器	容器	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	原子炉格納容器隔離弁	空気電動弁、電動弁、安全弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	原子炉格納容器隔離弁	空気電動弁、電動弁、安全弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考	格納容器スプレイ系	配管、電動弁、冷却器、セット、タンク、サンブ、ポンプ	放射線遮蔽	②	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。	アニュウス空気浄化系	フィルタユニット、ファン、ダクト、ダンパ	放射線遮蔽	②	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。	燃料取付用水系	ピット、ポンプ	燃料プール水の補給機能	②	当該系統の機能が喪失しても、使用済燃料ピットの水位が遊へい水位まで低下するまでに時間的余裕があり、その間に弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。	放射性廃棄物処理系の隔離弁	空気電動弁	放射線遮蔽	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。	<p>【女川】 ■設計の相違 設備及び設備構成の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は固体廃棄物処理設備についても火災防護審査基準に基づく火災防護対策を実施。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 PWR には当該機能を有する同一の設備がないため、記載が相違している。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 PWR には当該機能を有する同一の設備がないため、記載が相違している。</p>
系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考																																																																																																													
T11-001	原子炉格納容器	放射線遮蔽	①	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
T11	原子炉格納容器隔離扉	放射線遮蔽	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。																																																																																																													
E11	原子炉格納容器大プレイ冷却系	配管、電動弁、ポンプ	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。																																																																																																													
U71	原子炉建屋	建屋	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
V10	原子炉格納容器隔離弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
T46	放射線ガス処理系	放射線遮蔽	①	火災時における原子炉建屋の真正建物の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。																																																																																																													
T49	可燃性ガス濃度制御系	フロー、加圧機、再結合器、冷却器、汽水分離器、電動弁	②	原子炉の安全停止機能を実現する機器等に放射線遮蔽を構成することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の安全停止が可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。																																																																																																													
E11	非常用冷却水系(機器格納池系)	配管、ポンプ、熱交換機、放射線遮蔽、電動弁	②	放射線遮蔽が喪失しても、非常用冷却プールの本目が過剰水位で低下するまでに時間的余裕があり、その間に電動弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
M2	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁	放射線遮蔽	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づき火災防護対策を実施する。																																																																																																													
-	放射線	放射線	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考																																																																																																													
固体廃棄物処理系	使用済燃料貯蔵タンク、セメント固化装置	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
前燃料貯蔵庫	前燃料貯蔵庫	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
原子炉格納容器	容器	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
原子炉格納容器隔離弁	空気電動弁、電動弁、安全弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
原子炉格納容器隔離弁	空気電動弁、電動弁、安全弁	放射線遮蔽	②	当該機器は不燃材で構成されており、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
系統又は設備名称	機器	機能	対策	備考																																																																																																													
格納容器スプレイ系	配管、電動弁、冷却器、セット、タンク、サンブ、ポンプ	放射線遮蔽	②	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。																																																																																																													
アニュウス空気浄化系	フィルタユニット、ファン、ダクト、ダンパ	放射線遮蔽	②	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持する機能を有する機器等に火災防護対策を実施することにより、火災により想定される事象が発生しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であり、放射線遮蔽が放出されるおそれはない。																																																																																																													
燃料取付用水系	ピット、ポンプ	燃料プール水の補給機能	②	当該系統の機能が喪失しても、使用済燃料ピットの水位が遊へい水位まで低下するまでに時間的余裕があり、その間に弁の駆動操作等によって機能を回復することができ、火災により放射線遮蔽の貯蔵又は閉じ込め機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																													
放射性廃棄物処理系の隔離弁	空気電動弁	放射線遮蔽	①	火災時における放射性物質の放出リスク低減の観点から、「火災防護に係る審査基準」に基づく火災防護対策を実施する。																																																																																																													

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋))

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」 (抜粋)	添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」 (抜粋)	色識別について ・大飯は泊との相違 ・女川は泊との相違 ・泊は女川との相違を識別する。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋))

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料3	泊発電所3号炉 添付資料3	相違理由
	<p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(2) 消火設備</p> <p>① 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域または火災区画であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> <p>② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> <p>③ 消火用水供給系の水源及び消火ポンプ系は、多重性又は多様性を備えた設計であること。</p> <p>④ 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器相互の系統分離を行うために設けられた火災区域又は火災区画に設置される消火設備は、系統分離に応じた独立性を備えた設計であること。</p> <p>⑤ 消火設備は、火災の火炎、熱による直接的な影響のみならず、煙、流出流体、断線、爆発等による二次的影響が安全機能を有する構築物、系統及び機器に悪影響を及ぼさないように設置すること。</p> <p>⑥ 可燃性物質の性状を踏まえ、想定される火災の性質に応じた十分な容量の消火剤を備えること。</p> <p>⑦ 移動式消火設備を配備すること。</p> <p>⑧ 消火剤に水を使用する消火設備は、2時間の最大放水量を確保できる設計であること。</p> <p>⑨ 消火用水供給系をサービス系または水道水系と共用する場合には、隔離弁等を設置して遮断する等の措置により、消火用水の供給を優先する設計であること。</p> <p>⑩ 消火設備は、故障警報を中央制御室に吹鳴する設計である</p>	<p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(2) 消火設備</p> <p>①消火設備については、以下に掲げるところによること。</p> <p>a. 消火設備は、火災の火炎及び熱による直接的な影響のみならず、煙、流出流体、断線、爆発等による二次的影響が安全機能を有する構築物、系統及び機器に悪影響を及ぼさないように設置すること。</p> <p>b. 可燃性物質の性状を踏まえ、想定される火災の性質に応じた十分な容量の消火剤を備えること。</p> <p>c. 消火栓は、全ての火災区域の消火活動に対処できるよう配置すること。</p> <p>d. 移動式消火設備を配備すること。</p> <p>e. 消火設備は、外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>f. 消火設備は、故障警報を中央制御室に吹鳴する設計であること。</p> <p>g. 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器相互の系統分離を行うために設けられた火災区域又は火災区画に設置される消火設備は、系統分離に応じた独立性を備えた設計であること。</p> <p>h. 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域又は火災区画であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> <p>i. 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難な</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊は改正後の火災防護審査基準を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>こと。</p> <p>⑪ 消火設備は、外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>⑫ 消火栓は、全ての火災区域の消火活動に対処できるよう配置すること。</p> <p>⑬ 固定式のガス系消火設備は、作動前に職員等の退出ができるように警報を吹鳴させる設計であること。</p> <p>⑭ 管理区域内で消火設備から消火剤が放出された場合に、放射性物質を含むおそれのある排水が管理区域外へ流出することを防止する設計であること。</p> <p>⑮ 電源を内蔵した消火設備の操作等に必要な照明器具を、必要な火災区域及びその出入通路に設置すること。</p> <p>(参考)</p> <p>(2) 火災感知設備について</p> <p>①-1 手動操作による固定式消火設備を設置する場合は、早期に消火設備の起動が可能となるよう中央制御室から消火設備を起動できるように設計されていること。</p> <p>上記の対策を講じた上で、中央制御室以外の火災区域又は火災区画に消火設備の起動装置を設置することは差し支えない。</p> <p>①-2 自動消火設備にはスプリンクラー設備、水噴霧消火設備及びガス系消火設備（自動起動の場合に限る。）があり、手動操作による固定式消火設備には、ガス系消火設備等がある。中央制御室のように常時人がいる場所には、ハロン1301を除きガス系消火設備が設けられていないことを確認すること。</p> <p>④ 「系統分離に応じた独立性」とは、原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器が系統分離を行うため複数の火災区域又は火災区画に分離して設置されている場合に、それらの火災区域又は火災区画に設置された消火設備が、消火ポンプ系（その電源を含む。）等の動的機器の単一故障により、同時に機能を喪失することがないことをいう。</p> <p>⑦ 移動式消火設備については、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（昭和53年通商産業省令第77号）第8</p>	<p>ところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> <p>j. 電源を内蔵した消火設備の操作等に必要な照明器具を、必要な火災区域及びその出入通路に設置すること。</p> <p>②消火剤に水を使用する消火設備については、①に掲げるところによるほか、以下に掲げるところによること。</p> <p>a. 消火用水供給系の水源及び消火ポンプ系は、多重性又は多様性を備えた設計である</p> <p>b. 2時間の最大放水量を確保できる設計であること。</p> <p>c. 消火用水供給系をサービス系又は水道水系と共用する場合には、隔離弁等を設置して遮断する等の措置により、消火用水の供給を優先する設計であること。</p> <p>d. 管理区域内での消火設備から消火剤が放出された場合に、放射性物質を含むおそれのある排水が管理区域外へ流出することを防止する設計であること。</p> <p>(参考)</p> <p>(2) 消火設備について</p> <p>①-d 移動式消火設備については、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（昭和53年通商産業省令第77号）第83条第5号を踏まえて設置されていること。</p> <p>①-g 「系統分離に応じた独立性」とは、原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器が系統分離を行うため複数の火災区域又は火災区画に分離して設置されている場合に、それらの火災区域又は火災区画に設置された消火設備が、消火ポンプ系（その電源を含む。）等の動的機器の単一故障により、同時に機能を喪失することがないことをいう。</p> <p>①-h-1 手動操作による固定式消火設備を設置する場合は、早期に消火設備の起動が可能となるよう中央制御室から消火設備を起動できるように設計されていること。</p> <p>上記の対策を講じた上で、中央制御室以外の火災区域又は火災区画に消火設備の起動装置を設置することは差し支えない。</p> <p>①-h-2 自動消火設備にはスプリンクラー設備、水噴霧消火設備及びガス系消火設備（自動起動の場合に限る。）があり、手動操作による固定式消火設備には、ガス系消火設備等がある。中央制御室のように常時人がいる場所</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊は改正後の火災防護審査基準を記載している。</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表
 第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料9 添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋))

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>5条の5」を踏まえて設置されていること。</p> <p>⑧ 消火設備のための必要水量は、要求される放水時間及び必要圧力での最大流量を基に設計されていること。この最大流量は、要求される固定式消火設備及び手動消火設備の最大流量を合計したものであること。</p> <p>なお、最大放水量の継続時間としての2時間は、米国原子力規制委員会(NRC)が定める Regulatory Guide 1.189 で規定されている値である。</p> <p>上記の条件で設定された防火水槽の必要容量は、Regulatory Guide 1.189 では 1,136,000 リットル (1,136m³) 以上としている。</p>	<p>には、ハロン1301を除きガス系消火設備が設けられていないことを確認すること。</p> <p>②-b 消火設備のための必要水量は、要求される放水時間及び必要圧力での最大流量を基に設計されていること。この最大流量は、要求される固定式消火設備及び手動消火設備の最大流量を合計したものであること。</p> <p>なお、最大放水量の継続時間としての2時間は、米国原子力規制委員会(NRC)が定める Regulatory Guide 1.189 で規定されている値である。</p> <p>上記の条件で設定された防火水槽の必要容量は、Regulatory Guide 1.189 では 1,136,000 リットル (1,136m³) 以上としている。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊は改正後の火災防護審査基準に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">資料10</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 内部火災影響評価について</p> <p style="text-align: center;">＜目次＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. 要求事項 3. 内部火災影響評価手順の概要 4. 火災区画特性表の作成（情報及びデータの収集・整理） <ol style="list-style-type: none"> 4.1. 火災区画の特定 4.2. 火災区画の火災ハザードの特定 4.3. 火災区画の防火設備 4.4. 隣接火災区画への火災伝播経路 4.5. 火災により影響を受ける火災防護対象機器の特定 4.6. 火災により影響を受ける火災防護対象ケーブルの特定 4.7. 火災シナリオの設定 5. 一次スクリーニング <ol style="list-style-type: none"> 5.1. 隣接火災区画との境界の開口の確認 5.2. 等価時間と耐火時間の比較 6. 二次スクリーニング <ol style="list-style-type: none"> 6.1. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価 <ol style="list-style-type: none"> 6.1.1. 安全停止パスの確認 6.1.2. スクリーンアウトされる火災区画 6.1.3. スクリーンアウトされない火災区画 6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価 <ol style="list-style-type: none"> 6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認 6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認 6.2.3. 安全停止パスの確認 6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画 6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画 	<p style="text-align: right;">資料10</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 内部火災影響評価について</p> <p style="text-align: center;">＜目次＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. 要求事項 3. 内部火災影響評価手順の概要 4. 火災区画特性表の作成（情報及びデータの収集・整理） <ol style="list-style-type: none"> 4.1. 火災区画の特定 4.2. 火災区画の火災ハザードの特定 4.3. 火災区画の防火設備 4.4. 隣接火災区画への火災伝播経路 4.5. 火災により影響を受ける火災防護対象機器の特定 4.6. 火災により影響を受ける火災防護対象ケーブルの特定 4.7. 火災シナリオの設定 5. 一次スクリーニング <ol style="list-style-type: none"> 5.1. 隣接火災区画との境界の開口の確認 5.2. 等価時間と耐火時間の比較 6. 二次スクリーニング <ol style="list-style-type: none"> 6.1. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価 <ol style="list-style-type: none"> 6.1.1. 安全停止パスの確認 6.1.2. スクリーンアウトされる火災区画 6.1.3. スクリーンアウトされない火災区画 6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価 <ol style="list-style-type: none"> 6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認 6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認 6.2.3. 安全停止パスの確認 6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画 6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画 	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング（隣接火災区画への火災伝播評価）</p> <p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>添付資料1 女川原子力発電所 2号炉における火災区画番号について</p> <p>添付資料2 女川原子力発電所 2号炉における内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p>添付資料3 女川原子力発電所 2号炉の火災区画特性表の例</p> <p>添付資料4 女川原子力発電所 2号炉における隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>添付資料5 女川原子力発電所 2号炉における隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価</p> <p>添付資料6 女川原子力発電所 2号炉における火災区画内の火災影響評価結果</p> <p>参考資料1 女川原子力発電所 2号炉における内部火災により想定される事象の確認結果</p>	<p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング（隣接火災区画への火災伝播評価）</p> <p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>添付資料1 泊発電所 3号炉における火災区画番号について</p> <p>添付資料2 泊発電所 3号炉における内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p>添付資料3 泊発電所 3号炉の火災区画特性表の例</p> <p>添付資料4 泊発電所 3号炉における隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>添付資料5 泊発電所 3号炉における隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価</p> <p>添付資料6 泊発電所 3号炉における火災区画内の火災影響評価結果</p> <p>参考資料1 泊発電所 3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>
<p>資料7</p> <p>火災影響評価</p>	<p>資料10</p> <p>女川原子力発電所 2号炉における内部火災影響評価について</p>	<p>資料10</p> <p>泊発電所 3号炉における内部火災影響評価について</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 概要</p> <p>火災の影響軽減のために設置する隔壁等・火災感知設備・自動消火設備、設備等の可燃物の状況を踏まえ、原子炉施設内での火災を想定しても、原子炉が安全に停止できることを確認する。</p>	<p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）は、発電用原子炉施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、必要な火災防護対策を要求しており、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（以下「内部火災影響評価ガイド」という。）では、これらの要求に基づく火災防護対策により、発電用原子炉施設内で火災が発生しても、原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能が確保されることを確認するために実施する内部火災影響評価の手順の一例が示されている。</p> <p>本資料では、女川原子力発電所2号炉に対して「内部火災影響評価ガイド」を参照して内部火災影響評価を行い、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であることを確認する。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>内部火災影響評価は、「火災防護審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」の2.3.2に基づき実施することが要求されている。</p>	<p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）は、発電用原子炉施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、必要な火災防護対策を要求しており、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（以下「内部火災影響評価ガイド」という。）では、これらの要求に基づく火災防護対策により、発電用原子炉施設内で火災が発生しても、原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能が確保されることを確認するために実施する内部火災影響評価の手順の一例が示されている。</p> <p>本資料では、泊発電所3号炉に対して「内部火災影響評価ガイド」を参照して内部火災影響評価を行い、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であることを確認する。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>内部火災影響評価は、「火災防護審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」の2.3.2に基づき実施することが要求されている。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.3.2 原子炉施設内のいかなる火災によっても、安全保護系及び原子炉停止系の作動が要求される場合には、火災による影響を考慮しても、多重化されたそれぞれの系統が同時に機能を失うことなく、原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であること。</p> <p>また、原子炉の高温停止および低温停止が達成できることを、火災影響評価により確認すること。</p> <p>(火災影響評価の具体的手法は「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」による。)</p> <p>(参考) 「高温停止及び低温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態及び低温停止状態の達成、維持に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>また、いかなる火災によっても原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であることを確認する際、原子炉の安全確保の観点により、内部火災影響評価ガイドにおいて要求される以下の事項を考慮する。</p>	<p>2.3.2 原子炉施設内のいかなる火災によっても、安全保護系及び原子炉停止系の作動が要求される場合には、火災による影響を考慮しても、多重化されたそれぞれの系統が同時に機能を失うことなく、原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であること。</p> <p>また、原子炉の高温停止および低温停止が達成できることを、火災影響評価により確認すること。</p> <p>(火災影響評価の具体的手法は「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」による。)</p> <p>(参考) 「高温停止及び低温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態及び低温停止状態の達成、維持に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>また、いかなる火災によっても原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であることを確認する際、原子炉の安全確保の観点により、内部火災影響評価ガイドにおいて要求される以下の事項を考慮する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>4. 火災時の原子炉の安全確保</p> <p>3. に想定する火災に対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉の安全停止に必要な機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（信頼性要求に基づき独立性が確保され、多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）。 <p>内部火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（火災）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p> <p>なお、「発電用軽水型原子炉施設の火災防護に関する審査指針（以下「火災防護審査指針」）では下記のとおり要求されている。</p>	<p>4. 火災時の原子炉の安全確保</p> <p>3. に想定する火災に対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉の安全停止に必要な機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（信頼性要求に基づき独立性が確保され、多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）。 <p>内部火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（火災）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p> <p>なお、「発電用軽水型原子炉施設の火災防護に関する審査指針（以下「火災防護審査指針」）では下記のとおり要求されている。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 （女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3-2 原子炉施設内のいかなる場所の想定される火災に対しても、この火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、単一故障を仮定しても、原子炉を高温停止できる設計であること。低温停止に必要な系統は、原子炉施設内のいかなる場所の想定される火災によっても、その機能を失わない設計であること。</p> <p>(解説)</p> <p>(1) 3-2の要求事項は、安全設計審査指針の指針9. に定める原子炉施設一般の要求事項である信頼性に関する設計上の考慮における考え方を、火災による外乱発生時にも適用したものである。「単一故障を仮定」とは、想定される火災により出力運転中の原子炉に外乱が及び、原子炉を速やかに停止し、かつ、停止状態を維持する必要が生じた場合、高温停止のため新たに作動が要求される安全保護系、原子炉停止系の機器に単一故障 (原子炉又は蒸気発生器に給水する系統の機器の新たな作動が要求される場合には、その系統の機器に単一故障) を仮定することを要求するものである。大規模な地震等の苛酷な自然現象の発生により火災が発生する可能性が1-3の措置を講じることにより十分低減されている構築物、系統及び機器で火災が発生し、又は当該自然現象と無関係に火災が発生する場合については、当該火災と無関係な故障まで考慮する必要はない。</p>	<p>3-2 原子炉施設内のいかなる場所の想定される火災に対しても、この火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、単一故障を仮定しても、原子炉を高温停止できる設計であること。低温停止に必要な系統は、原子炉施設内のいかなる場所の想定される火災によっても、その機能を失わない設計であること。</p> <p>(解説)</p> <p>(1) 3-2の要求事項は、安全設計審査指針の指針9. に定める原子炉施設一般の要求事項である信頼性に関する設計上の考慮における考え方を、火災による外乱発生時にも適用したものである。「単一故障を仮定」とは、想定される火災により出力運転中の原子炉に外乱が及び、原子炉を速やかに停止し、かつ、停止状態を維持する必要が生じた場合、高温停止のため新たに作動が要求される安全保護系、原子炉停止系の機器に単一故障 (原子炉又は蒸気発生器に給水する系統の機器の新たな作動が要求される場合には、その系統の機器に単一故障) を仮定することを要求するものである。大規模な地震等の苛酷な自然現象の発生により火災が発生する可能性が1-3の措置を講じることにより十分低減されている構築物、系統及び機器で火災が発生し、又は当該自然現象と無関係に火災が発生する場合については、当該火災と無関係な故障まで考慮する必要はない。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 火災影響評価の手順</p> <p>火災影響評価は、火災区域/火災区画内の火災防護対象機器等の情報を収集の上、火災区画特性表に整理することから始める。</p> <p>火災影響評価を効率的に進めるために、原子炉の高温停止、低温停止に及ぼす影響の観点からスクリーニングを行い、スクリーンアウトされなかった火災区域（区画）について、火災の影響を考慮しても、多重化された両系統の火災防護対象機器が喪失しないかを確認する。この確認により、高温停止、低温停止の達成、維持のために必要な多重化された系統のうち、少なくとも1系統の機能が確保されること（成功パスの成立）が確認される。</p>	<p>(2)「高温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態の達成に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>(3)「その機能を失わない設計であること」とは、低温状態に移行する場合にあっては低温停止に必要な系統のうち少なくとも一つは機能すること、低温状態を維持する場合にあっては低温停止状態が維持されることをいう。</p> <p>3. 内部火災影響評価手順の概要</p> <p>「内部火災影響評価ガイド」を参照して実施した女川原子力発電所2号炉の内部火災影響評価の手順の概要を示す。（第10-1 図参照）</p> <p>火災区画は、火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブル（以下、「ターゲット」という）の設置状況を考慮し各建屋に設定する。（資料3）設定した各火災区画について、「情報及びデータ収集・整理」として、可燃性物質、機器、ケーブル、隣接区画との関係等を調査し、各火災区画の特徴を示す「火災区画特性表」を作成する。</p> <p>一次スクリーニングとして、当該火災区画の火災影響評価を実施する前に隣接火災区画への火災伝播評価を実施し、隣接火災区画への影響の有無を確認する。</p> <p>一次スクリーニングの結果、「隣接火災区画に影響を与えない火災区画」については、二次スクリーニングとして、当該火災区画内の全可燃性物質の燃焼、全機器の機能喪失を想定し、原子炉の安全停止に必要な成功パス（以下「安全停止パス」という。）の有無を確認する。安全停止パスが少なくとも一つ確保され、原子炉の安全停止が可能であれば当該火災区画をスクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、当該火災区画に設置されたターゲットが「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の対象か否かを確認する。</p>	<p>(2)「高温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態の達成に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>(3)「その機能を失わない設計であること」とは、低温状態に移行する場合にあっては低温停止に必要な系統のうち少なくとも一つは機能すること、低温状態を維持する場合にあっては低温停止状態が維持されることをいう。</p> <p>3. 内部火災影響評価手順の概要</p> <p>「内部火災影響評価ガイド」を参照して実施した泊発電所3号炉の内部火災影響評価の手順の概要を示す。（第10-1 図参照）</p> <p>火災区画は、火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブル（以下、「ターゲット」という）の設置状況を考慮し各建屋に設定する。（資料3）設定した各火災区画について、「情報及びデータ収集・整理」として、可燃性物質、機器、ケーブル、隣接区画との関係等を調査し、各火災区画の特徴を示す「火災区画特性表」を作成する。</p> <p>一次スクリーニングとして、当該火災区画の火災影響評価を実施する前に隣接火災区画への火災伝播評価を実施し、隣接火災区画への影響の有無を確認する。</p> <p>一次スクリーニングの結果、「隣接火災区画に影響を与えない火災区画」については、二次スクリーニングとして、当該火災区画内の全可燃性物質の燃焼、全機器の機能喪失を想定し、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な成功パス（以下「安全停止パス」という。）の有無を確認する。安全停止パスが少なくとも一つ確保され、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であれば当該火災区画をスクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、当該火災区画に設置されたターゲットが「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の対象か否かを確認する。</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」(以下、「ガイド」と言う)に基づき実施する大飯発電所3号炉及び4号炉の火災影響評価のフローを示す。</p> <p>図1 火災影響評価のフロー</p>	<p>一方、一次スクリーニングの結果、「隣接火災区画に影響を与える火災区画」については、二次スクリーニングとして、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲット有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内の全可燃物の燃焼、全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保され、原子炉の安全停止が可能であれば、当該火災区画をスクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、「隣接火災区画に影響を与えない火災区画」と同様に、当該火災区画のターゲットが「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の対象か否かを確認する。</p> <p>火災区画特性表の作成、一次スクリーニング、二次スクリーニングについて、次項以降に示す。</p> <p>第10-1 図：内部火災影響評価の手順の概要フロー</p>	<p>一方、一次スクリーニングの結果、「隣接火災区画に影響を与える火災区画」については、二次スクリーニングとして、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲット有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内の全可燃物の燃焼、全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保され、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であれば、当該火災区画をスクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、「隣接火災区画に影響を与えない火災区画」と同様に、当該火災区画のターゲットが「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の対象か否かを確認する。</p> <p>火災区画特性表の作成、一次スクリーニング、二次スクリーニングについて、次項以降に示す。</p> <p>第10-1 図：内部火災影響評価の手順の概要フロー</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 火災区域（区画）の設定及び火災防護対象機器の選定 火災区域（区画）は、資料2「火災区域・区画の設定について」に示すとおり、安全機能を有する機器の設置エリア、建屋の壁の設置状況等を踏まえて設定している。</p> <p>資料1「原子炉の安全停止に必要な機器の選定について」で選定した火災防護対象機器の配置、建屋の壁等の設置状況等を踏まえて、火災区域内を細分化し、火災区画を設定しているが、火災影響評価においては、隣接する火災区画からの影響を含めて評価することから、火災防護対象機器が設置されていない区画であっても、火災区域内を細分化して、火災区画を設定している。</p> <p>4. 火災区画の情報整理及び火災区画特性表の作成 火災影響評価における「スクリーニング」及び「火災伝播評価」は、各火災区画に設置される機器等の情報を使用して行うため、以下の手順に従って、情報を整理し、火災区画特性表を作成する。作成した火災区画特性表の例を添付資料1に示す。</p>	<p>4. 火災区画特性表の作成（情報及びデータの収集・整理） 火災影響評価では、各火災区画に設置される機器等の情報を使用して評価を実施することから、これらの評価に先立ち、以下の手順に従って火災区画特性表を作成する。なお、火災区画特性表の代表例を添付資料3に示す。</p> <p>4.1. 火災区画の特定 資料3「女川原子力発電所 2号炉における火災区域、区画の設定について」にて設定した火災区画に対して、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)プラント名 (2)建屋名 (3)火災区画番号（添付資料1）</p>	<p>4. 火災区画特性表の作成（情報及びデータの収集・整理） 火災影響評価では、各火災区画に設置される機器等の情報を使用して評価を実施することから、これらの評価に先立ち、以下の手順に従って火災区画特性表を作成する。なお、火災区画特性表の代表例を添付資料3に示す。</p> <p>4.1. 火災区画の特定 資料3「泊発電所 3号炉における火災区域、区画の設定について」にて設定した火災区画に対して、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)プラント名 (2)建屋名 (3)火災区画番号（添付資料1） (4)火災区画名称</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
<p>4. 1 火災区画の特定 火災防護対象機器を設置している火災区画及びこれらに隣接する火災区画を特定する。特定した火災区画の以下の情報を整理し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)火災区画No (2)火災区画名称 (3)床面積</p>	<p>4.1. 火災区画の特定 資料3「女川原子力発電所 2号炉における火災区域、区画の設定について」にて設定した火災区画に対して、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)プラント名 (2)建屋名 (3)火災区画番号（添付資料1）</p>	<p>4.1. 火災区画の特定 資料3「泊発電所 3号炉における火災区域、区画の設定について」にて設定した火災区画に対して、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)プラント名 (2)建屋名 (3)火災区画番号（添付資料1） (4)火災区画名称</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、4.2で火災区画内の部屋名称を記載するのではなく、火災区画名称を記載している。 (大飯同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 2 火災ハザードの特定 火災影響評価における「スクリーニング」及び「火災伝播評価」は、火災区画内の火災ハザードを考慮して行うため、4. 1で特定した火災区画内に存在する火災ハザードを調査し、以下の情報を火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1) 等価時間 区画内の総発熱量、床面積及び NFPA ハンドブック記載の燃焼率を用いて、算定した等価時間</p> <p>(2) 火災区画内にある火災源 火災源として想定される機器名</p> <p>4. 4 火災区画にある火災感知・消火手段等の整理 資料4、資料5の各火災区画の火災の感知・消火手段等、以下の情報を火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1) 火災感知の手段 (2) 主要な消火設備（消火方法、バックアップ）</p> <p>(3) 耐火壁の耐火能力</p>	<p>4.2. 火災区画の火災ハザードの特定 各火災区画内に存在する火災ハザード調査として、以下の情報を整理し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)火災区画内の部屋番号、名称 (2)床面積 (3)発熱量 (4)火災荷重 (5)等価時間^(注)</p> <p>注：等価時間＝火災荷重（単位面積当りの発熱量）／燃焼率（単位時間単位面積当たりの発熱量）</p> <p>4.3. 火災区画の防火設備 各火災区画内の防火設備について、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)火災感知器 (2)主要消火設備 (3)消火方法 (4)消火設備のバックアップ (5)障壁耐火時間（他の火災区画との境界の耐火時間）</p> <p>4.4. 隣接火災区画への火災伝播経路 各火災区画から隣接する火災区画（火災区画を構成する各部屋）との火災伝播経路を調査し、火災区画特性表に記載する。 なお、隣接する火災区画は、火災を想定する当該火災区画の上下、左右、前後6面のうち、一部でも壁が接している火災区画（火災区画を構成する各部屋）を選定する。</p>	<p>4.2. 火災区画の火災ハザードの特定 各火災区画内に存在する火災ハザード調査として、以下の情報を整理し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)床面積 (2)発熱量 (3)火災荷重 (4)等価時間^(注)</p> <p>注：等価時間＝火災荷重（単位面積当りの発熱量）／燃焼率（単位時間単位面積当たりの発熱量）</p> <p>4.3. 火災区画の防火設備 各火災区画内の防火設備について、以下の情報を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>(1)火災感知器 (2)主要消火設備 (3)消火方法 (4)消火設備のバックアップ (5)隔壁耐火時間（火災区画内の隔壁の耐火時間）</p> <p>4.4. 隣接火災区画への火災伝播経路 各火災区画から隣接する火災区画（火災区画を構成する各部屋）との火災伝播経路を調査し、火災区画特性表に記載する。 なお、隣接する火災区画は、火災を想定する当該火災区画の上下、左右、前後6面のうち、一部でも壁が接している火災区画を選定する。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、部屋番号及び名称は記載せず4.1に火災区画名称を記載している。 （大飯同様）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画内の隔壁情報を記載する。 （大飯同様）</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違（女川実績の反映） 【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画を構成する各部屋ごとに選定するのではなく、火災区画単位で選定する。 （大飯同様）</p>
<p>【大飯3/4号炉 「4. 1 火災区画の特定」再掲】 火災防護対象機器を設置している火災区画及びこれらに隣接する火災区画を特定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1)隣接火災区画番号 (2)隣接火災区画内の部屋番号、名称 (3)火災伝播経路 (4)障壁の耐火能力 (5)隣接部屋の消火形式 (6)伝播の可能性</p> <p>4.5. 火災により影響を受ける火災防護対象機器の特定 資料7「女川原子力発電所 2号炉における火災防護対象機器等の系統分離について」により選定したターゲットが、当該火災区画の火災により影響を受けるものとして、火災区画特性表に記載する。</p> <p>4.6. 火災により影響を受ける火災防護対象ケーブルの特定 4.5. 項で特定した「火災防護対象機器」の電源、制御、計装ケーブルである「火災防護対象ケーブル」を、火災区画特性表に記載する。 火災影響評価では、安全停止バスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認するが、その際には、ポンプや弁等の火災防護対象機器の機能喪失に加え、火災防護対象ケーブルの断線等も想定して、火災影響評価を行うことから、火災防護対象ケーブルが敷設されている火災区画を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>4.7. 火災シナリオの設定 火災区画内の火災源及び火災防護対象機器の設置状況を踏まえ、火災影響評価及び火災伝播評価における火災シナリオを設定し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>5. 一次スクリーニング 当該火災区画の火災発生時に、隣接火災区画に影響を与える場合は、隣接火災区画も含んだ火災影響評価を行う必要があることから、当該火災区画の火災影響評価を実施する前に、隣接火災区画への火災伝播評価を実施する。（第10-2 図参照）</p>	<p>(1)隣接火災区画番号 (2)隣接火災区画名称 (3)火災伝播経路 (4)障壁の耐火能力 (5)隣接部屋の消火形式 (6)伝播の可能性</p> <p>4.5. 火災により影響を受ける火災防護対象機器の特定 資料7「泊発電所 3号炉における火災防護対象機器等の系統分離について」により選定したターゲットが、当該火災区画の火災により影響を受けるものとして、火災区画特性表に記載する。</p> <p>4.6. 火災により影響を受ける火災防護対象ケーブルの特定 4.5. 項で特定した「火災防護対象機器」の電源、制御、計装ケーブルである「火災防護対象ケーブル」を火災区画特性表に記載する。 火災影響評価では、安全停止バスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認するが、その際には、ポンプや弁等の火災防護対象機器の機能喪失に加え、火災防護対象ケーブルの断線等も想定して、火災影響評価を行うことから、火災防護対象ケーブルが敷設されている火災区画を調査し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>4.7. 火災シナリオの設定 火災区画内の火災源及び火災防護対象機器の設置状況を踏まえ、火災影響評価及び火災伝播評価における火災シナリオを設定し、火災区画特性表に記載する。</p> <p>5. 一次スクリーニング 当該火災区画の火災発生時に、隣接火災区画に影響を与える場合は、隣接火災区画も含んだ火災影響評価を行う必要があることから、当該火災区画の火災影響評価を実施する前に、隣接火災区画への火災伝播評価を実施する。（第10-2 図参照）</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画を構成する各部屋ごとに選定するのではなく、火災区画単位で選定するため、火災区画名称を記載している。</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>	

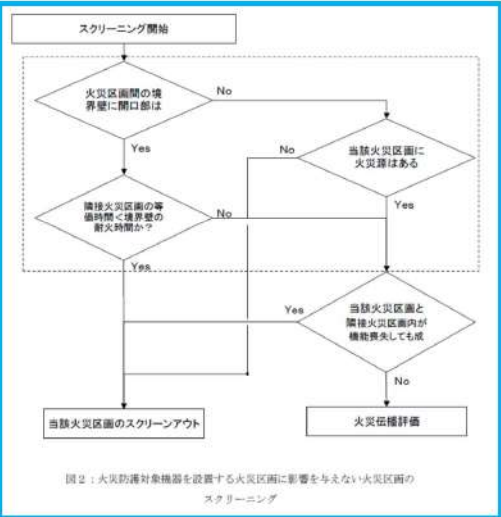
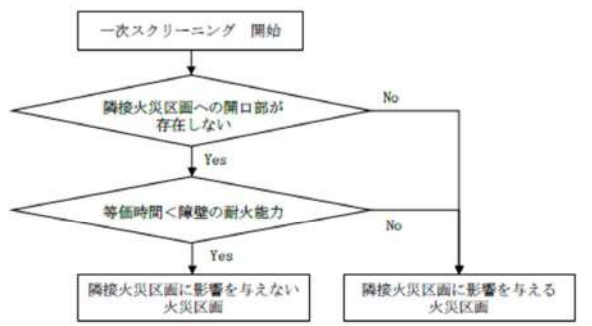
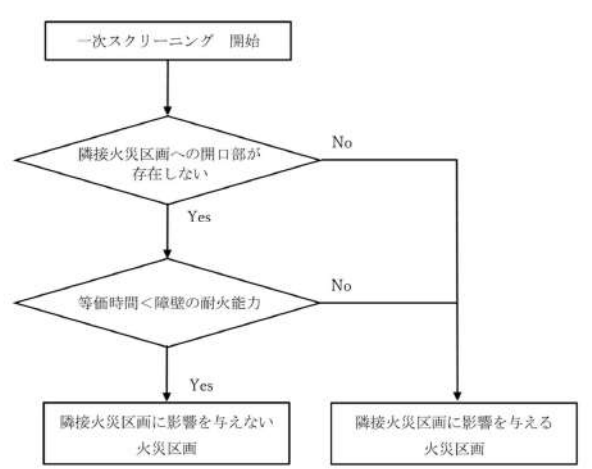
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5. 1. 1 開口部の有無</p> <p>当該火災区画と隣接火災区画の境界壁に開口部がない場合は、当該火災区画の火災が隣接火災区画に与える影響は境界壁によって軽減されることから、火災区画特性表により、境界壁の開口部の有無を確認する。</p> <p>なお、境界壁が3時間以上の耐火性能を有する場合は、その情報も整理する。</p> <p>5. 1. 2 等価時間と耐火時間の比較</p> <p>当該火災区画の「等価時間」が、境界壁の「耐火時間」よりも小さければ、当該火災区画の火災は隣接火災区画に影響を及ぼさないため、火災区画特性表により、当該火災区画の「等価時間」が境界壁の「耐火時間」よりも小さいことを確認する。</p> <p>5. 1 火災防護対象機器を設置している火災区画に影響を与えない火災区画のスクリーニング</p> <p>火災防護対象機器を設置している火災区画（当該火災区画）に隣接する火災区画（隣接火災区画）を対象に、境界壁の開口部の有無、火災荷重等をもとに、スクリーニングを行う。</p> <p>スクリーニングのフローは図2に示す。スクリーニング結果を添付資料2に示す。</p> <p>なお、本項では、火災防護対象機器を設置している火災区画を「当該火災区画」と表し、隣接する火災区画を「隣接火災区画」と表す。</p>	<p>5.1. 隣接火災区画との境界の開口の確認</p> <p>隣接火災区画との境界の障壁に開口がない場合は、火災が直接、隣接火災区画に影響を与える可能性はないことから、火災区画特性表により、隣接火災区画との境界の開口の有無を確認し、隣接火災区画への火災伝播の可能性を確認する。</p> <p>5.2. 等価時間と耐火時間の比較</p> <p>当該火災区画の等価時間が、火災区画を構成する障壁の耐火能力より小さければ、隣接火災区画への影響はないことから、火災区画特性表により、火災区画の等価時間と火災区画を構成する障壁の耐火能力を比較し、隣接火災区画への火災伝播の可能性を確認する。</p>	<p>5.1. 隣接火災区画との境界の開口の確認</p> <p>隣接火災区画との境界の障壁に開口がない場合は、火災が直接、隣接火災区画に影響を与える可能性はないことから、火災区画特性表により、隣接火災区画との境界の開口の有無を確認し、隣接火災区画への火災伝播の可能性を確認する。</p> <p>5.2. 等価時間と耐火時間の比較</p> <p>当該火災区画の等価時間が、火災区画を構成する障壁の耐火能力より小さければ、隣接火災区画への影響はないことから、火災区画特性表により、火災区画の等価時間と火災区画を構成する障壁の耐火能力を比較し、隣接火災区画への火災伝播の可能性を確認する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉  <p>スクリーニング開始</p> <p>火災区画間の境界壁に開口部は</p> <p>隣接火災区画の等価時間<境界壁の耐火時間か?</p> <p>当該火災区画に火災源はある</p> <p>当該火災区画と隣接火災区画内が機能喪失しても成</p> <p>当該火災区画のスクリーンアウト</p> <p>火災影響評価</p> <p>図2：火災防護対象機器を設置する火災区画に影響を与えない火災区画のスクリーニング</p>	女川原子力発電所2号炉  <p>一次スクリーニング 開始</p> <p>隣接火災区画への開口部が存在しない</p> <p>等価時間<障壁の耐火能力</p> <p>隣接火災区画に影響を与えない火災区画</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画</p> <p>第10-2図：一次スクリーニングの概要フロー</p>	泊発電所3号炉  <p>一次スクリーニング 開始</p> <p>隣接火災区画への開口部が存在しない</p> <p>等価時間<障壁の耐火能力</p> <p>隣接火災区画に影響を与えない火災区画</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画</p> <p>第10-2図：一次スクリーニングの概要フロー</p>	相違理由 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■記載表現の相違
5. 1. 3 当該火災区画の火災源の有無 5. 1. 1で境界壁に開口部があったとしても、当該火災区画に火災源がない場合は、隣接火災区画に影響を与えることはないため、火災区画特性表で当該火災区画の「火災源」の有無を確認する。 5. 1. 2、5. 1. 3で、隣接火災区画に火災の影響を及ぼさないことが確認された当該火災区画は、スクリーンアウトする。	6. 二次スクリーニング 6.1. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価 隣接火災区画に影響を与えない火災区画について、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の安全停止に影響を与えない。 一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に、詳細な火災影響評価を行い原子炉の安全停止への影響の有無を確認する。火災により原子炉の安全停止に影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。 原子炉の安全停止への影響については、以下の手順に従って評価する。(第10-3 図参照)	6. 二次スクリーニング 6.1. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価 隣接火災区画に影響を与えない火災区画について、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えない。 一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に、詳細な火災影響評価を行い原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響の有無を確認する。火災により原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響については、以下の手順に従って評価する。(第10-3 図参照)	

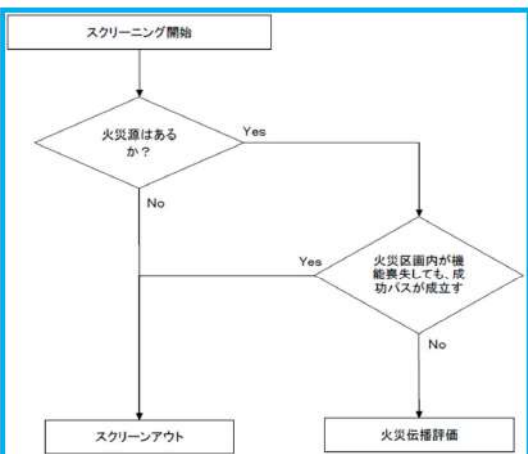
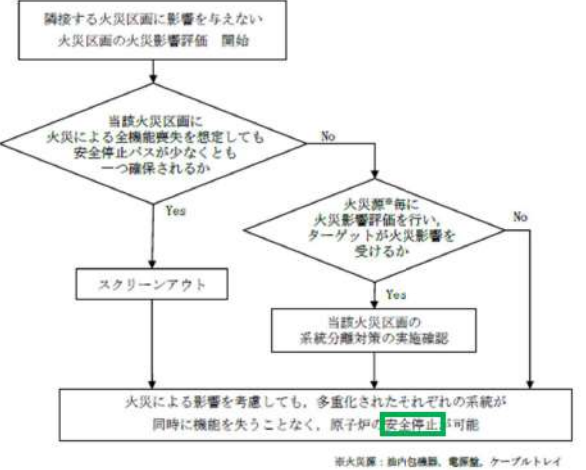
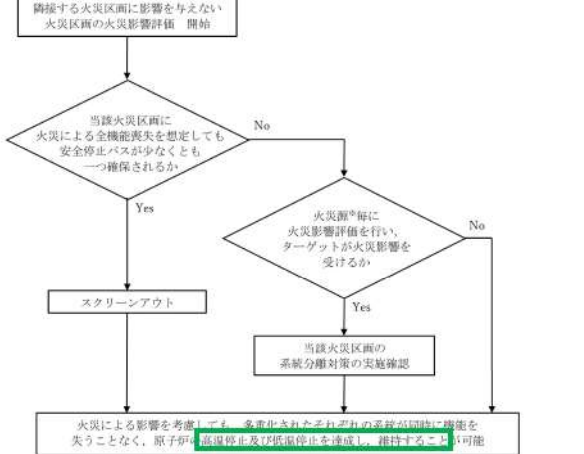
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5. 1. 4 成功パスの確認</p> <p>5. 1. 3までの検討で、隣接火災区画に火災の影響を及ぼす可能性のある当該火災区画と隣接火災区画の組み合わせを対象として、当該火災区画と隣接火災区画に設置されている全機器が機能喪失すると保守的に仮定しても、原子炉の安全停止に必要な成功パスが成立するかを確認する。</p> <p>(1) 成功パス確認一覧表の作成</p> <p>両火災区画に設置されている火災防護対象機器を抽出し、以下の安全機能を有するものかを整理する。</p> <p>(a) 崩壊熱除去機能 - 補助給水系及び主蒸気系（AFW/MS）</p> <p>(b) 崩壊熱除去機能 - 余熱除去系（RHR）</p> <p>(c) プロセス監視機能</p> <p>(d) 一次冷却材系統のイベントリと圧力制御機能、反応度制御機能</p> <p>(e) サポート機能</p> <p>(2) 成功パスの確認</p> <p>(1)で整理した一覧表で、両火災区画の機能喪失を仮定しても、(1)に示す機能が喪失することなく、少なくとも1つの成功パスが成立するかを判定する。</p> <p>成功パスが成立する当該火災区画は、スクリーンアウトする。</p>	<p>6.1.1. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を考慮しても、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを、以下のとおり確認する。</p> <p>(1) 安全停止パスの確保に必要な系統、機器の組合せ</p> <p>安全停止パスの有無の確認に当たって、系統の多重性及び多様性を踏まえて安全停止パスの確保に必要な系統、機器の組合せを整理した。（添付資料2 参照）</p> <p>(2) 安全停止パスの確認</p> <p>4.5. 項で選定した火災防護対象機器について、当該火災区画の火災による影響の可否を基に、添付資料2 により火災の影響を直接受ける緩和系を確認し、その結果を火災区画特性表に記載する。（添付資料3 参照）火災の直接影響あるいは間接影響によっても各々の緩和系のいずれかが確保される場合、安全停止パスが確保されることになる。</p> <p>なお、火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求されることが否定できない場合には、内部火災影響評価ガイドに基づき、高温停止の成功パスの確認において単一故障を考慮する。</p> <p>6.1.2. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該火災区画に火災を想定しても、原子炉の安全停止に影響を与えないことから、スクリーンアウトする。</p>	<p>6.1.1. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を考慮しても、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを以下のとおり確認する。</p> <p>(1) 安全停止パスの確保に必要な系統、機器の組合せ</p> <p>安全停止パスの有無の確認に当たって、系統の多重性及び多様性を踏まえて安全停止パスの確保に必要な系統、機器の組合せを整理した。（添付資料2 参照）</p> <p>(2) 安全停止パスの確認</p> <p>4.5. 項で選定した火災防護対象機器について、当該火災区画の火災による影響の可否を基に、添付資料2 により火災の影響を直接受ける緩和系を確認し、その結果を火災区画特性表に記載する。（添付資料3 参照）火災の直接影響あるいは間接影響によっても各々の緩和系のいずれかが確保される場合、安全停止パスが確保されることになる。</p> <p>なお、火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求されることが否定できない場合には、内部火災影響評価ガイドに基づき、高温停止の成功パスの確認において単一故障を考慮する。</p> <p>6.1.2. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該火災区画に火災を想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えないことから、スクリーンアウトする。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p>
<p>5.2 火災防護対象機器を設置している火災区画のスクリーニング 火災防護対象機器を設置する火災区画をスクリーニングするフローを図3に示す。スクリーニング結果を添付資料2に示す。</p> <p>5.2.1 火災源の有無 火災区画特性表により、「火災源」の有無を確認し、火災源のない火災区画は、隣接火災区画に影響を及ぼさない火災区画として、スクリーンアウトする。</p> <p>5.1.4(2) スクリーンアウトされない当該区画については、6項の火災伝播評価に進む。</p> <p>6.2 火災区画内の火災伝播評価 5.でスクリーンアウトされなかった火災区画については、系統分離対策の確認を行う。 確認の結果、いずれの火災区画においても、火災の影響は軽減されており、火災区画内の火災伝播が原子炉の安全停止に影響を及ぼさないことを添付資料2に示すとおり、確認した。</p>	<p>6.1.3. スクリーンアウトされない火災区画 安全停止パスが一つも確保できない火災区画は、当該火災区画に火災を想定した場合、原子炉の安全停止に影響を与える可能性がある。 この場合、当該火災区画で火災の影響により安全停止パスが確保できない主原因となった部屋に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>6.1.3. スクリーンアウトされない火災区画 安全停止パスが一つも確保できない火災区画は、当該火災区画に火災を想定した場合、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与える可能性がある。 この場合、当該火災区画で火災の影響により安全停止パスが確保できない火災区画に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画を構成する各部屋毎ではなく、火災区画単位で確認する。 (大飯同様)</p>
<p>5.2</p>  <p>図3：火災防護対象機器を設置している火災区画のスクリーニング</p>	 <p>※火災源：油内包機、電源盤、ケーブルトレイ</p> <p>第10-3図：隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価手順の概要フロー</p>	 <p>※火災源：油内包機、電源盤、ケーブルトレイ</p> <p>第10-3図：隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価手順の概要フロー</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画については、当該火災区画と隣接火災区画それぞれにおいてターゲットの有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生により隣接火災区画に影響を与えることを想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p>一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い原子炉の安全停止への影響の有無を確認する。火災により原子炉の安全停止に影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。</p> <p>原子炉の安全停止への影響については、以下の手順に従って評価する。(第10-4 図参照)</p> <p>6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認</p> <p>当該火災区画のターゲットの有無を確認する。当該火災区画にターゲットが存在しない場合、隣接火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p> <p>6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認</p> <p>隣接火災区画にターゲットが存在する場合においては、改めて隣接火災区画のターゲットの有無を確認する。隣接火災区画にターゲットが存在しない場合、当該火災区画から隣接火災区画への延焼を想定しても、原子炉の安全停止に影響を与えないことから、当該火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p>	<p>6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画については、当該火災区画と隣接火災区画それぞれにおいてターゲットの有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生により隣接火災区画に影響を与えることを想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。</p> <p>一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響の有無を確認する。火災により原子炉の安全停止に影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。</p> <p>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響については、以下の手順に従って評価する。(第10-4 図参照)</p> <p>6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認</p> <p>当該火災区画のターゲットの有無を確認する。当該火災区画にターゲットが存在しない場合、隣接火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p> <p>6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認</p> <p>隣接火災区画にターゲットが存在する場合においては、改めて隣接火災区画のターゲットの有無を確認する。隣接火災区画にターゲットが存在しない場合、当該火災区画から隣接火災区画への延焼を想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えないことから、当該火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p>	<p>【大飯】 ■ 記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■ 記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■ 記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■ 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■ 記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■ 記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■ 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5. 2. 2 成功パスの確認</p> <p>5. 2. 1で火災源があることを確認した火災区画を対象として、火災区画内に設置されている全機器が機能喪失すると保守的に仮定しても、5. 1. 4（1）の機能毎に原子炉の安全停止に必要な成功パスが成立するかを以下のとおり確認する。</p> <p>(1) 成功パス確認一覧表の作成</p> <p>対象とする火災区画に設置されている火災防護対象機器を抽出し、5. 1. 4(1)と同様の整理を行う。</p> <p>(2) 成功パスの確認</p> <p>(1)で作成した一覧表で、対象とする火災区画の機能喪失を仮定しても、5. 1. 4(1)に示す機能が喪失することなく、少なくとも1つの成功パスが成立するかを判定する。</p> <p>成功パスが成立する火災区画は、スクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、6項の火災影響評価に進む。</p> <p>6. 火災伝播評価</p> <p>6. 1 火災区画間の火災伝播評価</p> <p>5. でスクリーンアウトされなかった火災区画間については、系統分離対策の確認を行う。</p> <p>確認の結果、いずれの火災区画の組み合わせにおいても、火災の影響は軽減されており、火災区画間の火災伝播が原子炉の安全停止に影響を及ぼさないことを添付資料2に示すとおり、確認した。</p>	<p>6.2.3. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。確認は、6.1.1. 項と同様に行う。</p> <p>6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該及び隣接火災区画に火災を想定しても原子炉の安全停止に影響を与えない。</p> <p>6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画</p> <p>安全停止パスが一つも確保されない火災区画は、その火災区画に火災を想定した場合、原子炉の安全停止に影響を与える可能性がある。</p> <p>この場合、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、火災の影響により安全停止パスが確保できない主要原因となった部屋に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>6.2.3. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。確認は、6.1.1. 項と同様に行う。</p> <p>6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該及び隣接火災区画に火災を想定しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えない。</p> <p>6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画</p> <p>安全停止パスが一つも確保されない火災区画は、その火災区画に火災を想定した場合、原子炉の安全停止に影響を与える可能性がある。</p> <p>この場合、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、火災の影響により安全停止パスが確保できない火災区画に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画を構成する各部屋毎ではなく、火災区画単位で確認する。 (大飯同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第10-4図：隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング (隣接火災区画への火災伝播評価)</p> <p>5 項に基づき、当該火災区画に火災を想定した場合の隣接火災区画への影響の有無を評価した。その結果、火災防護対象設備が設置された隣接火災区画に影響を与える火災区画が存在することを確認した。(添付資料4)</p>	<p>第10-4図：隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング (隣接火災区画への火災伝播評価)</p> <p>5 項に基づき、当該火災区画に火災を想定した場合の隣接火災区画への影響の有無を評価した。その結果、ターゲットが設置された隣接火災区画に影響を与える火災区画が存在することを確認した。(添付資料4)</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>7. まとめ</p> <p>原子炉施設内で火災を想定しても、原子炉を安全に停止するための成功パスが成立し、原子炉の高温停止、低温停止の達成、維持ができることを確認した。</p> <p><添付資料> 添付資料1：火災区画特性表の例 添付資料2：火災影響評価結果</p>	<p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>一次スクリーニングの結果をもとに、二次スクリーニングとして、</p> <p>①隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>②隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価を行った。</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の安全停止に影響はない。（添付資料5）</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の安全停止に影響はない。（添付資料6）</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>7 項に示したとおり、各火災区画で火災発生を想定した場合において、安全停止が可能であることを確認した。</p> <p>あわせて、火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、火災を起因として発生する事象に対して、単一故障を想定した場合においても、影響緩和系により事象が収束可能であることを確認した。（参考資料1）</p>	<p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>一次スクリーニングの結果をもとに、二次スクリーニングとして、</p> <p>①隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>②隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価を行った。</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。（添付資料5）</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。（添付資料6）</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>7 項に示したとおり、各火災区画で火災発生を想定した場合において、高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であることを確認した。</p> <p>あわせて、火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、火災を起因として発生する事象に対して、単一故障を想定した場合においても、影響緩和系により事象が収束可能であることを確認した。（参考資料1）</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉における 火災区画番号について</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの内容は商業秘密又は特種上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 火災区画番号について</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備名称の相違 <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は産業秘密又は特許上の観点から公開できません。</small> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商業秘密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商業秘密又は防護上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は産業廃棄物又は防諜上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商用機密又は防漏上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は産業機密又は防護上の観点から公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は企業機密又は防護上の観点から公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は産業廃棄物又は防諜上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報又は防護上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は商業秘密又は防衛上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 2px solid red; width: 90%; margin: 0 auto; height: 500px;"></div>	<div style="border: 2px solid black; width: 90%; margin: 0 auto; height: 500px;"></div> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商業秘密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は商業秘密又は特許上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">特種みの内容は商業機密又は防衛上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">特記内容の相違は図表機能又は図表上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 特記事項の内容は産業機器又は防護上の観点から公開できません。 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; width: 100%;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">称置みの内容は商業秘密又は防衛上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">詳細の内容は商用機密又は防衛上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">特記の内容は商業秘密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料2 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料2	泊発電所3号炉 添付資料2	相違理由
	<p data-bbox="757 180 1294 236" style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p data-bbox="719 284 1317 683">1. 概要 火災防護対象機器には、多重性を有する安全上重要な以下の設備等がある。 a. 安全保護系 b. 原子炉停止系 c. 工学的安全施設（原子炉補給水機能をもつ系統） d. 非常用交流電源系 e. 直流電源系 f. 事故時監視計器 g. 残留熱除去系 h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統 i. 補助設備</p> <p data-bbox="734 722 1317 786">これら設備等について、女川原子力発電所2号炉において原子炉の安全停止パスを確保するために必要な系統を整理した。</p> <p data-bbox="734 794 1317 922">火災影響評価において、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p data-bbox="734 930 1332 1058">一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況確認や詳細な火災影響評価を行い、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。</p>	<p data-bbox="1384 180 1921 236" style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p data-bbox="1346 284 1944 683">1. 概要 火災防護対象機器には、多重性を有する安全上重要な以下の設備等がある。 a. 安全保護系 b. 原子炉停止系 c. 工学的安全施設 d. 非常用交流電源系 e. 直流電源系 f. 事故時監視計器 g. 余熱除去系 h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統 i. 補助設備</p> <p data-bbox="1368 722 1951 786">これら設備等について、泊発電所3号炉において原子炉の安全停止パスを確保するために必要な系統を整理した。</p> <p data-bbox="1368 794 1951 922">火災影響評価において、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p data-bbox="1368 930 1966 1058">一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況確認や詳細な火災影響評価を行い、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。</p>	<p data-bbox="1989 148 2168 308">【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違</p> <p data-bbox="1989 451 2168 579">【女川】 ■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違</p> <p data-bbox="1989 722 2168 786">【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">火災区画特性表（例）</p> <p>火災区画：R/B2-9</p> <p>1. 火災区画の説明</p> <p>火災区画名：ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室 床面積（㎡）：171.2</p> <p>2. 火災区画の火災シナリオの説明</p> <p>R/B2-9は原子炉建屋内の火災区画である。本区画には、Aトレン系及びBトレン系のほう酸ポンプ並びにBトレン系の電力／制御ケーブル等が設置されている。また、本区画では、Aトレン系及びBトレン系のほう酸ポンプ並びにBトレン系の電力／制御ケーブル等が主な火災源である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉の火災区画特性表の例</p> <p>1. 概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉の内部火災影響評価では、8条-別添1-資料3において設定した火災区域（区画）毎の情報（部屋番号、床面積、等価時間、隣接の火災区域等）を火災区画特性表へ記載し整理する。</p> <p>また、火災区画特性表には当該火災区画内に設置される原子炉の安全停止に係る機器等（ケーブルを含む）を明確にする。その上で、当該火災区画にて最も厳しい単一火災を想定し、火災区画内の安全停止に係る機器等全てを機能喪失したと仮定した場合に影響を受ける緩和系を明確にし、残された緩和系において安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かについて評価を行い、火災区画特性表のまとめ表として整理する。</p> <p>ここで、女川原子力発電所2号炉における火災区画の代表例として、火災区画番号「R1-A（RHR ポンプ室、RCIC ポンプ室等）」の火災区画特性表を下記のとおり示す。（ただし、火災区画特性表添付のケーブルリストや可燃物リスト（データシート）については省略する。）</p> <p>なお、その他火災区画も含めた火災区画特性表における評価結果の要約については添付資料6にて示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉の火災区画特性表の例</p> <p>1. 概要</p> <p>泊発電所3号炉の内部火災影響評価では、8条-別添1-資料3において設定した火災区域（区画）ごとの情報（床面積、等価時間、隣接の火災区域等）を火災区画特性表へ記載し整理する。</p> <p>また、火災区画特性表には当該火災区画内に設置される原子炉の安全停止に係る機器等（ケーブルを含む）を明確にする。その上で、当該火災区画にて最も厳しい単一火災を想定し、火災区画内の安全停止に係る機器等すべてを機能喪失したと仮定した場合に影響を受ける緩和系を明確にし、残された緩和系において安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かについて評価を行い、火災区画特性表のまとめ表として整理する。</p> <p>ここで、泊発電所3号炉における火災区画の代表例として、火災区画番号「A/B4-02-2（B-ほう酸ポンプ室）」の火災区画特性表を下記のとおり示す。（ただし、火災区画特性表添付のケーブルリストや可燃物リスト（データシート）については省略する。）</p> <p>なお、その他火災区画も含めた火災区画特性表における評価結果の要約については添付資料6にて示す。</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、部屋番号は記載していない。（大飯同様）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 代表区画の相違 （大飯同様）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>また、本火災区画は両トレンの原子炉安全停止機能を喪失する可能性がある火災シナリオである。</p> <p>3. 火災区画にある火災ハザード</p> <table border="1" data-bbox="85 293 539 373"> <thead> <tr> <th>発熱量 (MJ)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (h) ※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約739</td> <td>4.3</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：等価火災時間は0.5h刻みで切り上げ表示した値を示す</p> <p>4. 火災区画にある防火設備</p> <p>(1) 火災感知・消火設備</p> <table border="1" data-bbox="85 544 524 643"> <thead> <tr> <th>火災感知の手段</th> <th>主要な消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>煙感知器 熱感知器 炎感知器</td> <td>スプリンクラー</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 耐火壁等</p> <table border="1" data-bbox="85 730 315 820"> <thead> <tr> <th>耐火壁 耐火時間 (h)</th> <th>開口部シール 耐火時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 各々のほう酸ポンプ間の影響軽減のため、1時間以上の耐火能力を有する隔壁等を設置</p> <p>5. 火災区画内の火災伝播評価 R/B2-9はA、Bトレン混在の区画であるため、本区画内の火災伝播評価は必要となる。</p> <p>6. 火災区画に隣接する火災区画と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播評価は不要となる。</p> <p>7. 火災により影響を受ける火災防護対象設備 火災によりAトレン系及びBトレン系の機器並びにBトレン系のケーブルが影響を受ける可能性がある。</p> <p>8. 火災により影響を受ける緩和系 火災によりAトレン系及びBトレン系の緩和系が影響を受ける可能性がある。</p>	発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h) ※	約739	4.3	0.5	火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー	自動	粉末消火器	耐火壁 耐火時間 (h)	開口部シール 耐火時間 (h)	3以上	3以上			<p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h) ※																			
約739	4.3	0.5																			
火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ																		
煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー	自動	粉末消火器																		
耐火壁 耐火時間 (h)	開口部シール 耐火時間 (h)																				
3以上	3以上																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																		
<p>9. 火災による外乱と外乱を引き起こす設備 本火災区画での火災により、保守的に外乱が発生するものと想定する。</p>			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>																																																																																																																																																																		
<p>10. 火災区画にある火災源機器数</p>			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <tr><th>火災源</th><th>機器数</th></tr> <tr><td>ポンプ</td><td>2</td></tr> <tr><td>電力ケーブル</td><td>有（低圧・制御）</td></tr> </table>	火災源	機器数	ポンプ	2	電力ケーブル	有（低圧・制御）	<p>火災区画特性表1</p> <table border="1"> <tr><th>プラント</th><th>0-2</th><th>建設</th><th>原子炉建屋</th><th>火災区画番号</th><th>R1-A</th><th>1/1</th></tr> <tr><td>床面積合計(m²)</td><td>708</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>容積合計(m³)</td><td>103510</td><td>火災シナリオの範囲</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>火災荷重(MJ/m²)</td><td>240</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>等価時間(h)</td><td>0.27</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>火災区画特性表のまとめ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>安全停止バス1</th><th>安全停止バス2</th><th>安全停止バス3</th><th>安全停止バス4</th></tr> <tr><td>原子炉停止</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>原子炉停止系</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>工学的安全施設</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>非常用交流電源</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>直流電源系</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>事故時監視計器</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>機器冷却系</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>監視シートシタへ熱を輸送する系統</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>補助設備</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	プラント	0-2	建設	原子炉建屋	火災区画番号	R1-A	1/1	床面積合計(m ²)	708						容積合計(m ³)	103510	火災シナリオの範囲					火災荷重(MJ/m ²)	240						等価時間(h)	0.27						種別	安全停止バス1	安全停止バス2	安全停止バス3	安全停止バス4	原子炉停止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	原子炉停止系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工学的安全施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常用交流電源	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	直流電源系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事故時監視計器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	機器冷却系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監視シートシタへ熱を輸送する系統	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>火災区画特性表1</p> <table border="1"> <tr><th>プラント</th><th>前号機</th><th>建設</th><th>原子炉補助建屋</th><th>火災区画番号</th><th>A.第4-02-2</th><th>1/1</th></tr> <tr><td>床面積合計(m²)</td><td>11.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>容積合計(m³)</td><td>1380</td><td>火災シナリオの範囲</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>火災荷重(MJ/m²)</td><td>94</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>等価時間(h)</td><td>0.11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>火災区画特性表のまとめ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>安全停止バスA</th><th>安全停止バスB</th><th>安全停止バスC</th></tr> <tr><td>原子炉停止</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>工学的安全施設</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>非常用交流電源</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>直流電源系</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>事故時監視計器</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>機器冷却系</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>監視シートシタへ熱を輸送する系統</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td>補助設備</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	プラント	前号機	建設	原子炉補助建屋	火災区画番号	A.第4-02-2	1/1	床面積合計(m ²)	11.8						容積合計(m ³)	1380	火災シナリオの範囲					火災荷重(MJ/m ²)	94						等価時間(h)	0.11						種別	安全停止バスA	安全停止バスB	安全停止バスC	原子炉停止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工学的安全施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常用交流電源	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	直流電源系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事故時監視計器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	機器冷却系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監視シートシタへ熱を輸送する系統	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■系統、設備の相違 炉型の違いによる系統、設備構成の相違</p>
火災源	機器数																																																																																																																																																																				
ポンプ	2																																																																																																																																																																				
電力ケーブル	有（低圧・制御）																																																																																																																																																																				
プラント	0-2	建設	原子炉建屋	火災区画番号	R1-A	1/1																																																																																																																																																															
床面積合計(m ²)	708																																																																																																																																																																				
容積合計(m ³)	103510	火災シナリオの範囲																																																																																																																																																																			
火災荷重(MJ/m ²)	240																																																																																																																																																																				
等価時間(h)	0.27																																																																																																																																																																				
種別	安全停止バス1	安全停止バス2	安全停止バス3	安全停止バス4																																																																																																																																																																	
原子炉停止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
原子炉停止系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
工学的安全施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
非常用交流電源	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
直流電源系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
事故時監視計器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
機器冷却系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
監視シートシタへ熱を輸送する系統	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
補助設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																	
プラント	前号機	建設	原子炉補助建屋	火災区画番号	A.第4-02-2	1/1																																																																																																																																																															
床面積合計(m ²)	11.8																																																																																																																																																																				
容積合計(m ³)	1380	火災シナリオの範囲																																																																																																																																																																			
火災荷重(MJ/m ²)	94																																																																																																																																																																				
等価時間(h)	0.11																																																																																																																																																																				
種別	安全停止バスA	安全停止バスB	安全停止バスC																																																																																																																																																																		
原子炉停止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
工学的安全施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
非常用交流電源	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
直流電源系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
事故時監視計器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
機器冷却系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
監視シートシタへ熱を輸送する系統	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
補助設備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																		
<p>火災により影響を受ける種別と成功パス</p>	<p>火災により影響を受ける種別と成功パス</p>	<p>火災により影響を受ける種別と成功パス</p>	<p>火災により影響を受ける種別と成功パス</p>																																																																																																																																																																		
<p>設計資料 ■ 火災区画特性表のデータシート □ 火災区画特性表</p>	<p>設計資料 ■ 火災区画特性表のデータシート □ 火災区画特性表</p>	<p>設計資料 ■ 火災区画特性表のデータシート □ 火災区画特性表</p>	<p>設計資料 ■ 火災区画特性表のデータシート □ 火災区画特性表</p>																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">火災区画特性表Ⅱ</th> </tr> <tr> <th colspan="10">火災区画内の火災及び防火設備</th> </tr> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="4">O-2</th> <th colspan="4">R1-A</th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">火災区画内の詳細名称</th> <th colspan="3">火災源</th> <th colspan="3">防火設備</th> <th colspan="2">防火設備</th> </tr> <tr> <th>床面積 (㎡)</th> <th>容熱量 (MJ/m²)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (分)</th> <th>火災検知器</th> <th>主要消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> <th>隣接区画時間 (分)*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>計10 商業施設</td> <td>150</td> <td>47579</td> <td>305</td> <td>0.24</td> <td>熱感知器</td> <td>COガス検知器の設置</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>計14 配電センター制御室</td> <td>118</td> <td>28445</td> <td>242</td> <td>0.27</td> <td>熱感知器、煙感知器</td> <td>COガス検知器の設置</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器、粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>計13 制御センター入室</td> <td>80</td> <td>10347</td> <td>130</td> <td>0.15</td> <td>熱感知器、煙感知器</td> <td>COガス検知器の設置</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器、粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>計12 制御センター入室</td> <td>48</td> <td>851</td> <td>14</td> <td>0.02</td> <td>熱感知器、煙感知器</td> <td>COガス検知器の設置</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>計2 商業施設</td> <td>306</td> <td>62542</td> <td>270</td> <td>0.30</td> <td>熱感知器、煙感知器</td> <td>COガス検知器の設置</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">火災区画全体のまとめ</td> <td>(1)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td colspan="2">①=合計値、②=合計値</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>708</td> <td>18319</td> <td>140</td> <td>0.27</td> <td colspan="2">①=2.7、②=2.7、③=2.7、④=2.7、⑤=2.7、⑥=2.7、⑦=2.7、⑧=2.7、⑨=2.7、⑩=2.7</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="9">*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅱ										火災区画内の火災及び防火設備										フロント		O-2				R1-A				1/1	No.	火災区画内の詳細名称	火災源			防火設備			防火設備		床面積 (㎡)	容熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隣接区画時間 (分)*1	1	計10 商業施設	150	47579	305	0.24	熱感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3	2	計14 配電センター制御室	118	28445	242	0.27	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器、粉末消火器	3	3	計13 制御センター入室	80	10347	130	0.15	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器、粉末消火器	3	4	計12 制御センター入室	48	851	14	0.02	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3	5	計2 商業施設	306	62542	270	0.30	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3	6											7											8											9											10											11											12											13											14											15											16											17											18											19											20											21											22											23											24											25											26											27											28											29											火災区画全体のまとめ		(1)	2	3	4	①=合計値、②=合計値						708	18319	140	0.27	①=2.7、②=2.7、③=2.7、④=2.7、⑤=2.7、⑥=2.7、⑦=2.7、⑧=2.7、⑨=2.7、⑩=2.7				特記事項		*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。									<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">火災区画特性表Ⅱ</th> </tr> <tr> <th colspan="8">火災区画内の火災ハザード及び防火設備</th> </tr> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="2">前3号機</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th colspan="2">A/B 4-02-2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">火災区画名称</th> <th colspan="6">計10号機制御室</th> </tr> <tr> <th colspan="4">火災ハザード</th> <th colspan="4">防火設備</th> </tr> <tr> <th>床面積 (㎡)</th> <th>容熱量 (MJ)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (分)</th> <th>火災検知器</th> <th>主要消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.8</td> <td>1389</td> <td>94</td> <td>0.11</td> <td>熱感知器 煙感知器</td> <td>全域ハロゲン化物 消火設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器 屋内消火栓</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> 火災荷重 (MJ/m²) = 床面積 (㎡) / 容熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m²) / 燃焼率 = 908.09 MJ/m²・分 </td> </tr> <tr> <td colspan="8">*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。</td> </tr> <tr> <td colspan="8">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅱ								火災区画内の火災ハザード及び防火設備								フロント		前3号機		火災区画番号		A/B 4-02-2		火災区画名称		計10号機制御室						火災ハザード				防火設備				床面積 (㎡)	容熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	14.8	1389	94	0.11	熱感知器 煙感知器	全域ハロゲン化物 消火設備	自動	粉末消火器 屋内消火栓	火災荷重 (MJ/m ²) = 床面積 (㎡) / 容熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 = 908.09 MJ/m ² ・分								*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。								特記事項								<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載し、火災区画内の隔壁情報を記載している。</p>
火災区画特性表Ⅱ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画内の火災及び防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
フロント		O-2				R1-A				1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
No.	火災区画内の詳細名称	火災源			防火設備			防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		床面積 (㎡)	容熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隣接区画時間 (分)*1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1	計10 商業施設	150	47579	305	0.24	熱感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
2	計14 配電センター制御室	118	28445	242	0.27	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器、粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3	計13 制御センター入室	80	10347	130	0.15	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器、粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4	計12 制御センター入室	48	851	14	0.02	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5	計2 商業施設	306	62542	270	0.30	熱感知器、煙感知器	COガス検知器の設置	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画全体のまとめ		(1)	2	3	4	①=合計値、②=合計値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		708	18319	140	0.27	①=2.7、②=2.7、③=2.7、④=2.7、⑤=2.7、⑥=2.7、⑦=2.7、⑧=2.7、⑨=2.7、⑩=2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特記事項		*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
火災区画特性表Ⅱ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画内の火災ハザード及び防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
フロント		前3号機		火災区画番号		A/B 4-02-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
火災区画名称		計10号機制御室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
火災ハザード				防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
床面積 (㎡)	容熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
14.8	1389	94	0.11	熱感知器 煙感知器	全域ハロゲン化物 消火設備	自動	粉末消火器 屋内消火栓																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火災荷重 (MJ/m ²) = 床面積 (㎡) / 容熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 = 908.09 MJ/m ² ・分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅲ</p> <p style="text-align: center;">火災区画に隣接する火災区画(部屋)と伝播経路</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="2">O-2</th> <th colspan="2">R1-A</th> <th colspan="2">1/2</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">対象区画内の部屋番号</th> <th rowspan="2">隣接火災区画番号</th> <th colspan="2">隣接火災区画内の部屋番号</th> <th rowspan="2">火災伝播経路</th> <th rowspan="2">隣接区画の耐火耐力(N)*1</th> <th rowspan="2">伝播の可能性</th> </tr> <tr> <th colspan="2">隣接火災区画内の部屋名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>R-1-02</td><td>B-1-03 B-03階段室</td><td>貫通孔/扉</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-10</td><td>R-1-03</td><td>B-1-03 B-03階段室</td><td>貫通孔/扉</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-10</td><td>R2-A</td><td>R2WMPシリンダ室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素消火設備</td><td>有</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-1-10</td><td>R2-A</td><td>R2WMPシリンダ室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素消火設備</td><td>有</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-1-10</td><td>R-3-28</td><td>MWRシリンダシランク室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-1-10</td><td>R-3-31</td><td>IS</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-1-10</td><td>RN-C</td><td>R-1-11 R2WMPシリンダ室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-10</td><td>RN-C</td><td>B/A HCN/LCWサンダ室</td><td>貫通孔/扉</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素消火設備</td><td>有</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-10</td><td>RN-C</td><td>CLMシリンダ室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-1-10</td><td>RN-C</td><td>R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>11</td><td>R-1-10</td><td>RN-C</td><td>R-1-43 CLMシリンダ室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>12</td><td>R-1-14</td><td>R-1-03</td><td>B-03階段室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>13</td><td>R-1-14</td><td>R1-1</td><td>1-3ス室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>14</td><td>R-1-14</td><td>RN-A</td><td>R-1-12 B/A 制御室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>15</td><td>R-1-14</td><td>RN-A</td><td>R-1-04 B-03階段室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>16</td><td>R-1-14</td><td>RN-C</td><td>R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>17</td><td>R-1-14</td><td>RN-2</td><td>R-3-29 CLM機室(主軸交換機室)</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>18</td><td>R-1-3</td><td>R1-1</td><td>R-1-1 1-3ス室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>19</td><td>R-1-3</td><td>RN-A</td><td>R-1-18 L2W機室(シリンダ室)</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>20</td><td>R-1-3</td><td>RN-A</td><td>R-1-20 L2W機室(シリンダ室)</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>21</td><td>R-1-3</td><td>RN-A</td><td>R-1-04 B-03階段室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>22</td><td>R-1-3</td><td>RN-A</td><td>R-2-13 IS</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>23</td><td>R-1-3</td><td>RN-A</td><td>R-3-30 EV室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>24</td><td>R-1-3</td><td>RN-2</td><td>R-3-29 IS</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>25</td><td>R-3-2</td><td>R1-1</td><td>R-1-1 1-3ス室</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>26</td><td>R-3-2</td><td>R1-6</td><td>R-3-1 B/A インター通廊</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素消火設備</td><td>有</td></tr> <tr><td>27</td><td>R-3-2</td><td>RN-A</td><td>R-3-25 IS</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>28</td><td>R-3-2</td><td>RN-A</td><td>R-3-30 EV室</td><td>壁</td><td>3</td><td>耐火消火器</td><td>無</td></tr> <tr><td>29</td><td>R-3-2</td><td>RN-2</td><td>R-3-29 IS</td><td>貫通孔</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> <tr><td>30</td><td>R-3-8</td><td>R-1-02</td><td>B-1-03 B-03階段室</td><td>貫通孔/扉</td><td>開放</td><td>耐火消火器</td><td>有</td></tr> </tbody> </table> <p>*1: 単の火災区画との境界の耐火耐力を示す。</p>		フロント		O-2		R1-A		1/2		No.	対象区画内の部屋番号	隣接火災区画番号	隣接火災区画内の部屋番号		火災伝播経路	隣接区画の耐火耐力(N)*1	伝播の可能性	隣接火災区画内の部屋名称		1	R-1-10	R-1-02	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有	2	R-1-10	R-1-03	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有	3	R-1-10	R2-A	R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有	4	R-1-10	R2-A	R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有	5	R-1-10	R-3-28	MWRシリンダシランク室	壁	3	耐火消火器	無	6	R-1-10	R-3-31	IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有	7	R-1-10	RN-C	R-1-11 R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	8	R-1-10	RN-C	B/A HCN/LCWサンダ室	貫通孔/扉	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有	8	R-1-10	RN-C	CLMシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	10	R-1-10	RN-C	R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア	貫通孔	開放	耐火消火器	有	11	R-1-10	RN-C	R-1-43 CLMシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	12	R-1-14	R-1-03	B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無	13	R-1-14	R1-1	1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	14	R-1-14	RN-A	R-1-12 B/A 制御室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	15	R-1-14	RN-A	R-1-04 B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無	16	R-1-14	RN-C	R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア	貫通孔	開放	耐火消火器	有	17	R-1-14	RN-2	R-3-29 CLM機室(主軸交換機室)	貫通孔	開放	耐火消火器	有	18	R-1-3	R1-1	R-1-1 1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	19	R-1-3	RN-A	R-1-18 L2W機室(シリンダ室)	壁	3	耐火消火器	無	20	R-1-3	RN-A	R-1-20 L2W機室(シリンダ室)	貫通孔	開放	耐火消火器	有	21	R-1-3	RN-A	R-1-04 B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無	22	R-1-3	RN-A	R-2-13 IS	壁	3	耐火消火器	無	23	R-1-3	RN-A	R-3-30 EV室	壁	3	耐火消火器	無	24	R-1-3	RN-2	R-3-29 IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有	25	R-3-2	R1-1	R-1-1 1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有	26	R-3-2	R1-6	R-3-1 B/A インター通廊	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有	27	R-3-2	RN-A	R-3-25 IS	壁	3	耐火消火器	無	28	R-3-2	RN-A	R-3-30 EV室	壁	3	耐火消火器	無	29	R-3-2	RN-2	R-3-29 IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有	30	R-3-8	R-1-02	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有	<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅲ</p> <p style="text-align: center;">火災区画に隣接する火災区画(部屋)と伝播経路</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="2">O1号機</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th colspan="2">A/B 1-02-2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">火災区画名称</th> <th colspan="2">隣接火災区画名称</th> <th>火災伝播経路</th> <th>隣接区画の耐火耐力(N)*1</th> <th>隣接区画の耐火耐力(N)*1</th> <th>伝播の可能性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>A/B 3-01-1</td><td>親子が補助建機10.3m遊路等</td><td>壁</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素消火設備</td><td>無</td></tr> <tr><td>2</td><td>A/B 1-01-1</td><td>親子が補助建機17.8m遊路等(管理区域)</td><td>壁</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素消火設備</td><td>無</td></tr> <tr><td>3</td><td>A/B 1-02-1</td><td>A-130遊路ポンプ室</td><td>壁</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素消火設備</td><td>無</td></tr> <tr><td>4</td><td>A/B 1-01-3</td><td>プロセス制御室</td><td>壁</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素消火設備</td><td>無</td></tr> </tbody> </table> <p>特記事項 *1: 単の火災区画との境界の耐火耐力を示す。</p>		フロント		O1号機		火災区画番号		A/B 1-02-2		火災区画名称		隣接火災区画名称		火災伝播経路	隣接区画の耐火耐力(N)*1	隣接区画の耐火耐力(N)*1	伝播の可能性	1	A/B 3-01-1	親子が補助建機10.3m遊路等	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無	2	A/B 1-01-1	親子が補助建機17.8m遊路等(管理区域)	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無	3	A/B 1-02-1	A-130遊路ポンプ室	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無	4	A/B 1-01-3	プロセス制御室	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
フロント		O-2		R1-A		1/2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
No.	対象区画内の部屋番号	隣接火災区画番号	隣接火災区画内の部屋番号		火災伝播経路	隣接区画の耐火耐力(N)*1	伝播の可能性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			隣接火災区画内の部屋名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1	R-1-10	R-1-02	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2	R-1-10	R-1-03	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3	R-1-10	R2-A	R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4	R-1-10	R2-A	R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5	R-1-10	R-3-28	MWRシリンダシランク室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6	R-1-10	R-3-31	IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7	R-1-10	RN-C	R-1-11 R2WMPシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8	R-1-10	RN-C	B/A HCN/LCWサンダ室	貫通孔/扉	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8	R-1-10	RN-C	CLMシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10	R-1-10	RN-C	R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11	R-1-10	RN-C	R-1-43 CLMシリンダ室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12	R-1-14	R-1-03	B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
13	R-1-14	R1-1	1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
14	R-1-14	RN-A	R-1-12 B/A 制御室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
15	R-1-14	RN-A	R-1-04 B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
16	R-1-14	RN-C	R-1-43 CLMシリンダサンダスエリア	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
17	R-1-14	RN-2	R-3-29 CLM機室(主軸交換機室)	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
18	R-1-3	R1-1	R-1-1 1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
19	R-1-3	RN-A	R-1-18 L2W機室(シリンダ室)	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
20	R-1-3	RN-A	R-1-20 L2W機室(シリンダ室)	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
21	R-1-3	RN-A	R-1-04 B-03階段室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
22	R-1-3	RN-A	R-2-13 IS	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
23	R-1-3	RN-A	R-3-30 EV室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
24	R-1-3	RN-2	R-3-29 IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
25	R-3-2	R1-1	R-1-1 1-3ス室	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
26	R-3-2	R1-6	R-3-1 B/A インター通廊	貫通孔	開放	ハロゲン化炭素消火設備	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
27	R-3-2	RN-A	R-3-25 IS	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
28	R-3-2	RN-A	R-3-30 EV室	壁	3	耐火消火器	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
29	R-3-2	RN-2	R-3-29 IS	貫通孔	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
30	R-3-8	R-1-02	B-1-03 B-03階段室	貫通孔/扉	開放	耐火消火器	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
フロント		O1号機		火災区画番号		A/B 1-02-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
火災区画名称		隣接火災区画名称		火災伝播経路	隣接区画の耐火耐力(N)*1	隣接区画の耐火耐力(N)*1	伝播の可能性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	A/B 3-01-1	親子が補助建機10.3m遊路等	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2	A/B 1-01-1	親子が補助建機17.8m遊路等(管理区域)	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3	A/B 1-02-1	A-130遊路ポンプ室	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4	A/B 1-01-3	プロセス制御室	壁	壁	1	全域ハロゲン化炭素消火設備	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画特性表IV</th> </tr> <tr> <th colspan="6">火災により影響を受ける設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">1/2</th> <th colspan="3">1/1</th> </tr> <tr> <th>アラート</th> <th colspan="2">D-2</th> <th colspan="3">R1-A</th> </tr> <tr> <th>火災区画内の設備番号</th> <th>系統名</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>重要区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E31-C001A</td><td>換気設備去気系ポンプA)</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-3-2</td><td>RHR</td><td>E31-FT006A</td><td>RHR67(A)出口流量</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-3-9</td><td>RHR</td><td>E31-FT006B</td><td>RHR67(B)出口流量</td><td>III</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E31-MO-FB01A</td><td>RHRポンプA/C吸込弁</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E31-MO-FB17A</td><td>RHRポンプA停止時冷却吸込弁</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E31-MO-FB02</td><td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E31-MO-FB02</td><td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-AD-FB02</td><td>RDCタービン入口冷却ドラレイン第一弁</td><td>I</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-AD-FB02</td><td>RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第一弁</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-AD-FB02</td><td>RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第二弁</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>11</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-C001</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>12</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-C002</td><td>原子炉隔離時冷却系タービン</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>13</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-C003</td><td>原子炉隔離時冷却系復水ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>14</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-C004</td><td>原子炉隔離時冷却系真空ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>15</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-FT004</td><td>RDC67出口流量</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>16</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-HO-POST</td><td>RDC換気設備</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>17</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-LT026</td><td>RDC真空ポンプ水位</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>18</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB01</td><td>RDCポンプC/C吸込弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>19</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB05</td><td>RDCポンプS/C吸込弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>20</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB09</td><td>RDCタービン止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>21</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB12</td><td>RDC第一試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB13</td><td>RDC第二試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB17</td><td>RDC冷却系ライン止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>24</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E31-MO-FB71</td><td>RDC主蒸気止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>25</td><td>R-1-3</td><td>AG</td><td>T48-LT020</td><td>圧力制御器水位</td><td>NON</td><td>その他重要設備 9</td></tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表IV						火災により影響を受ける設備						1/2			1/1			アラート	D-2		R1-A			火災区画内の設備番号	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名	1	R-1-3	RHR	E31-C001A	換気設備去気系ポンプA)	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B	2	R-3-2	RHR	E31-FT006A	RHR67(A)出口流量	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B	3	R-3-9	RHR	E31-FT006B	RHR67(B)出口流量	III	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B	4	R-1-3	RHR	E31-MO-FB01A	RHRポンプA/C吸込弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B	5	R-1-3	RHR	E31-MO-FB17A	RHRポンプA停止時冷却吸込弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B	6	R-1-3	RHR	E31-MO-FB02	代替循環冷却ポンプ吸込弁			7	R-1-3	RHR	E31-MO-FB02	代替循環冷却ポンプ流量調整弁			8	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDCタービン入口冷却ドラレイン第一弁	I		9	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第一弁		RDC	10	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第二弁		RDC	11	R-1-14	RDC	E31-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RDC	12	R-1-14	RDC	E31-C002	原子炉隔離時冷却系タービン		RDC	13	R-1-14	RDC	E31-C003	原子炉隔離時冷却系復水ポンプ		RDC	14	R-1-14	RDC	E31-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RDC	15	R-1-14	RDC	E31-FT004	RDC67出口流量	I	RDC	16	R-1-14	RDC	E31-HO-POST	RDC換気設備		RDC	17	R-1-14	RDC	E31-LT026	RDC真空ポンプ水位	I	RDC	18	R-1-14	RDC	E31-MO-FB01	RDCポンプC/C吸込弁	I	RDC	19	R-1-14	RDC	E31-MO-FB05	RDCポンプS/C吸込弁	I	RDC	20	R-1-14	RDC	E31-MO-FB09	RDCタービン止め弁	I	RDC	21	R-1-14	RDC	E31-MO-FB12	RDC第一試験用調整弁			22	R-1-14	RDC	E31-MO-FB13	RDC第二試験用調整弁			23	R-1-14	RDC	E31-MO-FB17	RDC冷却系ライン止め弁	I	RDC	24	R-1-14	RDC	E31-MO-FB71	RDC主蒸気止め弁	I	RDC	25	R-1-3	AG	T48-LT020	圧力制御器水位	NON	その他重要設備 9	特記事項						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画特性表IV</th> </tr> <tr> <th colspan="6">火災により影響を受ける設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">1/1</th> <th colspan="3">1/1</th> </tr> <tr> <th>アラート</th> <th colspan="2">B13号機</th> <th colspan="3">A.7B.4-02-2</th> </tr> <tr> <th>火災区画名称</th> <th colspan="5">B.13号機ポンプ室</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>系統名</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>重要区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>CWS</td><td>RCS2B</td><td>3B-13号機ポンプ</td><td>B</td><td>CWS</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表IV						火災により影響を受ける設備						1/1			1/1			アラート	B13号機		A.7B.4-02-2			火災区画名称	B.13号機ポンプ室					No.	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名	1	CWS	RCS2B	3B-13号機ポンプ	B	CWS	2						3						4						5						6						7						8						9						10						11						12						13						14						15						16						17						18						19						20						21						22						23						24						25						特記事項						<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画特性表IV																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
火災により影響を受ける設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1/2			1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
アラート	D-2		R1-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画内の設備番号	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	R-1-3	RHR	E31-C001A	換気設備去気系ポンプA)	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2	R-3-2	RHR	E31-FT006A	RHR67(A)出口流量	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	R-3-9	RHR	E31-FT006B	RHR67(B)出口流量	III	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	R-1-3	RHR	E31-MO-FB01A	RHRポンプA/C吸込弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5	R-1-3	RHR	E31-MO-FB17A	RHRポンプA停止時冷却吸込弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)3HR-A (15)3HR-B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
6	R-1-3	RHR	E31-MO-FB02	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
7	R-1-3	RHR	E31-MO-FB02	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
8	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDCタービン入口冷却ドラレイン第一弁	I																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第一弁		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10	R-1-14	RDC	E31-AD-FB02	RDC真空ポンプ吐出ドラレイン第二弁		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
11	R-1-14	RDC	E31-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
12	R-1-14	RDC	E31-C002	原子炉隔離時冷却系タービン		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
13	R-1-14	RDC	E31-C003	原子炉隔離時冷却系復水ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
14	R-1-14	RDC	E31-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
15	R-1-14	RDC	E31-FT004	RDC67出口流量	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
16	R-1-14	RDC	E31-HO-POST	RDC換気設備		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
17	R-1-14	RDC	E31-LT026	RDC真空ポンプ水位	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
18	R-1-14	RDC	E31-MO-FB01	RDCポンプC/C吸込弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
19	R-1-14	RDC	E31-MO-FB05	RDCポンプS/C吸込弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
20	R-1-14	RDC	E31-MO-FB09	RDCタービン止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
21	R-1-14	RDC	E31-MO-FB12	RDC第一試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
22	R-1-14	RDC	E31-MO-FB13	RDC第二試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
23	R-1-14	RDC	E31-MO-FB17	RDC冷却系ライン止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
24	R-1-14	RDC	E31-MO-FB71	RDC主蒸気止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
25	R-1-3	AG	T48-LT020	圧力制御器水位	NON	その他重要設備 9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
火災区画特性表IV																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
火災により影響を受ける設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1/1			1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
アラート	B13号機		A.7B.4-02-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画名称	B.13号機ポンプ室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
No.	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	CWS	RCS2B	3B-13号機ポンプ	B	CWS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">火災区画特性表V</th> </tr> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災により影響を受けるケーブル</th> <th style="text-align: center;">1/1</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">フロント</th> <th style="text-align: center;">O-E</th> <th style="text-align: center;">火災区画番号</th> <th style="text-align: center;">R1-A</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">No.</th> <th style="text-align: center;">火災区画内の装置番号</th> <th style="text-align: center;">火災区画内の装置名称</th> <th style="text-align: center;">○：送付有 ×：送付無</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>BZF 南側通路</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-14</td><td>R30タービンポンプ室</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-3</td><td>R4Rポンプ(A)室</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>R-3-2</td><td>R4R入管アップ室</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>R-3-9</td><td>BZF 南側通路</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表V					火災により影響を受けるケーブル				1/1	フロント		O-E	火災区画番号	R1-A	No.	火災区画内の装置番号	火災区画内の装置名称	○：送付有 ×：送付無	備考	1	R-1-10	BZF 南側通路	○		2	R-1-14	R30タービンポンプ室	○		3	R-1-3	R4Rポンプ(A)室	○		4	R-3-2	R4R入管アップ室	○		5	R-3-9	BZF 南側通路	○		6					7					8					9					10					11					12					13					14					15					16					17					18					19					20					21					22					23					24					25					26					27					28					29					30					特記事項					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災区画特性表V</th> </tr> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災により影響を受けるケーブル</th> <th style="text-align: center;">1/1</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">フロント</th> <th style="text-align: center;">O-E</th> <th style="text-align: center;">火災区画番号</th> <th style="text-align: center;">R1-A</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">No.</th> <th style="text-align: center;">火災区画内の装置番号</th> <th style="text-align: center;">火災区画内の装置名称</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>R-1-10</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表V				火災により影響を受けるケーブル				1/1	フロント	O-E	火災区画番号	R1-A	No.	火災区画内の装置番号	火災区画内の装置名称	備考			R-1-10		特記事項				<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画特性表V																																																																																																																																																																																																											
火災により影響を受けるケーブル				1/1																																																																																																																																																																																																							
フロント		O-E	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																							
No.	火災区画内の装置番号	火災区画内の装置名称	○：送付有 ×：送付無	備考																																																																																																																																																																																																							
1	R-1-10	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																								
2	R-1-14	R30タービンポンプ室	○																																																																																																																																																																																																								
3	R-1-3	R4Rポンプ(A)室	○																																																																																																																																																																																																								
4	R-3-2	R4R入管アップ室	○																																																																																																																																																																																																								
5	R-3-9	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																								
6																																																																																																																																																																																																											
7																																																																																																																																																																																																											
8																																																																																																																																																																																																											
9																																																																																																																																																																																																											
10																																																																																																																																																																																																											
11																																																																																																																																																																																																											
12																																																																																																																																																																																																											
13																																																																																																																																																																																																											
14																																																																																																																																																																																																											
15																																																																																																																																																																																																											
16																																																																																																																																																																																																											
17																																																																																																																																																																																																											
18																																																																																																																																																																																																											
19																																																																																																																																																																																																											
20																																																																																																																																																																																																											
21																																																																																																																																																																																																											
22																																																																																																																																																																																																											
23																																																																																																																																																																																																											
24																																																																																																																																																																																																											
25																																																																																																																																																																																																											
26																																																																																																																																																																																																											
27																																																																																																																																																																																																											
28																																																																																																																																																																																																											
29																																																																																																																																																																																																											
30																																																																																																																																																																																																											
特記事項																																																																																																																																																																																																											
火災区画特性表V																																																																																																																																																																																																											
火災により影響を受けるケーブル				1/1																																																																																																																																																																																																							
フロント	O-E	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																								
No.	火災区画内の装置番号	火災区画内の装置名称	備考																																																																																																																																																																																																								
		R-1-10																																																																																																																																																																																																									
特記事項																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
	<p style="text-align: center;">添付資料-1</p> <p style="text-align: center;">火災影響評価のデータシート 目次 1/1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>プリント</th> <th>0-2</th> <th>火災区画番号</th> <th>01-A</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>火災区画内の部屋番号</th> <th>火災区画内の部屋名称</th> <th>○：設計有 ×：設計無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>B3F 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-14</td><td>R2C0カービンポンプ室</td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-3</td><td>階梯R2C1A室</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2-2</td><td>R4R4A1昇降ラック室</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2-8</td><td>B2F 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	プリント	0-2	火災区画番号	01-A	No.	火災区画内の部屋番号	火災区画内の部屋名称	○：設計有 ×：設計無	1	R-1-10	B3F 南側通路	○	2	R-1-14	R2C0カービンポンプ室	○	3	R-1-3	階梯R2C1A室	○	4	R-2-2	R4R4A1昇降ラック室	○	5	R-2-8	B2F 南側通路	○	6				7				8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18				19				20				21				22				23				24				25				26				27				28				29				30				特記事項				<p style="text-align: center;">添付資料-1</p> <p style="text-align: center;">火災影響評価のデータシート 目次 1/1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>プリント</th> <th>01号機</th> <th>火災区画番号</th> <th>A/R 4-02-2</th> </tr> <tr> <th>火災区画名称</th> <th>非圧入型ポンプ室</th> <th></th> <th>添付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	プリント	01号機	火災区画番号	A/R 4-02-2	火災区画名称	非圧入型ポンプ室		添付	特記事項				<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
プリント	0-2	火災区画番号	01-A																																																																																																																																																
No.	火災区画内の部屋番号	火災区画内の部屋名称	○：設計有 ×：設計無																																																																																																																																																
1	R-1-10	B3F 南側通路	○																																																																																																																																																
2	R-1-14	R2C0カービンポンプ室	○																																																																																																																																																
3	R-1-3	階梯R2C1A室	○																																																																																																																																																
4	R-2-2	R4R4A1昇降ラック室	○																																																																																																																																																
5	R-2-8	B2F 南側通路	○																																																																																																																																																
6																																																																																																																																																			
7																																																																																																																																																			
8																																																																																																																																																			
9																																																																																																																																																			
10																																																																																																																																																			
11																																																																																																																																																			
12																																																																																																																																																			
13																																																																																																																																																			
14																																																																																																																																																			
15																																																																																																																																																			
16																																																																																																																																																			
17																																																																																																																																																			
18																																																																																																																																																			
19																																																																																																																																																			
20																																																																																																																																																			
21																																																																																																																																																			
22																																																																																																																																																			
23																																																																																																																																																			
24																																																																																																																																																			
25																																																																																																																																																			
26																																																																																																																																																			
27																																																																																																																																																			
28																																																																																																																																																			
29																																																																																																																																																			
30																																																																																																																																																			
特記事項																																																																																																																																																			
プリント	01号機	火災区画番号	A/R 4-02-2																																																																																																																																																
火災区画名称	非圧入型ポンプ室		添付																																																																																																																																																
特記事項																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>1. 概要 全ての火災区画について、隣接火災区画への火災影響の有無を確認するため火災伝播評価を実施した。</p> <p>2. 前提条件 火災伝播評価においては、火災の影響軽減対策の実施を前提として、火災の伝播の有無を評価する。（8条-別添1-資料7参照）</p> <p>3. 評価 全ての火災区画について、隣接する火災区画を抽出し、火災伝播評価手順の概要フローに従い、火災伝播評価を実施した。 火災伝播“無”となった火災区域については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価」を実施し、火災伝播“有”となった隣接火災区画については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価」を実施する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>1. 概要 すべての火災区画について、隣接火災区画への火災影響の有無を確認するため火災伝播評価を実施した。</p> <p>2. 前提条件 火災伝播評価においては、火災の影響軽減対策の実施を前提として、火災の伝播の有無を評価する。（8条-別添1-資料7参照）</p> <p>3. 評価 すべての火災区画について、隣接する火災区画を抽出し、火災伝播評価手順の概要フローに従い、火災伝播評価を実施した。 火災伝播“無”となった火災区域については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価」を実施し、火災伝播“有”となった隣接火災区画については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価」を実施する。</p>	<p>【女川】 ■ 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■ 記載内容の相違 （女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（1/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RT-A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-D</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-E</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-F</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-G</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-H</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-I</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-J</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-K</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-L</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-M</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-N</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-O</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-P</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Q</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-R</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-S</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-T</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-U</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-V</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-W</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-X</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Y</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Z</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	RT-A	原子炉建屋	RT-B	原子炉建屋	RT-C	原子炉建屋	RT-D	原子炉建屋	RT-E	原子炉建屋	RT-F	原子炉建屋	RT-G	原子炉建屋	RT-H	原子炉建屋	RT-I	原子炉建屋	RT-J	原子炉建屋	RT-K	原子炉建屋	RT-L	原子炉建屋	RT-M	原子炉建屋	RT-N	原子炉建屋	RT-O	原子炉建屋	RT-P	原子炉建屋	RT-Q	原子炉建屋	RT-R	原子炉建屋	RT-S	原子炉建屋	RT-T	原子炉建屋	RT-U	原子炉建屋	RT-V	原子炉建屋	RT-W	原子炉建屋	RT-X	原子炉建屋	RT-Y	原子炉建屋	RT-Z	原子炉建屋	<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（1/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RT-A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-D</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-E</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-F</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-G</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-H</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-I</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-J</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-K</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-L</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-M</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-N</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-O</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-P</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Q</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-R</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-S</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-T</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-U</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-V</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-W</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-X</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Y</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Z</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	RT-A	原子炉建屋	RT-B	原子炉建屋	RT-C	原子炉建屋	RT-D	原子炉建屋	RT-E	原子炉建屋	RT-F	原子炉建屋	RT-G	原子炉建屋	RT-H	原子炉建屋	RT-I	原子炉建屋	RT-J	原子炉建屋	RT-K	原子炉建屋	RT-L	原子炉建屋	RT-M	原子炉建屋	RT-N	原子炉建屋	RT-O	原子炉建屋	RT-P	原子炉建屋	RT-Q	原子炉建屋	RT-R	原子炉建屋	RT-S	原子炉建屋	RT-T	原子炉建屋	RT-U	原子炉建屋	RT-V	原子炉建屋	RT-W	原子炉建屋	RT-X	原子炉建屋	RT-Y	原子炉建屋	RT-Z	原子炉建屋	<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（1/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RT-A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-D</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-E</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-F</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-G</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-H</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-I</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-J</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-K</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-L</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-M</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-N</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-O</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-P</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Q</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-R</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-S</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-T</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-U</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-V</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-W</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-X</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Y</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>RT-Z</td> <td>原子炉建屋</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	RT-A	原子炉建屋	RT-B	原子炉建屋	RT-C	原子炉建屋	RT-D	原子炉建屋	RT-E	原子炉建屋	RT-F	原子炉建屋	RT-G	原子炉建屋	RT-H	原子炉建屋	RT-I	原子炉建屋	RT-J	原子炉建屋	RT-K	原子炉建屋	RT-L	原子炉建屋	RT-M	原子炉建屋	RT-N	原子炉建屋	RT-O	原子炉建屋	RT-P	原子炉建屋	RT-Q	原子炉建屋	RT-R	原子炉建屋	RT-S	原子炉建屋	RT-T	原子炉建屋	RT-U	原子炉建屋	RT-V	原子炉建屋	RT-W	原子炉建屋	RT-X	原子炉建屋	RT-Y	原子炉建屋	RT-Z	原子炉建屋	<p>【女川・大阪】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） （3/4号炉は短型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-A	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-B	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-C	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-D	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-E	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-F	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-G	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-H	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-I	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-J	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-K	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-L	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-M	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-N	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-O	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-P	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Q	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-R	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-S	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-T	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-U	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-V	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-W	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-X	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Y	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Z	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-A	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-B	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-C	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-D	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-E	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-F	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-G	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-H	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-I	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-J	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-K	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-L	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-M	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-N	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-O	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-P	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Q	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-R	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-S	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-T	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-U	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-V	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-W	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-X	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Y	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Z	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
火災区画	火災区画名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-A	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-B	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-C	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-D	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-E	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-F	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-G	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-H	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-I	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-J	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-K	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-L	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-M	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-N	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-O	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-P	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Q	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-R	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-S	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-T	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-U	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-V	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-W	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-X	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Y	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
RT-Z	原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RT-A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.27h</td> <td>RT-D RN-E R-4-15 R-5-15 R-5-16 RT-I RT-K R2-A RN-A RN-C RN-I RN-K R-1-52 R-1-53 R-3-8 R-3-26 R-3-31 R-3-32</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	RT-A	原子炉建屋	0.27h	RT-D RN-E R-4-15 R-5-15 R-5-16 RT-I RT-K R2-A RN-A RN-C RN-I RN-K R-1-52 R-1-53 R-3-8 R-3-26 R-3-31 R-3-32	3h	無							有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 1-01</td> <td>原子炉建屋-1.7m通路</td> <td>0.11h</td> <td>A/B 1-03 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 R/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-02</td> <td>湯水ヒートポンプ室及び制御用配管室</td> <td>0.07h</td> <td>A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-03</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室</td> <td>0.12h</td> <td>A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-04</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室</td> <td>0.13h</td> <td>A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-1</td> <td>セメント固化装置エリア</td> <td>0.20h</td> <td>A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 1-01	原子炉建屋-1.7m通路	0.11h	A/B 1-03 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 R/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無		A/B 1-02	湯水ヒートポンプ室及び制御用配管室	0.07h	A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02	1h	有		A/B 1-03	A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室	0.12h	A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無		A/B 1-04	B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室	0.13h	A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無		A/B 2-01-1	セメント固化装置エリア	0.20h	A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I	1h	無							有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
RT-A	原子炉建屋	0.27h	RT-D RN-E R-4-15 R-5-15 R-5-16 RT-I RT-K R2-A RN-A RN-C RN-I RN-K R-1-52 R-1-53 R-3-8 R-3-26 R-3-31 R-3-32	3h	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
A/B 1-01	原子炉建屋-1.7m通路	0.11h	A/B 1-03 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 R/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A/B 1-02	湯水ヒートポンプ室及び制御用配管室	0.07h	A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02	1h	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A/B 1-03	A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室	0.12h	A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A/B 1-04	B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びVA-系統除去ポンプ室	0.13h	A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A/B 2-01-1	セメント固化装置エリア	0.20h	A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I	1h	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																						
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（3/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">火災区画内主要設備</th> <th rowspan="2">隣接火災区画</th> <th rowspan="2">火災伝播経路</th> <th rowspan="2">火災伝播経路の概要</th> <th colspan="2">火災伝播経路</th> <th colspan="2">火災伝播経路</th> <th rowspan="2">火災伝播の程度</th> </tr> <tr> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">R1-C</td> <td rowspan="10">緊急用電気設備(1) 他</td> <td rowspan="10">1.5分</td> <td rowspan="10">隣接火災区画</td> <td rowspan="10">火災伝播経路</td> <td rowspan="10">火災伝播経路の概要</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> <tr> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播経路</td> <td>火災伝播の程度</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	名称	火災区画内主要設備	隣接火災区画	火災伝播経路	火災伝播経路の概要	火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	R1-C	緊急用電気設備(1) 他	1.5分	隣接火災区画	火災伝播経路	火災伝播経路の概要	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1-C</td> <td>緊急用電気設備(1) 他</td> <td>1.5分</td> <td>CF-E C2-A CN-A C-3-33 RN-D RN-I R-I-S3 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-116</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R1-C	緊急用電気設備(1) 他	1.5分	CF-E C2-A CN-A C-3-33 RN-D RN-I R-I-S3 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-116	3h	無						-	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 2-01-3</td> <td>冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置凝縮水ポンプ及び係数給本ポンプ室</td> <td>0.01h</td> <td>A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-41-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 1-01 A/B 2-41-1 A/B 2-41-7 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-2 A/B 4-01-4 A/B-C</td> <td>3h 1h -</td> <td>無 有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-4</td> <td>工作室</td> <td>1.14h</td> <td>A/B 2-01-2 A/B 3-07-1 A/B 3-07-2 A/B 2-41-6 A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-01-2</td> <td>3h 1h 3h</td> <td>無 有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-5</td> <td>原子炉補助建屋6.3m階廊下</td> <td>0.02h</td> <td>A/B 2-01-1 A/B 2-05-2 A/B-R A/B-R</td> <td>1h -</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-6</td> <td>原子炉補助建屋ヘロガス31ポンプ庫</td> <td>0.05h</td> <td>A/B 2-41-2 A/B 2-41-4</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 2-01-3	冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置凝縮水ポンプ及び係数給本ポンプ室	0.01h	A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-41-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 1-01 A/B 2-41-1 A/B 2-41-7 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-2 A/B 4-01-4 A/B-C	3h 1h -	無 有 無		A/B 2-01-4	工作室	1.14h	A/B 2-01-2 A/B 3-07-1 A/B 3-07-2 A/B 2-41-6 A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-01-2	3h 1h 3h	無 有 無		A/B 2-01-5	原子炉補助建屋6.3m階廊下	0.02h	A/B 2-01-1 A/B 2-05-2 A/B-R A/B-R	1h -	有 無		A/B 2-01-6	原子炉補助建屋ヘロガス31ポンプ庫	0.05h	A/B 2-41-2 A/B 2-41-4	1h	無		<p>【女川・大阪】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） （3/4号炉は短理が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	名称	火災区画内主要設備	隣接火災区画	火災伝播経路	火災伝播経路の概要	火災伝播経路		火災伝播経路								火災伝播の程度																																																																																																																																				
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路																																																																																																																																											
R1-C	緊急用電気設備(1) 他	1.5分	隣接火災区画	火災伝播経路	火災伝播経路の概要	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																										
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
						火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播の程度																																																																																																																																											
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																														
R1-C	緊急用電気設備(1) 他	1.5分	CF-E C2-A CN-A C-3-33 RN-D RN-I R-I-S3 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-116	3h	無																																																																																																																																															
				-	有																																																																																																																																															
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																														
A/B 2-01-3	冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置凝縮水ポンプ及び係数給本ポンプ室	0.01h	A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-41-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 1-01 A/B 2-41-1 A/B 2-41-7 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-2 A/B 4-01-4 A/B-C	3h 1h -	無 有 無																																																																																																																																															
A/B 2-01-4	工作室	1.14h	A/B 2-01-2 A/B 3-07-1 A/B 3-07-2 A/B 2-41-6 A/B 2-45-1 A/B 3-07-1 A/B 2-01-2	3h 1h 3h	無 有 無																																																																																																																																															
A/B 2-01-5	原子炉補助建屋6.3m階廊下	0.02h	A/B 2-01-1 A/B 2-05-2 A/B-R A/B-R	1h -	有 無																																																																																																																																															
A/B 2-01-6	原子炉補助建屋ヘロガス31ポンプ庫	0.05h	A/B 2-41-2 A/B 2-41-4	1h	無																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																											
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（4/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">火災区画内</th> <th rowspan="2">火災区画外</th> <th rowspan="2">火災区画内</th> <th rowspan="2">火災区画外</th> <th colspan="2">火災伝播</th> <th rowspan="2">火災伝播</th> <th rowspan="2">火災伝播</th> </tr> <tr> <th>火災区画内</th> <th>火災区画外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td rowspan="3">A. 発電機室 (3号機)</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td>機</td> <td>機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">B. 発電機室 (4号機)</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td>機</td> <td>機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C</td> <td rowspan="3">C. 安全格納箱 (1号機)</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> <td>機</td> <td>機</td> <td rowspan="3">機</td> <td rowspan="3">機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>機</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	名称	種類	火災区画内	火災区画外	火災区画内	火災区画外	火災伝播		火災伝播	火災伝播	火災区画内	火災区画外	A	A. 発電機室 (3号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	B	B. 発電機室 (4号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	C	C. 安全格納箱 (1号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価大規模時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1-D</td> <td>DC R/C MCC 他</td> <td>0.23h</td> <td>R1-A R1-J R2-F R2-J R2-K R-5-9 R-5-15 R1-H R1-I R1-K R2-A R2-B R2-D R2-E R2-L R2-O R-5-63 R-6-5</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価大規模時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R1-D	DC R/C MCC 他	0.23h	R1-A R1-J R2-F R2-J R2-K R-5-9 R-5-15 R1-H R1-I R1-K R2-A R2-B R2-D R2-E R2-L R2-O R-5-63 R-6-5	3h	無						-	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 2-01-7</td> <td>発電貯蔵ピット室</td> <td>0.00h</td> <td>A/R2-01-2 A/R3-01-1 A/R2-01-3 A/R3-01-2 A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 3-03 A/B 3-04 A/B 3-05 A/B 3-07-1 R/B 2-01 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-04-3 R/B 2-03 R/B 3-09-1 A/B 2-01-2 A/B 2-05-1 A/B 3-11 A/B 2-05-2 A/B-1</td> <td>1h - 3h</td> <td>無 有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>安全系ポンプ/バンプ室、格納容器スプレイ冷却器室及び余熱除去ポンプ冷却器室</td> <td>0.07h</td> <td></td> <td></td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-04</td> <td>放射線管理エリア</td> <td>0.06h</td> <td></td> <td></td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 2-01-7	発電貯蔵ピット室	0.00h	A/R2-01-2 A/R3-01-1 A/R2-01-3 A/R3-01-2 A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 3-03 A/B 3-04 A/B 3-05 A/B 3-07-1 R/B 2-01 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-04-3 R/B 2-03 R/B 3-09-1 A/B 2-01-2 A/B 2-05-1 A/B 3-11 A/B 2-05-2 A/B-1	1h - 3h	無 有 無		A/B 2-02	安全系ポンプ/バンプ室、格納容器スプレイ冷却器室及び余熱除去ポンプ冷却器室	0.07h			無		A/B 2-04	放射線管理エリア	0.06h			無		<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映:着色せず)</p> <p>(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	名称	種類	火災区画内	火災区画外	火災区画内	火災区画外	火災伝播		火災伝播								火災伝播																																																																																																																								
							火災区画内	火災区画外																																																																																																																																	
A	A. 発電機室 (3号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機																																																																																																																															
							機	機																																																																																																																																	
							機	機																																																																																																																																	
B	B. 発電機室 (4号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機																																																																																																																															
							機	機																																																																																																																																	
							機	機																																																																																																																																	
C	C. 安全格納箱 (1号機)	機	機	機	機	機	機	機	機	機																																																																																																																															
							機	機																																																																																																																																	
							機	機																																																																																																																																	
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価大規模時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																			
R1-D	DC R/C MCC 他	0.23h	R1-A R1-J R2-F R2-J R2-K R-5-9 R-5-15 R1-H R1-I R1-K R2-A R2-B R2-D R2-E R2-L R2-O R-5-63 R-6-5	3h	無																																																																																																																																				
				-	有																																																																																																																																				
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																			
A/B 2-01-7	発電貯蔵ピット室	0.00h	A/R2-01-2 A/R3-01-1 A/R2-01-3 A/R3-01-2 A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 3-03 A/B 3-04 A/B 3-05 A/B 3-07-1 R/B 2-01 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-04-3 R/B 2-03 R/B 3-09-1 A/B 2-01-2 A/B 2-05-1 A/B 3-11 A/B 2-05-2 A/B-1	1h - 3h	無 有 無																																																																																																																																				
A/B 2-02	安全系ポンプ/バンプ室、格納容器スプレイ冷却器室及び余熱除去ポンプ冷却器室	0.07h			無																																																																																																																																				
A/B 2-04	放射線管理エリア	0.06h			無																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

第7-2表 隣接火災区画の火災伝播評価結果（火災伝播評価）(5/24)

火災区画	火災区画の名称	火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果
		火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間	
RI-1	高、底レベル放射化学室	有	0.13h	有	0.13h	有	0.13h	有	0.13h	有
RI-2	放射能測定室	有	0.06h	有	0.06h	有	0.06h	有	0.06h	有
RI-3	原子炉補助建屋10.3m通路部	有	0.30h	有	0.30h	有	0.30h	有	0.30h	有

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
RI-1	CMSラック(A)室	0.21h	R2-F	3h	無	
RI-1	トランプス室	0.21h	RI-D	-	有	
			RI-K			
			RI-J			
			RN-B			
			R-3-40			
			R-3-41			
			R-3-9			
			RI-A			
			RI-B			
			RI-D			
			RI-K			
			R2-A			
			R2-B			
			R3-A			
			RN-A			
			RN-C			
			RN-E			
			RN-J			
			RN-P			
			R-3-63			

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
A/B 2-05-1	高、底レベル放射化学室	0.13h	A/B 2-01-2	3h	無	
A/B 2-05-2	放射能測定室	0.06h	A/B 2-01-3			
A/B 3-01-1	原子炉補助建屋10.3m通路部	0.30h	A/B 2-01-5			
			A/B 2-04			
			A/B 2-05-2			
			A/B 3-08			
			A/B 3-09			
			A/B 2-05-1			
			A/B 3-08			
			A/B 3-09			
			A/B 3-10			
			A/B 3-11			
			A/B 2-01-5			
			A/B 2-04			
			A/B-T			
			A/B-U			
			A/B 3-03			
			A/B 3-04			
			A/B 3-05			
			A/B 3-07-1			
			A/B 3-07-2			
			A/B 3-08			
			A/B 4-01-2			
			A/B-D			

【女川・大阪】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大阪】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映:着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																			
		<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1-J</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>0.98h</td> <td>R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R1-J	原子炉格納容器	0.98h	R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P	3h	無		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>原子炉補助装置10.3m通路部</td> <td>0.30h</td> <td>A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B 4-04-5 A/B C A/B-G A/B-J A/B-K A/B-T A/B-U R/B 3-09-1 R/B 3-09-3 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-2</td> <td>ほう機取込装置</td> <td>0.01h</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 3-01-1	原子炉補助装置10.3m通路部	0.30h	A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B 4-04-5 A/B C A/B-G A/B-J A/B-K A/B-T A/B-U R/B 3-09-1 R/B 3-09-3 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4	1h	無		A/B 3-01-2	ほう機取込装置	0.01h			有		<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映:着色せず)</p> <p>(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																			
R1-J	原子炉格納容器	0.98h	R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P	3h	無																																				
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																			
A/B 3-01-1	原子炉補助装置10.3m通路部	0.30h	A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B 4-04-5 A/B C A/B-G A/B-J A/B-K A/B-T A/B-U R/B 3-09-1 R/B 3-09-3 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4	1h	無																																				
A/B 3-01-2	ほう機取込装置	0.01h			有																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																		
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（7/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災原因</th> <th>火災発生位置</th> <th>火災発生時刻</th> <th>火災発生規模</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災原因</th> <th>火災発生位置</th> <th>火災発生時刻</th> <th>火災発生規模</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災原因</th> <th>火災発生位置</th> <th>火災発生時刻</th> <th>火災発生規模</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> <th>火災発生時周囲状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>【女川・大阪】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>（女川実績の反映：着色せず）</p> <p>（3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況																																																																																						
3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																						
火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況																																																																																						
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																						
火災区画	火災原因	火災発生位置	火災発生時刻	火災発生規模	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況	火災発生時周囲状況																																																																																						
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																				
<p>図7-2表 隣接火災区画への火災伝播評価結果（火災伝播評価）（R2/4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2-A</td> <td>HPXSポンプ室 他</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>バルブラックポンプ室</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> </tr> <tr> <td>R2-E</td> <td>調製罐室 他</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	R2-A	HPXSポンプ室 他		30.11	30.11	有	1.19h	有	1.19h	有	1.19h	R2-D	バルブラックポンプ室		30.11	30.11	有	0.43h	有	0.43h	有	0.43h	R2-E	調製罐室 他		30.11	30.11	有	2.20h	有	2.20h	有	2.20h	<p>図7-2表 隣接火災区画への火災伝播評価結果（火災伝播評価）（R2/4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2-A</td> <td>HPXSポンプ室 他</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> <td>有</td> <td>1.19h</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>バルブラックポンプ室</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> <td>有</td> <td>0.43h</td> </tr> <tr> <td>R2-E</td> <td>調製罐室 他</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> <td>有</td> <td>2.20h</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	R2-A	HPXSポンプ室 他		30.11	30.11	有	1.19h	有	1.19h	有	1.19h	R2-D	バルブラックポンプ室		30.11	30.11	有	0.43h	有	0.43h	有	0.43h	R2-E	調製罐室 他		30.11	30.11	有	2.20h	有	2.20h	有	2.20h	<p>図7-2表 隣接火災区画への火災伝播評価結果（火災伝播評価）（R2/4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 3-07-1</td> <td></td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>3h</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-1</td> <td>原子炉補助建屋17.8m通路部（非管理区域）</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>0.01h</td> <td>有</td> <td>0.01h</td> <td>有</td> <td>0.01h</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-2</td> <td>1次系補機操作室及び1次系補機計算機室</td> <td></td> <td>30.11</td> <td>30.11</td> <td>有</td> <td>0.31h</td> <td>有</td> <td>0.31h</td> <td>有</td> <td>0.31h</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	A/B 3-07-1			30.11	30.11	有	3h	有	3h	有	3h	A/B 4-04-1	原子炉補助建屋17.8m通路部（非管理区域）		30.11	30.11	有	0.01h	有	0.01h	有	0.01h	A/B 4-04-2	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室		30.11	30.11	有	0.31h	有	0.31h	有	0.31h	<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>（女川実績の反映：着色せず）</p> <p>（3/4号炉は短型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)																																																																																																																																																								
R2-A	HPXSポンプ室 他		30.11	30.11	有	1.19h	有	1.19h	有	1.19h																																																																																																																																																								
R2-D	バルブラックポンプ室		30.11	30.11	有	0.43h	有	0.43h	有	0.43h																																																																																																																																																								
R2-E	調製罐室 他		30.11	30.11	有	2.20h	有	2.20h	有	2.20h																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)																																																																																																																																																								
R2-A	HPXSポンプ室 他		30.11	30.11	有	1.19h	有	1.19h	有	1.19h																																																																																																																																																								
R2-D	バルブラックポンプ室		30.11	30.11	有	0.43h	有	0.43h	有	0.43h																																																																																																																																																								
R2-E	調製罐室 他		30.11	30.11	有	2.20h	有	2.20h	有	2.20h																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)																																																																																																																																																								
A/B 3-07-1			30.11	30.11	有	3h	有	3h	有	3h																																																																																																																																																								
A/B 4-04-1	原子炉補助建屋17.8m通路部（非管理区域）		30.11	30.11	有	0.01h	有	0.01h	有	0.01h																																																																																																																																																								
A/B 4-04-2	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室		30.11	30.11	有	0.31h	有	0.31h	有	0.31h																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																												
<p>火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能	<p>火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能	<p>火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能	<p>【女川・大阪】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映：着色せず)</p> <p>(3/4号炉は短型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																	
...																																																																																	
火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																	
...																																																																																	
火災区画	火災区画の名称	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																	
...																																																																																	
<p>隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>有</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	有	...	<p>隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>無</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	無	...	<p>隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>有</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	有	...																			
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																				
...	有	...																																																																																				
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																				
...	無	...																																																																																				
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																				
...	有	...																																																																																				
<p>火災区画内の主な部屋名称</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能	<p>火災区画内の主な部屋名称</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能	<p>火災区画内の主な部屋名称</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																									
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																					
...																																																																																					
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																					
...																																																																																					
火災区画	火災区画の名称	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火性能																																																																																					
...																																																																																					
<p>火災区画の耐火性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の耐火性能	<p>火災区画の耐火性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の耐火性能	<p>火災区画の耐火性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画の耐火性能																																																	
火災区画	火災区画の耐火性能																																																																																									
...	...																																																																																									
火災区画	火災区画の耐火性能																																																																																									
...	...																																																																																									
火災区画	火災区画の耐火性能																																																																																									
...	...																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（18/24）

火災区画	火災区画名称	火災区画内主要な設備名	火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果
			火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間			
RS-C	WVP ケーブルトレントラック 他	0.15h	R1-B R1-D R1-I R1-F R1-51 R-4-13 Y-1-5	3h	無	有	無	有	無	有	有
RS-H	RS(H) 運転配置用トレントラック 他	0.65h	R1-B R1-D R1-I R1-F R1-51 R-4-13 Y-1-5	3h	無	有	無	有	無	有	有
RS-I	ドラム貯蔵エリア 他	0.14h	R1-A R1-C R1-E R1-4B R1-B R1-K R1-A R1-B R1-C	3h	無	有	無	有	無	有	有

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
RS-C	WVP ケーブルトレントラック 他	0.15h	R1-B R1-D R1-I R1-F R1-51 R-4-13 Y-1-5	3h	無	有
RS-H	RS(H) 運転配置用トレントラック 他	0.65h	R1-B R1-D R1-I R1-F R1-51 R-4-13 Y-1-5	3h	無	有
RS-I	ドラム貯蔵エリア 他	0.14h	R1-A R1-C R1-E R1-4B R1-B R1-K R1-A R1-B R1-C	3h	無	有

泊発電所3号炉

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画		火災伝播の可能性	備考
			耐火時間	火災伝播の可能性		
A/B 3-04-1	非管理区域冷却機給送	0.08h	0.08h	有	有	有
A/B 3-04-2	原子炉補助母体冷却取水ポンプ室	0.61h	0.61h	有	有	有
A/B 6-01	トランクアセスエリア	0.21h	0.21h	有	有	有
A/B 6-02	ドラム貯蔵出入口エリア及び貯蔵タンク室	0.08h	0.08h	有	有	有
A/B 6-04	1号蒸気発生器タンク室	0.04h	0.04h	有	有	有

相違理由

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 （女川実績の反映：着色せず）
 （3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																								
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (30/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の主な設備名</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の形状</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火距離 (m)</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火構造の補強</th> <th>火災区画の耐火構造の補強の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ES-M</td> <td>ES1 ネットアップ室</td> <td>ES1 ネットアップ室</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>長方形</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-O</td> <td>PTC熱交換器(O)設置 他</td> <td>PTC熱交換器(O)設置 他</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>長方形</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-P</td> <td>CDI補給室 他</td> <td>CDI補給室 他</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>長方形</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-1-49</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>長方形</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-1-51</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>長方形</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の形状	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由	ES-M	ES1 ネットアップ室	ES1 ネットアップ室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-O	PTC熱交換器(O)設置 他	PTC熱交換器(O)設置 他	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-P	CDI補給室 他	CDI補給室 他	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-1-49	ES-O 階段室	ES-O 階段室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-1-51	ES-O 階段室	ES-O 階段室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火距離 (m)</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火構造の補強</th> <th>火災区画の耐火構造の補強の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ES-M</td> <td>ES1 ネットアップ室 他</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-O</td> <td>PTC熱交換器(O)設置 他</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-P</td> <td>CDI補給室 他</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-1-49</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>ES-1-51</td> <td>ES-O 階段室</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主な設備名	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由	ES-M	ES1 ネットアップ室 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-O	PTC熱交換器(O)設置 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-P	CDI補給室 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-1-49	ES-O 階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	ES-1-51	ES-O 階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火距離 (m)</th> <th>火災区画の耐火構造</th> <th>火災区画の耐火構造の補強</th> <th>火災区画の耐火構造の補強の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B-G</td> <td>G ドラム缶リフト</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>A/B-I</td> <td>A-F階段室</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> <tr> <td>A/B-J</td> <td>A-D階段室</td> <td>耐火性能あり</td> <td>0.07h</td> <td>0.07h</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> <td>耐火構造あり</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由	A/B-G	G ドラム缶リフト	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	A/B-I	A-F階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	A/B-J	A-D階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり	<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映:着色せず)</p> <p>(3/4号炉は矩型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の形状	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由																																																																																																																																																																											
ES-M	ES1 ネットアップ室	ES1 ネットアップ室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																											
ES-O	PTC熱交換器(O)設置 他	PTC熱交換器(O)設置 他	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																											
ES-P	CDI補給室 他	CDI補給室 他	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																											
ES-1-49	ES-O 階段室	ES-O 階段室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																											
ES-1-51	ES-O 階段室	ES-O 階段室	10.0	10.0	長方形	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																											
火災区画	火災区画内の主な設備名	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由																																																																																																																																																																															
ES-M	ES1 ネットアップ室 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
ES-O	PTC熱交換器(O)設置 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
ES-P	CDI補給室 他	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
ES-1-49	ES-O 階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
ES-1-51	ES-O 階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
火災区画	火災区画名称	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火距離 (m)	火災区画の耐火構造	火災区画の耐火構造の補強	火災区画の耐火構造の補強の理由																																																																																																																																																																															
A/B-G	G ドラム缶リフト	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
A/B-I	A-F階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															
A/B-J	A-D階段室	耐火性能あり	0.07h	0.07h	耐火構造あり	耐火構造あり	耐火構造あり																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																														
<p>表7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価） (21/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>名称</th> <th>設備内容</th> <th>火災区画内</th> <th>火災区画外</th> <th>火災区画内との境界</th> <th>火災区画外との境界</th> <th>火災区画内</th> <th>火災区画外</th> <th>火災区画内との境界</th> <th>火災区画外との境界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>MGバンク室</td> <td>6.3</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱交換器冷却ポンプ室</td> <td>6.3</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ターボコンクリートポンプ室</td> <td>1</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ターボコンクリートポンプ室</td> <td>1</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原熱交換器ポンプ室</td> <td>6.3</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	名称	設備内容	火災区画内	火災区画外	火災区画内との境界	火災区画外との境界	火災区画内	火災区画外	火災区画内との境界	火災区画外との境界		MGバンク室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有		熱交換器冷却ポンプ室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有		ターボコンクリートポンプ室	1	有	有	有	有	有	有	有	有		ターボコンクリートポンプ室	1	有	有	有	有	有	有	有	有		原熱交換器ポンプ室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有	<p>表7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>隣接火災区画</th> <th>等価火災時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-1-52</td> <td>R-08 降設室</td> <td>R2-A R2-O R2-8 R2-26 R1-A R1-K R2-D R2-E R1-C R2-31 R1-A R1-K R2-A R2-A R2-F R2-34 R2-21 R1-K R2-A R2-A R3-A R1-51 R1-52 R2-14 R1-A R2-A R2-K R2-33</td> <td>0.00h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-1-53</td> <td>R-09 降設室</td> <td></td> <td>0.00h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-1-61</td> <td>R-02 降設室</td> <td></td> <td>0.00h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-2-8</td> <td>配電ポンプ室</td> <td></td> <td>0.49h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主な設備名称	隣接火災区画	等価火災時間	火災伝播の可能性	備考	R-1-52	R-08 降設室	R2-A R2-O R2-8 R2-26 R1-A R1-K R2-D R2-E R1-C R2-31 R1-A R1-K R2-A R2-A R2-F R2-34 R2-21 R1-K R2-A R2-A R3-A R1-51 R1-52 R2-14 R1-A R2-A R2-K R2-33	0.00h	無		R-1-53	R-09 降設室		0.00h	有		R-1-61	R-02 降設室		0.00h	有		R-2-8	配電ポンプ室		0.49h	有		<p>表7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>隣接火災区画</th> <th>等価時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B-R</td> <td>Rダクトスペース</td> <td>A.08 3-07-1 A.08 3-01-1 A.08 2-01-5 A.08 4-01-3 A.08 4-04-1 A.08 1-00 A.08 5-01 A.08 5-01-1 A.08 5-04-2 A.08 1-01 A.08 2-02-1 A.08 2-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 2-12 A.08 4-01-1 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 4-04-1 A.08 4-06 A.08 4-06 A.08 4-06-1 A.08 3-08 A.08 3-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 3-12 A.08 4-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06</td> <td>0.0h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B-T</td> <td>Tダクトスペース</td> <td></td> <td>0.0h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B-U</td> <td>A-E間降室</td> <td></td> <td>0.03h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B-V</td> <td>Vダクトスペース</td> <td></td> <td>0.0h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	隣接火災区画	等価時間	火災伝播の可能性	備考	A/B-R	Rダクトスペース	A.08 3-07-1 A.08 3-01-1 A.08 2-01-5 A.08 4-01-3 A.08 4-04-1 A.08 1-00 A.08 5-01 A.08 5-01-1 A.08 5-04-2 A.08 1-01 A.08 2-02-1 A.08 2-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 2-12 A.08 4-01-1 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 4-04-1 A.08 4-06 A.08 4-06 A.08 4-06-1 A.08 3-08 A.08 3-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 3-12 A.08 4-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06	0.0h	有		A/B-T	Tダクトスペース		0.0h	有		A/B-U	A-E間降室		0.03h	無		A/B-V	Vダクトスペース		0.0h	有		<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>（女川実績の反映：着色せず）</p> <p>（3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	名称	設備内容	火災区画内	火災区画外	火災区画内との境界	火災区画外との境界	火災区画内	火災区画外	火災区画内との境界	火災区画外との境界																																																																																																																																																		
	MGバンク室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																		
	熱交換器冷却ポンプ室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																		
	ターボコンクリートポンプ室	1	有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																		
	ターボコンクリートポンプ室	1	有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																		
	原熱交換器ポンプ室	6.3	有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																		
火災区画	火災区画内の主な設備名称	隣接火災区画	等価火災時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																							
R-1-52	R-08 降設室	R2-A R2-O R2-8 R2-26 R1-A R1-K R2-D R2-E R1-C R2-31 R1-A R1-K R2-A R2-A R2-F R2-34 R2-21 R1-K R2-A R2-A R3-A R1-51 R1-52 R2-14 R1-A R2-A R2-K R2-33	0.00h	無																																																																																																																																																								
R-1-53	R-09 降設室		0.00h	有																																																																																																																																																								
R-1-61	R-02 降設室		0.00h	有																																																																																																																																																								
R-2-8	配電ポンプ室		0.49h	有																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画名称	隣接火災区画	等価時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																							
A/B-R	Rダクトスペース	A.08 3-07-1 A.08 3-01-1 A.08 2-01-5 A.08 4-01-3 A.08 4-04-1 A.08 1-00 A.08 5-01 A.08 5-01-1 A.08 5-04-2 A.08 1-01 A.08 2-02-1 A.08 2-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 2-12 A.08 4-01-1 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 4-04-1 A.08 4-06 A.08 4-06 A.08 4-06-1 A.08 3-08 A.08 3-10 A.08 2-01-1 A.08 2-02-2 A.08 3-12 A.08 4-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06 A.08 1-06	0.0h	有																																																																																																																																																								
A/B-T	Tダクトスペース		0.0h	有																																																																																																																																																								
A/B-U	A-E間降室		0.03h	無																																																																																																																																																								
A/B-V	Vダクトスペース		0.0h	有																																																																																																																																																								

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (×火災伝播評価) (23/24)

火災区画	火災区画内での主な設備名称	火災伝播の可能性	耐火時間	隣接火災区画	火災伝播の可能性	火災影響評価結果	
						火災伝播の可能性	耐火時間
R-5-9	サンプリングラック室	無	3h	R1-D R1-I R5-J R1-K R-5-63	無	有	無
R-5-15	原子炉水サンプリングラック室	有	3h	R1-A R1-D R1-K	有	有	有
R-5-16	PASS ラック室	有	3h	R5-J R5-E R1-A R1-C R1-K R5-A	有	有	有
R-5-47	CSD スクラム抽出容器(B)室	有	3h	R1-K R2-A	有	有	有
R-5-63	TIP 駆動装置室	有	3h	R1-D R1-I R1-K R-5-9	有	有	有
R-5-67	東側トレンチ	無	3h	R1-B R2-C R5-D Y1-B Y2-B	無	有	無

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R-5-9	サンプリングラック室	0.10h	R1-D R1-I R5-J R1-K R-5-63	3h	無	
R-5-15	原子炉水サンプリングラック室	0.34h	R1-A R1-D R1-K	3h	無	
R-5-16	PASS ラック室	0.18h	R5-J R5-E R1-A R1-C R1-K R5-A	3h	有	
R-5-47	CSD スクラム抽出容器(B)室	0.00h	R1-K R2-A	3h	有	
R-5-63	TIP 駆動装置室	0.14h	R1-D R1-I R1-K R-5-9	3h	有	
R-5-67	東側トレンチ	0.00h	R1-B R2-C R5-D Y1-B Y2-B	3h	無	

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
CWP/B 1-02-2	B系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	0.20h	CWP/B 1-01 CWP/B 1-03 CWP/B 1-02-1 CWP/B 1-02-3 CWP/B 1-02-4	3h	無	
CWP/B 1-02-3	循環水ポンプ建屋ハロゲンガスC3ポンプ室	0.12h	CWP/B 1-04	1h	有	
CWP/B 1-02-4	循環水ポンプ建屋ハロゲン自動消火設備制御室	1.30h	CWP/B 1-02-2	1h	有	
CWP/B 1-03	循環水ポンプエリア	1.64h	CWP/B 1-01 CWP/B 1-02-2	3h	無	
CWP/B 1-04	操作エリア	0.10h	CWP/B 1-04 CWP/B 1-01 CWP/B 1-02-2 CWP/B 1-03	-	有	
DG/B 2-01	A-ディーズル発電機室	1.79h	DG/B 2-02 R/B 2-01 R/B 3-08-1 R/B 3-09-4 R/B 3-10 R/B 3-14-2	3h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映: 着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

Table with columns: 火災区画, 火災区画の名称, 火災区画の面積, 火災区画の容積, 火災区画の形状, 火災区画の用途, 火災区画の構造, 火災区画の耐火性能, 火災区画の防火区画, 火災区画の避難経路, 火災区画の避難時間, 火災区画の避難人数, 火災区画の避難設備, 火災区画の避難経路の確保, 火災区画の避難経路の標示, 火災区画の避難経路の誘導, 火災区画の避難経路の確保, 火災区画の避難経路の標示, 火災区画の避難経路の誘導.

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画内の主な設備名称, 等価火災時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考.

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画名称, 等価時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考.

【女川・大阪】
■設計の相違
泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
【大阪】
■記載方針の相違
(女川実績の反映:着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		
火災区画	火災区画内の主な装置名称	等価大員時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R-9-57	D/G(RPCS)室非常用排気チャンバ室	0.00h	R3-A	—	有	
R-9-58	D/G(B)室非常用排気チャンバ室	0.00h	R2-A	3h	無	
R-9-63	PCS再結合装置(B)室	0.02h	R2-F	3h	無	
			R3-M			
			R1-X	—	有	
R-10-4	E.V機械室	0.04h	R2-E	—	有	
R-10-8	OG配管連絡トレンチ	0.00h	R2-A	3h	無	
R-11-5	原子炉補機(A)室給気ルーパー室	0.00h	R2-F	3h	無	
R-11-7	原子炉補機(B)室給気ルーパー室	0.00h	R1-B	—	有	
			R-7-09	3h	無	
R-12-4	ギヤラリ室	0.01h	R2-A	—	有	
			R2-E	3h	無	
			R3-B	—	有	
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R/B 2-03	CCW配管スペース、非補修エリア及び倉庫	0.02h	C/V 3-01 R/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-08-3 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B-B R/B-M R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 3-01 R/B 2-02 R/B 3-03-1 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	
R/B 3-01	A-制御用空気圧縮装置室	0.24h	R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04	3h	無	
R/B 3-02	B-制御用空気圧縮装置室	0.30h	R/B 3-01 R/B 2-02 R/B 3-03-1 R/B 3-03-2	3h	無	
R/B 3-03-1	タービン駆動補助給水ポンプ室	0.63h	R/B 3-08-1 R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由			
		女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果					
火災区画	火災区画内の主な保護名称	等価火災時間	隣接火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
C1-F	常用基グループ処理室	13.65h	C1-A C1-C C2-A C3-A	R/B 3-08-1 原子炉建屋10.3~33.1m通路部	1.31h	A/B 3-07-1 A/B 4-04-4 C/V 3-01 C/V 3-02 D/G/B 2-01 D/G/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-01 R/B 3-02 R/B 3-03-1 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-06 R/B 3-07 R/B 3-09-1 R/B 3-10 R/B 3-11 R/B 3-14-1 R/B 3-14-2 R/B 4-01 R/B 4-02-1 R/B 4-03 R/B 4-05	3h	無	
C2-A	空調機械(1)室 橋	0.96h	C1-B C1-C C1-D C1-E C1-F C2-C C3-A C3-B C3-C C3-D C3-E						
C2-C	常用・共通 MFC/F/C室	1.22h	C1-A C1-B C2-A C3-A						
C3-A	区分グループ処理室	0.52h	C1-C C3-A C3-B C3-C C3-D C3-E						
C3-B3	クレーン通路	0.29h	C1-A C1-B C2-A C3-A						

【女川・大阪】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大阪】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
		女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果				
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	隣接火災区画	着火時間	火災伝播の可能性	備考	
Y1-A	CSMポンプ(A)(C)室	1.17h	Y2-A Y2-B	C/V 3-01 R/B 3-10	3h	無		
Y1-B	軽油タンク室(A) 他	55.70h	Y2-B Y2-C Y2-D R-5-07	R/B 3-08-1 R/B 3-09-2 R/B 3-09-3 R/B 3-09-4 R/B 2-01 R/B 3-04 R/B 2-03 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-07 R/B 3-08-1 C/V 3-01 R/B 3-08-1 A/B 2-02 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 R/B 2-03 R/B 3-09-2 R/B 3-09-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-02-2 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-5 R/B-F R/B-G	有	3時間以上の耐火能力を有する耐火大壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価		
Y2-B	軽油タンク室(B) 他	56.35h	Y1-B R-5-07	3h	無	無	3時間以上の耐火能力を有する耐火大壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価	
Y3-A	HP5W ポンプ室	3.85h	Y1-A R2-A Y2-A	3h	無	有	3時間以上の耐火能力を有する耐火大壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価	
Y3-B	軽油タンク室(B) 他	71.15h	Y1-B R2-A Y2-A	3h	無	有	3時間以上の耐火能力を有する耐火大壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価	
W2-A	循環水ポンプ(A)室 他	0.43h	Y1-A Y2-A	3h	有			
Y-1-5	常圧系ケーブ/ケーブル連絡トレンチ	0.55h	R2-D R2-E R-1-51 R-4-13	3h	無			
Y-7-7	環水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室	0.01h	R2-A R1-B	3h	有	無		
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	隣接火災区画	着火時間	火災伝播の可能性	備考	
R/B 3-08-2	二酸化炭素ポンプ/集管室	0.03h	R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 3-09-2 R/B 3-09-3 R/B 3-09-4 R/B 2-01 R/B 3-04 R/B 2-03 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-07 R/B 3-08-1 C/V 3-01 R/B 3-08-1 A/B 2-02 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 R/B 2-03 R/B 3-09-2 R/B 3-09-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-02-2 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-5 R/B-F R/B-G	0.03h	3h	無		
R/B 3-08-3	1次循環材ポンプ母線計測装置	0.31h			有			
R/B 3-08-4	タービン駆動給水ポンプ起動用トレンチ及び種別給水ポンプ出口配管調査用開閉トレンチA室	0.14h			無			
R/B 3-09-1	原子炉建屋老朽10.3m通路部	0.19h			無			

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">R/B 3-09-2</td> <td rowspan="4">倉庫</td> <td rowspan="4">0.10h</td> <td>C/V 3-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-2</td> <td>-</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-1</td> <td>1h</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>-</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R/B 3-09-3</td> <td rowspan="4">使用済燃料ピットポンプ室及び使用済燃料ピット冷却器室</td> <td rowspan="4">0.0h</td> <td>R/B 3-09-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>A/B-D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R/B 3-09-4</td> <td rowspan="10">倉庫</td> <td rowspan="10">0.0h</td> <td>IG/B 2-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-10</td> <td>1h</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B-F</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B-G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R/B 3-10</td> <td rowspan="4">A-デューゼル発電機制御盤室</td> <td rowspan="4">0.47h</td> <td>IG/B 2-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 3-09-2	倉庫	0.10h	C/V 3-01	3h	無		R/B 3-08-2	-	有	R/B 3-09-1	1h	無	A/B 3-01-1	-	有	R/B 3-09-3	使用済燃料ピットポンプ室及び使用済燃料ピット冷却器室	0.0h	R/B 3-09-1	-	有		A/B-D			R/B 4-02-3			C/V 3-01			R/B 3-09-4	倉庫	0.0h	IG/B 2-01	3h	無		R/B 3-10	1h	有	R/B 3-08-1	-		R/B 3-08-2			R/B 3-09-1			R/B 3-09-2			R/B 3-14-2			R/B 4-02-1			R/B 4-02-6			R/B-F			R/B-G			R/B 3-10	A-デューゼル発電機制御盤室	0.47h	IG/B 2-01	3h	無		R/B 3-08-1			R/B 3-08-2			R/B 3-09-4			<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映)
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																									
R/B 3-09-2	倉庫	0.10h	C/V 3-01	3h	無																																																																																										
			R/B 3-08-2	-	有																																																																																										
			R/B 3-09-1	1h	無																																																																																										
			A/B 3-01-1	-	有																																																																																										
R/B 3-09-3	使用済燃料ピットポンプ室及び使用済燃料ピット冷却器室	0.0h	R/B 3-09-1	-	有																																																																																										
			A/B-D																																																																																												
			R/B 4-02-3																																																																																												
			C/V 3-01																																																																																												
R/B 3-09-4	倉庫	0.0h	IG/B 2-01	3h	無																																																																																										
			R/B 3-10	1h	有																																																																																										
			R/B 3-08-1	-																																																																																											
			R/B 3-08-2																																																																																												
			R/B 3-09-1																																																																																												
			R/B 3-09-2																																																																																												
			R/B 3-14-2																																																																																												
			R/B 4-02-1																																																																																												
			R/B 4-02-6																																																																																												
			R/B-F																																																																																												
R/B-G																																																																																															
R/B 3-10	A-デューゼル発電機制御盤室	0.47h	IG/B 2-01	3h	無																																																																																										
			R/B 3-08-1																																																																																												
			R/B 3-08-2																																																																																												
			R/B 3-09-4																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 3-11</td> <td>B-ブライザー発電機制御盤室</td> <td>0.38h</td> <td>D6/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-1</td> <td>B-清水タンク室</td> <td>0.03h</td> <td>D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-2</td> <td>A-清水タンク室</td> <td>0.01h</td> <td>D6/B 2-01 D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-01</td> <td>原子炉トリップしゃ断器盤室</td> <td>0.55h</td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 3-11	B-ブライザー発電機制御盤室	0.38h	D6/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C	3h	無		R/B 3-14-1	B-清水タンク室	0.03h	D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C	3h	無		R/B 3-14-2	A-清水タンク室	0.01h	D6/B 2-01 D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2	3h	無		R/B 4-01	原子炉トリップしゃ断器盤室	0.55h		-	有						3h	無						-	有		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																														
R/B 3-11	B-ブライザー発電機制御盤室	0.38h	D6/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C	3h	無																																															
R/B 3-14-1	B-清水タンク室	0.03h	D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C	3h	無																																															
R/B 3-14-2	A-清水タンク室	0.01h	D6/B 2-01 D6/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2	3h	無																																															
R/B 4-01	原子炉トリップしゃ断器盤室	0.55h		-	有																																															
				3h	無																																															
				-	有																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 4-02-2</td> <td>非再生冷却器室及びポンプ冷却器室</td> <td>0.01h</td> <td>C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1 C/V 3-02 R/B 2-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 6-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01</td> <td>1h - 1h</td> <td>無 有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-3</td> <td>使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア</td> <td>0.08h</td> <td>A/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06</td> <td>1h - 1h</td> <td>有 無 有 無 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-4</td> <td>1号冷却材ポンプモータ保修エリア</td> <td>0.01h</td> <td></td> <td>-</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-5</td> <td>原子炉建屋ハロゲンガス33ボンベ庫</td> <td>0.10h</td> <td></td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-6</td> <td>原子炉建屋ハロゲンガス34ボンベ庫</td> <td>0.09h</td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 4-02-2	非再生冷却器室及びポンプ冷却器室	0.01h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1 C/V 3-02 R/B 2-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 6-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01	1h - 1h	無 有 無		R/B 4-02-3	使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア	0.08h	A/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	1h - 1h	有 無 有 無 有		R/B 4-02-4	1号冷却材ポンプモータ保修エリア	0.01h		-	無		R/B 4-02-5	原子炉建屋ハロゲンガス33ボンベ庫	0.10h		1h	無		R/B 4-02-6	原子炉建屋ハロゲンガス34ボンベ庫	0.09h		-	有		<p>【女川・大阪】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																							
R/B 4-02-2	非再生冷却器室及びポンプ冷却器室	0.01h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1 C/V 3-02 R/B 2-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 6-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01	1h - 1h	無 有 無																																								
R/B 4-02-3	使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア	0.08h	A/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7 R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	1h - 1h	有 無 有 無 有																																								
R/B 4-02-4	1号冷却材ポンプモータ保修エリア	0.01h		-	無																																								
R/B 4-02-5	原子炉建屋ハロゲンガス33ボンベ庫	0.10h		1h	無																																								
R/B 4-02-6	原子炉建屋ハロゲンガス34ボンベ庫	0.09h		-	有																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉				相違理由
				泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果				<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考		
R/B 4-02-7	原子炉建屋トラックアウトセスエリア、変換器材倉庫他エリア	0.05h	CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 4-02-3 R/B 4-01-1 R/B 4-01-3 R/B 4-01-4 R/B 4-01-5 R/B 4-01-6 R/B 4-01-7 R/B 4-01-8 R/B 4-01-9 R/B 4-01-10 R/B 4-01-11 R/B 4-01-12 R/B 4-01-13 R/B 4-01-14 R/B 4-01-15 R/B 4-01-16 R/B 4-01-17 R/B 4-01-18 R/B 4-01-19 R/B 4-01-20 R/B 4-01-21 R/B 4-01-22 R/B 4-01-23 R/B 4-01-24 R/B 4-01-25 R/B 4-01-26 R/B 4-01-27 R/B 4-01-28 R/B 4-01-29 R/B 4-01-30 R/B 4-01-31 R/B 4-01-32 R/B 4-01-33 R/B 4-01-34 R/B 4-01-35 R/B 4-01-36 R/B 4-01-37 R/B 4-01-38 R/B 4-01-39 R/B 4-01-40 R/B 4-01-41 R/B 4-01-42 R/B 4-01-43 R/B 4-01-44 R/B 4-01-45 R/B 4-01-46 R/B 4-01-47 R/B 4-01-48 R/B 4-01-49 R/B 4-01-50 R/B 4-01-51 R/B 4-01-52 R/B 4-01-53 R/B 4-01-54 R/B 4-01-55 R/B 4-01-56 R/B 4-01-57 R/B 4-01-58 R/B 4-01-59 R/B 4-01-60 R/B 4-01-61 R/B 4-01-62 R/B 4-01-63 R/B 4-01-64 R/B 4-01-65 R/B 4-01-66 R/B 4-01-67 R/B 4-01-68 R/B 4-01-69 R/B 4-01-70 R/B 4-01-71 R/B 4-01-72 R/B 4-01-73 R/B 4-01-74 R/B 4-01-75 R/B 4-01-76 R/B 4-01-77 R/B 4-01-78 R/B 4-01-79 R/B 4-01-80 R/B 4-01-81 R/B 4-01-82 R/B 4-01-83 R/B 4-01-84 R/B 4-01-85 R/B 4-01-86 R/B 4-01-87 R/B 4-01-88 R/B 4-01-89 R/B 4-01-90 R/B 4-01-91 R/B 4-01-92 R/B 4-01-93 R/B 4-01-94 R/B 4-01-95 R/B 4-01-96 R/B 4-01-97 R/B 4-01-98 R/B 4-01-99 R/B 4-01-100	h	無			
				-	有			
R/B 4-03	A-燃料油サージピストンク室	27.28h	R/B 3-08-1 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B 5-01-1	3h	無	30分以上の耐火能力を有する耐火壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価		
R/B 4-04	制御棟駆動装置電源継室	0.06h	R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-01-2 R/B 3-08-1 R/B 3-11-1 R/B 4-07 R/B 4-01-3 R/B 4-01-4 R/B 4-01-5 R/B 4-01-6 R/B 4-01-7 R/B 4-01-8 R/B 4-01-9 R/B 4-01-10 R/B 4-01-11 R/B 4-01-12 R/B 4-01-13 R/B 4-01-14 R/B 4-01-15 R/B 4-01-16 R/B 4-01-17 R/B 4-01-18 R/B 4-01-19 R/B 4-01-20 R/B 4-01-21 R/B 4-01-22 R/B 4-01-23 R/B 4-01-24 R/B 4-01-25 R/B 4-01-26 R/B 4-01-27 R/B 4-01-28 R/B 4-01-29 R/B 4-01-30 R/B 4-01-31 R/B 4-01-32 R/B 4-01-33 R/B 4-01-34 R/B 4-01-35 R/B 4-01-36 R/B 4-01-37 R/B 4-01-38 R/B 4-01-39 R/B 4-01-40 R/B 4-01-41 R/B 4-01-42 R/B 4-01-43 R/B 4-01-44 R/B 4-01-45 R/B 4-01-46 R/B 4-01-47 R/B 4-01-48 R/B 4-01-49 R/B 4-01-50 R/B 4-01-51 R/B 4-01-52 R/B 4-01-53 R/B 4-01-54 R/B 4-01-55 R/B 4-01-56 R/B 4-01-57 R/B 4-01-58 R/B 4-01-59 R/B 4-01-60 R/B 4-01-61 R/B 4-01-62 R/B 4-01-63 R/B 4-01-64 R/B 4-01-65 R/B 4-01-66 R/B 4-01-67 R/B 4-01-68 R/B 4-01-69 R/B 4-01-70 R/B 4-01-71 R/B 4-01-72 R/B 4-01-73 R/B 4-01-74 R/B 4-01-75 R/B 4-01-76 R/B 4-01-77 R/B 4-01-78 R/B 4-01-79 R/B 4-01-80 R/B 4-01-81 R/B 4-01-82 R/B 4-01-83 R/B 4-01-84 R/B 4-01-85 R/B 4-01-86 R/B 4-01-87 R/B 4-01-88 R/B 4-01-89 R/B 4-01-90 R/B 4-01-91 R/B 4-01-92 R/B 4-01-93 R/B 4-01-94 R/B 4-01-95 R/B 4-01-96 R/B 4-01-97 R/B 4-01-98 R/B 4-01-99 R/B 4-01-100	3h	無			
R/B 4-05	B-燃料油サージピストンク室	22.43h	R/B 3-08-1 R/B 3-11-1 R/B 4-07 R/B 4-01-3 R/B 4-01-4 R/B 4-01-5 R/B 4-01-6 R/B 4-01-7 R/B 4-01-8 R/B 4-01-9 R/B 4-01-10 R/B 4-01-11 R/B 4-01-12 R/B 4-01-13 R/B 4-01-14 R/B 4-01-15 R/B 4-01-16 R/B 4-01-17 R/B 4-01-18 R/B 4-01-19 R/B 4-01-20 R/B 4-01-21 R/B 4-01-22 R/B 4-01-23 R/B 4-01-24 R/B 4-01-25 R/B 4-01-26 R/B 4-01-27 R/B 4-01-28 R/B 4-01-29 R/B 4-01-30 R/B 4-01-31 R/B 4-01-32 R/B 4-01-33 R/B 4-01-34 R/B 4-01-35 R/B 4-01-36 R/B 4-01-37 R/B 4-01-38 R/B 4-01-39 R/B 4-01-40 R/B 4-01-41 R/B 4-01-42 R/B 4-01-43 R/B 4-01-44 R/B 4-01-45 R/B 4-01-46 R/B 4-01-47 R/B 4-01-48 R/B 4-01-49 R/B 4-01-50 R/B 4-01-51 R/B 4-01-52 R/B 4-01-53 R/B 4-01-54 R/B 4-01-55 R/B 4-01-56 R/B 4-01-57 R/B 4-01-58 R/B 4-01-59 R/B 4-01-60 R/B 4-01-61 R/B 4-01-62 R/B 4-01-63 R/B 4-01-64 R/B 4-01-65 R/B 4-01-66 R/B 4-01-67 R/B 4-01-68 R/B 4-01-69 R/B 4-01-70 R/B 4-01-71 R/B 4-01-72 R/B 4-01-73 R/B 4-01-74 R/B 4-01-75 R/B 4-01-76 R/B 4-01-77 R/B 4-01-78 R/B 4-01-79 R/B 4-01-80 R/B 4-01-81 R/B 4-01-82 R/B 4-01-83 R/B 4-01-84 R/B 4-01-85 R/B 4-01-86 R/B 4-01-87 R/B 4-01-88 R/B 4-01-89 R/B 4-01-90 R/B 4-01-91 R/B 4-01-92 R/B 4-01-93 R/B 4-01-94 R/B 4-01-95 R/B 4-01-96 R/B 4-01-97 R/B 4-01-98 R/B 4-01-99 R/B 4-01-100	3h	無	30分以上の耐火能力を有する耐火壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価		
R/B 4-06	A-ディーゼル発電機冷却気ファン室	0.02h	R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 3-11-2 R/B 4-02-6 R/B 5-01-1 R/B 4-01-1 R/B 4-03 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-2 R/B 3-11-2 R/B 4-02-6 R/B 5-01-1 R/B 4-01-1 R/B 4-03 R/B 4-05 R/B 3-08-1	3h	無			
R/B 4-07	B-ディーゼル発電機冷却気ファン室	0.03h	R/B 4-03 R/B 4-05 R/B 3-08-1	3h	無			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉					相違理由																												
		<p style="text-align: center; margin: 0;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="1400 957 1444 1053">火災区画</th> <th data-bbox="1400 670 1444 957">火災区画名称</th> <th data-bbox="1400 598 1444 670">評価時間</th> <th data-bbox="1400 478 1444 598">隣接火災区画</th> <th data-bbox="1400 359 1444 478">耐火時間</th> <th data-bbox="1400 159 1444 359">火災伝播の可能性</th> <th data-bbox="1400 95 1444 159">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1444 957 1758 1053">R/B 5-01-1</td> <td data-bbox="1444 670 1758 957">原子炉建屋21.8m道路部</td> <td data-bbox="1444 598 1758 670">0.26h</td> <td data-bbox="1444 478 1758 598">R/B 4-03 A/B 5-01 C/Y 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-N R/B-S</td> <td data-bbox="1444 359 1758 478">3h 4h -</td> <td data-bbox="1444 159 1758 359">無 有 有 無 有</td> <td data-bbox="1444 95 1758 159"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1758 957 1859 1053">R/B 5-01-2</td> <td data-bbox="1758 670 1859 957">燃料取替用水ピット</td> <td data-bbox="1758 598 1859 670">0.00h</td> <td data-bbox="1758 478 1859 598">R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04</td> <td data-bbox="1758 359 1859 478">1h -</td> <td data-bbox="1758 159 1859 359">無 有</td> <td data-bbox="1758 95 1859 159"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1859 957 1977 1053">R/B 5-01-3</td> <td data-bbox="1859 670 1977 957">補助給水ピット</td> <td data-bbox="1859 598 1977 670">0.00h</td> <td data-bbox="1859 478 1977 598">R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-C</td> <td data-bbox="1859 359 1977 478">3h 1h -</td> <td data-bbox="1859 159 1977 359">無 有</td> <td data-bbox="1859 95 1977 159"></td> </tr> </tbody> </table>					火災区画	火災区画名称	評価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 5-01-1	原子炉建屋21.8m道路部	0.26h	R/B 4-03 A/B 5-01 C/Y 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-N R/B-S	3h 4h -	無 有 有 無 有		R/B 5-01-2	燃料取替用水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04	1h -	無 有		R/B 5-01-3	補助給水ピット	0.00h	R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-C	3h 1h -	無 有		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	評価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																													
R/B 5-01-1	原子炉建屋21.8m道路部	0.26h	R/B 4-03 A/B 5-01 C/Y 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-N R/B-S	3h 4h -	無 有 有 無 有																														
R/B 5-01-2	燃料取替用水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04	1h -	無 有																														
R/B 5-01-3	補助給水ピット	0.00h	R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-C	3h 1h -	無 有																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">R/B 5-03</td> <td rowspan="14">主蒸気管室</td> <td rowspan="14">0.11h</td> <td>C/V 3-02</td> <td rowspan="14">1h</td> <td rowspan="14">無</td> <td rowspan="14"></td> </tr> <tr><td>R/B 3-03-2</td></tr> <tr><td>R/B 3-03-1</td></tr> <tr><td>R/B 3-08-1</td></tr> <tr><td>R/B 4-02-1</td></tr> <tr><td>R/B 4-02-7</td></tr> <tr><td>R/B 5-01-1</td></tr> <tr><td>R/B 5-01-2</td></tr> <tr><td>R/B 5-01-3</td></tr> <tr><td>R/B 6-02</td></tr> <tr><td>R/B 7-01</td></tr> <tr><td>R/B 7-02</td></tr> <tr><td>R/B 7-03</td></tr> <tr><td>R/B 7-04</td></tr> <tr> <td rowspan="14">R/B 6-02</td> <td rowspan="14">原子炉建屋33.1m通路部</td> <td rowspan="14">0.17h</td> <td>C/V 3-02</td> <td rowspan="14">1h</td> <td rowspan="14">無</td> <td rowspan="14"></td> </tr> <tr><td>R/B 3-03-1</td></tr> <tr><td>R/B 3-08-1</td></tr> <tr><td>R/B 4-02-1</td></tr> <tr><td>R/B 5-03</td></tr> <tr><td>A/B 6-01</td></tr> <tr><td>R/B 4-02-3</td></tr> <tr><td>R/B 5-01-1</td></tr> <tr><td>R/B 7-01</td></tr> <tr><td>R/B 7-02</td></tr> <tr><td>R/B 7-03</td></tr> <tr><td>R/B 7-04</td></tr> <tr><td>R/B-B</td></tr> <tr><td>R/B-M</td></tr> <tr><td>R/B-S</td></tr> <tr> <td rowspan="4">R/B 7-01</td> <td rowspan="4">格納容器排気設備設置エリア</td> <td rowspan="4">0.04h</td> <td>C/V 3-02</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">有</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr><td>A/B 7-01</td></tr> <tr><td>R/B 4-02-3</td></tr> <tr><td>R/B 6-02</td></tr> <tr><td>R/B 7-02</td></tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 5-03	主蒸気管室	0.11h	C/V 3-02	1h	無		R/B 3-03-2	R/B 3-03-1	R/B 3-08-1	R/B 4-02-1	R/B 4-02-7	R/B 5-01-1	R/B 5-01-2	R/B 5-01-3	R/B 6-02	R/B 7-01	R/B 7-02	R/B 7-03	R/B 7-04	R/B 6-02	原子炉建屋33.1m通路部	0.17h	C/V 3-02	1h	無		R/B 3-03-1	R/B 3-08-1	R/B 4-02-1	R/B 5-03	A/B 6-01	R/B 4-02-3	R/B 5-01-1	R/B 7-01	R/B 7-02	R/B 7-03	R/B 7-04	R/B-B	R/B-M	R/B-S	R/B 7-01	格納容器排気設備設置エリア	0.04h	C/V 3-02	-	有		A/B 7-01	R/B 4-02-3	R/B 6-02	R/B 7-02	<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																								
R/B 5-03	主蒸気管室	0.11h	C/V 3-02	1h	無																																																									
			R/B 3-03-2																																																											
			R/B 3-03-1																																																											
			R/B 3-08-1																																																											
			R/B 4-02-1																																																											
			R/B 4-02-7																																																											
			R/B 5-01-1																																																											
			R/B 5-01-2																																																											
			R/B 5-01-3																																																											
			R/B 6-02																																																											
			R/B 7-01																																																											
			R/B 7-02																																																											
			R/B 7-03																																																											
			R/B 7-04																																																											
R/B 6-02	原子炉建屋33.1m通路部	0.17h	C/V 3-02	1h	無																																																									
			R/B 3-03-1																																																											
			R/B 3-08-1																																																											
			R/B 4-02-1																																																											
			R/B 5-03																																																											
			A/B 6-01																																																											
			R/B 4-02-3																																																											
			R/B 5-01-1																																																											
			R/B 7-01																																																											
			R/B 7-02																																																											
			R/B 7-03																																																											
			R/B 7-04																																																											
			R/B-B																																																											
			R/B-M																																																											
R/B-S																																																														
R/B 7-01	格納容器排気設備設置エリア	0.04h	C/V 3-02	-	有																																																									
			A/B 7-01																																																											
			R/B 4-02-3																																																											
			R/B 6-02																																																											
R/B 7-02																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 7-02</td> <td>アニュラス空気浄化フィルタユニット室</td> <td>0.58h</td> <td>CV 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-03</td> <td>倉庫</td> <td>0.03h</td> <td>CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-04</td> <td>原子炉建屋10.3m通路部</td> <td>0.0h</td> <td>R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-01</td> <td>原子炉建屋13.6m通路部</td> <td>0.0h</td> <td>R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-02</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク室</td> <td>0.0h</td> <td>CV 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 7-02	アニュラス空気浄化フィルタユニット室	0.58h	CV 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03	-	有		R/B 7-03	倉庫	0.03h	CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	無		R/B 7-04	原子炉建屋10.3m通路部	0.0h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M R/B-S	1h	無		R/B 8-01	原子炉建屋13.6m通路部	0.0h	R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	-	有		R/B 8-02	原子炉補機冷却水サージタンク室	0.0h	CV 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	無		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																							
R/B 7-02	アニュラス空気浄化フィルタユニット室	0.58h	CV 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03	-	有																																								
R/B 7-03	倉庫	0.03h	CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	無																																								
R/B 7-04	原子炉建屋10.3m通路部	0.0h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M R/B-S	1h	無																																								
R/B 8-01	原子炉建屋13.6m通路部	0.0h	R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	-	有																																								
R/B 8-02	原子炉補機冷却水サージタンク室	0.0h	CV 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	無																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																															
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">R/B-B</td> <td rowspan="10">原子炉建屋Bエレベータ</td> <td rowspan="10">0.01h</td> <td>R/B 2-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-03</td> <td>1h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 6-02</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-03</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-01</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-02</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R/B-C</td> <td rowspan="10">R-A階改室</td> <td rowspan="10">0.02h</td> <td>R/B 2-02</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-05</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td>1h</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-01-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R/B-F</td> <td rowspan="10">R-A階改室</td> <td rowspan="10">0.02h</td> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td>有</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R/B-G</td> <td rowspan="10">原子炉建屋Gエレベータ</td> <td rowspan="10">0.01h</td> <td>R/B 3-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>C/V 3-02</td> <td>1h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B-B	原子炉建屋Bエレベータ	0.01h	R/B 2-01	3h	無		R/B 2-03	1h		R/B 3-08-1			R/B 4-02-1			R/B 5-01-1			R/B 6-02			R/B 7-03			R/B 8-01			R/B 8-02			R/B 9			R/B-C	R-A階改室	0.02h	R/B 2-02	3h	無		R/B 3-11			R/B 3-14-1			R/B 4-05			R/B 3-08-1	1h	有	R/B 4-01-3			R/B 3-09-1			R/B 3-09-4			R/B 4-02-1			R/B 4-02-7			R/B-F	R-A階改室	0.02h	R/B 5-01-1		有		R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B-G	原子炉建屋Gエレベータ	0.01h	R/B 3-01	3h	無		C/V 3-02	1h		R/B 3-09-1			R/B 3-09-4			R/B 4-02-1			R/B 4-02-7			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			R/B 5-01-1			<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																												
R/B-B	原子炉建屋Bエレベータ	0.01h	R/B 2-01	3h	無																																																																																																																																													
			R/B 2-03	1h																																																																																																																																														
			R/B 3-08-1																																																																																																																																															
			R/B 4-02-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 6-02																																																																																																																																															
			R/B 7-03																																																																																																																																															
			R/B 8-01																																																																																																																																															
			R/B 8-02																																																																																																																																															
			R/B 9																																																																																																																																															
R/B-C	R-A階改室	0.02h	R/B 2-02	3h	無																																																																																																																																													
			R/B 3-11																																																																																																																																															
			R/B 3-14-1																																																																																																																																															
			R/B 4-05																																																																																																																																															
			R/B 3-08-1	1h	有																																																																																																																																													
			R/B 4-01-3																																																																																																																																															
			R/B 3-09-1																																																																																																																																															
			R/B 3-09-4																																																																																																																																															
			R/B 4-02-1																																																																																																																																															
			R/B 4-02-7																																																																																																																																															
R/B-F	R-A階改室	0.02h	R/B 5-01-1		有																																																																																																																																													
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
R/B-G	原子炉建屋Gエレベータ	0.01h	R/B 3-01	3h	無																																																																																																																																													
			C/V 3-02	1h																																																																																																																																														
			R/B 3-09-1																																																																																																																																															
			R/B 3-09-4																																																																																																																																															
			R/B 4-02-1																																																																																																																																															
			R/B 4-02-7																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															
			R/B 5-01-1																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																						
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">火災区画名称</th> <th rowspan="2">等価時間</th> <th rowspan="2">隣接火災区画</th> <th colspan="2">耐火時間</th> <th rowspan="2">火災伝播の可能性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>3h</th> <th>1h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">R/B-M</td> <td rowspan="12">R-0階段室</td> <td rowspan="12">0.03h</td> <td>R/B 2-01</td> <td></td> <td></td> <td>無</td> <td rowspan="12"></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08*3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 6-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-04</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-01</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B-B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R/B-R</td> <td rowspan="7">R-0階段室</td> <td rowspan="7">0.01h</td> <td>R/B 3-07</td> <td></td> <td>1h</td> <td>無</td> <td rowspan="7"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02*7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08*1</td> <td></td> <td>1h</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>A/B 5-01*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R/B-S</td> <td rowspan="5">R-0階段室</td> <td rowspan="5">0.02h</td> <td>R/B 5-01*1</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>R/B 6-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-01</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間		火災伝播の可能性	備考	3h	1h	R/B-M	R-0階段室	0.03h	R/B 2-01			無		R/B 2-03				R/B 3-08*1				R/B 3-08*3				R/B 4-02*1				R/B 5-01*1				R/B 6-02				R/B 7-03				R/B 7-04				R/B 8-01				R/B 8-02				R/B-B				R/B-R	R-0階段室	0.01h	R/B 3-07		1h	無		R/B 3-08*1				R/B 4-02*1				R/B 4-02*7				R/B 5-01*1				R/B 3-08*1		1h	無	A/B 5-01*1				R/B-S	R-0階段室	0.02h	R/B 5-01*1			有		R/B 6-02				R/B 7-03				R/B 8-01				R/B 8-02				<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間					隣接火災区画	耐火時間			火災伝播の可能性	備考																																																																																																													
			3h	1h																																																																																																																					
R/B-M	R-0階段室	0.03h	R/B 2-01			無																																																																																																																			
			R/B 2-03																																																																																																																						
			R/B 3-08*1																																																																																																																						
			R/B 3-08*3																																																																																																																						
			R/B 4-02*1																																																																																																																						
			R/B 5-01*1																																																																																																																						
			R/B 6-02																																																																																																																						
			R/B 7-03																																																																																																																						
			R/B 7-04																																																																																																																						
			R/B 8-01																																																																																																																						
			R/B 8-02																																																																																																																						
			R/B-B																																																																																																																						
R/B-R	R-0階段室	0.01h	R/B 3-07		1h	無																																																																																																																			
			R/B 3-08*1																																																																																																																						
			R/B 4-02*1																																																																																																																						
			R/B 4-02*7																																																																																																																						
			R/B 5-01*1																																																																																																																						
			R/B 3-08*1		1h	無																																																																																																																			
			A/B 5-01*1																																																																																																																						
R/B-S	R-0階段室	0.02h	R/B 5-01*1			有																																																																																																																			
			R/B 6-02																																																																																																																						
			R/B 7-03																																																																																																																						
			R/B 8-01																																																																																																																						
			R/B 8-02																																																																																																																						

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

添付資料5

泊発電所3号炉

添付資料5

相違理由

【再掲】比較のため8条-別1-資10-添4-2以降を貼り付け。次項以降も同様)

Table with columns for fire area, fire type, fire cause, and evaluation results for Daiichi 3/4 reactors.

女川原子力発電所 2号炉における 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table showing fire impact evaluation results for adjacent fire areas at the female Gura nuclear power plant reactor 2.

泊発電所 3号炉における 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table showing fire impact evaluation results for adjacent fire areas at the Ushida nuclear power plant reactor 3.

【女川】
■設備名称の相違
【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)

火災区画	火災を想定する当該火災区画		隣接火災区画		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路		
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路			
03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3	03-2-3		
03-2-4	E 2000H000000 (3号炉)	E 2000H000000 (3号炉)	R1-A	超圧ポンプ(A)室 他	R1-A	超圧ポンプ(A)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	
			R1-B	R/C 熱交換器・ポンプ(A)(C)室 他	R1-B	R/C 熱交換器・ポンプ(A)(C)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	
			R1-C	DC R/C MC 室 他	R1-C	DC R/C MC 室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	
			R2-A	RIF、R2F インターロック	R2-A	RIF、R2F インターロック	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R2-B	R/R 熱交換器(B)室 他	R2-B	R/R 熱交換器(B)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-A	R/R 熱交換器(C)室 他	R3-A	R/R 熱交換器(C)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-B	R/R 熱交換器(D)室 他	R3-B	R/R 熱交換器(D)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-C	R/R 熱交換器(E)室 他	R3-C	R/R 熱交換器(E)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-D	R/R 熱交換器(F)室 他	R3-D	R/R 熱交換器(F)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-E	R/R 熱交換器(G)室 他	R3-E	R/R 熱交換器(G)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-F	R/R 熱交換器(H)室 他	R3-F	R/R 熱交換器(H)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有
			R3-G	R/R 熱交換器(I)室 他	R3-G	R/R 熱交換器(I)室 他	有	有	有	有	有	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉

火災区画	火災を想定する当該火災区画		隣接火災区画		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路		
R1-1	トランス室	トランス	R1-A	超圧ポンプ(A)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-2	トランス室	トランス	R1-B	R/C 熱交換器・ポンプ(A)(C)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-3	トランス室	トランス	R1-C	DC R/C MC 室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-4	トランス室	トランス	R1-D	RIF、R2F インターロック	有	有	有	有	有	有	有
R1-5	トランス室	トランス	R1-E	R/R 熱交換器(B)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-6	トランス室	トランス	R1-F	R/R 熱交換器(C)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-7	トランス室	トランス	R1-G	R/R 熱交換器(D)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-8	トランス室	トランス	R1-H	R/R 熱交換器(E)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-9	トランス室	トランス	R1-I	R/R 熱交換器(F)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-10	トランス室	トランス	R1-J	R/R 熱交換器(G)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-11	トランス室	トランス	R1-K	R/R 熱交換器(H)室 他	有	有	有	有	有	有	有
R1-12	トランス室	トランス	R1-L	R/R 熱交換器(I)室 他	有	有	有	有	有	有	有

泊発電所3号炉

火災区画	火災を想定する当該火災区画		隣接火災区画		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路		火災伝播経路
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路		
A/B 4-01-3	代官室内酸素濃度検出装置	酸素濃度検出装置	A/B 4-01-3	代官室内酸素濃度検出装置	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-4	換気設備	換気設備	A/B 4-01-4	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-5	換気設備	換気設備	A/B 4-01-5	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-6	換気設備	換気設備	A/B 4-01-6	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-7	換気設備	換気設備	A/B 4-01-7	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-8	換気設備	換気設備	A/B 4-01-8	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-9	換気設備	換気設備	A/B 4-01-9	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-10	換気設備	換気設備	A/B 4-01-10	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-11	換気設備	換気設備	A/B 4-01-11	換気設備	有	有	有	有	有	有	有
A/B 4-01-12	換気設備	換気設備	A/B 4-01-12	換気設備	有	有	有	有	有	有	有

相違理由

【女川】

- 記載内容の相違
- 記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず)

(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

火災区画	火災区画内の主な設置名称	隣接火災区画		火災区画内		火災区画外		火災区画内		火災区画外		火災影響評価結果	火災影響評価結果
		火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名				
R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23	R-5-10 R-5-11 R-5-12 R-5-13 R-5-14 R-5-15 R-5-16 R-5-17 R-5-18 R-5-19 R-5-20 R-5-21 R-5-22 R-5-23

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画内の主な設置名称	隣接火災区画		火災区画内		火災区画外		火災影響評価結果
		火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	
R-1-K	B1F, 2F インナー通路	R-5-9	ポンプラック室	R-5-15	原子炉水ポンプラック室	R-5-16	PASSラック室	有
		R-5-16	CRDスクラム排出容器A/B室	R-5-47	TIP駆動装置室	R-5-63	P.S	有
		R-6-5	運転管理センター	R-7-69	R-11 降降室	R-9-63	PCS再結合装置(B)室	有

泊発電所3号炉

火災区画	火災区画内の主な設置名称	隣接火災区画		火災区画内		火災区画外		火災影響評価結果	
		火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名	火災区画名		
A/B 5-01	原子炉補助装置A1, 8a, 8b部屋	A/B 5-01	A/B 5-01-1	セメント固化処理用エアリア	A/B 5-01-2	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-3	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-4	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-5	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-6	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-7	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-8	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-9	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-10	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-11	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-12	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-13	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-14	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-15	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-16	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-17	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-18	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-19	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-20	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-21	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-22	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-23	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-24	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-25	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-26	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-27	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-28	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-29	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-30	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-31	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-32	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-33	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-34	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-35	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-36	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-37	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-38	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-39	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無
			A/B 5-01-40	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-41	燃料格納容器及び各オイルタンク室	A/B 5-01-42	燃料格納容器及び各オイルタンク室	無

【女川】
 ■記載内容の相違
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table with columns for fire area, fire type, and fire impact evaluation results for Daiichi 3/4 reactors. It includes details on fire propagation and containment measures.

Table with columns for fire area, fire type, fire propagation, and fire impact evaluation results for Onagawa 2 reactor. It includes details on fire propagation and containment measures.

Table with columns for fire area, fire type, fire propagation, and fire impact evaluation results for Daiichi 3 reactor. It includes details on fire propagation and containment measures.

【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

前7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (10/24)

火災区画	火災区画の名称	火災区画の主な設備名	火災伝播評価		火災区画の火災影響評価結果
			火災伝播評価	火災区画の火災影響評価結果	
CR15	燃料交換機室	CR15-1	有	有	有
		CR15-2	有	有	有
		CR15-3	有	有	有
		CR15-4	有	有	有
		CR15-5	有	有	有
		CR15-6	有	有	有
		CR15-7	有	有	有
		CR15-8	有	有	有
		CR15-9	有	有	有
		CR15-10	有	有	有
CR16	燃料交換機室	CR16-1	有	有	有
		CR16-2	有	有	有
		CR16-3	有	有	有
		CR16-4	有	有	有
		CR16-5	有	有	有
		CR16-6	有	有	有
		CR16-7	有	有	有
		CR16-8	有	有	有
		CR16-9	有	有	有
		CR16-10	有	有	有

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画の名称	火災区画の主な設備名	火災区画の火災影響評価結果	火災伝播評価		火災区画の火災影響評価結果
				火災伝播評価	火災区画の火災影響評価結果	
CR15	燃料交換機室	CR15-1	有	有	有	有
		CR15-2	有	有	有	有
		CR15-3	有	有	有	有
		CR15-4	有	有	有	有
		CR15-5	有	有	有	有
		CR15-6	有	有	有	有
		CR15-7	有	有	有	有
		CR15-8	有	有	有	有
		CR15-9	有	有	有	有
		CR15-10	有	有	有	有
CR16	燃料交換機室	CR16-1	有	有	有	有
		CR16-2	有	有	有	有
		CR16-3	有	有	有	有
		CR16-4	有	有	有	有
		CR16-5	有	有	有	有
		CR16-6	有	有	有	有
		CR16-7	有	有	有	有
		CR16-8	有	有	有	有
		CR16-9	有	有	有	有
		CR16-10	有	有	有	有

泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画の名称	火災区画の主な設備名	火災区画の火災影響評価結果	火災伝播評価		火災区画の火災影響評価結果
				火災伝播評価	火災区画の火災影響評価結果	
CR15	燃料交換機室	CR15-1	有	有	有	有
		CR15-2	有	有	有	有
		CR15-3	有	有	有	有
		CR15-4	有	有	有	有
		CR15-5	有	有	有	有
		CR15-6	有	有	有	有
		CR15-7	有	有	有	有
		CR15-8	有	有	有	有
		CR15-9	有	有	有	有
		CR15-10	有	有	有	有
CR16	燃料交換機室	CR16-1	有	有	有	有
		CR16-2	有	有	有	有
		CR16-3	有	有	有	有
		CR16-4	有	有	有	有
		CR16-5	有	有	有	有
		CR16-6	有	有	有	有
		CR16-7	有	有	有	有
		CR16-8	有	有	有	有
		CR16-9	有	有	有	有
		CR16-10	有	有	有	有

相違理由

【女川】

- 記載内容の相違
- 記載方針の相違

(女川実績の反映：着色せず)

(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉

炉別	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置		火災区画の位置	
			火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置
R-9-27	RCV冷却ポンプ	1	R-9-27	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ
R-9-28	ポンプ駆動用電源ケーブル	0.1	R-9-28	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル	ポンプ駆動用電源ケーブル
R-9-29	圧力容器冷却ポンプ	0.1	R-9-29	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ	圧力容器冷却ポンプ
R-9-30	RCV冷却ポンプ	0.1	R-9-30	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ	RCV冷却ポンプ
R-9-31	燃料油供給ポンプ	0.1	R-9-31	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ
R-9-32	燃料油供給ポンプ	0.1	R-9-32	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ	燃料油供給ポンプ

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	火災区画	隣接火災区画		安全停止バス		評価
			火災区画	火災区画内の主な設備名称	安全停止バス	成功バス	
R-9-42	原子炉補機(HPCS)駆動用電源ケーブル	R3-A	HPCSポンプ室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-43	原子炉補機(HPCS)駆動用電源ケーブル	R3-A	HPCSポンプ室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-46	原子炉補機(B)駆動用電源ケーブル	R2-A	RBRポンプ(B)室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-57	D/G(排気)駆動用排気ファン	R3-A	HPCSポンプ室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-63	FCS再結合装置(B)室	R1-K	BIF,IF,2Fインナー通路	他	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-10-4	E.V機械室	R2-B	ダスト材料貯蔵ユニット(B)室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-11-5	原子炉補機(A)駆動用電源ケーブル	R2-A	RBRポンプ(B)室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-11-7	原子炉補機(B)駆動用電源ケーブル	R1-B	RCV 熱交換器・ポンプ(A)(C)室	他	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-12-4	ギヤラリ室	R2-A	RBRポンプ(B)室	他	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
		RN-B	LW移送ポンプ室	他	無	-	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト

泊発電所3号炉

相違理由	
【女川】	■記載内容の相違
【大飯】	■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（17/24）

火災区画	火災区画の名称	火災伝播評価		火災伝播評価		火災伝播評価		火災伝播評価		火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価
		火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価	火災伝播評価				
2017	火災区画A	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画B	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画C	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画D	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画E	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画F	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画G	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画H	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画I	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画J	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画K	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画L	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画M	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画N	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画O	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画P	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画Q	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画R	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画S	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画T	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画U	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画V	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画W	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画X	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画Y	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
2017	火災区画Z	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画の名称	火災区画の主要な設備名称	ターゲット	火災区画	火災区画の主要な設備名称	ターゲット	安全停止バス		評価
							2火災区画	成功	
C2-A	空調機(A)室 他	空調機(A)室 他 DC125V バックアップ (A)-1室 中央制御室 他 BSS 貯蔵 C-01 階段室 常用蒸気ケーブル処理室 常用・共通 M/C-P/C 室 通廊 他 異常用電気品室(2) 他 LN-A LN サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
C2-C	常用・共通 M/C-P/C 室	空調機(A)室 他	有	有	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
C3-A	区別ケーブル処理室	空調機(B)室 他 通廊 他 LN-A LN サンプルポンプ室 他 中央制御室 他 通廊 他 強制排気 他	有	有	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能

【女川】
 ■記載内容の相違

 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	
安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	
工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	
原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	
電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	
燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	
冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	
火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	火災区画 番号	火災原因	火災区画内の火災影響	火災区画内の火災影響評価結果	
安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	安全 保護 系統	
工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	工場の 安全 施設	
原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	原子炉 停止 系統	
電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	電力 系統	
燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	燃料 系統	
冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	冷却 系統	
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由			
火災区画番号	安全保護系統	工学的保護系統	設備	火災影響評価結果	火災区画番号	安全保護系統	工学的保護系統	設備	火災影響評価結果	火災区画番号	安全保護系統	工学的保護系統	設備	火災影響評価結果	相違理由
1	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	1	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	1	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	【女川】 ■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違
2	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	2	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	2	安全保護系統	安全保護系統	制御室	火災発生時に、制御室の機器が動作し、炉心の冷却機能が低下する可能性がある。炉心の温度が上昇し、炉心の損傷や炉心の溶融の可能性がある。	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

第7-1表 当該火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (6/6)

火災を想定する区画		火災風		火災伝播の可能性		区画内火災防護対象機器		火災の大小		系統分離の措置	
番号	名称	安全	工学的	非常用交流電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統
	中央制御室外原子炉停止装置	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	制御 (E.L.+20.0m)	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	ディジーゼル発電機給気ファン駆動装置	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	ディジーゼル発電機給気ファン駆動装置	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	燃料検査室及び通路	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	トランス包蔵庫	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	アニコクスイリア	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	原子炉機械油取水ポンジタンク室	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	海水ポンプ室	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	海水管トンネルエリア	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果												
火災区画番号	安全保護装置	原子炉停止装置	工学的安全装置	非常用交流電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	
											非常用電源系統	非常用電源系統
207	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
208	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果												
火災区画番号	安全保護装置	原子炉停止装置	工学的安全装置	非常用交流電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	非常用電源系統	
											非常用電源系統	非常用電源系統
308	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
309	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
310	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由												
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全施設	非常用交流電源	非常用配電系統	事故時監視装置	監視装置	燃料冷却ポンプ送水系統	燃料冷却ポンプ送水系統	補助設備	電源停止	電源停止	目標結果	相違事項	CI-A	CI-B	火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全施設	非常用交流電源	非常用配電系統	事故時監視装置	監視装置	燃料冷却ポンプ送水系統	燃料冷却ポンプ送水系統	補助設備	電源停止	電源停止	目標結果	相違事項	CI-1	CI-2	相違理由
女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果																																		
泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果																																		

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">非常用交流電源系</th> <th rowspan="2">事故時監視計器</th> <th rowspan="2">冷却熱除去系</th> <th rowspan="2">最終シークトレンチへ熱交換器送る系</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">補正事項</th> </tr> <tr> <th>高温停止</th> <th>低温停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-4-7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト</td> </tr> <tr> <td>Y1-A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	非常用交流電源系	事故時監視計器	冷却熱除去系	最終シークトレンチへ熱交換器送る系	補助設備	評価結果		補正事項	高温停止	低温停止	C-4-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト	Y1-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">非常用交流電源系</th> <th rowspan="2">事故時監視計器</th> <th rowspan="2">冷却熱除去系</th> <th rowspan="2">最終シークトレンチへ熱交換器送る系</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">補正事項</th> </tr> <tr> <th>高温停止</th> <th>低温停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B3-B-10</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能</td> </tr> <tr> <td>B3-B-11</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能</td> </tr> <tr> <td>B3-B-14-1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	非常用交流電源系	事故時監視計器	冷却熱除去系	最終シークトレンチへ熱交換器送る系	補助設備	評価結果		補正事項	高温停止	低温停止	B3-B-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能	B3-B-11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能	B3-B-14-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能	<p>【女川】</p> <p>■系統の相違</p> <p>炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p>
火災区画番号	安全保護系									原子炉停止系	非常用交流電源系		事故時監視計器	冷却熱除去系	最終シークトレンチへ熱交換器送る系	補助設備	評価結果		補正事項																																																																	
		高温停止	低温停止																																																																																	
C-4-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト																																																																										
Y1-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能																																																																										
火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	非常用交流電源系	事故時監視計器	冷却熱除去系	最終シークトレンチへ熱交換器送る系	補助設備	評価結果		補正事項																																																																										
								高温停止	低温停止																																																																											
B3-B-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能																																																																										
B3-B-11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能																																																																										
B3-B-14-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、CVCS等 2) 原子炉過圧防止：加圧抑制弁等 3) 炉心冷却：RPCS、AIS(B)とLPT(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)or(CS) 5) 直流電源系：直流電源(B)(II) 6) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能 高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉制圧：RSD(B) 2) 炉心熱除去：RSD(B) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(B) 5) 補助冷却系、補助設備：上記設備と関係する機器の保守及び補助設備を確保可能																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p style="text-align: center;">内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p>女川2号炉では、内部火災の影響軽減対策として、原子炉の安全停止を達成し、維持するために必要な系統は、内部火災によって同時に機能が喪失しないように系統分離等の対策を講じており、安全停止バスを確保することとしている。</p> <p>その上で内部火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、発生する事象に対して単一故障を想定した場合においても収束が可能であるか、また、安全停止が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p style="text-align: center;">以下に、事象の抽出プロセス、解析前提条件及び解析結果を示す。</p> <p>1. 想定される事象の抽出及び評価プロセス</p> <p>(1) 評価前提</p> <p>次の事項を前提とし、評価を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部火災発生時において原子炉の安全停止に必要な機能は、内部火災が発生した場合においても維持される。 ・原子炉建屋又はタービン建屋において内部火災の発生を想定した場合、原子炉の安全停止に必要な機器は、その機能が維持されることを確認していることから、これ以外の機器は全て機能喪失すると仮定する。 	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p>泊発電所3号炉では、内部火災の影響軽減対策として、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な系統は、内部火災によって同時に機能が喪失しないように系統分離等の対策を講じており、安全停止バスを確保することとしている。</p> <p>その上で内部火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、発生する事象に対して単一故障を想定した場合においても収束が可能であるか、また、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p style="text-align: center;">以下に、事象の抽出プロセス、解析前提条件及び解析結果を示す。</p> <p>1. 想定される事象の評価プロセス</p> <p>(1) 評価前提</p> <p>次の事項を前提とし、評価を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部火災発生時において原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機能は、内部火災が発生した場合においても維持される。 ・原子炉建屋及び原子炉補助建屋 (以下「1次系建屋」という) 又はタービン建屋 (以下「2次系建屋」という) において内部火災の発生を想定した場合、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器は、その機能が維持されることを確認していることから、これ以外の機器は全て機能喪失すると仮定する。 	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 建屋設計の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 泊は建屋名称の読み替えを行う。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋又はタービン建屋において発生した内部火災は、当該の建屋以外に影響を及ぼさない。 中央制御室における火災については、火災検知器による早期検知、消火設備による初期消火、並びに運転員操作によるプラント停止が期待でき、火災の影響は1区分内に限定されるため、中央制御室が位置する制御建屋については、検討対象外とする。[※] <p>※中央制御室において発生した火災については、早期検知、消火が可能であり、過渡事象が発生するような状況まで事象が進展することは考え難い。また、火災によりケーブル等が焼損すれば、電源断となりフェイル・セーフによりスクラムすることが考えられ、スクラムできない事象が発生することは考え難い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1次系建屋内において発生した内部火災は、1次系建屋間で影響を及ぼすが、2次系建屋には影響は及ぼさない。また、2次系建屋において発生した内部火災は、当該の建屋以外に影響は及ぼさない。 中央制御室における火災については、火災感知器による早期検知、消火設備による初期消火、及び運転員操作によるプラント停止が期待でき、火災の影響は1区分内に限定されるため、中央制御室については、検討対象外とする。[※] <p>※中央制御室において発生した火災については、早期検知、消火が可能であり、過渡事象が発生するような状況まで事象が進展することは考え難い。また、火災によりケーブル等が焼損すれば、電源断となりフェイル・セーフにより原子炉トリップすることが考えられ、原子炉トリップできない事象が発生することは考え難い。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 泊は1次系建屋として2つの建屋があることから、各々の影響を与えるおそれがあるため、1次系建屋間で影響を及ぼすこととして評価する。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 泊の中央制御室は評価対象である「原子炉補助建屋」内にあるため、中央制御室を対象外としている。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 抽出プロセスの考え方</p> <p>内部火災に起因して様々な機器の故障や誤作動に伴う外乱の発生が想定され、また、いくつかの外乱が同時に発生することも考えられる。</p> <p>しかしながら、内部火災に対する原子炉の安全停止に必要な機器等以外の常用系等の設備に対しては、網羅的にそれらの配置を整理し、詳細に火災影響を分析する事が困難である事から、原子炉建屋及びタービン建屋で内部火災により発生すると考えられる外乱及び故障の抽出を行い、抽出された故障について厳しくなるものを代表事象として選定した。</p> <p>また、代表事象に対して、重畳することも勘案し分析を行った。なお、全ての起回事象の重畳の組み合わせを定量的に評価することは現実的ではないことから、事象の単独発生時の事象進展の特徴から、重畳した場合の事象進展を定性的に推定し、より厳しい評価結果となり得る組み合わせについて、収束が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p>以下に想定される事象の抽出プロセス並びに各ステップの手順を示す。(第1.1 図参照)</p> <p>【ステップ1】</p> <p>評価事象を網羅的に抽出するため、『発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針』(以下「安全評価審査指針」という。)の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える要因を抽出する。(第2.1 図参照)</p> <p>【ステップ2】</p> <p>原子炉に有意な影響を与える要因を誘発する故障を抽出する。(第2.1 図参照)</p>	<p>(2) 抽出プロセスの考え方</p> <p>内部火災に起因して様々な機器の故障や誤作動に伴う外乱の発生が想定され、また、いくつかの外乱が同時に発生することも考えられる。</p> <p>しかしながら、内部火災に対する原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器等以外の常用系等に対しては、網羅的にそれらの配置を整理し、詳細に火災影響を分析する事が困難である事から、1次系建屋及び2次系建屋で内部火災により発生すると考えられる外乱及び故障の抽出を行い、抽出された故障について厳しくなるものを代表事象として選定した。</p> <p>また、代表事象に対して、重畳することも勘案し分析を行った。なお、全ての起回事象の重畳の組合せを定量的に評価することは現実的ではないことから、事象の単独発生時の事象進展の特徴から、重畳した場合の事象進展を定性的に推定し、より厳しい評価結果となり得る組合せについて、収束が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p>以下に想定される事象の抽出プロセス及び各ステップの手順を示す。(第1-1 図参照)</p> <p>【ステップ1】</p> <p>評価事象を網羅的に抽出するため、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」(以下「安全評価審査指針」という)の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える要因を抽出する。(第2-1図参照)</p> <p>【ステップ2】</p> <p>原子炉に有意な影響を与える要因を誘発する故障を抽出する。(第2-1 図参照)</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【ステップ3】</p> <p>ステップ2で抽出した故障が発生し得る内部火災区画を分析する。ここでは、保守的に原子炉建屋及びタービン建屋を一つの区画とみなした分析を行う。（第2.1図参照）</p> <p>【ステップ4】</p> <p>ステップ3で分析した結果を踏まえ、各建屋で発生する故障分析の結果から抽出された故障について、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなるものを代表事象として特定する。（第2.1図参照）</p> <p>【ステップ5】</p> <p>各建屋で発生すると特定した代表事象の単独発生時の解析結果を踏まえ、事象の組み合わせごとに、重畳を考慮した場合にプラントに与える影響が厳しくなるか否かの分析を行い、解析の要否を整理する。（本文3項参照）</p> <p>【ステップ6】</p> <p>各建屋ごとに内部火災を想定した場合に動作を期待できる緩和系を確認する。（第4.2.1表参照）</p> <p>【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、原子炉停止機能、炉心冷却機能及び放射能閉じ込め機能に単一故障を想定する。（第5.2表参照）</p> <p>なお、ここでは、内部火災により火災影響を受ける設備*が機能喪失していることを前提に、火災影響を受けない火災区域にある設備に単一故障を更に重ねる。</p> <p>※：「資料10 女川原子力発電所2号炉における内部火災影響評価について」にて評価された設備の機能喪失が発生することを前提としている。</p>	<p>【ステップ3】</p> <p>ステップ2で抽出した故障が発生し得る内部火災区画を分析する。ここでは、常用系設備等の防護対象設備に該当しない設備は、設置された内部火災区画によらず、火災影響を受ける可能性があるとして仮定する。その際、1次系建屋及び2次系建屋の火災の影響は当該の建屋以外に影響が及ばないとする。（第2-1図参照）</p> <p>【ステップ4】</p> <p>ステップ3で分析した結果を踏まえ、各建屋で発生する故障分析の結果から抽出された故障について、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなるものを代表事象として特定する。（第2-1図参照）</p> <p>【ステップ5】</p> <p>各建屋で発生すると特定した代表事象の単独発生時の解析結果を踏まえ、事象の組合せごとに、重畳を考慮した場合にプラントに与える影響が厳しくなるか否かの分析を行い、解析の要否を整理する。（本文3項参照）</p> <p>【ステップ6】</p> <p>各建屋ごとに内部火災を想定した場合に動作を期待できる緩和系を確認する。（第4表参照）</p> <p>【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、原子炉停止機能、炉心冷却機能及び放射能閉じ込め機能に単一故障を想定する。（第5-2表参照）</p> <p>なお、ここでは、内部火災により火災影響を受ける設備*が機能喪失していることを前提に、火災影響を受けない火災区域にある設備に単一故障を更に重ねる。</p> <p>※：「資料10 泊発電所3号炉における内部火災影響評価について」にて評価された設備の機能喪失が発生することを前提としている。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。なお、1次系建屋として、原子炉建屋と原子炉補助建屋については、影響を及ぼすものとして評価している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【ステップ8】</p> <p>ステップ7までの分析結果等を踏まえ、抽出した事象の解析を実施し、プラントの安全停止が維持できるかについて確認する。(本文6項参照)</p> <div data-bbox="772 363 1243 1045" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ステップ1 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因を抽出(第2.1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ2 主要な要因に対する故障を抽出(第2.1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ3 抽出された故障が各建屋において発生し得るかを分析(第2.1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ4 各建屋について、分析結果を踏まえ、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなる代表事象を特定(第2.1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ5 代表事象の重畳を抽出(結果を厳しくする事象の組合せ)(本文3項参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ6 内部火災により動作を期待できる緩和系の確認(第4.2.1表参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ7 解析における機能喪失の仮定 単一故障の想定を割り当てる(第5.2表参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ8 解析実施(本文6項参照)</p> </div> <p style="text-align: center;">第1.1図 評価プロセス</p>	<p>【ステップ8】</p> <p>ステップ7までの分析結果等を踏まえ、抽出した事象の解析を実施し、抽出した事象の解析を実施し、プラントの高温停止及び低温停止を達成し、維持できるかについて確認する。(本文6項参照)</p> <div data-bbox="1400 331 1915 1045" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ステップ1 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因を抽出(第2-1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ2 主要な要因に対する故障を抽出(第2-1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ3 抽出された故障が各建屋において発生し得るかを分析(第2-1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ4 各建屋について、分析結果を踏まえ、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなる代表事象を特定(第2-1図参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ5 代表事象の重畳を抽出(結果を厳しくする事象の組合せ)(本文3.項参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ6 内部火災により動作を期待できる緩和系の確認(第4表参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ7 解析における機能喪失の仮定 単一故障の想定を割り当てる(第5-1表参照)</p> <p>↓</p> <p>ステップ8 解析実施</p> </div> <p style="text-align: center;">第1-1図：評価プロセス</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>2. 火災により発生が想定される事象の抽出【ステップ1, 2, 3, 4】 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因及びその要因に対する故障の抽出結果を第2.1図に示す。また、同図において、抽出した故障が、原子炉建屋及びタービン建屋において発生し得るかを分析し、各建屋において抽出した代表事象を示す。</p> <p>第2.1図において抽出された、原子炉建屋及びタービン建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象を第2.1表に示す。</p> <div data-bbox="719 639 1317 1158" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第2.1表 抽出された事象</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">抽出された事象</th> <th style="text-align: center;">R/B</th> <th style="text-align: center;">T/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○^{※1}</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量制御系の誤作動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水流量の全喪失+タービントリップ</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>逃がし弁開放</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水制御系の故障 (流量減少)</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">※1</td></tr> <tr><td>給水制御系の故障^{※2} (流量増加)</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>HPCSの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>RCICの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水加熱喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>負荷の喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力制御系の故障</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>給水流量の全喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 原子炉建屋では再循環ポンプ全台トリップ、タービン建屋では部分台数トリップを想定 ※2 タービン建屋ではより厳しい給水流量の全喪失を想定 ※3 原子炉給水制御系の誤信号等により、給水流量が増加する事象は、原子炉設置変更許可申請書に倣い、単に「給水制御系の故障」という。</p> </div>	抽出された事象	R/B	T/B	原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○		原子炉冷却材流量の喪失	○	○ ^{※1}	原子炉冷却材流量制御系の誤作動	○		給水流量の全喪失+タービントリップ	○		主蒸気隔離弁の誤閉止	○	○	逃がし弁開放	○		給水制御系の故障 (流量減少)	○	※1	給水制御系の故障 ^{※2} (流量増加)	○	○	HPCSの誤起動	○		RCICの誤起動	○		給水加熱喪失		○	負荷の喪失		○	原子炉圧力制御系の故障		○	給水流量の全喪失		○	<p>2. 火災により発生が想定される事象の抽出【ステップ1, 2, 3, 4】 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因及びその要因に対する故障の抽出結果を第2-1図に示す。また、同図において、抽出した故障が、1次系建屋及び2次系建屋において発生し得るかを分析し、各建屋において抽出した代表事象を示す。</p> <p>第2-1図において抽出された、1次系建屋及び2次系建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象を第2-1表に示す。</p> <div data-bbox="1346 667 1955 1126" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第2-1表：抽出された事象</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">抽出された事象</th> <th style="text-align: center;">1次系建屋</th> <th style="text-align: center;">2次系建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>蒸気負荷の異常な増加</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>蒸気発生器への過剰給水</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>制御棒の落下及び不整合</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>2次冷却系の異常な減圧</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>主給水流量喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>外部電源喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>負荷の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> </tbody> </table> </div>	抽出された事象	1次系建屋	2次系建屋	蒸気負荷の異常な増加	-	○	原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○	-	蒸気発生器への過剰給水	○	○	原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○	-	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	○	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	○	制御棒の落下及び不整合	○	○	2次冷却系の異常な減圧	-	○	主給水流量喪失	○	○	外部電源喪失	○	○	原子炉冷却材流量の部分喪失	○	-	原子炉冷却材流量の喪失	○	-	負荷の喪失	○	○	原子炉冷却材系の異常な減圧	○	-	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は安全評価指針のBWRの評価事象から選定しているが、泊はPWRの評価事象から選定した。</p>
抽出された事象	R/B	T/B																																																																																											
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○																																																																																												
原子炉冷却材流量の喪失	○	○ ^{※1}																																																																																											
原子炉冷却材流量制御系の誤作動	○																																																																																												
給水流量の全喪失+タービントリップ	○																																																																																												
主蒸気隔離弁の誤閉止	○	○																																																																																											
逃がし弁開放	○																																																																																												
給水制御系の故障 (流量減少)	○	※1																																																																																											
給水制御系の故障 ^{※2} (流量増加)	○	○																																																																																											
HPCSの誤起動	○																																																																																												
RCICの誤起動	○																																																																																												
給水加熱喪失		○																																																																																											
負荷の喪失		○																																																																																											
原子炉圧力制御系の故障		○																																																																																											
給水流量の全喪失		○																																																																																											
抽出された事象	1次系建屋	2次系建屋																																																																																											
蒸気負荷の異常な増加	-	○																																																																																											
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○	-																																																																																											
蒸気発生器への過剰給水	○	○																																																																																											
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○	-																																																																																											
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	○																																																																																											
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	○																																																																																											
制御棒の落下及び不整合	○	○																																																																																											
2次冷却系の異常な減圧	-	○																																																																																											
主給水流量喪失	○	○																																																																																											
外部電源喪失	○	○																																																																																											
原子炉冷却材流量の部分喪失	○	-																																																																																											
原子炉冷却材流量の喪失	○	-																																																																																											
負荷の喪失	○	○																																																																																											
原子炉冷却材系の異常な減圧	○	-																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第2-1図 外乱分析図 (1/3)</p>	<p>第2-1図：外乱分析図 (1/3)</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>

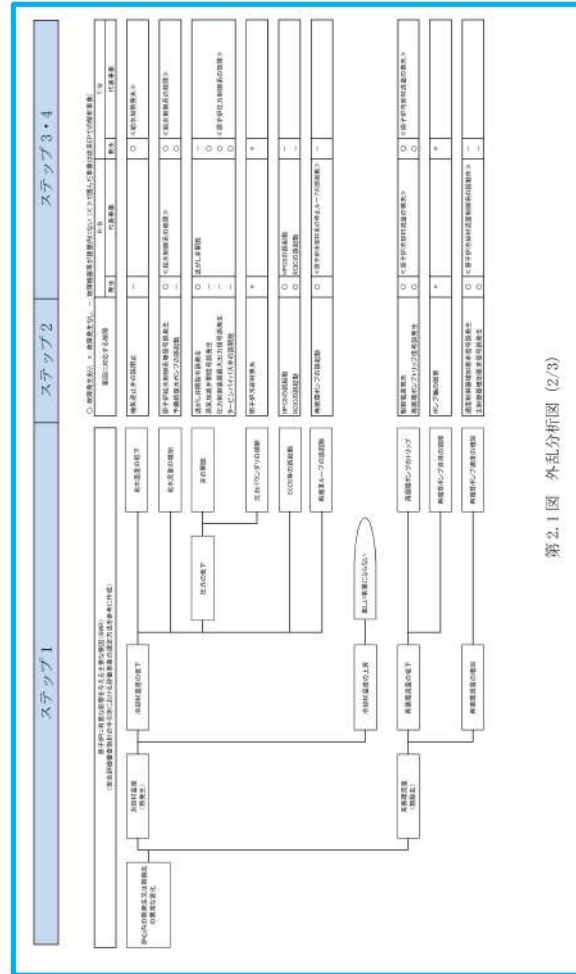
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

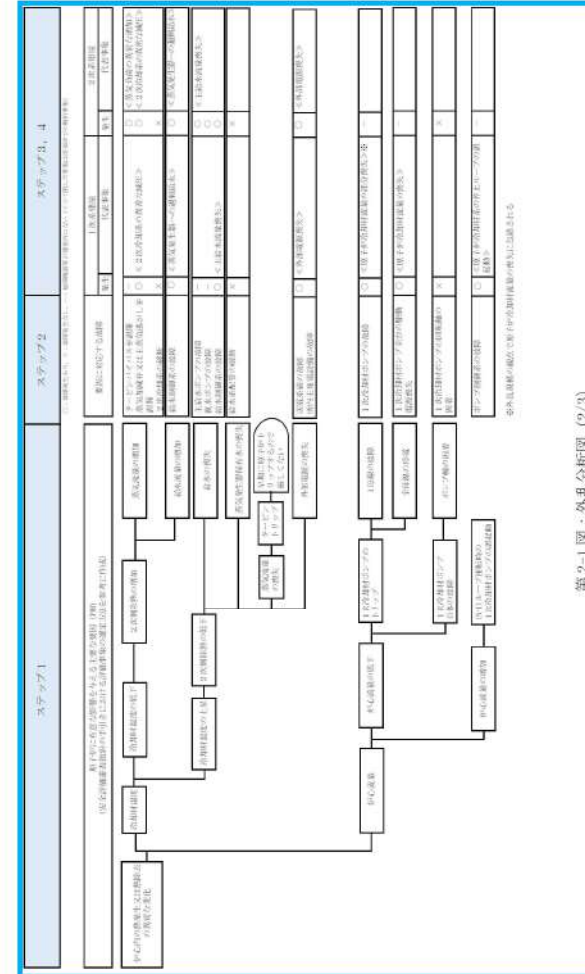
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第2-1図 外乱分析図 (2/3)



第2-1図 外乱分析図 (2/3)

【女川】
 ■記載方針の相違
 女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第 2.1 図 外乱分析図 (3/3)</p>	<p style="text-align: center;">第 2-1 図：外乱分析図 (3/3)</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>3. 重畳を考慮した内部火災影響評価事象の抽出【ステップ5】</p> <p>(1) 重畳を考慮すべき事象の分析</p> <p>2. で抽出した原子炉建屋及びタービン建屋における内部火災により発生する可能性のある事象について、重畳を考慮すべき事象を判別した結果を第3.1表及び第3.2表に示す。</p> <p>重畳を考慮すべき事象として抽出された代表事象の概要を第3.3表に示す。</p>	<p>3. 重畳を考慮した内部火災影響評価事象の抽出【ステップ5】</p> <p>(1) 重畳を考慮すべき事象の分析</p> <p>2. で抽出した1次系建屋及び2次系建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象について、重畳を考慮すべき事象を判別した結果を第3-1表及び第3-2表に示す。</p> <p>重畳を考慮すべき事象として抽出された代表事象の概要を第3-3表に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>																																																																								
	<p>第3.1表 原子炉建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材の停止ループの誤起動</td> <td>—</td> <td>部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量制御系の誤作動</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失+タービントリップ</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>逃がし弁開放</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量減少)</td> <td>—</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HPCSの誤起動</td> <td>—</td> <td>② (上部プレナムへの注水)</td> </tr> <tr> <td>RCICの誤起動</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*	原子炉冷却材の停止ループの誤起動	—	部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい	原子炉冷却材流量の喪失	—	①	原子炉冷却材流量制御系の誤作動	考慮	—	給水流量の全喪失+タービントリップ	考慮	—	主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—	逃がし弁開放	—	②	給水制御系の故障 (流量減少)	—	③	給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—	HPCSの誤起動	—	② (上部プレナムへの注水)	RCICの誤起動	考慮	—	<p>第3-1表：1次系建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>II 蒸気発生器への過剰給水</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VI 制御棒の落下及び不整合</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>VII 主給水流量喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VIII 外部電源喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IX 原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>X 原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>XI 負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>XII 原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由	I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	①	II 蒸気発生器への過剰給水	考慮		III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	考慮		IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮		V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮		VI 制御棒の落下及び不整合	—	②	VII 主給水流量喪失	考慮		VIII 外部電源喪失	考慮		IX 原子炉冷却材流量の部分喪失	考慮		X 原子炉冷却材流量の喪失	考慮		XI 負荷の喪失	考慮		XII 原子炉冷却材系の異常な減圧	考慮		
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*																																																																									
原子炉冷却材の停止ループの誤起動	—	部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい																																																																									
原子炉冷却材流量の喪失	—	①																																																																									
原子炉冷却材流量制御系の誤作動	考慮	—																																																																									
給水流量の全喪失+タービントリップ	考慮	—																																																																									
主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—																																																																									
逃がし弁開放	—	②																																																																									
給水制御系の故障 (流量減少)	—	③																																																																									
給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—																																																																									
HPCSの誤起動	—	② (上部プレナムへの注水)																																																																									
RCICの誤起動	考慮	—																																																																									
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由																																																																									
I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	①																																																																									
II 蒸気発生器への過剰給水	考慮																																																																										
III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	考慮																																																																										
IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮																																																																										
V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮																																																																										
VI 制御棒の落下及び不整合	—	②																																																																									
VII 主給水流量喪失	考慮																																																																										
VIII 外部電源喪失	考慮																																																																										
IX 原子炉冷却材流量の部分喪失	考慮																																																																										
X 原子炉冷却材流量の喪失	考慮																																																																										
XI 負荷の喪失	考慮																																																																										
XII 原子炉冷却材系の異常な減圧	考慮																																																																										
	<p>第3.2表 タービン建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水加熱喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力制御系の故障</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失</td> <td>—</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 重畳を考慮しない理由</p> <p>① 再循環流量が減少する事象は、BWR-5では再循環ポンプの慣性が大きく、炉心流量の減少による炉心の冷却能力低下に対し、原子炉出力の減少が早めに作用するため、重畳しても結果は厳しくならない。</p> <p>② 圧力が低下する事象は重畳しても結果は厳しくならない。</p> <p>③ 出力低下する事象は重畳しても結果は厳しくならない。</p>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*	給水加熱喪失	考慮	—	原子炉冷却材流量の喪失	—	①	負荷の喪失	考慮	—	主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—	原子炉圧力制御系の故障	—	②	給水流量の全喪失	—	③	給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—	<p>第3-2表：2次系建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>代表事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 蒸気負荷の異常な増加</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 蒸気発生器への過剰給水</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V 制御棒の落下及び不整合</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>VI 2次冷却系の異常な減圧</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VII 主給水流量喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VIII 外部電源喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IX 負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 重畳を考慮しない理由</p> <p>① 計画的なN-1ループ運転は想定していないため、重畳は考慮しない。</p> <p>② 火災により制御棒の落下が生じる場合、全制御棒が落下する。この場合、原子炉出力は低下するのみであり、重畳は考慮しない。なお、火災により制御棒の不整合は生じない。</p>	代表事象	重畳	重畳を考慮しない理由	I 蒸気負荷の異常な増加	考慮		II 蒸気発生器への過剰給水	考慮		III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮		IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮		V 制御棒の落下及び不整合	—	②	VI 2次冷却系の異常な減圧	考慮		VII 主給水流量喪失	考慮		VIII 外部電源喪失	考慮		IX 負荷の喪失	考慮																				
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*																																																																									
給水加熱喪失	考慮	—																																																																									
原子炉冷却材流量の喪失	—	①																																																																									
負荷の喪失	考慮	—																																																																									
主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—																																																																									
原子炉圧力制御系の故障	—	②																																																																									
給水流量の全喪失	—	③																																																																									
給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—																																																																									
代表事象	重畳	重畳を考慮しない理由																																																																									
I 蒸気負荷の異常な増加	考慮																																																																										
II 蒸気発生器への過剰給水	考慮																																																																										
III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮																																																																										
IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮																																																																										
V 制御棒の落下及び不整合	—	②																																																																									
VI 2次冷却系の異常な減圧	考慮																																																																										
VII 主給水流量喪失	考慮																																																																										
VIII 外部電源喪失	考慮																																																																										
IX 負荷の喪失	考慮																																																																										